

第五十九回帝國議會
衆議院

地租法案外六件委員會會議錄(速記)第二十一回

會議

昭和六年二月二十七日(金曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 本田 恒之君

理事 西脇 晉君

理事 永田善三郎君

理事 中村 繼男君

理事 高橋熊次郎君

理事 清水 銀藏君

海老澤爲次郎君

松井文太郎君

松本 忠雄君

前田房之助君

竹田 儀一君

木暮武太夫君

大口 喜六君

加藤鎌五郎君

前田 米藏君

出席國務大臣左ノ如シ

內閣總理大臣臨時代理

外務大臣 男爵幣原喜重郎君

大藏大臣 井上準之助君

內務大臣 安達 謙藏君
農林大臣 町田 忠治君
海軍大臣 男爵安保 清種君

出席政府委員左ノ如シ

內務參與官 一宮房治郎君

內務省地方局長 次田大三郎君

內務書記官 岡田 周造君

內務書記官 鈴木 敬一君

大藏政務次官 小川郷太郎君

大藏參與官 勝 正憲君

大藏省主稅局長 青木 得三君

大藏書記官 川越 丈雄君

大藏書記官 野津高次郎君

大藏書記官 關原 忠三君

海軍政務次官 男爵矢吹 省三君

海軍主計中將 加藤 亮一君

海軍少將 堀 悌吉君

海軍少將 寺島 健吉君

海軍主計大佐 佐々木重藏君

農林參與官 山田 道兄君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

農林省山林局長 平熊 友明君

農林書記官 田淵 敬治君

商工政務次官 横山勝太郎君
商工省工務局長 吉野 信次君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

地租法案(政府提出)

營業收益稅法中改正法律案(政府提出)

砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)

織物消費稅法中改正法律案(政府提出)

明治四十一年法律第三十七號中改正法律案(地方稅制限ニ關スル件)(政府提出)

大正十五年法律第二十四號中改正法律案(地方稅ニ關スル件)(政府提出)

都市計畫法中改正法律案(政府提出)

本田委員長 是ヨリ開會致シマス

大口君

○大口委員 私ハ先ヅ總理大臣代理ニ

承リタイノデアリマスガ、今日我國ノ

經濟界ガ非常ナ不況デアリ、困難デア

リマスコトハ、モウ私ガ申スマデモナ

イ、此原因ト云フモノガ果シテ何處ニ

在ルカト云フヤウナコトヲ、此處デ追

窮討論スルコトニナリマスレバ、中々

是ハ議論ガアラウト思ヒマス、ソレハ

私ハ今日ハ言ハナイコトニ致シマス、

事實ノ上ニ於テ、日本ノ今日ノ經濟界

ト云フモノガ非常ナ不況ニ沈淪シテ居

ルト云フコトハ、是ハ誰ガ見テモ間違

ナイ事實デアアル、之ヲドウシテ救フ

カ、ドウスレバ日本ノ今日ノ不況ガ救

付託議案

地租法案(政府提出)

營業收益稅法中改正法律案(政府提出)

砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)

織物消費稅法中改正法律案(政府提出)

明治四十一年法律第三十七號中改正法律案(地方稅制限ニ關スル件)(政府提出)

大正十五年法律第二十四號中改正法律案(地方稅ニ關スル件)(政府提出)

都市計畫法中改正法律案(政府提出)

耕地整理法中改正法律案(政府提出)

ニナルト、昭和六年度ニ減税ヲシテ一時國民ヲ喜バセテ見タ所ガ、又ソレ以上ノ弊害、ソレ以上ノ困難ト云フモノガ直チニ國民ノ上ニ反映シテ來タ場合ニハ、減税ハ效果ガナイノミナラズ、寧ロ非常ナ害ヲ後ニ貽スヤウナコトニナル、サウ云フ譯デアアルカラ、餘程財政上ノ計畫ト云フモノヲ確實ニ致スコトガ必要デアルト私共ハ考ヘテ居ル、ソコデ此減税ト云フモノガ、昭和六年度ダケデアアルナラバ、昭和六年度ノ豫算ノ上デ見テ置ケバソレダケデアリマスケレドモ、言フ迄モナク減税ハ恆久的ノモノデアッテ、一年限リノモノデハナイ、シテ見レバ恆久的ノ財源ト云フモノヲ十分ニ調査ヲシ、十分ニ研究スル必要ガアリマスカラ、ソコデ所謂財政計畫ノ研究ヲ必要トシテ參ッテ、概計表ナドニ對シテモ之ヲ論ゼネバナラヌコトニナル、ソコデ何レハ大藏大臣ニ對スル質問ニモナリマスカラシテ、此場合申述ベテ置キタイノデアリマスガ、概計表ト云フモノハ讀ンデ字ノ如ク、所謂概計デアッテ、決シテ精細ヲ極メタモノデナイト云フコトハ私モ能ク存ジテ居リマスガ、併シ我國ノ財政計畫ヲ討論シテ見ルニハ、今日ノ場合概計表ヲ標準トシテ見ルヨリ外ニ據リ所ガナイ、ソコデ已ムヲ得ズ恆久的財源ト云フモノヲ吾々が調査研究ヲシテ、

是ナラバ將來我國ノ財政ハ大丈夫デアルト云フ安心ヲ得ヨウトスルニハ、概計表ヲ先ヅ中心トシテ、此研究ヲスルコトガ大切デアアル、斯ウ云フコトデアルト私共ハ考ヘル、ソコデ今度ノ減税ニ對シテ、然ラバ財源ガ果シテ確實デアアルカドウカト考究シテ見ルト、茲ニ五億八百萬圓ト云フ海軍ノ保留財源ガ剩ッテ出ル、ソレカラ今回御提出ニナリマシタ海軍ノ補充計畫ト云フモノ、三億何千萬圓ト云フ金ヲ引イテ見ルト、其殘額ガ一億三千餘萬圓アルカラ、之ヲ剩餘財源ト見テ、ソレニ依ッテ兎ニ角昭和十一年度マデハ、減税ノ財源ガ先ヅ確實ト政府ハ見テ居ル、昭和十二年度以降ト云フモノハ、別ニ財政ノ計畫ガ大體ニ於テ立ッテ居ル、斯ウ云フモノダト段々説明ヲシテ居ラレル、一應表面カラ見マスト云フト尤モラシク考ヘラレルノデアアルガ、茲ニ一ツノ大ナル疑問ガアル、此疑問ト云フノハ、私個人カラ言ヘバ、モウ今日ハ疑問デハナイノデアアル、ソレデ私ハ總理大臣代理ノ御出席ヲ要求シタ譯ニナル、ドウ云フ風ニ私ハ見テ居ルカト云フト、豫算會議以來今日マデノ質問應答ノ結果、ドウナッテ居ルカト云フト、今回御提案ニナッタ所ノ海軍補充計畫ナルモノハ、俗ニ謂フ第一補充計畫デアアル、勿論海軍ノ方カラ言ヘバ第一補充計畫、第二

補充計畫ト云フ區別ハナイ譯デアアルガ、便宜上先ヅ人ノ謂フ所ニ依ルト、今回豫算ノ上ニ現ハレテ居ル三億何千萬圓ノ海軍補充計畫ト云フモノハ、是ハ第一ノ計畫デ、根幹トナルベキモノヲ出シタ、此政府ノ答辯ヲ私ハ認メル、スルト俗ニ謂フ第二補充計畫ガ是ニ伴ッテ來ネバナラナイ、是ハドウデアアルカ、是ガ一ツノ疑問デアアル、所ガ今申シマス通り質問應答ノ結果、私ハ最早疑問デハナイ、ドウ云フ譯デアアルカト云フト、斯ウ云フ事ニナルト考ヘル、奉答文ノ内容ガドウデアアルカトカ、其責任ヲドウ持ツカトカ、斯ウ云フ議論ニナルト、是ハ中々難カシイ問題デアリマシテ、之ヲ論ジタラ又長イ時間掛ッテモ果シガ付カナイデアラウト思ヒマスカラ、サウ云フ理窟ハ私ハ少シモ今日ハ言ハヌ、實際ノ上カラドウデアアルカト云フト、兎ニ角此軍令部ノ方デ定マッタ事柄ト云フモノハ、陛下ニ奉答ニ相成ッテ居ッテ、少クトモ此奉答文ノ内容ヲ知ッテ居ル管ノ海軍大臣ガ、現内閣ノ一員トシテ居ラレル、濱口首相ニハ内閣ヲ御許シニ相成ッテ居ッテ、表向キ今ノ内閣諸公ガ知ッテ居ラレルカ居ラレナイカハ別トシテ、奉答サレテ居ルダケノ事ハ致サネバナラナイモノデアアルト云フ事ダケハ想像ガ出來ル、事實ノ上カラ綜合シテ段々考ヘテ見ルト云

フト、今回御出シニナッタダケノ、所謂吾々ノ謂フ第一補充計畫ダケデ、昭和十一年度マデ満足ノ出來ルモノデハナイ、世ノ中デ傳ヘテ居ルヤウニ、昭和九年度カラハ最早第二ノ計畫ガ頭ヲ出サネバナラヌ、是ハ此間中カラノ内田君ノ質問ナドデ、製艦能力ノ方面カラ申シテモ、又色々ノ海軍ノ計畫上カラ申シテモ、今日ハ私ハ速記録ナドヲ引イテ、言葉尻ヲ取ッテ、此處デギユウギユウヤラウト考ヘマセスカラ一々申シマセヌガ、兎ニ角昭和十一年度以前ニ於テ、此第二ノ計畫ノ頭ヲ出ス必要ガアル事ダケハ、總理大臣代理竝ニ海軍大臣ハ明ニ御認メニナッテ居ル、其通りデアルト思フ、是ハ吾々が見テ居ルヤウニ、果シテ第二ノ計畫ガ一億四千萬圓掛ルカ、一億三千萬圓デ濟ムカ、一億五千萬圓デ濟ムカト云フ明確ナ數字マデハ、茲ニ政府ガ承認サレヌシ、又サレタ所デ、サウ云フモノト云フモノハ、ドウシテモ昭和十一年度前ニ現ハレルモノデアルト云フコトハ想像ニ難クナイノミナラズ、最早連日ノ質問應答ニ依ッテ明瞭ナ事實デアアルコトヲ見ナクチャナラヌ、ソコデ私ノ考ヲバ大體聞イテ戴キタイ、私共決シテ軍國主義者デヤナイ、是ハ宜シクナイ、故ニ出來ルダケ私共モ軍備ノ縮小ヲ望ム者デアアルシ、ソレカラ又軍事ニ要スル經

費ト云フモノハ、出來ルダケ節約シタ
 イ論者デア、論者デア、ノミナラズ、
 實行致シタイト確ク考ヘテ居ル、併ナ
 ガラ國防ハ完全ニシテ置カナケレバナ
 ラヌ、國防ハ一日モ之ヲ忽セニシテヤ
 ナラヌ、斯ウ云フモノデア、カ、シテ、
 其見地カラ言フト云フト、今日外國ノ
 様子ヲ見テ、ソレカラ此方デ仕事ヲシ
 テ掛ルト云フコトハ、國防ノ見地カラ
 行ケバ、是ハドウシテモ本當チヤナイ、
 サウ云フコトデア、外國ニ對峙シテ、國防
 ト云フモノガ完全ニ期セラレモ、
 ヤナイカラ、日本ハ日本デ一ツノ根柢
 ト云フモノヲ定メテ、此方ハ是デ行ク
 ノダ、ソレデ更ニ次ノ交渉ヲ外國ト開
 イテ見テ、ソコデ此處マデ行ケルナラ
 是デヤル、併ナガラ今日ノ日本ニ於テ
 ハ是ダケノコトハシテ掛ラナクチャ、
 國防ハ完全ニ行カナイト云フコトガ無
 クチャナラヌ、是ハ内閣諸公トシテハ
 勿論ノコトデ、國民全體トシテモサウ
 云フ考ガナクチャナラヌ、其見地カラ
 考ヘテ見ルト云フト、昭和十一年度以
 前ニ於テ、少クトモ昭和九年度カラハ
 第二次海軍ノ——吾々ノ謂フ第二補充
 計畫ト云フモノガ頭ヲ出シテ來ルト云
 フコトハ認メナクチャナラヌ、サウ考
 ヘマスト云フト、先刻申シタ概計表カ
 ラ見マシテモ、今政府ノ御答辯ニナッテ
 居ル財政計畫カラ云フト、甚ダ是ハ財
 政上危イモノデアルト見ナクチャナラ
 ヌ、ソコデ之ニ對シテハ、大藏大臣モ
 御認ニナッダ、サスレバ金ガ要ル、併シ
 其必要ナ所ノ財源ト云フモノハ、今一
 厘モ保留シテナイ、斯ウ答ヘラレテ居
 ル、サウスルト云フト、餘程昭和十一
 年度マデノ我國ノ財政計畫ニハ大分缺
 陥ガアツテ、危イモノデアルト云フト
 ハ、ドウ考ヘテモ是ハ見エル、危イト
 云フ言葉ヲ使ヒマシタナラバ、或ハ危
 クナイト内閣ノ諸公ハ御答辯ニナラネ
 バナリマスマイガ、兎ニ角昭和十一年
 度マデノ我國ノ財政計畫ニ大イナル缺
 陥ガアルコトダケハ、如何ナル素人デ
 モ見エル、ソコデ内情ヲ露骨ニ、私ノ
 頭ニ映ジタ通りニ、此處デ打明話ヲシ
 テ見ルト、政府ニ於テモ斯ウ云フト
 ハ確實ニヤリタイニキマツテ居ル、所ガ
 金ガ無イ、一面ニ於テ此軍縮條約ヲス
 ル以上ハ、國民ノ負擔ヲ輕減スル、必
 ズ減税スルト言ハレテ居ルノデア、カ
 ラ、否ガ應デモ減税ハシナクチャナラ
 ヌ、所ガ經費ハ困難デア、歳入ハ減
 テ來ル、軍縮ノ剩餘金ハドウシテモ出
 ナイ、已ムヲ得ヌカラ海軍ノ補充計畫
 ト云フモノヲ二ツニ割カレテ、先ヅ差
 當ツテ私共ノ謂フ第一補充計畫ダケヲ
 此處ニ出サレテ、第二補充計畫ハ、マ
 ア惡ク言ヘバ隱シテ置キ、靜カニ別ニ
 取ツテ置イテ、サウシテ此處ニ財源ガ出
 タヤウニ拵ヘテ、財政計畫ノ辻褄ダケ
 ハ合セテ、一億三千有餘萬圓ノ剩餘金
 ガアルトシテ、減税計畫ヲ立テラレタ
 モノデア、カ、コトハモウ明瞭デ、疑フ餘
 地ガナイヤウニ私ハ思フ、ト云フノハ
 先日モ申シタ通り、昭和十二年度カラ
 ト云フモノハ、却テ艦艇製造費ノ爲ニ
 六千萬圓ノ保留財源ガ取ツテアルシ、其
 他航空隊ナドニ對スル保留財源ハ六千
 萬圓以外ニ取ツテアルヤウニ計畫シテ
 アルノニ、却テ昭和十一年マデニハ必
 要ヲ認メテ居ルニ拘ラズ、第二ノ海軍
 補充計畫ニ對シテ一萬圓モ財源ガ取
 テナイト云フ極メテ不自然不條理ナ計
 畫ニナツテ居ル所ニ依ツテモ、其真相ハ
 私ハ分ルヤウニ思フ、ソレヲ私ハ捉ヘ
 テ、此處デ攻撃ヲシヨウトカ、強ヒテ
 減税案ガ惡イト云フ材料ニシヨウト私
 ハ此處デ考ヘヌケレドモ、御答辯ニ依
 テハサウ云フトコトニナルカモ知レヌカ
 ラ、御注意下サツテ御答辯下サルコトハ
 結構デアリマスガ、私ハサウ云フ目先
 ノ攻撃的議論ヲ致サウトスルノデハナ
 イ、及バズナガラ國家ノ財政ノ前途ヲ
 憂フル者デア、ル、斯ウ云フ組織デ御互
 誰ガヤツテモ、御互ノ政黨ガ今マデ言
 タ言質ニ囚ハレタリ、失禮ナ言葉カ知
 レマセヌガ、體面ニ囚ハレタリシテ、
 サウシテ財政上ノコトデモ無理ヲ拵ヘ
 テ、表面ダケヲ糊塗シテ其場ダケヲ何
 トカシテ行クト云フトコトニナルト、是
 ハ實ニ我國ノ將來ノ財政ハ危イト思
 フ、現内閣ガ只今冗談ノヤウニ申シテ
 居ラレタシデア、カ、是ガ幸ニ十年モ
 御續ケ下サレバ、又何處マデモ責任ヲ
 執ラレル譯デア、カ、内閣ト云フモノ
 ハ、何時ドウ云フ風ニ迭ルカ分ラヌ、
 誰ガヤツタ所ガ、斯ウ云フ無理ナ計畫ヲ
 立テ、減税ヲシテシマツテ、恆久的ノ財
 源ヲ失ツテシマツテ、サウシテ一方ニ恆
 久的ノ財政計畫ト云フモノニ、今ノヤウ
 ナ缺陷ガ認メラレテ居ル、國防ヲ完全
 ニシヨウトスレバ金ガ足ラナイ、ソコ
 デ仕方ガナイカラ遂ニ又増税デモスル
 カ、増税ヲシナケレバ何處カ國家ノ事
 業ニ缺陷ヲ生ズル、斯ウ云フトコトガ
 ルノヲ、理窟ヤ机ノ上ノ議論デ、大正
 六年度ダケガドウカスウカ辻褄ガ合
 テ行ケレバ宜イト云フトコトニナルト、
 コトヲヤルト云フトコトニナルト、洵ニ
 私ハ將來日本ノ財政上危イ、是ハ私ガ
 政友會ヲ代表シテ言フノデア、カ、
 ヌ、大口喜六個人トシテ言フノデア、
 ガ、大口喜六個人モ、斯ウ云フ場合ニ
 ハ反省ヲシテ、國家ノ爲ニ眞面目ニ盡
 スコトヲ考ヘテ、其議論ヲセナケレバ
 ナラヌト思フノデア、カ、政府ニ於
 カレマシテモ、餘程是ハ國家ノ將來ヲ
 考ヘテ、財政ノ基礎ニ對シテハ、唯其
 場ノ議論デ、今マデノ行掛リデ通セバ

宜イノダトハ御思ニハナッテ居リハスラドウシテモシナケレバナラヌノデハ
 マイガ、サウ云フ弊ニ陥ラナイヤウニナイカ、ソレデナケレバ、國防ノ安固
 シテ、眞面目ニ日本ノ將來ノ財政ヲ立テテラレナクチャナラヌト私ハ考ヘル、
 テラレナクチャナラヌト私ハ考ヘル、若シ此國防ノ安固ト云フ點ニ付テ十分
 其點ニ對シマシテ、總理代理トサレテハノ保障ヲ得ルヤウナ計畫ヲスルナラ
 餘程一ツノ御確定ガ其處ニナクテハナラヌト私ハ思フノデス、此場合ソレヲ
 ラヌト私ハ思フノデス、何レ此概計表ナド一ツ承ッテ置キタイ、何レ此概計表ナド
 ノ詳シイコトニ付キマシテハ、大藏大臣ニ疑問ノ點ヲ伺ヒマスガ、一國ノ總
 理トサレテ、今日ノ日本ノ不況、今日ノ日本ノ、實ニ國民ノ苦シデ居ル場合、
 ドウシテ之ヲ救フカ、斯ウ云フ大切ナ場合ニ當面シテ、假令僅カノ金デアッテ
 モ減稅ヲサレヨウト云フノデアッテ、恆久財源ニ關係シテ、將來我國ノ財政ノ
 計畫基礎ヲドウシヨウト云フコトデアリマスカラ、是ハドウシテモ總理代理
 ラシテオ出デナサル幣原サンノ御答辯ヲ承ッテ置クコトガ必要ト考ヘテ、御出
 席ヲ要求シタ譯デアリマス、ソレニ對シマス御答辯ヲ伺ヒマスレバ、私ハ他
 ニハ大ナル質問ノ總理ニハナイ、後ハ海軍大臣ナリ、大藏大臣ニ承レバ宜イ
 ノデアリマスカラ、私ハ是ダケノ趣意ヲ述ベマシテ御答辯ヲ要求致シマス
 ○幣原國務大臣 大口サンノ御憂慮ニナリマシタ點ハ、逐一能ク了解致シマ
 シタ、要スルニ昭和十一年度以前ニ何等カノ計畫、所謂第二次計畫ナルモノ
 其條約上ニ與ヘラレタル權利ヲ今日マデ行使シテ居ナイノデアリマス、十
 分條約ノ範圍内マデノ航空母艦ト云フモノヲ拵ヘテ居ナイ、サウナッテ來ル
 云フト、日本ノ方モヤハリソレニ應ジテ、條約上ノ權利ノ問題ハ別ト致シマ
 シテモ、實際上我が國防上ノ見地カラ考ヘテ見テ、ソレ程ヤル必要ガナイト
 云フコトモ言ヒ得ルノデアリマス、今日列國デ倫敦條約ト云フモノガ出來
 シタケレドモ、此範圍内ニ於テ如何ナル計畫ヲスルカト云フコトハ、全ク今
 日ニ於テハ未定ナノデアリマス、ソレナラバ日本モ其計畫ヲ——外國ガドウ
 云フ計畫ヲスルカ、何時カラドウ云フ風ニ條約上ノ權利ヲ實行スルコトニナ
 ルカ、ソレヲ見定メル方ガ日本トシテハ宜シイノデハナイカ、又技術上ノ進
 歩ト云フコトモ、日進月歩ノ勢ヒデアリマス、而シテ列國ハ果シテ軍艦ヲ、
 條約ノ範圍内マデノ權利ヲ行使シテ拵ヘルカドウカト云フコトガ未定デアリ
 マスカラ、日本ノ方カラ進ンデ、條約上ノ範圍内ノ權利ヲ行使シテ、必ズ軍
 艦ヲ拵ヘルノデアルト云フコトヲ此所デ確定スルト、サウスレバヤハリ相
 對的デアリマスカラ、間接ニ列國ノ計畫ヲ刺戟スルコトニナリハシナイカト
 云フ憂慮ヲ懷イテ居ルノデアリマス、斯ノ如ク總テノ狀況ヲ考ヘマシテ、今
 少シク此第二次計畫ナルモノ、程度、時機ト云フモノヲ確定シナイ方ガ宜シ
 イデハナイカ、昭和十一年ニ若干ノ頭ヲ出スト云フコトガアリマセウケレド
 モ、何レノ場合ニ於キマシテモ、申スマデモナク國防上絕對ニ必要デアルト
 云フコトナラバ、是ハヤラナケレバナラヌコトデアリマスガ、併ナガラ今日
 ニ於テ、マダソレヲキメテ置ク必要ハナイ、内外ノ情勢ノ、モウ少シ進展ヲ
 待ッテキメテ宜シイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、所謂第二次計畫ナルモノ
 ノモ、全ク其内容モ時期モ分ッテ居ナイノデアリマスカラ、今日其財源ヲ用意
 致シテ置クコト云フコトハ、ソレマデニハ及ブマイ、サウシテサウ云フ風ニ財
 源ヲ用意シテ、各國ニ對シテ日本ガ計畫ヲシテ居ルノダト云フコトヲ發表シ
 テ、間接ニ列國ノ造艦計畫ヲ刺戟スルト云フコトハ成ベク避ケラレルナラバ
 避ケル方ガ宜シイト云フ風ニ私ハ考ヘテ居リマス、隨テ大口サンノ心配サレ
 ルヤウニ、其時ニナッテ非常ニ困ルノデハナイカト仰セラレケレドモ、是ハ所謂全ク第二次計畫ナルモノ、程度、
 時期ニ依ルモノデアリマシテ、左程私ハ其當時ニナッテ財源ヲ調達シテ心配
 シナケレバナラス、増稅ヲシナケレバナラヌト云フヤウナ必要ガ起ッテ來ル
 モノトハ私ハ考ヘテ居ナイノデアリマ

ス、先ヅ今日之レ以上ノ餘剩財源ガ出テ來レバ、其餘剩財源ハ國民負擔ノ輕減ニ充テルト云フ方針デアッテ行ク方ガ、一番宜シイデハナイカト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス

○大口委員

只今ノ總理大臣代理ノ御答辯ニ對シマシテハ、私ハ議論トシテハ非常ナ異論ガアリマス、到底承服ハ出來マセヌ、併ナガラ今日ハサウ云フコトヲ申述ベテ、總理代理ト此處デ論難攻撃ヲシテ、議論ヲシテ見ヨウト云フ考デアリマセヌカラ、只今ノ御論ノ非常ニ不條理デアルト私ノ考ヘマス點ハ茲ニ述ベマセヌ、唯私ハ斯ウ云フコトダケヲ承ッテ見タイノデアリマス、總理大臣代理ハ、只今ノヤウニ第二次計畫ト云フモノハ世界ノ大勢ヲ見テ決メ

ルモノデアリシ、又今カラ日本ガ發表スルノハ、却テ外國ヲ刺戟スルコトニナリマスカラ宜シクナイカラ決メナイ方ガ宜イ、從テ昭和十一年前ニ於テ、其必要アルコトハ認メルケレドモ財源ナドハ取ッテ置ク必要ハナイ、斯ウ言ハレル、サウスルト云フト先刻カラ言フ通り、ソレヨリ先ノ昭和十二年以後ノ財源ガ取ッテアルノハヲカシイデヤナイカト云フ議論モ出マスケレドモ、今言フ通り、サウ云フコトヲ私ハ今アラ探シヨジテ、追窮スルヤウナコトハ致シマセヌ、唯私ハ茲ニモウ一ツ疑問ガ

アル、只今幣原總理代理ノ言ハレルヤウナコトデ、私ハ海軍ガ安心シテ居ル道理ガナイト信ズル、私ハ何處マデモ海軍當事者ガ之ヲ言ヒ出スト云フト、又泰答文ガドウトカ敷泰文ガドウトカ、内閣ノ責任ガ何處ニアルカトカ、云フヤウナコトニナルカラ、私ハ細カ

イコトヲ今日言ッテ、時間ヲ取ルコトヲシマセヌ、今マデノ質問應答ノ繰返シハセヌ、セヌケレドモガ、兎ニ角海軍部内ニ於テドウ云フ事ヲ考ヘテ、責任者トシテ我國ノ國防ヲ維持シ、安固ヲ期スルコトニハドウデナケレバナラヌト云フコトハ、海軍ノ方ニハ腹ガキマ

テ居ルノデアアル、ソレダケノコトハ畏多クモ泰答シテアルニ相違ハナイ、ソコデ此海軍ト云フモノハ、只今ノヤウナ、第二次補充計畫ト云フヤウナ、殆ド總理代理ハ御聽キニナッテ居リマセヌデシタガ、一昨日カラ昨日ニ掛ケテ、内田信也君ノ質問ニ對スル海軍大臣ノ御答辯ハ、殆ド吾々ガ算盤ヲ彈ケバ分ルマデノ必要ナ量ト云フモノヲ御答辯ナ

スツタト云フヤウニ相成ッテ居ル、唯オ互ヒニ金額ヲ茲ニハッキリ言ハナイダケデ、モウ分リ切ッテ居ルノデス、モウ少シ算盤ヲ知ッテ居リ、海軍ノ事情ヲ知ッテ居ル者ガ見レバ……ソレダカラ海軍ガ只今ノ御答辯ノヤウナコトデ、其場

合デ結構デゴザイマスト言ッテ承知シ

テ居ル道理ハナイ、之ヲ承知シテ居ルト言ヘバ、海軍ト云フモノハソレハ餘程ドウモ私ハ自己ノ責任ヲ顧ミナイモノダト思フガ、サウ云フコトハ私ハナイト思フ、シテ見ルトソコニ現内閣ト云フカ、濱口首相ト云フカ、海軍大臣ナリ、海軍トノ間ニ何カ其處ニ確實ナ責任ヲ負合ッテ居ラレルコトガナクテ

ハ私ハナラヌト思フ、デ世ノ中デ傳ヘテ入レテアルト云フヤウナコトモ傳ヘラレテ居リマスガ、斯ウ云フコトガドウ云フ關係ニナッテ居ル、何故私斯ウ云フコトヲ聞クカト云フト、コンナコトヲ申スト云フト御笑ヒニナルカモ知レマ

セヌガ、私ハドウノ斯ウノト云フ譯デハ決シテアリマセヌガ、今モ言フ通り、此内閣ト雖モ送ラナイトハ限リマセヌ、何時デモ其時ノ内閣、殊ニ大藏當局ガ困ルノハ、前内閣ト海軍トノ間ニ色々ナ約束ガアリ、陸軍トノ間ニモ約束ガアッテ内閣ガ送ッテ、反對黨ノ内閣ニナッテモ、陸海軍軍費ニ對シテハ、前

ノ内閣ガ約束シテ居ル以上ハドウシテモヤラナケレバナラヌト云フコトガ出來テ、非常ニ此軍事費ト云フモノ、豫算編成ニ困ル、其事實ハ明瞭ニアリ、私モ實ハ經驗ヲシテ居ル、ソレダカラ斯ウ云フコトガ、今ノ内閣ガ今此處デハ

吾々ニ只今總理代理ガ仰シヤルヤウナコトヲ言ッテ此議會ヲ御通シニナッテ濟ミマスガ、サウ云フコトガアッテ、昭和九年ニ至ッテ、斯ウ云フ約束ガアル、第二次補充計畫ノ此費用ニ、現政府ガ之ヲヤラナイト云フコトハナイデハナイカ、大藏大臣之ヲ容レナイ筈ハナイデハナイカト言ッテ、茲ニ今日財政計畫ニ

ナイ、一厘モ金ハ取ッテ居ナイコトヲ持出サレテ、成程サウ云フ事ガアル以上ハ、吾々ハ當時議會デ其事ハ追窮シタケレドモ、總理代理ハ斯ウ答ヘテ居

ッタカラ、ドウモサウ云フ費用ハ出セナイトハ其時ニ言ヘナイ、誰ガヤッテモ私ガヤルト云フ譯デハナイ、誰ガヤッテモ、サウ云フ事ガアル爲ニ、今日マデ大藏當局ト軍事當局トノ間ニハ、軍

費ノ編成上ニ困ル事實ガ大小澤山アル、斯ウ云フ大キイ問題ガサウ云フコトニナッテ居ルト、此議會ハ只今ノ御答辯デ御通シニナッテモ、後日非常ニ困ル事ガ出來ル、ソコデ斯ウ云フ事柄ハ、事實ヲ言ヘバ濱口總理大臣ガ御登院ガ出來レバ、實ハ私ハ濱口總理大臣ニ本當ニ確メテ置クベキ事デアルト考ヘテ居リマスガ、ドウモ今其手筈ニハ參リマセヌカラ、已ムヲ得ズ今日責任ヲ負ッテ居リマス、臨時代理ニ承ッテ居ルガ、此海軍ト總理大臣トノ——第二次補充計畫ト私ハ假ニ申シマスガ、ソレニ對

スル諒解ガドウナッテ居ルカ、ソレハ白紙デアアルカ、或ハ其間ニ相當ノ諒解ガアルカ、是ダケハ今日明ニシテ置カナイト、是ハ將來中々由々シキ財政上ノ問題デアアルト考ヘマス、ソレデ是ハ金額ハ分ッテ居ル筈デアリマス、ケレドモ、仰シヤル譯ニハ行キマスマイ、表向キ聞ケバ、只今ノヤウナ御答辯ヲ爲サレルニ付キマシテ、私ハ今日ソシナ揚足ハ取リマセヌガ、何處カラデモ突ッ込ミマスカラ、表面ハ今ノヤウナ御答辯ニナリマセウケレドモ、只今ノ點ダケハサウ云フ諒解ガアルトカ、或ハ其諒解ト云フモノハ白紙デアアルトカ、是ダケハ此國民ノ代表者ニ、公ノ席上ニ於テ御示下サイマセヌト、後日海軍ト其時ノ内閣トノ間ニ容易ナラヌ問題ガ私ハ起ルト思フ、此處ダケ聞キタイノガ、私ノアナタニ質問スル趣意デアアル、ドウカ之ヲ明瞭ニシテ置イテ戴キタイト考ヘマス

○幣原國務大臣 私ガ只今御答ヘ申シマシタ所ハ何モ事實ヲ隱蔽シテ御答申シテ居ル趣旨デハナイノデアリマス、此豫算案ノ編成セラレマス時ニ、海軍ト内閣、其他ノ各大臣トノ間ニ色々ノ意見ノ交換モアリ、又總理大臣トノ間ニ色々ノ意見ノ交換モ勿論アッタノデアリマスガ、其結果ト致シマシテ、今回御協賛ヲ願ッテ居リマス此海軍兵力

整備計畫デ、國防上ノ骨幹ハ是デ定マル、所謂第二次計畫此國防ノ骨幹ニ對シテ肉ヲ付ケルト云フヤウナコトハ、ソレハ昭和十一年度前ニ若干ノ其肉ヲ付ケル爲ノ計畫ハ必要デモアリマセウケレドモ、ソレハ此際ニハ何等確定シナイ、又海軍ノ方ニ於キマシテモ、此際之ヲ確定シナケレバナラヌ、確定シテ其財源ヲドウシテモ用意シテ置イテ貰ハナケレバナラヌト云フ意見ヲ固執シタモノデハナイノデアリマシテ、兩軍部トノ間ニモ、總理大臣其他ノ閣僚トノ意見モ茲ニ纏マリマシテ、今日ノ整備計畫ナルモノハ編成セラレ、諸君ノ御協賛ヲ願ッテ居ルノデアリマス、何モ追ッテ軍艦何隻、其經費ハ幾ラト云フヤウナコトハ、必ズ其當時ニ至ッテ——昭和十一年度ニ近付クニ至ッテ、必ズヤラナケレバナラヌト云フヤウナ、協定ト申シマスカ、内交渉トカ云フヤウナモノハ、私ハ成立ッテ居ルモノデハナイト云フコトヲ信ジマス、又左様ナ次第デモナイノデアリマス、今日私ガ申シマシタコト、又海軍大臣ガ隨時申シテ居ラレマスコトハ、決シテ事實ヲ隱蔽致シテ居ルノデハナイノデアリマシテ、豫算ノ編成ニ際シテ色々ノ意見ノ交換ガアリマシタ結果、今日諸君ニ御協賛ヲ求メテ居ル計畫ガ定マリ、ソレカラ昭和十一年度ニ近付クニ至ッテ、所謂第

二次計畫ト申シマスカ、今回ノ計畫ニ多少ノ肉ヲ付ケルト云フヤウナ計畫ハ、ソレハ多少樹テ必要モアリマセウケレドモ、ソレハ今日確定スベキモノニアラズ、是ハ内外ノ情勢ヲ見テカスラガ宜シイ、ソレ故ニ今日如何ナル、何隻、何千萬圓、何億ヲ費シテ、之ヲ計畫スルト云フヤウナコトハ此際定メナイ方ガ宜シイ、又定メラレルベキモノデモナイト云フ趣旨デ話ガ纏マッテ、今日ノ提案ニナッテ居ルノデアリマスカラ、ソレ以上何等私ハ海軍ト内閣トノ間ニ協定ガアッタナド、云フコトハ考ヘラレナイノデアリマス

○大口委員 只今ノ御答辯デ略、分リマシタガ、極メテ大切ノコトデアリマスカラ、諄イヤウデアリマスガ簡單ニ私聽キ返シマス、只今ノ總理臨時代理ノ御答辯ニ依リマスト、今回御提案ニナッテ海軍補充計畫以外ノ、所謂第二次補充計畫ト吾々ガ稱スルモノ、即チ昭和十一年度以前ニ於テ、現計畫以外ニ現ハレ來ルベキ補充計畫ニ對シテハ、全然白紙デアッテ、總理大臣ト海軍大臣トノ間、又ハ海軍當局ト現内閣トノ間ニ特殊ノ諒解ハナイ、全然白紙デア、而シテ世ガ傳ヘルガ如ク、總理大臣ヨリ海軍ニ一札ヲ入レテアルト云フコトハ斷ジテナイト、斯ウ諒解サレルヤウナ御答辯デアリマス、サウデア

ナラバアルト一言言ッテ下サレバ大分私ハ安心シテ、質問ハ總理大臣ニ對シテハソレデ終リデ宜イノデアリマス、ソコヲ明ニ致シテ置キタイト思ヒマス

○幣原國務大臣 先刻申述べタ通りデアリマシテ、昭和十一年度以前ニ何等カノ計畫ハシナケレバナラヌ必要ガアルデアラウト云フコトハ認メラレテ居ルノデアリマス、ソレハ豫算委員總會ニ於テモ申述べタ通りデアリマスカ、其計畫ノ内容デアアルトカ、何時カラ始メルト云フヤウナ時期ハ全ク定マッテナイノデアリマス、ソレハ其時ニ至ッテ定メテ宜シイト云フ話合ナラバアルノデアリマスカレドモ、今日艦ヲ何隻、何千萬圓ト云フコトハ、具體的ニハ定マッテ居ナイト云フコトハ、是ハモウ御安心下サッテ宜イト思ヒマス

○大口委員 マダ少シ判然シマセヌガ、ソレカラ先ハ大藏大臣トノ質問應答デ分ッテ來マスカラ、總理大臣代理カラハ、只今ノ御答辯ヲ得テ置ケバ私ハ宜イト思ヒマス、總理代理御都合ガアルヤウデゴザイマスカラ、今日ハ私ハ決シテ無理ヲ言ヒマセスカラ、ソレダケ承レバ後ハ大藏大臣、海軍大臣ニ承リタイ、尙ホ私ハ承リタイ點ガアルデスケレドモ、大藏大臣ニ對シテ他ノ御方ノ質問ガ留保サレテ居リマスカラ、

私ハ海軍大臣ガ御出デノ上デ、海軍大藏兩大臣ニ向ッテ質問ヲシタ方ガ便利デアリマスノデ、出來得ベクンバ私ノ質問ハ茲ニ留保シテ置キマシテ、大藏大臣ニ對スル他ノ御方ノ御質問ガ終リマシテ、都合ガ付ケバ更ニ内務大臣ニ對スル岡田君ノ御質問ガ終リマシテカラ、ソレカラ私ノ續イタ質問ヲ願ヘレバ結構ダト思ヒマスガ、是ハ委員長ノ御指揮ニ從フコトニ致シマス

○本田委員長 宜シウゴザイマス——ソレデハ高橋君

○高橋委員 昨日ヤリ掛ケテ居ッタ質問ヲ續ケテ申述ベマスガ、是等ノ質問ニ付テハ、同僚ノ諸君竝ニ同僚先輩諸君ノ中カラモ色々關係シタコトニ付テ御質問モアルダラウト思ヒマスカラ、私ハ大體ニ付テ質疑ヲ致シタイト思フ次第デアリマス、昨日ノ質問ハ三倍八割ニ止メル制限ヲ致シタト云フコトニ付テ、私ノ質問ノ第一要點ヲ申述ベタノデアリマス、ソレデ四十二年ニ土地價ノ修正ヲ行ッタ、其際ニハ地價ノ騰貴率ト云フモノヲ、市街宅地ニ於テハ十八倍、郡村宅地ニ於テ七倍ニ止メタ、是ハ地價ヲ標準トシタモノデアッタノデアアル、今回ハ全然ソレト趣旨ヲ變ヘテ、地租ノ負擔額ヲ三倍八割以上ニハ増加セシメナイト云フコトデ切ッタルデアアル、斯ウ云フコトデ、私ハ以

前ノ十八倍トカ、七倍ニ割ト云フコトト、三倍八割ト云フコトヲ比較シタノデハナイノデアアル、ソレニ付テ色々御意見ガアッタヤウデアリマスルガ、私ハ何か自分ノ趣旨ガ間違ッテ居ルカト思ッテ、色々書類ナドヲ出シテ調べテ見マシタ、計算モシテ見マシタ、所ガ青木政府委員ノ言ハレルノハ、四十三年ノ時分ニハ郡村宅地ヲ七倍ニ止メ、ソレカラ市街宅地ヲ十八倍ニシタト云フコトハ、其時分ニハ地租ノ課率ガ同時ニ修正サレテ、現行地租ノ稅率ガ二・五トナッタノハ、其時デアッテ、其時マデハ市街宅地ト云フモノハ百分ノ二十デアアル、郡村宅地ハ百分ノ八デアアル、ソレデアアルカラシテ、地租ニ急激ナル變化ガアッテ、或ハ比例ノ權衡ヲ失スルヤウナコトガアッテハイカスト云フノデ、二十ト八ト云フ隔リガアッタモノヲ、一率ニ二・五ニ直スノデアアルカラ、從テ其制限率モ十八倍ト七倍ニ割トシタノデアアル、ソレヲ改正ノ稅率ニ當算メルト云フト、共ニ二・五ト云フヤウナコトニ兩方ナルカラ、ソレデ均衡ガ取レルト云フヤウナコトヲ私ニ逆襲サレル御積リデアッタ初メテ伺ヒマシタ、色々ニ野紙一バイニ書イテ調ベタノデアリマスガ、結論ハソシナ話デ、何ノコトカト思ッテガッカリシタルデアアル、ソシナヤウナコトヲ私ハ尋

ネテ居ルノデハナイ、唯私ハ、地價ヲ前ニ標準トシタノデアアル、私ノ立論ハ今回地租ノ負擔ヲ捉ヘテ之ヲ三倍八割ニ止メルト云フヤウナコトデナクシテ、賃貸價格ト云フモノガ今日出テ居ルノデアアルカラ、其賃貸價格ヲ標準ニ定メラルベキデハナカッタカ、斯ウ云フコトヲ私ハ此處デ論ジテ居ルノデアリマス、左様デアリマスカラ、其以前ノ關係ト云フモノハ、前ハ只地價ヲ標準トシテ、地價ノ十八倍ト七倍ニ割ト云フコトデ止メタ、今度ハソレニ反シテ賃貸價格ニ變ヘタルデアアルカラ、全然地價ト云フモノハ直ッテ居ル、賃貸價格ヲ押ヘテ、是ノ何倍ニ止メルト云フコトニナルノデハナイカ、斯ウ考ヘルノデアリマス、サウスルト昨日モ一寸言ヒ掛ケマシタ如ク、實際ニ當リマシテ、賃貸價格ヲ捉ヘテ見ルト三倍八割ヲ掛ケテ、三・八割ルノデアリマスカラ、其結果實際今マデノ稅率ノ四・五、一・五、五・五ト云フモノガ、ソレガ倍數ニ變ッテ、田畑ノ方面デハ賃貸價格ニ於テ四倍五割、宅地ノ方デハ二倍五割、其

ノ土地ハ、百圓ノ地價デアッタモノガ、ドノ位ニナルカト云フト、五百五十圓ノ賃貸價格マデハ課稅サレル、斯ウ云フヤウナコトニナル、ソレデアアルカラ其間ハ非常ニ不權衡ヲ來ス、斯ウ云フノガ私ノ此問題ニ對スル質問ノ第一點デアアルノデアリマス、マダ是ダケヂヤナイ、之ニ付テハ色々他ニ疑問モアルノデスガ、是ダケニ付テハ別ニ御異議ハアルマイト思ヒマス、御異議ガアッタラ簡單ニ御説明ヲ願ヒタイ

○青木政府委員 只今仰セニナリマシタコトハ、私モ洵ニ左様ニ心得テ居リマス、即チ之ヲ地租ノ三倍八割ニ制限ヲ致シマスノデ、宅地ニ付テハ賃貸價格ハ現在ノ地價ノ二倍半ニ止マルト云フコトニナリマス、田畑ニ付テハ四倍半ニ止マルト云フコトニナリマス、其他ノ土地ニ付テハ五倍半ニ止マルト云フコトニナリマス、併ナガラ地租ノ負擔ハ宅地モ田畑モ、其他ノ土地モ總テ三倍八割ニ止マルノデアリマシテ、此間ノ權衡ハ全ク能ク得テ居ルト思ッテ居リマス

○高橋委員 私ハ現行ノ課率ト云フモノハ、是ハ時々財政ノ都合其他ニ依ッテ、變ヘ得ルモノデアリマシテ、課稅標準ト云フモノハ、擔稅力ヲ認メル所ノ是ハ重要點デアアルノデス、是レダケアルト云フ擔稅力ノ基礎ト云フモノガ

他ノ土地ハ五倍五割ト云フモノハ、賃貸價格デ以テ制限率ガ變ッテ來ルノデアリマス、詰リ百圓ノ田畑デアリマシテ、ナラバ賃貸價格ガ四百五十圓マデハ取レル、宅地ノ方ハ百圓ノ宅地デアッタナラバ、是ハ二百五十圓デ止メル、其他

第五類第一號 地租法案(政府提出)外六件委員會議錄 第二十一回 昭和六年二月二十七日

課税標準デアリ、所謂賃賃價格デア
 ノデア、ソレデアアルカラ、多額ノ費
 用ト、非常ナ努力ヲ費シテ之ヲ作上ゲ
 タノデア、ソレデ今度ハ課率ニ持ッテ
 行ッテ、サウシテ課率ト云フモノヲ、ソ
 レニ掛合ハシテ、其結果ヲ見テ、公平
 デアルカ、不公平デアアルカナド、云フ
 コトハ、此場合考フベキモノデナイダ
 ラウト思フ、ソレデアアルカラ昨年ト今
 年ト一年ノ間ニ、昨年ハ四倍五割デ止
 メタノヲ、今年三倍八割デ止メルト云
 フコトハ、非常ナ違ヒデア、三倍八
 割ト二倍八割ト云フノハ、餘程ノ違ヒ
 デアル、其違ヒト云フモノハ、何ノ爲
 ニ生ジタカト云フ吾々ハ疑問ヲ生ズル
 ノデア、是ガマダ議會ノ問題ニナル
 マデハナラナカッタノデア、其事ハ
 斯ウ云フ工合ニ改正ヲヤルノダト云フ
 コトデ、天下ニ御發表ニナッテ居ルノデ
 アル、ソレデアアルカラ一年ノ間ニ、制限
 ガソソナニ下ルトカ上ルトカ云フヤウ
 ナコトハナイ筈デア、此制限ノ數字
 ト云フモノハ、甚ダ不確實ナモノデア
 テ、私ハ三倍八割ニ止メタト云フコト、
 ソレ自身ガ私ノ臍ニ落ちナイコトデア
 リマス、昨年ト今年トニ於テ、左様ナ隔
 リガアルト云フコトモ私ハ中々諒解ニ
 苦シムノデス、サウ云フコトデアリマ
 スカラドウ考ヘテ見マシテモ、此賃賃
 價格デ公平ニ行クト云フコトヲ建前ニ

シテ、賃賃價格ヲ課税標準ニサレタ、ソ
 レデアアルカラソレヲ吾々ハ取ッテ行カ
 ナケレバナラス、課率ノ改正ヲ以テ均
 衡ヲ得ルナド、云フコトハ、此税ノ實
 際ノ建前デハナイト思フ、ソレハ何時
 デモ大藏大臣カラ御話ニナル如クニ、減
 税ト税法ノ改正ハ別箇ニシナケレバナ
 ラス、斯ウ吾々ハ始終御叱リヲ受ケテ
 居ル、デアリマスカラ課率ノ上下ト云
 フモノハ、是ハ減税ノ方面デア、負擔
 ノ公平ヲ目的トシタル税法ノ改正トハ
 違フ、賃賃價格ニ改メタ其賃賃價格ト
 云フモノハ、地目間ノ公平ト云フコト
 モ十分考慮セラレ、實地ニ就テ調査ヲ
 致シタ、斯ウ云フコトニ吾々ハ承知致
 シテ居ルノデア、ソレデアリマスカ
 ラ私共ハ賃賃價格ト地租ノ課率ト云フ
 モノトヲ兩方混合シテ、負擔ノ公平ヲ
 圖ッタンダト云フ御議論ハ、私共ハ受入
 レル譯ニハ行キマセス

○青木政府委員 御答ヲ致シマス、只
 今ノ御質問ヲ伺ヒ又昨日ノ御質問カラ
 考ヘテ見マスト、高橋サンノ御考ハ、
 地租ヲ倍數デ制限シタノハ甚ダ不都合
 デアッテ、地價ニ對スル賃賃價格ノ割合
 詰リ地價ト賃賃價格デ倍數ヲ制限スベ
 キモノデア、斯ウ云フ御意見ノヤウ
 ニ考ヘラレマスルノデ、私モ實ハ昨晩
 カラ今朝ニ掛ケテ計算シテ見タノデア
 リマス、例ヘバ分リ易ク申シマシテ、

地價ニ對シテ賃賃價格ヲ四倍ニ止メ
 ル、ソレハ宅地デアラウト、田畑デア
 ラウト、其他ノ土地ニ付テモ地價ニ對
 シテ賃賃價格ハ四倍以上ヲ超エルコト
 ガ出來ナイ、斯ウ云フヤウニヤルト、
 高橋サンノ御趣旨ニ合スルヤウニ私ハ
 思ヒマス、サウスルトドウ云フ結果ガ
 茲ニ出テ參ルカ、例ヘバ地價百圓ト致
 シマス、其四倍ニ止メマスカラ、賃
 賃價格ハ四百圓ト云フコトニナリマ
 ス、サウスルト宅地ニ付テハ地價百圓
 ノ人ハ只今二圓五十錢拂ッテ居ル、所ガ
 今度ハ賃賃價格四倍ニ止メマスカラ、
 其四百圓ノ百分ノ三・八ヲ取ラレルノ
 デアリマシテ、十五圓二十錢ニナリマ
 ス、ソコデ是ハ六倍何割ニナルノデア
 リマス、然ラバ田畑ニ付テハドウナル
 カト云フト、只今四圓五十錢拂ッテ居
 マス人ガ、十五圓二十錢拂フコトニナ
 リマスカラ、是ハ三倍三割何分ノ倍數
 ニナルノデアリマス、其他ノ土地ニ付
 テハ、只今五圓五十錢拂ッテ居ル、是ガ
 十五圓二十錢ニナリマスト、二倍七割
 何分ノ制限ヲ受ケルコトニナリマス、
 サウ致シマスト、宅地ノ方ハ非常ニ高
 ク、倍數ガ上ッテ、田畑ハ比較的少イ、
 其他ノ土地ハ尙ホ少イト云フコトニナ
 ルノデアリマス、或ハ御意見ハ今日ノ
 ヤウナ狀況ニ於テハ、宅地ノ地租ガ六
 倍位ニ激増シテモ宜シイガ、田畑其他

ノ地租ハ激増ノ割合ガ少イ方ガ宜イト
 云フ御意見デアリマスレバ、此地價ニ
 對スル賃賃價格ノ倍數ヲ以テ制限スル
 ト云フコトモ一ツノヤリ方ト思ヒマ
 ス、ケレドモ私共ハ左様ニ考ヘマセヌ
 ノデ、宅地デアリマセウトモ、田畑デ
 アリマセウトモ、其他ノ土地デアリマ
 セウトモ、地租ヲ負擔スル人ノ苦痛ハ
 其課税標準デハナクシテ、納付スル地
 租ソレ自身ガ、租税ヲ納メル人ノ苦痛
 ナノデアリマスカラ、賃賃價格ハ如何デ
 アリマセウトモ、實際納メル租税ノ激
 増スルコトヲ緩和スル、斯ウ云フ考デ
 アリマスカラ、田畑、宅地、山林其他ヲ通
 ジテ、同ジヤウナ割合ノ三倍八割ニ止
 メルコトヲ以テ至當デアルト考ヘマス
 カラシテ、地價ニ對スル賃賃價格ノ倍
 數デ制限致シマセヌデ、地租ニ對スル
 地租ノ倍數デ以テ制限ヲ致シマシタ、
 四十二年宅地價修正ノ際ト全ク同ジ方
 針デアリマス

○高橋委員 今ノ地租ヲ激増シナイト
 云フコトヲ標準トシテヤッタト仰セニ
 ナルケレドモ、既ニ三倍八割——三倍
 七割九分九厘ト云フ近所ニアルモノハ
 ヤハリ同ジ他ノ比例ニ依ッテ激増サレ、
 更ニ第二次激増ヲサレテ居ルノデア
 ル、ソレデアリマスカラソレ以上ノ所
 デダケサウ云フコトヲ御計リニナッ
 タ所ガ、アナタノ仰セニナルヤウナコト

ハ少シモ實際ノ上ニ於テハ激増ヲ止メ
タト云フ御趣旨ニハ適ハナイノデス、
此極ク稀レナル例ダケ税金ニ致シマシ
タナラバ、三・八デ幾ラニナル、百七八
十萬デアル、賃貸價格ニシテ四千二三
百萬圓、是ダケノモノガソレダケノ利
益ヲ受ケルノデアル、今激増シテ居ル
ト云フヤウナモノハ一概ニハ言ハレマ
セヌガ、ソレハ除外例モアリマセウ、
併ナガラ大擱ミニ見ルト、左様ナ激増
スルモノハ、擔稅能力ハ其以下ノモノ
ヨリモ多イト吾々ハ考ヘルノデアリマ
ス、ソレニ拘ラズ其擔稅力ノ多イト云
フヤウナモノダケノ負擔ヲ、急激ナル
増加ト云フモノハ困ルダラウカラ、擔
稅能力ノ豐富ナモノハ之ヲ制限シテヤ
ル、擔稅力ノ比較的稀薄ナモノハ當リ
前ニ取ツテヤル、斯ウ云フ風ニ相成ルト
思フノデアリマス、左様ナコトノ負擔
輕減ノ趣旨ト云フモノハ、マルデ頓珍
漢デアル、之ニ付テハドウデスカ

○青木政府委員 御答ヲ致シマス、此
度ノ賃貸價格ノ調査ハ、賃貸價格ヲ以
テ地租ノ負擔力ヲ計ルニ、最モ適當ナ
ル標準ト考ヘマシテ調ベタノデゴザイ
マスカラ、其賃貸價格ヲ、在リノ儘制
限シナイデ取りマシテ、ソレガ爲ニ地
租ガ十倍ニナリマシテモ二十倍ニナリ
マシテモ、ソレガ負擔力ニ丁度當欲ッタ
状態デアルト云フ考ヘ方ハ、私ハ必ズ

シモ否定出來ナイト思ヒマスケレド
モ、假令負擔力ニ旨ク當欲ッテ居ルト致
シマシテモ、現在納メテ居リマス地租
ヨリモ、一時ニ五倍モ六倍モ澤山ノ稅
ヲ納メナケレバナラヌト云フコトハ、
非常ニ其人ノ苦痛デアリマス、ソレデ
アリマスカラシテ、ソレガ理論ハ貫カ
ヌカモ知レマセヌガ、併シソレニ何等
制限ヲ加ヘナイナ云フヨリハ、或ル程
度ノ制限ヲ加ヘタ方宜シイ、サウナリ
マスト只今御話ニナリマシタヤウニ、
三倍七割九分ノ人ハ制限ヲ受ケナイデ
三倍八割以上ノ人ガ制限ヲ受ケル、是
モアナタノ仰シヤル通りデアリマス、ケ
レドモ餘リ多ク激増スルコトガ氣ノ毒
デアルカラト言ッテ、或ル程度ノ所ニ押
ヘマスレバ、四倍ニ致シマシテモ、五
倍ニ致シマシテモ、其五倍ノ一寸下ノ
方ノ人ハ制限ヲ受ケナクナルト云フコ
トハ、是ハドウモ已ムヲ得ナイコト、
思ヒマス、ソレカラ先程答辯ヲ落シマ
シタガ、三倍八割ト云フノハ、稅率ガ
三分八厘ノ時ニ三倍八割、此前減稅問
題ノ起ル前ニハ四倍五割デアッタ、其時
ニハ稅率ガ四分五厘デゴザイマシタカ
ラ、先程アナタガ仰セラレマシタ宅地
ニ付テハ二倍半ニナリ、田畑ニ付テハ
四倍半ニナリ、其他ノ土地ニ付テハ五
倍半ニナル、是ハ地價ト賃貸價格ノ割
合デアリマスガ、其稅率ガ四分五厘ノ

時ニ四倍五割、三分八厘ノ時ガ三倍八
割デアリマスカラ、アナタノ仰セラレ
ル二倍半、四倍半、五倍半ト云フノハ、
四倍五割ノ時モ、三倍八割ノ時モ、稅
率ガ變ッテ居リマスカラ、其結果ハ同ジ
デゴザイマス

○高橋委員 結果ハ同ジデス、結果ガ
違フデヤナイカト云フコトヲ聞イ居ル
ノデヤナイ、其時分ニハ三倍八割ニ止
メ、昨年ハ四倍五割マデノ増加ヲ認メ
テ居ル、斯ウ云フコトデス、増加率ガ
昨年ヨリ多イ、一年後ノ今日低クシタ
ト云フコトハドウ云フ理由ニ基クカ、
斯ウ云フコトヲ聞イテ居ル

○青木政府委員 御答致シマス、是ハ
別段三倍八割ト云フ端數ノ數字、或ハ
四倍五割ト云フヤウナ端數ノ數字ニ付
テハ別段何モ根據ガゴザイマセヌ、私
共ノ方ノ大體ノ見當ガ四倍位ニ制限ス
ルコトヲ以テ妥當デアルト、斯ウ考ヘ
テ居ッタノデアリマス、五倍以上ニナ
ルノハ氣ノ毒デアッテ、四倍程度ガ妥當
デアルト思ッテ居リマス、所ガ地租ノ改
正ハ中々大業デゴザイマシテ、納期
ヲ普通ノ年ヨリハ少シ遅ラセマシタケ
レドモ、今年ノ十一月ニハ一切ノ稅務
署ニ於ケル土地臺帳ヲ了シマシテ、市
町村ニ通知シマシテ、市町村デ臺帳ヲ
書改メナケレバナラナイト云フコトデ
アリマシテ、餘程敏速ニ仕事ヲシナケ

フヤウナコトヲ考ヘテ、賃賃價格ヲ押ヘタノデヤナカラウカ、斯ウ云フ工合ニ私共ハ考ヘマスガ、是ハヤハリ一ツノ理由ニナツテ居ルデアラウト思フノデアリマスガ、如何デスカ

○青木政府委員 御答致シマス、地租

ニ増減ナカラシムルト申シマシタノハ日本全國ニ於ケル地租ノ總額ニ付テ増減ナカラシムルト云フ考デゴザイマシタガ、其増減ナカラシムルト云フコトニ付キマシテハ、倍數制限ヲシテ制限ヲシタ爲ニ地租ガ減ルト云フコトヲ考慮ニ入レテ、其上デ増減ナカラシムルト云フコトデアリマシテ、其計算ハ先日御手許ニ差上ゲマシタ表ノ中ニ出テ居リマス、隨テ只今ノ御話ノ三倍八割、或ハ四倍五割ト云フヤウナ激増ヲ緩和スルニハ地租ニ増減ナカラシムル爲ニヤッタノデアアルカト云フ御質問デゴザイマスレバ、ソレハ左様デハゴザイマセヌノデ、是ハ三倍八割ニナリマシテモ、中々相當ナ負擔ノ増加デアルト思フテ居リマス、地租ノ増減ナカラシムルト云フノハ、國家ノ徵收シマシタ地租ノ總額デアリマス、サウシテ計算ヲ致シマシタ時ハ、激増制限ノ爲ニ減リマス金額ハ、其計算ノ中ニ入レテ、サウシテ増減ナカラシムル計算ヲ採ッテ置イタノデアリマス

○高橋委員 ソレハ其通りダト言ハレ

レバ、地租法ノ改正ノ根本ガグラ付イテ來マスカラ、サウハ御答辯ハ出來マイト云フコトハ、豫メ私モ豫想シテ居タノデアリマスカラ別ニソソナ答辯ニ驚キハシマセヌガ、併シ私ガ考ヘルノニ色々今マデノ質問應答ニ付テ論議ハアリマシタケレドモ、又足りナイ所ハ同僚、先輩ノ諸君ニ補足シテ戴クト云フコトモ豫想シテ居リマス、又私ダケ時間ヲ喰フト云フコトハ、此場合恐縮ト存ジマスカラ、段々素通りヲスル點モアルカト思フカ知レナイガ、私ハソレヲ見通シテ居ルノデハナイ、サウ云フコトハ豫メ御承知置テ願ヒタイ、而シテ私ハ斯ウ考ヘテ居ル、今ノ質問ノ答辯ノ中カラ考ヘテ見マシテモ、ソレナラバ私ハ三倍八割ニ止メタ——當然負擔能力ガアリ、ソレダケノ價格ガアル、能力ノアルト云フ土地ヲ、負擔ノ激増ヲ防グガ爲ニ止メタト云フダケデ、負擔能力ノ豊富ナルモノヲ、之ヲ見通シタト云フコトニハ、ソレハ又意見ノ立テ方ニ依ッテ多少ノ相違モアリマセウカラ、ソレハ時間ガナイカラ先ヅ預リニシテ置キマス、預リニシテ置キマスガ、ソレダケノ免稅——免稅ト云フト語弊ガアリマスガ、ソレダケハ免稅サレタ譯デ、價格カヲ落サレルノデスカラ、價格ヲ落シタ部分ダケハ誰ガ負擔シタカト云フコトヲ吾々ハ考ヘ

ルノデアリマス、ソレヲ誰ガ負擔シタカ、増減ナイト云フコトニナツテ、ズツト按配サレテ居ルノダカラ、誰カ負擔シナケレバナラヌ、詰リ負擔ヲスルト云フ積極的ノコトバカリ言ッテ居ルノデハナイ、是ハ三百的ニ色々議論サレルト、又ムツカシクナルカラ豫メ豫防線ヲ張ッテ置クノデアリマスガ、是ハ消極的ニ、若モソレハ其通りニ、當リ前ニ、是ガ幾ツトカ、モウ少シ制限率ヲ高メルト云フコトニナレバ、其間ノ地租ノ増加ト云フモノハ、他ノ一般ノモノ其以下ノモノニ均霑シマシテ、課率ガモット下ッテ宜シイト云フコトニナル、四・五デナク、四・三ニナルカ、四・二ニナルカ、或ハ四・四ニナルカ、ソコハ分リマセヌケレドモ、兎モ角地租ノ減少サレタ額ト云フモノハ其下級ノ者ノ土地ノ頭割ニ、其負擔ヲサセル原因ヲ拵ヘルコトニナル、斯ウ云フコトニナル、ソレデアリマスカラ輕減サレタ三倍八割デ止メラレタ、其上級ノモノ、負擔スベキ増加地租ト云フモノハ、三倍八割以下、即チ下級ノ土地ノ負擔ニ歸シテ、下級ノ土地ノ犠牲ニ依ッテ三倍八割以上ノ土地ハ負擔ガ輕減サレタ事ニ相成ッテ居ル、斯ウ云フコトニ私共ハ見ル、是ハドウモ私共ハ甚ダ奇怪至極デアルト斯様ニ考ヘテ居ル、ソレ

下級ノ土地ノ納稅者ト云フモノハ、是ダケハ増稅ヲサレタト云フコトニ相成ルノデアリマス、ソレハ私ハ見通スベカラザル事實デアラウト思フノデアリマスガ、是ハ大藏大臣カラ一ツ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、極ク簡單デスカラ

○井上國務大臣 道理ハ高橋サンノ言

ハレル通りデアリマス、若シ七倍十倍ト云フモノヲ、ソレダケ餘計取ッテ、サウシテ地租ノ總額ヲ變ヘヌト致シマスレバ、誰カガ負擔シナケレバナラヌモ、擔シタ者ガアル譯デアリマス、併シ今高ガ大體分ッテ居ルヤウデアリマスカラ、數字ヲ政府委員カラ御説明致サセマセウ

○高橋委員 ソレハ御計算ニナツタ數

字ハ出テ居リマス、賃賃價格ニ於テハ四千三百萬圓デアアル、三・八デスルト云フト百六十六萬一千圓、ソレダケニ減ズルヤウニナル四・五デ計算スルト約二百萬圓——地租ト云フモノガ百九十萬圓ニナル、ソレデアリマスカラ之ヲ實際ニ於テ考ヘテ見マスルニ、第一ニ負擔能力、負擔能力ト云フコトヲ當局者モ大藏大臣モ重キヲ置イテ居ルガ、土地財產ヲ持ッテ居レバ、其土地自體ト云フモノニ負擔能力ガ生ズルモノデアルト云フコトヲ認メテ宜イ、ソレデア

ルカラ其年ノ景氣不景氣、或ハ物價ノ値下リト云フコトハ考慮ニ入レナイト言フコトヲ仰シヤツテ居ル、ソレナラバ當然増加致シタモノハ、擔稅能力ヨリ以上ニ豐富ナモノデアルト言ハナケレバナラス、豐富ナモノ、減稅ヲシテ、其減稅額ダケヲ他ノ貧弱ナル所ノ土地ノ頭ニ之ヲ課ケテ行クト云フコトハ、負擔ノ公正ト云フ觀念ヲ著シク裏切ルモノデハナイカ、斯ウ吾々ハ考ヘルノデアル、私共ハ擔稅能力ノ豐富ナモノハ相當ニ擔稅能力ヲ私ハ上ゲテ行カナケレバナラスト思フ、ソレデアリマスカラ、私ハサウ云フ意見ヲ申述ベテ居ルノデアリマス、ソレニ拘ラズ今回ハ却テ負擔能力ノ豐富ナモノニ對シテハ恩惠ヲ施シ、擔稅能力ノ豐富デナイモノニ對シテハ、是ハギリギリノ結著マデソレヲ課稅標準ニ取ツテ行クト云フコトハ、少クモ稅法ヲ改正ニナルト云フ、負擔ノ公正ヲ期スルト云フ觀念ヲ裏切ルモノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居ル、東京市ノ例ヲ取ツテ見マシテモ、丸ノ内ノ如キ、東京驛前ノ如キハ非常ニ激増ヲ致シテ居ル、二十倍三十倍或ハ百倍ノ激増ヲ致シテ居ル、左様デアリマスカラ此モノヲ三倍八割ニ止メテ置キ、東京附近ノ市街宅地ハ左様ニ激増ヲシテ居ラスノニ、是ハ激増シタ三倍八割ダト云フノデ、殆ド全額ニ近イモノマ

デ課稅標準ニ取ラレル、茲ニ於テ誰ガ考ヘテ見テモ、四谷ノ奥アタリヤ、アノ邊ノ土地、品川ノ一部邊リノ土地ト、丸ノ内ノ丸「ビル」ヤ何カノ建ツテ居ル土地ト比較致シテ、是ガ急激ナル増加ヲ恐レルカラ三倍八割ニ止メル、品川ヤ新宿邊ノハ三倍八割ガ相當ナドト云ツテ全額デ止メルト云フヤウナコトハ、誰ガ考ヘテ見テモ負擔ガ公平ダナドトハ考ヘラレナイ、ソレデアリマスカラ此制限率ト云フモノヲ寧ロ低クセル、昨年ハ四倍五割ニ止メタノヲ、今年ハ三倍八割ニ下ゲタナドト云フノハ沙汰ノ限リデアツテ、之ヲ上ニ上セルコソ適當ナモノデアアル、成ルべく上セテ、下級ノモノ、負擔ヲ幾分ナリトモ減ズルト云フコトノ建前ノ方ガ宜カラウト思フ、上セタラ上セタ切り、下ゲタラ下ゲタ切りデハナイノデアアル、地租ノ増減ヲサセナイト云フコトヲ標準トシテヤツテ居ルノデアリマスカラ、上セテ、餘計取レタダケガ下級ノモノ、頭割ガ低クナル土臺ニナルノデアアル、斯ウ云フコトヲ考ヘル時ニ於テ私ハ只今ノ答辯デハ到底満足出來ナイノデアリマスカラ、モウ一應御答辯願ヒタイ

○井上國務大臣 高橋君ノ常ニ例ニ致サレマス何萬坪、何十萬坪ノ土地ヲ獨リテ持ツテ居ル人ノ例ヲ出シマス、私モ左様ニ考ヘマス、併ナガラ地租ノ性質トシテ、ドンナ僅カナ土地ヲ持ツテ居ル人デモ、ヤハリ上ツタ時ハ同ジ結果ニナリマス、例ヘバ今御話シニナツタ郊外ノ地所ノ値上リノ如キハ、可ナリ割合カラ言ツテ見マス、高クナツテ居リマス、ソレガ僅カナ坪數ニ分ケラレタトカ、或ハ賣買輾轉シテ他人ノ手ニ渡ツタトカ云フヤウナモノデ考ヘテ見マシテ、所謂獨リデエライ大キナ地所ヲ兼併シテ居ル人バカリノ例ヲ取ラレルト、寔ニ斯様ニ考ヘラレマスガ、地租法ノ精神トシテ、土地其モノカラ、上ツテ來ル稅ト考ヘマス、相當ノ程度ノ最高限度ヲキメテ、餘リ急激ニ殖ニスヤウニシテ置イテ、サウシテ次ノ賃賃價格ノ調査ヲシマスマデ其儘ニシテ、今度ノ次ノ調査ヲ致ス場合ニ、其處ニ又考ヲ廻ラスト云フコトノ方ガ、段々實際ニ適當シテ行クヤウニ吾々ハ考ヘテ此案ヲ立テマシタノデアリマス

○高橋委員 只今大藏大臣ノ御答辯ハ、私ノ例ヲ擧ゲタノヲ捉ヘテ兎ヤ角仰セニナリマシタガ、私ノ比較ハ丸「ビル」ノ建ツテアルヤウナ丸ノ内ナドヲ、四ツ谷若クハ新宿或ハ品川ナドト比較シタコトハ惡カッタカモ知レナイ、成程其一部分ニハ或ハ丸ノ内アタリニ劣ラズ、比較シテ場末ノ所ニ電車ガ通ツタリシテ、急激ニ増加シタ所ノモアリマセウガ、私ハサウ云フコトヲ言ツテ居ル

ノデハナイ、比較的左様ニマデ上ラナイモノガアル、或ハ今日ノ時價ニ照シテハ、ト云フテハ少シ語弊ガアリマスカラ、ヤハリ此賃賃價格ヲ定メタ當時ニ遡ツテ、大正十五年ノ四月一日ト云フ當時ノコトヲ基礎トシテ論ジナケレバナリマセヌト思ヒマスカラ、サウ云フコトニ致シマスガ、其當時ニ致シマシテモ、左程激増ヲシナイ土地ト云フモノハ、左程繁華ニナラナイ土地ト云フモノハ、三倍八割ト云フ全額ニ近イモノデ制限サレテ居ル、其制限内ニ入ツテ居リマスカラ、ソレハ上ツタダケ全部ハ、ソレ自身カラ云フト三倍ニナツテモ、二倍ニナツテモ、五割増シテモ、急激ナル負擔ノ増加デアアル、ソレデアリマスカラ、サウ云フ激増ト云フモノガ倍ニナリ、三倍ニナルト云フモノモ、三倍八割ニナリ四倍ニナルモノモ、激増ト云フコトニ於テハ、其苦痛ト云フコトヲ考ヘルト同ジコトデアリマス、寧ロ土地ノ大激増ヲシテ、非常ニ地價ガ暴騰ヲシタヤウナモノハ、自然環境ガソレニ伴ツテ利益ガ生レルト云フ狀況ニ其當時ニ出來テ居ツタ、今日ハ多少事情モ違ヒマスケレドモ、其當時ハサウ出來テ居ツタ、ソレデアリマスカラ負擔能力ガ十分アル、ソレデアリマスカラ相當ナ所ノ増加ト云フモノハ、稅制ノ上デ認め得ラルベキモノデアラダラウト、

斯様ニ考ヘラレルノデアリマス、ソレフ趣旨デヤッタ、ア、云フ趣旨デヤッタヲ此税金ヲ變ヘテ低クシタナゾト云フコトハ、私ハ決シテ負擔ノ公正ト云フ觀念ニ一致スルモノデハナイ、殊ニ私ハ此六大都市ノ最高賃賃價格地價對照表ト云フ、稅第七號ノ材料ヲ見テ居リマシテモ、却ッテ一坪當リノ地價ガ安クナッテ居ル所モアル、ソレデアリマスカラサウ云フヤウナ所ノ附近等ハ、此三倍八割制限サレタ所ハ、殆ド幾分カ地價ガ上ッテ居ッテモ、全部其地價ト云フモノニ課稅標準ノ率ヲ取ッテシマフ、茲ニ名古屋ノ例ガアリマスノハ、五倍三割ニナッテ居ル、名古屋ノ中區ノ土地ハサウナッテ居ル、十二圓六錢ノモノガ今日賃賃價格ガ一坪六十五圓ニナッテ居ル、ソレデアリマスカラ斯ウ云フヤウナモノハ、其附近ノ土地ト云フモノハ殆ド全部賃賃價格ニ取ラレテシマフノデアリマス、サウ云フヤウナコトヲ考ヘマス、此三倍八割制限メラレタト云フコトハ、私ハ負擔ノ公平ト云フモノヲ著シク阻害スルモノデアッテ、決シテ當ラ得タモノデハナカッタノデアナイカ、斯ウ云フ工合ニ考ヘルノデアリマス、ソレデ私ハソレニ付テハ幾ラ質問應答ヲ重ネマシテモ、私ハ今私ノ申上ゲタ事實ニハ間違ガナイノデアリマスカラ、是ハ否定サレル譯ニハ行カナイ、唯色々ナ稅法ノ建前デ、斯ウ云

フ趣旨デヤッタ、ア、云フ趣旨デヤッタト云フコトハ申述ベラレルデセウ、併シ私ノ立論シマシタコトニハ、御否定ニナル譯ニハナルマイト思フ、ソレデ私ハ當然負擔能力ノアル者、今ノ三倍八割ノ分ガ百六十何萬圓アル、之ヲ舊稅率ノ、前ノ標準ニ依ッテ四・五ト云フモノデ之ヲ換算シテ見マス、百九十何萬圓ニナル、是ダケト云フモノハ、是ハ當然減稅ニナルベキ筈ノモノガ減稅ニナラナイ、ソレデアリマスカラ、下級ノモノノ土地ノ頭ニ是ダケハ負擔セシメラレタモノデアアル、斯様ニ私共ハ考ヘル、是ダケハ隱レタル所ノ増稅デアルト云フヤウナコトノ一ツニ私共ハ考ヘラレルノデアリマス、之ニ付テ若シ御異論ガアレバ簡單ニ承ッテ置キマス。

○青木政府委員 御答ヲ致シマス、只今ハ此前ノ案デ 四倍五割ニ止メテ居タノヲ、今度ノ案デハ三倍八割ニ止メタ、其制限ガ低クナッタコトヲ大變面白クナイヤウナ御話ガアリマシタガ、是ハ表デ差上ゲテ居リマスカラ、四倍五割ノ場合ニ、二百六十二萬圓、三倍八割ノ時ニ二百二十一萬圓ト云フモノガ激増制限ニ依ル減デアリマスカラ、四倍五割ノ時ト三倍八割ノ時デハ、其金額ノ違ヒハ僅ニ四十一萬圓位ノモノデアリマスカラ、是レ位ノ違ヒハドウモ

稅率ノ方ニ移動ヲ生ゼシムルニ足ル金額デハナイト思ヒマス、尙ホ一言申上ゲテ置キマスコトハ、只今ハ此激増制限ヲ致シマス爲ニ下級ノ人ガ負擔スルト云フコトヲ頻リニ仰セニナリマシタガ東京市ノ郊外等ニ於テハ、激増シテ居ルノガ非常ニ多イノデアリマスケレドモ、東京市ノ郊外ニ於テ地所ヲ持ッテ居ル、即チ激増ノ恩典ニ浴スル人ガ、必ズシモ大地主バカリデアッテ、小サイ地主ハ含マレテ居ラヌト云フコトハドウモ申兼ネルノデアリマスカラ、隨テ激増制限ノ結果、謂ハバ御話ニ依ル利益ヲ被ムル下級ノ人ダケデアルト云フコトハ申サレナイカト思フノデアリマス。

○永田委員 高橋君ノ今ノ御話ハ、大變重要ナ點ト私共聽イテ居リマスカ、ドウモチグハグナ御答辯デ、ハッキリト區別シテ戴ケテ居ラヌヤウデアリマス、高橋サンノ御說ヲ付度シテ恐入リマスガ、間違ッタラ御訂正ヲ願ヒマス、簡單ナコトデ三ツダト思フ、制限ガ低カッタ四倍五割ノヤツヲ三倍八割ニシタ、モット高クシタ方ガ宜カッタデハナイカ、斯ウ云フ點ガ一ツ、ソレカラ一ツ非常ニヤ、コシイ、御答辯ガ完全デナイト思フノハ三倍八割マデ行ッタ人ガ、ソコデ三倍八割ダケ課稅セラレルガ、假ニ今度ノ遞減率ヲ一トシマスレ

バ、一カラ上ッテ三倍八割ニ行クマデノ其真中ニ居ル人ハ、上ッタダケ稅ガ課ケラレテ居ッテ、見積一杯ニナッテシマッテ居ル、上ハ「デスカウント」サレテ居ルガ、其三倍八割以内ノモノハ少シモ上ニ「デスカウント」スルヤウナコトガナイ、負擔ノ激増ヲ防グト云フ心持デアラナラバ、三倍八割ニ行クマデニ幾ラカ「デスカウント」ヲ考ヘル餘地ガアル譯デハナイカ、斯ウ云フ意味ガ一ツソレカラ激増制限ノ結果、一般負擔者ノ負擔ガ減少スベキ分ヲ、其負擔ノ減少ヲ阻止シテシマッテ、高橋サンノ御話ハソレダケ増稅ニナル、私ノ言葉デ言ヘバ遞減率ヲ制限シテシマフ、モット遞減スベキモノヲソコデ阻止シタ、斯ウ云フ點ニ對シテドウ考ヘルカ、斯ウ三ツガ重要點ノヤウニ思ヒマスルガ如何デスカ。

○井上國務大臣 一應私カラ御答致シマス、不充分ナ所ガアリマシタラ、政府委員カラ御答辯致シマス、第一ニ先刻政府委員カラ申シマシタ四倍ト云フコトニ限りマシタコトハ、何モエライ數字上ノ根據ガアルノデアリマセヌ、小調デアリマス、先ヅ大體四倍三割ト云ヒ、或ハ四倍五割ト云フ數字モ出マスガ、四倍ト云フコトデ、押ヘテ是レ位デ最高極度ヲ押ヘタノデアリマス、ソコノ點ハ高イトカ低イトカ云フ

コトガアリマセウ、ソレカラ第二ノ點ハ、若シ此四倍ト云フモノガ六倍トカ七倍トカ云フ制限ニナッテ來テ、サウシテ尙其下ニ、四倍トカ二倍トカ、云フ區切ヲ付ケテ押ヘルコトガ出來レバ永田サンノ言ハレルヤウナ實際問題ニ或ハ適合スルカモ知レマセス、ソレデハ到底手續ガ煩雜デ出來ヌカラ、先ヅ六倍トカ、七倍トカ、十倍トカ云フコトヲ言ハズニ、四倍ト云フコトヲ押ヘテ置イタナラバ、其以下ノモノハ今高橋サンノ言ハレルヤウナ多少ノ弊害ガアリマスガ、ソレデ大シテ苦痛ハナカラウ、即チ今度ハ三倍八割ニナッテ居リマスガ、假ニ三倍七割或ハ三倍マデ上ヲタ人ガ三倍八割ダケハ納メナケレバナラスト云フコトガ茲ニ出テ來テ居リマスガ、是ハ最高極度ト云フコトヲキメタ場合ニハ、其下ノ階級ヲ何時ニモ割レバ何時デモ弊害ガ防ゲマスガ、是ハドウモ手續ノ上カラ行ッテ已ムヲ得ナイコト、考ヘマス、即チ四倍ト云フ數字ヲキメルノニハ、其處ハ考ヘナケレバナラヌ點デアリマス、モウ一ツノ問題ハ此處ニ政府委員カラ出シマシタ所謂最高極度ヲ決メタ爲ニ、二百萬圓トカ、百何十萬圓ト云フモノ、税ガ出テ來タ、其ノ上テ來タ中カラ取ルベキ所ノ税ヲ取ラナカッタ、斯ウ云フ税ハ一體誰ガ負擔シテ居ルカト云フト、地租ヲ納

○高橋委員

今大藏大臣ノ仰セニナッ

タ事ハ先程カラ政府委員ヨリ御答辯ニナッテ事ト大差ナイノデアリマス、最後ノ御言葉ハソレハ皆同一デアリマシテ、ヤッパリソレニ依ッテズト同ジヤウナ率ヲ以テ全部ニ課ッテ參リマス、ソレデアリマスルカラ私共ハ意見ハ別ニ持ッテ居リマスガ、政府ノ御意見ニ依ッテ、此税制ノ改正竝ニ税率ノ改正ニ依ル減税ト云フヤウナコトノ兩方ノ建前カラ見マシテモ、私共ハ多少意見ハ異リマス、政府ノ御意思ニ基イテ立案スルコト、スルナラバ、色々ナ方法モ設ケルコトガ出來ル、此地租ヲ各地目別ニ或ハ地目ノ中デモ甲、乙、丙ノ階段ニ分ケル、階段ニ分ケルト云フノハ既ニ營業收益税ニ於テモ階段ニ分ケラレタノデアリマスカラ、地租ニ於テモ階段ニ分ケテ、一律ノ税率デナク、税率

ヲ異ニスルコトモ出來ヤウト思ヒマス、又制限率モ多少ノ變更ガ出來ル、唯面倒ダ、面倒デナイト云フコトニ付テ御議論ノアル所デアアルガ、總テ今ノ面倒デナイ、何デモ同率一本デ行カウト云フヤウナコト、簡單デ宜イカラト云フヤウナコトノ御意思ガ、此税制ニハ一貫シテ居ルヤウニモ思ハレル、其處ニ大ナル矛盾ガアル、斯ウ云フコトデアレバ出來ナイコトハナイノデア

○本田委員長 是ヨリ休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス
○大口委員 海軍大臣ガ御出席ノヤウデアリマスカラ私カラ御質問申上ゲタイト思ヒマス、第一ニ御尋ヲ致シタイノハ、今朝程總理大臣代理ニ承リマシタコトニ關聯スルノデアリマシテ、總理大臣代理ニ伺ヒマシタ時ニハ海軍大臣ハ御出席デアリマセナダカラ、極メテ簡單ニ一應總理大臣代理ニ御質問申シマシタ筋道ヲ述ベマシテ、海軍大臣ノ御答ヲ得タイト存ジマス

ハ、決シテ此税制ト云フモノ、改正ニ當ッテ居ル者ノ御心掛デナカラウ、斯ウ云フ工合ニ私ハ考ヘルガ故ニ、色々私ノ疑義ヲ申述ベ且ツ負擔ヲ幾分ナリトモ他ニ轉嫁スルヤウナ事デアッテハ面白クナイト考ヘル、序ナガラ言ッテ置キマスガ、先程青木局長ノ言ハレタ四十何萬圓シカ違ハナイト云フコトハ、私ノ御伺申シテ居ル事トハ違フ、私ハサウ云フ事ヲ言ッテ居ルノデハナイト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、私ハ大體此點ニ付テノ質問ハ此程度ヲ以テ終リマス

今日我國ガ非常ナル不況ニ陥ッテ居ルト云フ事柄ハ其原因ノ何タルカハ今日ハ論ジナイ積リデアリマス、假令其原因ガ世界的ノ不況デアラウト、金解禁ノ結果デアラウト、ソレニ言及致シマス、大分議論ニナリマスカラ申シマセスガ、兎ニ角今日ノ日本ノ不景氣ハ非常ニ深刻ナルモノデアアルコトハ吾等御互ハ事實ノ上カラ認メナケレバナラヌ、之ヲドウシテ救フカト云フコトガ今日御互研究スベキ要點デアアルト考ヘル、其處へ行ケバ減税ト云フコトハ私共決シテ惡イ事トハ考ヘナイト今朝程モ申シタノデアリマスガ、今回政府ガ提案サレタ減税額デハ、殆ド之ヲ救フ力ガナイ程ノ僅カナモノデアアルト私共ハ思ッテ居ルノデアリマス、併シ減税ノ財源ハ恆久的ノモノデナクテハナ

午後一時二十九分開議
午後零時三分休憩

ラヌ、一時的ノ財源ヲ減稅ヲ致シタ所
 デ、減稅ハ恆久的デアリマスカラ、遂
 ニハ財政ノ上ニ於テ破綻ヲ生ジナイト
 ハ限ラナイノデアリマス、政ニ減稅ヲ
 シヨウト思ヘバ茲ニ恆久的ノ財源ガナ
 クテハナラス、此處ノ吟味ガ極メテ必
 要デアルト云フコトヲ私ハ今朝程モ述
 ベテ居ルノデアル、サウシテ今回ノ減
 稅ノ財源トハドウ云フモノデアルカト
 云フト、申スマデモナク此五億八百萬
 ト云フモノガ今日マデ海軍ノ保留財源
 ニナツテ居ル、是ガ幸ヒ軍縮會議ノ結果
 不用ニ屬スルカラ、其中補充計畫二三
 億何千萬圓ヲ引キ殘ル一億三千餘萬圓
 ヲ以テ減稅ノ財源ニ充テヨウト云フノ
 ガ政府ノ御發案ノ御趣意ト考ヘル、然
 ラバ海軍ノ補充計畫ト云フモノガ、三
 億何千萬圓ノ今回御提出ニナツタツケ
 ノモノデアリシカ、ドウカ、此處ガ一
 ツノ問題ニナツテ、先日來頻ニ質問應答
 ガ重ネラレタ譯デアリマス、ソコデ私
 ノ頭ニ映ジタコトハ例ヘバ海軍部内カ
 ラ陛下ニ對シ奉リ奉答サレテ居リマ
 ス奉答文ガアリマスガ、此奉答文ヲ見
 タカ見ナイカ、責任ヲ負フカト云フヤ
 ウナ議論ヲ此處デシタ所ガ、是ハ亦中
 中面倒ナ問題デ、私ハソレニ觸レヨウ
 トハ思ハナイ、ケレドモ兎ニ角海軍部
 内ニ於テ重要ナル人々ガ寄合ッテ、奉答
 シテアルコトハ疑フベカラザル事實デ

アリマス、此奉答ノ内容ハ海軍大臣ハ
 ドウシテモ御承知ニナツテ居ラナクテ
 ハナラナイト私ハ信ズル、其海軍大臣
 ガ加ッテ居ラレル現内閣デアリ、又濱口
 總理大臣ハ内覽ヲ許サレテ居ルノデア
 ルカラ、サウ云フ首班ヲ戴キ、サウ云
 フ海軍大臣ヲ持ッテ居ル現内閣ガ定メ
 ラレル所ノ補充計畫デアルカラシテ、
 ドウシテモ奉答ニ副ヒ奉ルヤウニハ出
 來テ居ルモノデアルト私ハ考ヘル、是
 ガ奉答文ニ副ハナイ計畫デアルトハド
 ウシテモ言ヘナイ譯デアアル

ソコデ茲ニ疑ガアルノハ、私共分リ
 宜イ爲ニ第一補充計畫ト申シテ居リマ
 スガ、今回御出シシナツタ三億何千萬
 圓ノ計畫ト云フモノハ、政府ニ於カレ
 テハ補充計畫ノ根幹デアアル、是デ先ヅ
 根幹ダケハ出來ルト言ッテ居ラレルガ、
 其處ニ先刻言フ通り疑ヲ持ツ、ト云フ
 ノハ、ソレ以外ニ尙ホ吾々ガ謂フ所謂
 第二補充計畫ト云フモノガナクテハナ
 ラスト考ヘル、是ハ第一補充計畫トカ
 第二補充計畫トカ分クベキモノデハナ
 イノデアッテ、一ツデアアルベキニ相違ナ
 イガ、政府ノ財政ノ都合上、二ツニ分
 ケタモノデアッテ、吾々ノ所謂第二補充
 計畫ト云フモノガ此背後ニ潛シテ居
 ル、是ガ全體ドレダケノ計畫デ、ドレ
 ダケノ金ガ要ルモノデ、ドウ云フ風ニ
 ナルカト云フコトガ分レバ、一等此財

源ガ明確ニナルノデアリマスケレドモ
 ガ、ソレハ各國ノ事情ヲモ見ナクテハ
 ナラス、先刻總理大臣ノ御答辯ニ依リ
 マスト、サウ云フコトヲ今日明カニス
 レバ、他ノ國ヲ刺戟シテ面白クナイ傾
 向モアラウト思フカラ、今日ハソレヲ
 決メテ居ナイ、ソコデ金額ト云フモノ
 ハ一切分ラナイト云フ御返事ニ相成ッ
 テ居ル、假令決マツテ居ラスニシタ所
 デ、ドウシテモ此所謂第二補充計畫ト
 云フモノガ何處ニ潛シテ居ッテ頭ヲ出
 スベキモノデアアルカ、何處ヘ現レテ來
 ルカ、是ガ内田君ナドガ先日御質問申
 シタ點デアリマス、之ヲ段々綜合シテ
 見ルト、只今政府ニ於カレマシテハ金
 額モ言ハレナイシ、定マツタコトハナイ
 ト言ッテ居ラレルガ、兎ニ角吾々ノ所謂
 第二補充計畫ナルモノガ、昭和十一年
 度以前ニ於テ現レテ來ルモノデアルト
 云フコトハドウシテモ認メネバナラ
 ス、是ハ海軍大臣モ必要デアルト言ハ
 レテ居リ、總理大臣モ、大藏大臣モ、
 是ハ認メテ居ラレマスカラ、ドウシテ
 モ第二補充計畫ト云フモノガ昭和十一
 年以内ニ頭ヲ出シテ來ル、其金額ハ明
 確デナイニシテモ、頭ヲ出シテ來ルモ
 ノデアアル、サウシテ吾々ノ信ズル所デ
 ハ昭和九年カラドウモ出サナクテハナ
 ラスモノデアラウト、先ヅ質問應答ノ
 結果確信サレル、スルト之ニ對スル金

ト云フモノハドウナルカト研究シテ見
 ルトナイ、ソレハ大藏大臣モ一文モ保
 留シテナイト言ハレテ居ル、此處ガ洵
 ニ私共財源ノ上ニ於テ疑ヲ持ツ點デア
 ル

ソコデ私ハ今日政府ヲ攻撃シタリ揚
 足取りヲスルヤウナコトハ言ハナイ、
 理窟モ言ハナイ決心デアアル、同時ニ露
 骨ニ腹藏ナク言ッテ見マス、第一海軍
 計畫ト云フモノハ第一補充計畫ト第二
 補充計畫ト分ケベキモノデハナイノデ
 アッテ、ドウシテモ國防ノ上カラ云ヘ
 バ或ル程度ノ補充計畫ガ必要デアアル
 ガ、金ガ足りナイ、實ハ減稅ヲシナクテ
 ヤナラナイ、今度ノ條約ガ出來タ以上
 ハ、國民負擔ノ輕減ヲスルト云フコトヲ
 モウ明言シテアルノデアルカラ、其明
 言ノ手前カラ言ッテモ、現内閣ハ假令僅
 カナリトモ減稅ヲシナクテヤナラナ
 イ、斯ウ考ヘマスカラ海軍ノ計畫ト云
 フモノガ十分ニ出來ナイ、ソコデ已ム
 ヲ得ズ同ジ補充計畫ヲ二ツニ割イテ、
 私ノ方ノ所謂第一補充計畫、第二補充
 計畫ノ二ツニ割イテ、第一ノ分ダケヲ
 今回計上シテ、ドウカ斯ウカソレデ減
 稅ノ締括リヲシテ、財政ノ辻褄ヲ合シ
 テ、其實内部ニハ第二補充計畫ト云フ
 モノガ潛シテ居ルノデアアル、其潛シ
 テ居ル點ヲ確カニ政府ハ認メラレタモノ
 デアルト私共ハ考ヘル

ソコデ此財政計畫ナド色々議論ヲスレバ、大分議論ニナリマスガ、先刻私モ腹藏ナイ御話ヲ總理大臣代理ニシタノデアリマス、私ハ決シテ軍國主義ヲ宜イトハ思ハヌ、軍國主義者デハナイ、ダカラ出來ルダケ列國ガ陸軍ナリ海軍ナリヲ縮小シテ、軍備計畫ノ縮小ガ出來レバ洵ニ私共結構デアリ、又一面ニ於テ陸海軍ノ費用ト云フモノガ經濟的ニナツテ來テ減ズルコトガ出來レバ洵ニ喜ブ者デアリマスガ、併シ國防ハ極メテ重大ダト思フ、國防ハ一日モ之ヲ忽セシテハナラナイ、ソレガ爲ニハ私共相當ナ費用ヲ投ジテモ確實ニシテ置カナケレバナラナイ、斯ウ云フ意見ヲ持ツテ居ル者デアリマスガ、海軍當局ニ於カレテモ、ヤハリ職責上何處マデモ國防ト云フモノハ確實ニ致シテ置カネバナラナイト思ハネバナラヌノデアアル、シテ見ルト奉答文ニドウ書イテアルカハ御言明ハ出來マスマイガ、奉答文ニアリマスコトヲ根據ニサレテ、海軍ハ相當ノ國防計畫ガ立ツテ居ラナクテハナラナイ、サウシテ今回議會ニ於テ海軍大臣カラ御答ニナツタ所ヲ見ルト、昭和十一年前ニ於テ、吾々ガ謂フ第二補充計畫ト云フモノガ或ル程度ニ頭ヲ出サナケレバ、國防ト云フモノハ完全デナイト、ドウシテモ吾々ニハ認メラレル、所ガソレニ對シテノ財源

ハ一厘モ保留シテナイ、スルト海軍ガ安心シテ居レル譯ハナイト私ハ思フ、此處ガ問題デアリマス、是ハ上手ニ質問シテ行クト色々アリマセウケレドモ、質問上ノ上手下手ハアリマセウガ、私ハ今日ハサウ云フコトヲ考ヘズニ申シマス、成ベク一言ニシテ露骨ニ申シマス、先刻モ總理大臣ニ私ハ露骨ニ申シマシタ、ソレデスカラ世間傳フル所ニ依ルト、海軍ノ方デハ濱口總理大臣カラ一札ヲ取ツタ、此第二補充計畫ニ依ツテハ決シテ困ラセナイ、必ズ其時ニハ適當ノ金ヲ支出シテ方法ヲ立テルコト云フ意味ノ一札ヲ海軍ガ握ツテ居ルカラ、海軍ハソコデ安心ヲシテ居ルト云フコトヲ傳ヘテ居ルガ、果シテ此處ハドウナツテ居ルカ、斯ウ云フ點ニ私疑ヲ持ツデアリマス、斯ウ云フ事ガ今迄ニアル、陸海軍ト云フモノト大藏當局ト申シテ宜イカ、其時々ノ内閣トノ間ニ、内閣ニ列シナイ前ニハ一向知ラナク居タ所ガ愈々内閣ニ列シテ國ノ財政ヲヤツテ見ルコトニナルト、海軍カラ斯ウ要求ガアッタ、陸軍カラ斯ウ云フ要求ガアッタ、ソレハ、連モ大藏省ノ方デサウ云フ財源ハナイ、イヤソレハ何時ノ時代ニ斯ウ云フ約束ガアル、其時ノ大藏大臣ガ海軍大臣ニ斯ウ云フ言明ガアッタト云フヤウナコトガアツテ、ドウシテモソレヲヤラネバナラヌト云

フ問題ガ起ツタ事實ハ私ハアルト信ジテ居ル、是モ何モ惡イト言フノデハナイ、ソレダカラ今日ノ議會ヲ通過サセラレルガ爲ニト言フト何か攻撃スルヤウニナルガ、一時ヲ通ス爲ニ體裁ノ好イコトヲ言ハレテ、茲ニ此案ハ通りマシテモ、此内閣ガ十年、十二年續ケバ反ツテ宜イカモ知レマセヌガ、サウ續クカ、續カナイカ分ルモノデナイ、ソコデ誰ガ後ヲヤリマシテモ、今日ハ大分體裁ノ好イ第一補充計畫ダケデ辻棲ヲ合シテ通ラレテ、既ニ昭和九年度へ行クト云フト第二計畫、是ダケノモノヲ引受ケナケレバ海軍ハ國防ガ全カラザルコトニナル、サウシテ其當時濱口氏ト斯ウ云フ約束ガアッタト云フヤウナコトガ出テ來ルト、是ハ日本ノ財政計畫ハ立タナイ、ソコデ其點ニ對シテ全體海軍ト現内閣トノ間ガドウナツテ居ルカ、私ハ總理大臣代理ヲ更ニ有體ニ申シタ、全體其第二計畫ニ對スル財源ニ付テハ海軍ト今ノ内閣、又ハ總理大臣トノ間ニ白紙デアルカ、又ハ何か御確實ナ諒解ガアルカ、斯ウ云フ御問ヲ申シタ、スルト總理大臣ノ御答ハ或程度迄ハ明カデアリマスガ、或ル程度ハ實ニ曖昧ニナツテ居ルト云フノハ、必要ト云フコトハ認メル、其第二補充計畫ガ昭和十一年度ヨリ前ニ頭ヲ出スコトノ必要ナコトヲ認メル、ケレドモ列國ノ

事情モ見ナクテナラナイシ、先刻私ガ申シマシタ通り今日發表スルガ如キコトハ却テ外國ヲ刺戟スルガ虞ガアルカラ、決メナイ方ガ宜イカラ、軍艦ノ中例ヘバ巡洋艦ガ何艘トカ、潛水艦ガ何艘トカ、驅逐艦ガ何艘ト云フヤウナコトハ少シモ決メテナイ、ソレハ其時ニ打ツカツテ其時ニ當ツテノ話デアアル、斯ウ云フコトニナツテ居ルト云フ御答辯ニナツテ居ルノデアリマス、是デ一體海軍ノ方ガ安心シテ居ラレル道理ハナイト私ハ常識カラ考ヘル、其處ガ海軍ト内閣トノ間ノ關係ハ明カニシテ戴カナイト、日本ノ財政計畫上非常ニ憂慮ニ堪ヘナイ點デアツテ、頗ル樞要ナ點デアルト思ヒマスガ、ソコガ海軍ト内閣トノ間ガドウナツテ居ルカ、是ハ洵ニ海軍大臣トシテモ重要ナル事デアラレヤウト思ヒマスカラ伺ヒタイ、斯ウ云フノデアリマス

是ガ普通ナラバ總理大臣ニ承ツテ後ハ大藏大臣デ宜イノデアリマスガ、此點ダケハ總理大臣ノ御立場ト、海軍大臣ノ御立場トハ自ラ違ヒマス、海軍大臣ハ一方ニ軍令部トノ關係ニ持ツテ居ラレテ、奉答文ノ内容ヲ知ツテ居ラレル筈ノ方デスカラ、ソコデ内閣ヲ統一シテ居ル總理大臣ト、只今ノ立場デア

ル海軍大臣トノ間ニ、第二次補充計畫ニ對シ、是ハ昭和十一年度以前ニ頭ヲ

出ス必要ヲ各認メテ居ラレテ、而シテ財源ノナイコトモ現ニ認メテ居ラレ、然ラバ此財源ヲ得テ愈々補充計畫ノ頭ヲ出ス時ニハドウ云フヤリ方デヤルト云フコトガ全然白紙デアルカ、乃至或程度ノ諒解ガアルカ、私ノ趣意ガハ此點デアリマス、尙ホ私ノ趣意ガ御分リニナラナケレバ何度モ申シマスガ、私ハ今日面倒ハ言ハナイ積リデアリマスカラ、私ガ何處ニ疑ガアルカト云フコトヲ御聽取リ下スツテ、了解ガ出來マスヤウニ御答出來ルダケノ範圍ハ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○安保國務大臣 只今大口サンカラ段

段ノ御尋ガアリマシテ、洵ニ御尤ナ御質問ト存ジマス、午前ニ首相代理ニ御尋ニナツテ、首相代理ノ御答ニナツタコトノ概要モ只今承リマシタカラ、私モソレデ了承ヲ致シタノデアリマスガ、大口サンノ御質問ノ要點ガ、國防ノ重要性ニ鑑ミマシテ、此度計畫サレタ所ノ第一次——便宜上第一次、第二次ト言フタ方ガ今ノ大口サンノ御話デ却テ明瞭デアリマセウガ、第一次計畫ト云フモノダケヲ以テシテ、果シテ國防ガ不安ナイノデアアルカ、而シテソレハ奉答文ノ内容ニ副フモノナリヤ否ヤ、斯ウ云フコトデアリマシタ、其點ヲ申上ゲマスルト此度ノ計畫ヲ以テ致シマスレバ、今大口サンモ御述ニナリマシタヤ

ウニ、現状ニ即シテ國防ノ上ニ不安ナイト云フ兵力ノ根幹ハ備ヘ得ルト云フコトニナル次第デアリマシテ、而シテ是ハヤハリ奉答文ノ趣旨ニ副フモノデアアルト云フコトハ申上ゲテ宜イノデアリマス、而シテ第二次計畫ト云フヤウナモノガ、九年度ナリ、十年度ナリカラ早晩起ラナケレバナラヌモノデアアラウガ、其内容ト云フモノガ相當今決ツテ居ルベキデハナカラウカ、サウシテ其財源ト云フコトニ付テハ、政府ノ間ニ於テ相當確實ナル取極メデモナクテハナラヌノデナイカト云フ御趣意ト考ヘマスガ、第二次計畫ト云フモノニ付テハ、是ハドウ云フ隻數ヲ何時カラ、始メルコトヲ必要トスルト云フ、具體的ノ第二次計畫ト云フモノハ、是ハ本當ニマダ確立シテ居リマセヌノデアリマス、是ハ最初ノ案ヲ立テマシテ、是

ダケ必要ダト云フヤウナコトヲ政府内部内デ考究致シマスル時分ニハ、ソレゾレ此隻數ガモウ少シ必要ダ、潜水艦ノ方ハマア條約一杯デアリマスガ、驅逐艦ノ如キハモウ少シ造ツテ置イタ方ガ宜カラウ、是ハ軍事當局トシテ當然思ツテ居ルノデアリマスケレドモ、財政上ノ關係等モ考慮致シマシテ、此際是非共必要トスルモノガ是ダケダト云フコトニ致シマシテ、立テマシタノガ今回ノデアリマスカラ、此残りガ——最

初是ダケガ必要ダト考ヘタ残りガ直チニ第二次計畫カトサウ云フコトニ參ラヌコトハ大口サンノ御承知ノ通リト思ヒマス、而シテ國防ノ關係カラ、海軍ニ於テハ特ニ所謂相當的關係ト云フ意味ニ於テ、其國際的威力ニ響クト云フヤウニ、海軍力ハ直チニ直接ノ關係ヲ有ツノデアリマスカラ、ドウシテモ外國海軍ノヤル所ヲ見テ、ソレニ對應スルト云フコトガ、全部デハアリマセヌガ、主トシテサウ云フ點ニ考慮ヲ置ク必要ガアリマスノデ、一面ニ於テハ攻撃作戰ヲ執リマスル方ノ側ノ、大體自分ノ豫想スル一ツノ計畫ヲ立テ、ソレゾレ驅逐艦ノ勢力ハ斯ウ潜水艦ガ斯ウ航空隊ガ斯ウト云フヤウニ作りマスケレドモ、防禦作戰ニ立ツ時分ニ、本國附近ニ於テ之ヲ防衛スルニ足ルダケノ兵力ヲ持ツテ行カウカト云フ一ツノ方針ニ依ツテヤリマス時ニハ、其攻勢作戰ニ立ツモノ、兵力ノ種類ト云フ點ニ重キヲ置イテ、ドウナツテ來ルカト云フコトニ對應スルト云フコトノ必要ガ、今ノ攻勢作戰ヲ執ル國ヨリ以上ノ必要ヲ感ジマスコトハ、大體御諒解ノコトト存ジマス、サウ云フ意味モ加味

致シマシテ、此次ノ所謂計畫ト云フモノニ付キマシテハ、今直グソレヲ具體的ニ計畫ヲ立テナクテモ、マダ——相當ノ年月モアルコトデアリマスカラ、

外國ノヤル所ヲ見テ、サウシテ此點ニ次回ノ計畫ハ一ツ重キヲ置カウ、斯ウ云フコトニナリマスレバ或ハ航空隊ノ方ニ重キヲ置クトカ、或ハ巡洋艦ト云フコトニ考ヘルトカ、更ニ又次回ノ軍縮會議ニナリマス、現在倫敦條約ニ依ツテ定メラレマシタ、所謂日本ノ持分ト云フモノ、三十六萬七千噸ト云フモノ、上ラ高クスルト云フコトハ、軍擴ニナルヤウナ關係モアツテ、是ハ恐ラク總量ニ於テ高クナルト云フヤウナコトハアルマイト存ジマスケレドモ、兵種ノ内容ニ於キマシテハ、是ハ作戰用兵ノ立場カラ、或ハ潜水艦ノ不足、或ハ八吋ヲモット欲シイト云フヤウナ意味ノ關係カラ、ソレガドウ云フヤウニ此會議ガ進ムカト云フコトハ分リ兼ネマス、隨テ幾ラデモ噸數ノ持分ガアレバ簡單デアリマスケレドモ、持分ガ定マツテ居ルト、其定マツテ居ル持分ノ中カラ兵種ノ遣線ヲシテ、新シク要望スルモノヲ作ラネバナラヌト云フヤウナ關係モ自ラ生ズルノデアリマスカラ、餘リニ早く自分ノ持分ガアリ、權利ガアルカラ、一ツ造ツテ置カウト云フヤウナ意味ニモナリ兼ネル點モアルノデアリマス、サウ云フヤウナ點ヲ色々考慮致シマシテ、是カラ今暫ク年月ノ經ッ

タ後ニ、計畫ヲ立テルコトヲ寧ろ適當トスル、斯ウ云フヤウニ當局モ考ヘマ

シタ次第アリマス、然ラバ此次ノ計畫ガ今度ノ計畫ニ加ハラナケレバ國防ニ不安ガアルカト云フコトデアリマシタガ、是ハ若シ不安デモアルト云フコトナラバ、無論第二次ト云フヤウナコトヲ言ハズニ、第一次ト共ニドウニカシナケレバナラヌノデアリマステレドモ、此度提案シタモノダケヲ先ヅ揃ヘテ置ケバ、目下ノ狀況ニ於テハ是デ國防上不安ナモノト云フコトノ意見ガ、所謂軍令部ノ方ノ側、海軍省ノ側モ意見ガ一致イタシテ、此計畫ヲ立テマシタ次第デアリマス、大口サンノ御話ノヤウニ第二次ト云フモノガ一次ノ計畫ト加ハラナケレバ、國防ニ不安ガアルト云フヤウナ意味デハナイノデアリマス、同時ニ、其内容ニ付キマシテハ、今申上ゲマシタヤウナ理由デ、何ガ何艘何ガ何艘位ヲ大體必要トスルト云フヤウナコトモ、今日ハ申上ゲ兼ネル次第デアリマス

最後ニ財源ノコトデアリマスルガ、是ハ御説ノ通り財源ト云フモノガ容易デハナイ、幾ラ必要ガアツテモ急ニソレハ方法モ付クマイト云フ御言葉デアリマスルガ、今日ノ状態カラ鑑ミマシテ、マダ茲ニドレダケノ隻數トドレダケノ兵種ヲ必要トスルト云フコトノ計畫ノ定マリマセヌ中ニ、十一年度以前ニ於テ是ダケノモノヲ大體用意シテ貰ッテ

置クト云フヤウナコトハ、中々實際ニハ出來兼ネルト存ジマシテ、是ハ計畫ガマダ立タヌノデアルカラ、其處ニ財源ノ特別ノ用意ガナイコトモ已ムヲ得ヌト云フコトヲ、海軍當局モ認メマシタ譯デアリマス、然ラバ其財源ト云フ前ニ於テ何等カ其處ニ新シイ計畫ヲ起サナケレバナラヌト云フ場合ニ、ソレハドウスルカト云フコトニ付キマシテハ、是ハ財政當局ノ方ニ信賴シ、其時ノ政府ニ於テ何トカ方法ガ立チ得ルモノト考ヘテ居ルノデアリマス、唯漠然ト立チ得ルダラウト言フト可怪シイヤウデアリマスケレドモ、昭和十二年度以降ニハ製艦ト云フヤウナ意味ニ於テモ六千萬圓ト云フモノガアリ、所謂此度ノ航空隊維持費ト云フヤウナモノ、二千七百萬圓ト云フヤウナ財源モ、確實ニ其處ニ用意ガシテアルト云フヤウナ意味デアリマシテ、此度ノ十一年度マデノ計畫ト、其次ノ十二年カラハ、其處ニ艦ノ方ダケデ六千萬圓ト云フモノガアリ、九年度ナリ、十年度、十一年度カラ起サナケレバナラヌト云フ、其處ニ財源ハ無イノデアリマスケレドモ、其處ハ方法ガ立チ得ルモノデアアルト私ハ信ジマシテ、今日ニ來ッテ居リマ

スル次第デアリマス

總理大臣ト海軍大臣ノ間ニドウ云フ

約東ガアルカト云フ御尋デアリマシタガ、海軍大臣ト總理大臣ノ間ニ、此度ノ補充計畫ノコトニ付キマシテハ將來ノ事ニ互ツテ交渉ヲ致シマシタコトハ事實デアリマスルガ、其交渉ハドウ云フ程度デ、ドウ云フ言質ヲ取ッテ進ンデ居ルカト云フ其内容ノコトニ付キマシテハ、此處デ斯ウ云フ程度ニナッテ居ルト云フヤウナコトハ御話ヲ致兼ネマシタ次第デアリマスカラ、左様御諒承ヲ願ヒタイ

○大口委員 只今縷々御答辯ガアリマシテ大體諒承致シマシタガ只今ノ海軍大臣ノ述ベラレタ中ニ、所謂第二補充計畫ト云フモノガ組立テラレルヤウニナル、ソレマデニ對スル御意見ニ付テハマダ私ハ諒承ノ出來ヌ不服ノ點ガアリマス、又一部分ハ御尤ニ思フ點モアリマス、ソレハ今論ジマセヌ、ソレヲ今日論ジテ、サウ云フコトデハ海軍ハ危イデヤナイカト云フコトヲ、今日言ッテ見ヨウト云フ意味デハアリマセヌカラ、一應承リ置クコトニシマス

唯私ノ極メテ捉ヘタイト思フ要點ガ、今ノ御答デハドウモ十分ニ得ラレヌト云フノハ、斯ウ承レバ端のダト思ヒマス、然ラバ所謂第二補充計畫ガ昭和十一年度以前ニ於テ頭ヲ出シ、製造ニ著手シナケレバナラヌト云フコトニ對スル財源ノ問題ニ對シテハ、現内閣トノ間ニ全然白紙ナリヤ否ヤト云フコトデス、詳シク經緯ヲ承ラウトハ私ハ申シマセヌ、ソレハ仰シヤル譯ニハ行キマスマイ、又私モ強ヒテ承ラウトハシマセヌ、結論ニ於テドウシテモ昭和九年ニ第二補充計畫ガ頭ヲ出サナケレバナラヌト云フ場合ハ、何トカシテ財源ヲ造ラナケレバナラヌダケノ、或ル德義上ノ責任ヲ負フベク今ノ内閣ガナッテ居ルカ、ドウデアアルカ、此關係デアリマス、全然白紙ナリヤ、ドウシテモ愈、必要トシテ昭和十一年度以前ニ第二補充計畫ニ著手スル場合ハ、其財源ヲ捻出スベキ或ル程度ノ責任ヲ現内閣ハ負フ譯ニナッテ居ルカ、責任ト申シテモ色々アリマセウ、德義上ニシテモダ、兎ニ角紳士トシテ、政治家トシテ之ヲヤラナケバナラヌト云フ、茲ニ一ツノ言質ヲ與ヘテ居ルカ、全然白紙デア

ルカ 此處ヲ先ヅ聽キタイノデアリマス

○安保國務大臣 只今ノ大口サンノ御質問ニ御答致シマスガ、現在ノ計畫以外ニ、次ニ來ルベキ海軍ノ計畫ニ於テ其財源ニ付テ内閣ニ於テ、責任アル談合ヲシテアルカナイカト云フコトデアリマスガ、是ハ先程御答申上ゲマシタヤウニ、次ニ來ルベキ計畫ガ昭和十一年度以前ニ起レバ、其内容ト云フモノガヤハリ確實ニナッテ居ラヌト云フ關

係モアルノデアリマスカラ、隨テ其財源ト云フモノガ用意シテナイ、其財源ニ付テ約東ガアルカト云フコトニ付キマシテハ、此度ノ計畫及ビ此後ト云フコトニ付テ首相ト海軍大臣トノ間ニ色々ト合ヒ致シマシタケレドモ、ソレヲドウ云フ程度ニ責任ヲ持ツコトニナッテ居ルカト云フヤウナ其内部ニ涉リマシタコトハ此處デ御話申上ダ兼ネル、斯ウ先程申上ダタノデアリマス

○大口委員

私ハ其内部ノ經緯ヲ聽カウト言フノデアリマセヌ、ソコガ極メテ大切デ將來ノ我國ノ財政計畫ヲ議スル上ニ於テ、是ガ全然白紙デアルモノナラバ、例ヘバ昭和九年度ニナリマシテ第二次海軍補充計畫ガ必要ナリトシテ頭ヲ出シテ來タ所ガ、帝國ノ財政ガ許サヌ、其場合ニ増稅ヲシテヤルカ、増稅ヲシナイカト云フヤウナコトニ到著シマシレバ、或ハ其時ノ内閣ノ多數ノ考ニ於テ増稅ハシナイ、同時ニ海軍ノ第二次海軍補充計畫ヲ何ト海軍大臣ガ言フテモ、財政ノ都合上本年ハヤレナイト云フコトハ出來マスガ、今日海軍大臣トノ間ニ——内部ノ間ニ或ル程度ノ諒解ヲ得テ居ルト云フコトニナルト、其場合ニ内閣ガ送リマシテモ、其時ノ内閣ト云フモノハ現内閣ノ言質ニ顧ミテ、ドウシテモ海軍ノ言ヲ容レテ一年遅ラカシテモ宜イデヤナイカト云

フコトデアッテモ、専門家タル海軍大臣ニ主張サレ、バ、其言質ニドウシテモ囚レテ、假令増稅ヲシテモ之ヲヤラネバナラヌト云フコトガ起ル次第デアリマス、議論ヲスレバ色々アリマスガ、國防ガ危イノダカラヤルノハ當然ダト云フヤウナ議論ハ出來マスガ、ソレハ机ノ上ノ議論デ、私ハ議論ヲ避ケテ實際問題ヲ話シテ居ル、サウ云フ事實ハ大小ノ事デ此處デ言明ヲ憚リマスガ、隨分今日マデアッタと思ヒマス

現ニ豫算編成ノ上ニ於テ私モ小イサ

イ事デ經驗シテ居ルノデアリマス、吾ガ夢ニモ知ラヌ事ダガ、前内閣ト是ガ斯ウ云フ話合ニナッテ居ルノダト言ヘバ、假令大藏大臣トシテモ、ソレヲ知ラナイト云フ譯ニハ行カナイ、何トカ財源ヲ拵ヘナケレバナラヌト云フ、茲ニ義理合、責任ト云フカ道徳上ノ責任ト申シマスカ義理合ト申シマスガ、是ハ紳士トシテ、政治家トシテ、大臣閣僚トシテ作ラナケレバナラヌト云フコトニナル所ガ全然白紙デアル場合ハ大分其處ガ違フ、軍艦ヲ造ルカ、増稅ヲスルカト云フコトニナレバ、内閣ノ執ル方針ト云フモノガ違ッテ來ル、此處ノ結論ダケヲドウシテモ明カニシテ置カナケレバナラヌ、ソレガ全然白紙デアルカ、或ハ内閣トノ間ニ或ル程度ノ諒解ガアルカ、是ガ分ッテ居ナイト大藏

大臣ニ對スル質問モ甚ダ仕難クナル、是ダケハ御話シ下サルノハ當然ダラウト思フ

○安保國務大臣

今ノ大口サンノ御質問ニ御答致シマスルガ、大藏大臣ノ方ノ質問ノ關係デ、其處ヲ明ニシナケレバナラヌト云フコトデアリマシタ、首相ト海軍大臣トノ間ニ色々話ヲ致シマシタコトハ當然ノ事デアリマシケレドモ、ドウ云フ程度ニ話ヲシタト云フコトハ、是ハ此處デ御話ヲ致シ兼ネル、斯ウ云フ事ヲ申シテ居ルノデアリマシテ、而シテ昭和九年度、十年度ニナルニ於テハ其時ノ情勢ニ應ジテ、又財政等ノ事モ其中ノ考慮ニ入レテ、新シク計畫ヲ立テタルト云フ場合ニハ、當然其場合ノ國防ノ必要ト、財政其他色々ノ狀況ヲ加味致シマシテ、其内閣デ無論決メラレルト云フコトニナラナケレバナラヌノデアアルコトハ、是ハ御承知ダラウト存ジマス、隨テ今日此場合ニ於キマシテ、ドウ云フ程度ニ話合ヲシテ居ッタカ、斯ウ云フコトノ内容ノ御話ハ、私ハ致シ兼ネルト信ジマス次第デアリマス

ル譯デアルト私ハ存ジテ居リマス

○大口委員

私ハ今此處デ速記録ナドヲ持ッテ來テ突付ケテ、アナタニ彼此レ言フコトヲシタクナイト思フカラ、ソレデ私ハ申サヌノデアリマスガ、頻ニアナタハ疑懼ノ念ヲ抱イテ居ラレルカモ知レマセヌガ、私ハアナタカラ言質ヲ取ッテ、ソレヲ捕ヘテ今ノ政府ヲ困ラサウト云フ考ハナイ、將來ヲ考ヘテ居ル、モット端のニ露骨ニ言ッたら或ル方面ノ方ハ御立腹ニナルカモ知レマセヌガ、私ハ此内閣ガ永ク續カウトハ思ッテ居リマセヌ、所ガ誰ガ此後ニ代ッテヤルニシテモ是デハヤレマセヌ、假令此内閣ガ永ク御續ニナルニシテモ、今ノ大藏大臣ガ、十年モ御續ニナルカドウカ頗ル疑問デアル

ソレデ是ハ明ニシテ置カナケレバナ

ラス、第二次補充計畫ト云フモノガ、昭和十一年度以前ニ頭ヲ出スベキモノデアルト云フコトハ、出スコトガ必要デアルト云フコトハ、總理大臣代理モ、アナタモ認メラレテ居ラレルヤウデアル、然ルニソレニ對スル財源ハ一厘モ取ッテ居ナイト云フコトガ言明サレテ居ル、サウスルト云フト、此位計畫上ノ海軍トシテ危イモノハ先ヅナイ、一口ニ言ヘバ——危イト云フ言葉ヲ使ヒマス、又言葉ニ付テノ議論ガ起リマセウガ、不安ナモノハナイ、ケレドモ

○安保國務大臣

ソレガ即チ内容ニナ

第二次補充計畫ト云フモノハソレ程大切ナモノト思ッテ居ラヌノデアアルカ、若シ必要ハ持ッテ居ルケレドモ、今何ニモ決メテナイ、決メテナイカラ財源ハ取ッテナクテモソレ程心配ニ及バヌ、其時ノ政府ガドウカスルデアラウト云フ、單純ナル白紙デアアルカ、或ハ現内閣ニ於テソレハ必ズ何トカ捻出スル諒解ヲシテ居ル、シテ居ルカラ先ヅ今回ハ所謂第一次補充計畫ダケ、根幹ダケニシテ置ク、ソレダケノコトヲ政府ガ認メルナラバ、其間ノ細カイ話ナドヲ聽カウトハ言ハナイ、或ル程度ノ諒解ガアルカドウカト、斯ウ言フノデス、ソレヲハッキリ言ウテ下サレバ宜イ、諒解ガナイトカ、多少ノ諒解ガアルトカ、或ハ全然白紙ダトカ、ソレダ宜シイノデアリマス

○安保國務大臣 御答ヲ致シマスガ、今ノ、ドウ云フ諒解ガアルカト云フコトニ付キマシテハ、是ハ此議會ノ施政方針ヲ、首相代理ガ述べラレマシタ中ニモ、海軍ノ計畫ハ緊急ナモノヲヤル、斯ウ云フ意味ノコトヲ諷ッテ居ラレマシタ、即チ先程モ申上ゲマシタ通り、此度ノ計畫ハ即チ國防上必要トスル所ノ根幹ヲ備ヘルモノデアルト云フコトヲ言現サレテ居ル次第デアリマスルカラ、即チ其中ニモ是カラ後ニ來ル所ノ相當必要ナモノニ付テハ考慮スルト云フコトハ自ラ其處ニアリマスル、尙又再三ノ御質問ニ對スル答辯ノ中ニ、首相代理竝ニ大藏大臣カラ、今日マダ計畫ガ立ッテ居ラヌケレドモ、相當必要トスル計畫ガ其處ニ立ツ以上ハ、ソレハ何トカ財源ノ上ニモ方法ヲ執ルト、斯ウ云フコトヲ言ッテ居ラレマス、即チソレハ内閣ノ心持ト云フ意味ニナリマスル譯デアリマスルガ、唯其以上ニドウ云フ經緯ガ首相ト海相ノ間ニアッタカト云ッタヤウナ意味ノ、内部ニ互ルコトハ御話致シ兼ネルト、斯ウ云フコトヲ先程カラ申上ゲテ居ル次第デアリマス

○大口委員 サウスルト現内閣ニ於テハ多少ノ諒解ヲ持ッテ居ル、其場合ハ、其財源ヲ相當ニ捻出スル考ヲ持ッテ居ル、斯ウ云フ話合ヒダケニハナッテ居ルト云フ結論ト私ハ今承ルノデアリマスタガ、サウ云フコトデアリマスカ

○安保國務大臣 御尋ノ通りデアリマスタガ、サウスルト、更ニ私承リタイノデアリマスガ、是ハ此海軍ノ計畫ト云フモノハ私ガ申スマデモナク、中々永ク續イテ行クモノデアッテ、今ノ海軍大臣ガ果シテ其時マデ御居デニナルカドウカ、御居デニナルデモアリマセウガ、御居デニナラナイカモ知レナイ、内閣モ其通りデアリマス、所ガ此海軍計畫ダハ只今申ス通り内閣ノ更迭、海軍大臣ノ更迭ニ依ッテ變ルベキモノデハナイ、國防ノ洵ニ大切ナル筋道ダト私共思フ、サウスルト餘程是ハ確實ニシテ置カナイト、其時ノ政府ガヤルノデアアル、其時ノ政府ガドウカスルデアラウト云フノデ、今ノ内閣ガドウカ考ヘルト言ッダケデ是ハ行ケルモノデハナイ、ダカラ其時ノ政府ガドウカスルデアラウト云フコトハ、一體ドウ云フ所ヲ根據トシテ、ドウ云フ所ニ頼リヲ持ッテ居ラレルノデアリマセウカ、例ヘバ現内閣ガ續クトスレバ、此内閣トハ今大體ノ諒解ヲ得テ居ラレル、之ヲ何處マデモアナタハ續クモノダト信ジテ、斯ウ云フ諒解ヲ得テ居ルトナルト、現在ノ大藏大臣ニ一ツ聽クコトニナルガ、内閣ガ迭ルカモ知ラス、アナタガ迭ルカモ知ラスケレドモ、海軍ノ計畫ガ變々タラ是ハ大變デアアル、ソレダカラ其時ノ政府ノ意見ニ依リ、其時ノ政府ノヤッテ呉レルコトニ依リ、ソレヲ信賴スルト云フ今思召デアラウガ、ドウ云フモノヲ一體根據トシテ捉ヘテ此計畫ヲヤル場合ニハ、財政上確實デア

ル、行ケルト御見込ニナッテ居ルカ、茲ニ洵ニ私ハ疑ガアルノデスカラ、御心持ヲ聽クノデス、言葉ヲ捉ヘテアナタヲ此處デ攻撃シテ見ヨウト云フノデナイノデス、ドウ云フ氣持デアナタハ居ラレルカト云フコトヲ聽キタイノデス

○安保國務大臣 御尋ノ御趣意ハ能ク分リマシタノデアリマスガ、今ノ場合ニ於テドウ云フ程度ノ考ヲ持ッテ居ルカト云フコトデアリマスガ、是ハ兎ニ角今日デハナク、或ル何年カノ後ノ其時ノ情勢及ビ又毎度申シマセウニ技術ノ進歩變遷等モ加味シ、又財政等ノコトモ考慮シテ、是非トモ國防ノ上ニ今日ノ此國情ニ照シテハ是レダケノ國防ヲ是非トモ必要トスルト云フコトデ、無論計畫ハ立ツ譯デアリマスガ、其場合ニ海軍當局トシテハ、内閣ニ在ッテ其處ヲ能ク説明ラシ、適當ノ方法ヲ執ルト云フコトハ、是ハ當然ナ話デアリマス、其時ニナラヌ以前ニ於テ今日ドウ云フ約束ヲシタカラ、ソレガ成立ツトカ、成立タヌトカ云フ意味ヨリ、モット私ハ重大ナ、其時ノ情勢ニ最モ適當シタ國防ノ案ヲ立テルト云フ事柄ガ必要ナコトデ、即チソレガ最モ有力ナモノト私ハ信ジテ居ル次第デアリマス

○大口委員 其處ニ私ガ申シマス點ト喰違ガアルノデアリマス、只今ノ御説ノヤウニ第二補充計畫ト云フモノ、細カイ組織組立ト云フモノニ對シテハ、アナタノ御辯明ヲ先ヅ宜イトシテ、私ハソレニ對シテモ意見ガアル、アリマスケレドモ意見ヲ闘ハシテ居レバ、質問應答バカリ長クナッテ、却テ議論ニナリマスカラ、ソレヲ避ケル爲ニアナタ

ノ今仰シヤッタ全部ヲ、私ハ諒解セヌケ
 レドモガ、ソレハ議論ヲシナイコトニ
 スル、ソレダカラ外國ノ情勢ヲ見テ、是
 カラ御立テニナツテモドウナサツテモ、
 ソレハ御自由デアルガ、兎ニ角昭和十
 一年度以前ニ第二補充計畫ト云フモノ
 ガ、或ル程度ノ頭ヲ出スコトガ必要ナ
 コトヲ認メラレテ居ル、細カク言ヘバ
 内田君ニ對スル質問應答ニ於テ、少ク
 トモ最低限九百五十萬圓ハ要ルト云フ
 御答辯ニナツテ居ル、ソナ事ハ私ハ此
 處デ念ヲ押サウトハ思ハヌガ、吾々カ
 ラ見レバモット多ク金ガ出ルト思フ、兎
 ニ角ドウ云フ組織ニシヨウト、外國ノ
 事情ニ依ツテドウ變ヘヨウト、第二補充
 計畫ノ一部分ガ、少クトモ昭和十一年
 度以前ニ出ルト云フコトハ確定的ノモ
 ノデアル、確定シナイモノナラバダケ
 レドモ、確定シタモノガアツテ、而モソ
 レガ國防ノ一部分デアル、其財源ガ一
 厘モ取ツテナイト云フノデ、海軍大臣ガ
 洵ニ呑氣ナコトヲ言ツテ居ラレル譯ハ
 ナイ、其處ニ非常ナ私ハ疑ヲ持ツ、確
 實ニシテ置カウト思ヘバ、財源ヲ取ツ
 置クヨリ他ニ仕方ガナイヂヤナイカ、
 其財源ナシデ現内閣トアナタト或ル程
 度ノ諒解ガアルコトニ付テハ、後ニ大
 藏大臣ニ問ウテ、大藏大臣デ分ラナケ
 レバ、更ニ總理大臣ノ御出席モ要求シ
 マス、現内閣ノコトニ對シテハ後ニ聽

クコトニスルガ、更ニ進ンデ此内閣ガ
 ドウ變ルトモ分ラヌ、アナタモ送ルヤ
 ウニナルカモ分ラヌ、併シ海軍ノ計畫
 ダケハ變テハイカヌ、而モ第二補充計
 畫ト云フモノガ昭和十一年度以前ニ頭
 ヲ出スト云フコトハ明瞭ニナツテ居
 サウシナケレバ國防上十分デナイコト
 ハ明瞭デアル、サウシテ一厘モ金ガ取
 テナイノニ、海軍大臣ガ其時ノ内閣ガ
 ドウカシテ吳レヤウト言ツテ居ラレル
 コトハ、甚ダ是ハ不安固デ、能クソレ
 デ安心シテ居ラレルモノダト私ハ疑フ
 ノデアル、之ヲ確實ニスルニハ財源ヲ
 取ツテ置クニ限ルヂヤアリマセヌカ
 サウ云フ論ニナルト、モウ一步進ン
 デテヨツト言ツテ見タクナル、既ニ昭和
 十二年前後ニハ六千萬圓ノ艦艇製造財
 源ト云フモノガ保留シテアルデハアリ
 マセヌカ、勿論是ニハ主力艦隊ノ代換
 建造費ガ這入ツテ來マセウカラ、六千萬
 圓デ宜イカドウカト云フ議論ニナルト
 大分面倒ニナル、サウ云フコトヲ必ズ
 仰シヤルダラウト思フカラ、最初私ハ
 昭和十二年以後ノ財政計畫ト云フモノ
 ヲ大體知ツテ置イテ論ジタイト思ツテ稟
 求シタガ、大藏省ノ係ノ方ガ、ソレハ
 困難ダカラ止メテ吳レナイカト仰シヤ
 ルカラ廢シタノデス、少クトモ昭和十
 五年度位マデノ財政計畫ト云フモノ、
 大體ヲ見ナイト細カクハ論ゼラレヌ譯

デス、ダガ昭和十二年度以後ニハマダ
 何ニモ決ツテ居ラヌ、モットノ決ツテ
 居ナイモノニ對シテモ財源ヲ取ツテオ
 キデニナル、其外ニ又六千萬圓以外ニ
 航空隊ノ財源モ保留シテ居ル、此位昭
 和十二年度以後マデ確實ニヤツテ居ル、
 所ガ昭和十一年以前ノ目先ノ——二年
 ヤ三年直グ來マス、此大切ナ第二補充
 計畫ノ財源ニ對シテ一厘モ取ツテ居ラ
 ス、ドウデアルカト云フト、ソレハ各
 國ノ形勢ヲ見テ、斯ウ云フ譯デソレカ
 ヲ決メルノダト云フコトデ、是デ吾々
 ヲ追拂ツテシマハウト云ツタツテ、ソレハ
 失禮ダガ常識ヲ持ツテ居ル者ハ承服ハ
 出來マセヌ、此位不確實ナコトハナイ、
 ソンナ不確實ナコトデアナタガガ安心
 シテオキデナサル御方トハ私ハ思ハ
 ス、アナタガ安心サレテモ海軍部内ガ
 安心シマセヌ、ソレデ宜イナラ是カラ
 ノ大藏大臣ハ樂デスガ、是ハ海軍デハ
 自己ノ職責カラ、我國ノ國防デ大切ナ
 事デアアルカラ、細カイ計畫マデハ定マ
 テ居ナイコトヲ假ニ認メマス、ソレハ
 是カラデ宜シウゴザイマスガ、大體ノ
 押ヘト云フモノガアツテ、ソレニ對スル
 財源ガ保留シテナクテハナラヌ、一厘
 ノ財源モ保留セヌデ、其時ノ政府ガド
 ウカシテ吳レルデアラウト云フガ如キ
 意味ヲ以テ、ソレデ是ダケノ事ヲ安心
 シテ居ラレルト云フコトガ私ニハ疑問

デアリマス、ソレデアナタハ財源ヲ保
 留シテ置クニ限ルト思フガ、財政上已
 ムヲ得ナイ、不確實カモ知ラヌガ、其
 時ノ政府ヲ頼ルヨリ外ナイカラ頼ツテ
 居ル、其時ノ内閣ガドウカスルト仰シ
 ヤレバソレデ答ニハナリマス、私ハ其
 アナタノ腹ノ底ノ心持ヲ聽キタイ、經
 緯ナドハ聽カヌデモ宜イ、何モ私ガ將
 來大藏省ヲヤラウト云フ意味デモ何デ
 モナイガ、此後代ツテ大藏省デアル人
 ニナツテ見タラドウデアリマス、是ガ確
 實デナケレバヤレナイ、ソンナモノヲ
 引受ケタラ大變デアリマス、是ハ質疑
 シテ置カナケレバナラヌ、將來斯ウ云
 フ風ニナルコトニナツテ居ルト云フコ
 トガ分レバ一番宜イ、白紙ナラ白紙、
 ソレカラ後ニ一文モ金ハ取ツテナイ、洵
 ニ不確實デアル、御前ノ言フ通り金ガ
 取ツテアレバソレニ越シタコトハナイ、
 アナタノ言フ通りダガ、財政上今日已
 ムヲ得ヌカラ漠然トシテ居ルカモ知レ
 スガ、後ヲ唯信賴シテ居ルト言ヘバソ
 レモ答デアル、ソレヲ伺ヒタイノデス
 ○安保國務大臣 御答致シマスガ、先
 程御答致シマシタノト私ノ申上ゲマス
 趣意ハ變ル所ハナイノデアリマスガ、
 今モ段々大口サンカラ斯ウ云フヤウナ
 答ガアレバ、ソレモ答ニハナルケレド
 モト云フ風ナコトヲ御示ニナリマシ
 タ、大體其意味ニ合ツテ居ル點モアル

ノデアリマスガ、要スルニ六年カラ十一年度ニ互リマシテ、其處ニ一ツノ計畫ト云フモノガアリ、ソレカラ海軍力ト云フモノヲ我帝國トシテドウシテモ持ッテ行クト云フコトデアアル以上、其處ニ財源ト云フモノガナケレバナラヌコトハ明カデアリマス、ソレガ即チ昭和十二年度以後ノ六千萬圓ト云フモノニナル譯デアアル、即チ今日艦ヲ造ルノカラ言ヘバ五千五百萬圓ト云フ艦ヲ造ルノト、其次ノ六千萬圓ト云フノト、竝ンデクツ附イテ行ッテ居ル、ソレヲ十一年度以前ニ於テ或所ニ被セテ、五年ナリ六年ナリニ互リ次ニ來ル計畫ヲ立テナケレバナラヌト云フコトニナルコトハ、今大口サンノ御話ノ通り必要ヲ認メテ居リマス次第デアリマスガ、茲ニ冠サル財源ヲ用意シテナクテドウシテ安心ガ行ケルカ、斯ウ云フノデアリマスケレドモ、ソレハ全體ヲ通ジテ是カラ六年ナリ何年ナリノ次ノ計畫ヲ立テマスニ付キマシテハ、先程モ申シマシタヤウニ、其時ニ於ケル内外ノ情勢ヲ考慮シマシテ、最モ適當トスル國防上又必要トスル一ツノ計畫ヲ立テテ行カナケレバナラヌト云フコトニナル譯デアリマス、其際ニソコニ若干ノ重ナリマスモノニ付テノ經費ヲ必要トスル、其經費ハ有ユル手段ヲ以テ方法ヲ講ジ得ルモノト私ハ確信シテ居ルノデアリマ

シテ、之ヲ今回取ッテナイノハ甚ダ不安心ダト云フ話デ、是ハ取ッテアルノニ越シタコトハ無論ナイノデアリマス、併ナガラ今日ノ情勢ニ於キマシテハ、マダ本當ノ具體的ノ計畫ガ立ッテ居ラナイノニ、ソコニ或ル財源ヲ用意スルト云フマデニハ及バナカッタ次第デアリマスカラ、先程申上ゲマシタ趣意ニ於テ私ハソレデ已ムヲ得ヌコトト信ジテ居リマス

○大口委員 實ハ是デ止メタイノデスケレドモ、ドウモ御答ノ中ニ疑問ヲ生ズルカラ、モウ一言言ハナケレバナリマセヌガ、其財源ヲ取ッテ置ク、取ッテ置カナイ、ドウデアアルカト云フ細カイコトニナレバ、其時ニドウカナルダラウトカ、ナラナイダラウトカ云フコトハ、是ハ大藏大臣ノ方ノ多ク所管ニナルデアリマセウカラ、其後ニ私ハ聞キタイト思フ、唯海軍大臣ニ承リタイノハ、現在ソレニ對スル財源ヲ取ッテ居ナイ、此位不確實ナコトハナイ、ソレデ能ク安心ガ出來ル、詰リ其時ノ内閣ガドウカシテ吳レルダラウト思ッテ居ルト云フナラバソレデ宜イノデス、所ガ其後ニ附加ヘテ、ソレダカラ十二年度カラ取ッテ云フヤウナコトヲ言ハレルカラ、私ハ又言ハナケレバナラヌコトニナル、十二年ナラモット不確實ニナル、モット不確實ナコトデサヘ取ッテ居ルノニ、モット不確實性ヲ要シナケレバナラヌ、十一年度前ニ一厘モナクテ、ソレデアナタガ安心シテ居ラレルト云フコトハ、ドウシテモ疑問ガ解ケヌコトニナル、ソレハ其通りデアアル、確實トハ思ハヌ、ソレハ先刻御話ノヤウニ財源ヲ取ッテ置クニ越シタコトハナイノデアアルガ、財政上大藏大臣ガ困ルト言フカラ已ムヲ得ヌ、ソレヲ信賴シテ居ルノダ、其時ノ政府ガドウカシテ吳レル積リダト仰シヤレバ、ソレハ先刻モ言フ通り、アナタニ對スル質問ハ濟ムノデアアル、ソレヲ何トカ理窟ヲ御付ケテナルガ、其理窟ガ洵ニ不確實デアアル、ソレナラバナセ十二年以後ニ取ッテ居ルカ、十二年以後ノ保留財源ガ十一年前ニドウシテ間ニ合フカト云フコトヲ聞キタクナル、ソレヲハッキリ御答願ヒマス

シテ、之ヲ今回取ッテナイノハ甚ダ不安心ダト云フ話デ、是ハ取ッテアルノニ越シタコトハ無論ナイノデアリマス、併ナガラ今日ノ情勢ニ於キマシテハ、マダ本當ノ具體的ノ計畫ガ立ッテ居ラナイノニ、ソコニ或ル財源ヲ用意スルト云フマデニハ及バナカッタ次第デアリマスカラ、先程申上ゲマシタ趣意ニ於テ私ハソレデ已ムヲ得ヌコトト信ジテ居リマス

シタヤウニ、總理大臣ノ施政演說ノ中ニモ、此度ノモノハ緊急ノモノヲ以テ先ヅ根幹ヲ備ヘルノダト云フコトガ言現ハサレテ居リマスシ、又總理大臣代理ヤ大藏大臣等カラモ一度ナラズ計畫ガ今立ッテ居ラヌカラダケレドモ、此計畫ガ立ッテ以上ハ何トカ萬難ヲ排シテ經費ハ繰合セテ付ケヤウト云フコトヲ言ッテ居ラレマス、サウ云フコトニ無論信賴ヲスルヨリ外ナイノデアリマス、私ハ之ニハ十分ノ信賴ヲ持ッテ居ルト申上ゲルヨリ外ナイ譯デアリマス

○大口委員 先ニサウ仰シヤレバ洵ニ明瞭ニナル、サウダラウト思フ、サウスルト海軍大臣ハ私共ガ非常ニ不確實ダト思フ點デ安心シテ居ラレルノダト云フコトニナッテ、其點ハ大藏ノ方ニ御伺シタイト思フ、海軍大臣ニ對シテハ今ノ御答デ分リマス、サウスルト大藏大臣ニ御質問スル前ニ、海軍省ノ方ニ承ッテ方ガ宜イト私ハ思ヒマスガ、一昨日來内田信也君ト海軍當局トノ質問應答ヲ承ッテ居リマス、海軍ノ繼續費ノ積算方法ト云フモノニ非常ニ疑問ヲ生ジテ參ッタノデアリマス、私ハ最初素人ダカラ、寧ロ内田君ノ質問ガ少々無理ナ質問デハナイカト思ッテ聽イテ居ッタ、ナゼデアアルカト云フト、海軍ニ於カレマシテハ斯ウシテ豫算ヲ吾々ニ御出シニナッテ、繼續費トシテ補助艦隊製

シテ、之ヲ今回取ッテナイノハ甚ダ不安心ダト云フ話デ、是ハ取ッテアルノニ越シタコトハ無論ナイノデアリマス、併ナガラ今日ノ情勢ニ於キマシテハ、マダ本當ノ具體的ノ計畫ガ立ッテ居ラナイノニ、ソコニ或ル財源ヲ用意スルト云フマデニハ及バナカッタ次第デアリマスカラ、先程申上ゲマシタ趣意ニ於テ私ハソレデ已ムヲ得ヌコトト信ジテ居リマス

シタヤウニ、總理大臣ノ施政演說ノ中ニモ、此度ノモノハ緊急ノモノヲ以テ先ヅ根幹ヲ備ヘルノダト云フコトガ言現ハサレテ居リマスシ、又總理大臣代理ヤ大藏大臣等カラモ一度ナラズ計畫ガ今立ッテ居ラヌカラダケレドモ、此計畫ガ立ッテ以上ハ何トカ萬難ヲ排シテ經費ハ繰合セテ付ケヤウト云フコトヲ言ッテ居ラレマス、サウ云フコトニ無論信賴ヲスルヨリ外ナイノデアリマス、私ハ之ニハ十分ノ信賴ヲ持ッテ居ルト申上ゲルヨリ外ナイ譯デアリマス

○大口委員 先ニサウ仰シヤレバ洵ニ明瞭ニナル、サウダラウト思フ、サウスルト海軍大臣ハ私共ガ非常ニ不確實ダト思フ點デ安心シテ居ラレルノダト云フコトニナッテ、其點ハ大藏ノ方ニ御伺シタイト思フ、海軍大臣ニ對シテハ今ノ御答デ分リマス、サウスルト大藏大臣ニ御質問スル前ニ、海軍省ノ方ニ承ッテ方ガ宜イト私ハ思ヒマスガ、一昨日來内田信也君ト海軍當局トノ質問應答ヲ承ッテ居リマス、海軍ノ繼續費ノ積算方法ト云フモノニ非常ニ疑問ヲ生ジテ參ッタノデアリマス、私ハ最初素人ダカラ、寧ロ内田君ノ質問ガ少々無理ナ質問デハナイカト思ッテ聽イテ居ッタ、ナゼデアアルカト云フト、海軍ニ於カレマシテハ斯ウシテ豫算ヲ吾々ニ御出シニナッテ、繼續費トシテ補助艦隊製

造費ト云フモノガ明カニナリ、其總計金額モスツカリ書イテ、御演説ニナッタト同ジ通りナ金額ガ出テ、年度割ノ數字ガ出テ居ルノデアリマスカラ、伺ハナクテモ巡洋艦ハ幾ラデアリ、驅逐艦ハ幾ラデアリ、潛水艦ハ幾ラデアリ、特務艦ハ幾ラデアルト云フコトハ年度割ガ明瞭ナノデ、細カイ何圓マデノ數字ガ出テ居ル、所ガ内田君ノ質問ニ依ッテ、之ガ出セルトカ出セストカ云フ御話デアルガ、サウスルトドウモ裏ノ裏ガアルモノデアッテ、玄人ハ違ッタモノデアルト思ッテ昨日私承ッタ、サウスルト吾々ニ御渡シニナッタ此豫算ト云フモノハマルデ架空的ナモノデアッテ、何等事實ニ即シ、豫定ガアルモノデハナイ、其處ガサッパリ私ニハ分ラナクナッタノデアリマス、此豫算ノ繼續費ノ組立ヲ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○安保國務大臣 申上ゲマスガ、此六年度カラ十一年度ニ互リマスマデノ總額、及ビソレニ必要ナ兵力ト云フモノガソレト分リマシテ、サウシテ斯ウ云フ年度ノモノヲ作ルコトヲ必要トスルト云フ、大體ノ既ニ兵力ガキマリマシテ、之ヲ此年度マデニ拵ヘ上ゲルト云フノデスカラ、其中ノ細カク年度ヲ割ッテ、是ダケノモノヲ造ッタラバ宜カラウト云フ大體ノ見當ガ付ケバ、豫算ヲ大藏省ト交渉シテ年度々々ノ費用ト

云フモノガ上リマシタ譯デアリマス、併ナガラ是ハ大體ノ見當ヲ付ケテ上ゲマシタニ過ギマセヌノデ、一昨日デシタカ昨日デシタカ、内田君ノ御質問ニ對シマシテ、吾々ノ方デ線表ト申シマシテ居リマス、所謂工程表、是ハ中々簡單ナモノデハナイノデアリマシテ、工業能力ノ維持デアリマストカ、兵力ヲ整ヘルト云フコトノ關係、ソレカラ私立造船所ノ方ト官ノ方ノ造船所、ソレ等ニ適當ニ割當テ、手ノ空カナイヤウニ都合好クソレヲヤッテ行カナケレバナラヌト云フノデ、線表ト云フモノニスツカリ六年度ノ間ノ造船ヲスルニ付テハ色々ノ點ヲ考慮シテ置カナケバナラヌノデアリマスカラ、之ヲ目下研究シツ、作リツ、アル所デアリマス、隨テソレガキマリマセンケレバ、ドノ年度ニ何ヲ著手シテ、其著手シタ年ハ八分ノ一ダケ經費ヲ支出スル、其次ニハ凡ソ何分ノ一ノ經費ヲ支出スルト云フコトヲ細カク割リマシテ、サウシテ茲ニ掲ゲマシタ經費ト必ズ辻褄ノ合フヤウニ一ツノ表ヲ作ッテ、ソレヲ實行シテ行ク、斯ウ云フコトニナリマス、其實行シテ行クベキ工程ノ非常ニ細カイ表ナルモノガ、マダスツカリ完備シテ居ル譯デハナイノデアリマスカラ、其内容ノ詳シイコトヲ、之ニドウ割ルト云フコトヲ假定シテ御話スルコトハ出

來ヌ、斯ウ云フ意味ニ申上ゲタノデアリマス、ソレカラ昨日内田サンカラモ段々御尋ガアリマシテ、假ニ祕密會デ説明シタモノト數字ヲ計算シテ見ルト大變違フデハナイカ、斯ウ云フ御話デアリマシタケレドモ、一ツハアノ祕密會デ申上ゲマシタノハ、ドノ年度ニドウ云フノガ竣工シ、サウシテドウ云フモノヲ廢棄スルト云フコトニナッテ、噸數ノ差ガ毎年ドウ云フ風ニナル、ソレガ維持費ト云フモノニドウ云フ風ニ關係ヲ及ボスカト云フコトヲ一ツ示シテ貫ハナケレバ、維持費ノ見當ガ付カヌ、斯ウ云フ維持費ノ見當ト云フ意味デ御示ヲ致シタノデアリマス、ソレヲ所謂民間ニ註文スルト云フコトデアリマスト、金ノ拂ヒ方ガズット工廠デ以テ一年度ヲ通ジテヤリマスノト、無論金ノ拂ヒ方等モ違フノデアリマスカラ、ソレ等ヲ適當ニ調節シテ茲ニ本當ノ所謂線表ナルモノヲ作ッテ、ソレヲ實行シテ行ク、斯ウ云フ次第デアリマス

○大口委員 サウスルト私ハ短ク承リマス、私ハ一體繼續費ノ豫算ト云フモノヲ作ルニハ細カイ線表ガ出來タリ、キチントシタモノガ出來ズトモ、大體ノ輪廓ト云フモノガ出來テ、根據ガ出來テサウシテ、私ハ此年度割ト云フモノガ出來ルモノダト今日只今マデ考ヘテ居ッタノデアリマスガ、全體海軍デ斯

ウ云フ豫算ヲ作ッテ年度割ヲ御作リニナルニハ、何ヲ根據トシテ數字ヲ御出シニナッタカ、此ノ計算ヲナスッタ根柢ハ毎年六年度、七年度、八年度ト、何圓ト云フコトマデ出テ居ルヤウデアリマスガ、斯ウ云フ豫算ヲ作ル根柢ハ何デアリマスカ

○安保國務大臣 ソレハ只今申上ゲマシタ大體ノ兵力量ガキマリ、隻數ガキマリマシタモノニ付テ豫算ヲ大體工廠デ割振レバドウナル、民間ニ割振レバドウナルト云フコトヲ大體ヲキメマシテ、大藏省ト折衝シテ、其折衝ニ付テハ金錢ノ上下ガアリマス、海軍ノ要望トスレドモ、ソレハサウハ參リマセテ相談ヲシマシタ上ニ、一ツノ之ヲ實行スル計畫トシテ茲ニ掲ゲテ御協賛ヲ經ルト云フコトニナッテ居リマス、倍テ之ヲ愈、實地ニ當筭メテヤルト云フコトニナリマスレバ、只今大體ノ見當ヲ付ケマシタコトガ實際ニ入ルノデアリマスカラ、之ヲ細カク割當テ、何年カラ著手シテ此支拂ハドウスル、此處ハ少シ金ガ多イカラドウスルト云フヤウナコトヲ細カイコトヲヤッテ、實施上此豫算ニ合フヤウニシテ、サウシテ海軍ノ要望スル兵力ヲ整備シテ行ク、斯ウ云フコトヲ進ンデ行ク譯デアリマス

○大口委員 サウスルト私是ハ財政計度マデノ總計金額ハ、必ズソレハキマツテ居リマス、ソレダケノ間ハ同ジデア

カ、大藏大臣ニ承リタイデスガ、大九年度、十年度、十一年度ト、各年度割

タカ、何カ根據ガナケレバナラヌノデト云フモノハ、最初カラ實行ハ出來ハシ

アリマス、概計表ヲ作ル上ニ他ノ繼續ナシ、實行出來ハシナイガ、唯大藏省

費ト比ベテ見テ、唯大藏省ガ縮括リヲハ縮括リヲ付ケル、海軍ノ方ハ又本當

付ケル爲ニ自由ニ年度割ヲ變ヘタモノノ計畫ヲ此中デ作ル積リデ、斯ウ云フ

デアルカ、何カ據リ處ガアツテ海軍ト協豫算ヲ作ツタモノトシカ思ヘナイガ、ド

定シテ、斯ウ云フ年度割ヲキメタト云ウデアリマス

○井上國務大臣 當初カラ實行ノ出來ナイヤウナ杜撰ナ計畫デアアリマセヌ

大藏大臣ニ伺ヒマス 一方ハ工業能力ノ維持、一方ハ海軍ノ

持ッテ參リマス、大藏省デハソレヲ自分ノ言フ所ニ讓ルガ、是レ以上ハ讓レナ

ノ持ッテ居ル財政計畫ト比較對照致シイ、此年度ハ是非是ダケノ金ガ要ル、

マシテ、サウシテ交渉ヲ致スノデアリ、此年度ハ是ダケ要ルト云フコトノ折衝

マスガ、併シ海軍カラ申シマス、或、此年度ハ是ダケ要ルト云フコトノ折衝

ラ、對外的ノ兵力ノ上カラ、是ダケハ、此年度ハ是ダケ要ルト云フコトノ折衝

是非拵エナクテハナラヌト云フヤウナ、此年度ハ是ダケ要ルト云フコトノ折衝

議論ガアルコトハ、夙ニ大口君ハ御承、此年度ハ是ダケ要ルト云フコトノ折衝

知ノコトデアアル、ソレヲ斟酌シテ、ソ、掛ッテ計畫ヲ立テルノデアリマスカラ、

レニ妨ゲナイ範圍デ財政計畫ニ當儀メ、私ノ立場カラ言ヘバ當然實行ノ出來ル

ルト此年度割ニ割ニナリマス、モノト考ヘテ居ルノデアリマス

○大口委員 サウスルト最初カラ實行ノ出來ナイ形式ノモノデアアル、最初カ

ラ實行ガ出來ナイト云フコトヲ認メラ、臣ノ答辯ハソレデ宜イデス、サウシマ

レテ居ルコトニナリマスガ、ドウデア、省ト折衝シテ、今度大藏大臣ガ言ハレ

リマスカ、分リ易ク言ヒマス、新計、タ通りデアルト、私ハ今線表ノコトナ

畫デ申シマス、昭和六年度カラ十一年、ドハ言ハナイガ、内部ガ確實ニナツテ是

デ行ケルト思ハナケレバ海軍ガ大藏省、ノ協定ニ應ズル譯ハナイ、ソレハホン

ノ大體ノコトデアアル、ソレダカラ線表、ヲ作ルコトニナルト、艦ノ一隻位ハ缺

ケテ、結末ハ同ジデアアルガ、年度割ハ、變ッテ來ルカモ知レヌ、内田君ノ御話ハ

分ラナイガ、私僅カデモ大藏省ニ居ッ、カラ、大藏大臣ガ答ヘラレル通りデナ

ケレバナラヌ、ソレデナケレバ大藏省、ニ出放題ノモノヲ提供シタト云フコト

ニナル、海軍ガ大藏省ノ交渉ニ應ジタ

時ニ於テ、此吾々ニ下サレタ通りノ年

度割デ行ケルト云フ本ガナケレバナラ

ヌ、ソレカラ内田君ノ質問ハ同僚デア

ルケレドモ意外ニ思ッテ聽イテ居ッタ、

アンナコトハ之ヲ出セバ分ルノダガ、

出セルトカ出セヌトカ仰シヤルノデ、

不思議ニ海軍ト云フモノハ中々秘密ガ

アルト私ハ思ッタ、是ト違フ譯ハナイ、

或ル場合ニハ數字ハ少シ位違ヒマセウ

ガ、大體ニ於テ出セルノ出セヌト云

フモノデハナイ筈ダト思フ、海軍ト云

フモノハ大藏省ト折衝スル時ニ、先ヅ

最初ノ年度割ガナケレバナラヌガ、大

藏省ノ方ハ大概ノ程度ニ折合ッテシマ

テ、吾々議員ニハ斯ウ云フ表ヲ出シテ

置イテ、ソレガ通過シタラソレカラ細

カク研究ヲシテ、色々又年度割ハ折合

セテ變ヘルト云フコトニナリマス、サ

ウ云フコトデハ財政計畫ハ立チマセ

ヌ、海軍ハソレデ宜イデセウガ、財政

計畫ハ立チマセヌ、ソレデ大藏大臣ヲ

捉ヘテ——捉ヘテト云フト失禮デス

ガ、大藏大臣ニ向ッテ財政計畫上ノ質問

ヲシタ所ガ、ソレデ話ガ合ッテ海軍ト

陸軍ガ片端カラ碎イテ行ッテハ本當ノ

計畫ハ立チハシナイ、ソコガオカシイ

デスガ、海軍ノ机ノ上ノ議論デナク、

本當ノ話ヲ聽キタイ

○安保國務大臣 大口サンハ私ノ御答

シタコトヲ少シ誤解ヲシテ、オイデノ

ヤウデアアル、茲ニ現ハレマシタ毎年度

ノ金額ヲ都合ノ好イヤウニ變ヘルトカ

何トカ云フ意味ニ申上ゲタノデハナ

イ、是ハ當然茲ニ現ハレタ通りヲ實行

シテ行ケルノデアリマス、昨日内田君

カラ御話ノアリマシタノハ、竣工ガ何

年ト云フコトニ付テ、維持費ノ關係カ

ラ御示シマシタノト、ソレカラ一方ニ

於テハ私ガ申上ゲルマデモナク斯ウ云

フ註文ヲスレバ、始カラ終ヒマデヅツ

引續イテ經費ガ萬遍ナク要ルト云フコ

トニナリマス、民間ニ註文スルト其拂

フ期日ガ毎月々々拂フト云フ意味デハ

ナク、竣工ノ月ニ依ッテ色々約束ノ上カ

ラ拂ッテ參リマスレバ、豫算面ニ現ハレ

マスコトハチャント艦艇ヲ整ヘテ行ク

ノデ、其「レート」ト合ハシテ色々變化ガ

起ルノデアリマスカラ、隨テ民間ニ註文

スルト云フ一ツノ重要ナル事項ヲ全ク

度外視シテ、假ニ海軍ノ工廠ヲ全部造ルトシタラ一體下ノ位毎年掛ルカ、斯ウ云フノヲ示シテ吳レンカ、ソレデモ宜イカラト云フコトデアリマスカラ、サウ云フコトモ出來ルカモ知レナイガ、一ツ研究シテ見ヤウト思ッテ研究シテ見マシタガ、ソレハ數字ノ出ヌコトモナイノデスガ、全ク民間ニ註文スルト云フコトヲ離レテ、始カラ終ヒマデ同ジ「レート」ニ費用ガ掛ルト云フ、工廠ノモノヲ取ッテヤルト云フノデハ意味ヲ爲シマセスカラ、提出ヲ控ヘマスト云ッテ止メタノデアッテ、是カラ全部ヲ造ルト云フノハ、民間ニ註文スルト……何トカ年限其他ノコトヲ細カクチャッテ、其數字ニ全ク合致スルヤウニ方法ヲ取ルト云フ意味デアリマシテ、決シテ此處ニ現ハレテ居ル年度數ニ何處ガ多イトカ少イトカ言ッテソレヲ入レ換ヘルトカ、間違ヘルト云フヤウナ意味ノコトヲ申シテ居ルノデハナイノデアリマスカラ、ソコヲ御諒承願ヒタイト思フ

テ此豫算表ニ出テ居ル繼續年度支出法ニアル譯ナンダカラ、大體ハ此通りダト海軍ガ數字ヲ出シテ、サウデヤナイ、多少ハ實行上違ッテ來ル、大體ハ斯ウダト言ッテ出サレ、バ其通りダカラ、是トコッチノ算盤ヲ合シテ見レバ幾ラカノ違ヒハアルデハナイカト、内田君ニ注意シタ、ソレダカラ内田君ハ昨日ソレニ言及シタ所ガ、アナタノ方デハ是ト合ヒマセヌト云フコトヲ政府委員モアナタモ御認ニナッテ居ルソレト是トハ合ヒマセヌ、是カラ線表ヲ作ッテ色々確實ナ計畫ヲ立テルノダト云フヤウナコトヲ仰シヤルカラ、海軍ノ計畫ト云フモノ、元ニ私ハ疑ヲ懷イタ、何故斯ウ云フコトヲ言フカト云フト、アナタヲ追窮致スノデハアリマセヌガ、毎年度ノ財源ガアルカナイカト云フコトヲ論及シテ見タイト思フ、ソレニハ海軍ノ新計畫ガ骨子ニナル、ソレガグラク動イテハ話ニナラヌカラ、ソレデ突止メル爲メ斯ル質問ヲスルノデアアル、アラ探シヤルノデヤナイ、ドッチデモキマレバ宜イ、是ト大キイ違ヒハナイノダ、幾ラカ違フノハ當然ダト云フ意味ニ御答ニナルカラ、昨日カラ問題ニナルト思フ、是カラ新シイモノヲ計畫シテ線表ト云フモノハ是カラ作ルノダ、マダ確實ニナラヌカラアノ一表ト二表ノ違ヒガ出ル、ソレカラ本當ノモノニ

ナッテ成タケ之ニ合ヘバ宜イノダト云フ意味ニ御答ニナッテ居ル、速記録ヲ持ッテ來テ居ルカラ之ヲ讀メバ直グ分リマスカラ、ソコニ違ヒガアルカスル氣持デナイカラ、サウギユウノハ私ハヤラヌガ、ソコニ違ヒガアルカラ私ノ睨ンダ所ヲ腹一杯ニ言ヘバ、大藏省ハ今ノ態度ニ出タニ相違ナイ、私ハ何時デモ大藏大臣ヲ攻撃スルガ、今ノ答ハ大藏大臣ノ答ガ宜イト思フ、大藏大臣ハ屹度川越君ナゾガ附イテ居ルカラ、アノ積リデヤッタニ相違ナイ、海軍ノ方デモ腹ノ中デハ困ルト御思ヒニナルケレドモ、大藏省ト能ク接衝シテ出來ヌケレバナラヌカラ、接衝シテ合シタモノダラウト思フ、實際トハ必ズ是ハ違ッテ居ルガ、兎ニ角數字ヲ合シタモノダラウト思フ、ソコノ内容ヲ知りタイガ、ソレヲ露骨ニ仰シヤイト言ッテモ、一寸面目ニ掛ル、威信ニ關スルカラ仰シヤイマスマイ、私ハ想像スル、ソコデ私ノ聞キタイ點ダケ確メテシマヒマス、ソレトハ多少ノ違ヒハアッテモ、吾々ニ御出シニナッテ居ル豫算ニ伴ッテ居ル繼續年度割ト云フモノガ、大ナル變更ヲシナイト云フ決心ガアルカドウカ、此處ヲ聞イテ見マセウ

ラモウ少シ私ノ申上ダタノガ能ク徹底シテ居リマセヌデスガ、昨日内田君ニ御話シマシテ、ソレハ其處ニ違ヒガアルト云フコトヲ認メルト申シマシタノハ、諄イヤウデアリマスケレドモ、民間ニ註文スルト云フ非常ニ重大ナ要素ヲ全ク除ケテ、民間ノ方ハ除ケテ、官ノ工廠ダケ造ルト假定シタナラバ、ドウカト云フ數字カラ御舉ゲニナッタモト云フ、是ト合ハヌコトガアルガドウカハ其處ニ相當喰ヒ違ヒガアルト云フコトヲ認メマスト、斯ウ言ッタノデ、ソコニ工廠ト云フモノダケデヤルト云フコトノ假定デハ、其處ニ誤解ガ起ルト云フコトヲ申シタノデアリマス、其事ヲ御諒承願ッテ置キマス

○大口委員 今モ申上ダマスマウニ、海軍大臣ノ面目トシテサウ仰シヤルデセウガ、サウ云フコトヲ言フト議論ガアリマス、併シ今ハ追窮セヌ積リダカラ、サウ仰シヤルモ宜シウゴザイマシガ、結局是ガ違ハナイモノダト云フコトヲ私ハ握レバ宜イ、サウナルト私ハ更ニ進ンデ巡洋艦、驅逐艦、特務艦ト一ツノ一舉ゲテ聞クト都合ガ好イガ、ソレデハ長クナリマスカラ、其一例トシテ巡洋艦ダケ承ッテ見タイ、此巡洋艦、是ガ私ノ方デハ材料ガ足ラヌカラ能ク分ラヌデスケレドモ、昭和六年度以降

ナ意思ハ少シモゴザイマセヌ、ソレカ

ノ追加額ト云フモノガ全體一億七百九十四萬三千二百八十三圓アリマス、是ハ主ナルモノデアリマス、海軍大臣デナクテモ政府委員デモ宜シウゴザイマスガ、私ハ此處ニ疑問ガアル、此追加額ト云フモノハ全部ガ新規計畫デハナクシテ、舊計畫ノ追加額モアル譯ダト思フ、ソレガ艦艇製造費、補助艦艇製造費ト云フモノ、全體ノ材料ヲ戴イテ居レバ、算盤ニ當ッテ見ルコトガ出來ルガ、驅逐艦、巡洋艦、潛水艦ト云フモノニ分ケタ材料ヲ戴イテ居リマセヌカラ承ルノデアリマスガ、此追加額ト云フモノ、全部ハ新規補充計畫デハナイ、舊計畫ニ對スル追加モアルノデアルカラ、巡洋艦ノ一億七百九十四萬三千二百八十三圓ノ中ニ舊計畫ノ追加ガアル譯デアアルカ、ソレハ幾ラアリマスカ、先ヅ其數字ヲ聞キタイ

○安保國務大臣 ソレハ無イ積リデアリマスルガ、詳シイコトハ政府委員カラ申上ゲサセマス

○加藤政府委員 此追加額ハ舊計畫ノ繰延ニナリマシタモノ、繰戻額デ追加セラレタモノト、補充計畫、今回ノ新規計畫ニ依リマス追加額トノ兩方カラ成立ッテ居リマス、隨テ六年度ニ於キマシテ例ヘバ巡洋艦ニ付キマシテハゴザイマセヌガ、驅逐艦ナドニ付キマシテハ舊計畫ノ分ヲ九隻造ルノデアリマス

カラ、サウ云フ風ニ兩方ハイッテ居ルノデアリマシテ、全體トシテハ舊計畫ノ繰延ニナリマシタモノ、六年度ニ於テ繰戻シタモノガハイッテ居ル、其影響ガ巡洋艦其他ノ方ニ及ンデ居リマス、巡洋艦ハ幾ラト云フコトハ表ガゴザイマセヌカラ分リマセヌガ、サウ云フ風ニ出來テ居リマス

○大口委員 私ハアラ探シヤルノデハナイ、財政計畫ノ元ヲ突止メタイト思ッテ、巡洋艦ヲ其一例トシテ承ルノデアアルガ、巡洋艦ノ追加額一億七百九十四萬三千二百八十三圓ノ中ニ舊計畫ノ追加額ハ今書類ヲ持ッテ居ラヌカラ分ラヌト仰シヤルノダガ、其處ガ大事ナ所デス

○加藤政府委員 ソレハ取調ベマシテカラ御返事致シマス、巡洋艦ノ分ニハイッテ居ルカ、驅逐艦ノ分ニハイッテ居ルカガ、此處ニ書類ガナイカラ明瞭デナイノデアリマス、是非巡洋艦ノ分ダケヲ明カニシタイト云フコトデアリマヌナラバ、能ク調べタ上デ申上ゲマヌガ、繰延ベタモノ、繰戻シガ繰延額ニハイッテ居ルノガアリマス、實行豫算ニ於テ繰延ベタモノガアリマス、昭和五年ノ實行豫算デアリマスカラ、一旦繰戻シテ更ニ六年度以降ノ追加ノ形ニ於テハイッテ居ルノガアル、ソレガ巡洋艦ニ影響シテ居ルカドウカト云フコトハ

今明瞭ニナッテ居リマセヌ

○大口委員 他ノモノデ調べテアレバ宜カッタガ、私ハ巡洋艦ノ例ニ擧ゲテ調べテ居ルノデアッテ、總額ナラバ分ルノデスカラ、質問スル必要ハナイノデスケレドモ、總額ダケデハ困ルカラ、巡洋艦ノ分ヲ分ラシテ戴キタイ、追加ノ形ニナッテハイッテ居ルモノガアルカナイカ、アルナラバ八百六十九萬六千二百八十三圓ハイッテ居リマセヌカト思フ、ドウシテモ八百六十九萬六千二百八十三圓ハイッテ居ラヌト理窟ガ合ハヌデス、是ハ總數デ行クト黙ッテ聞イテ居ル方ガ宜イケレドモ、早クヤル爲ニ私ノ數字ガ違ッテ居ルカモ分ラヌ、私材料ガ足ラヌカラソレヲ一ツ調べテ下サシマス、其御答辯ヲ承ッテ上デ此點ハ質問致シマス

○加藤政府委員 取調ベテ御返事致シマス

○大口委員 是ハ私ハ確實デアリマセヌカラ、違ッテ居ルカモ知レマセヌガ、餘リ大キナコトヲ言ッテ耻ヲ搔クカモ知レナイガ、私ガヤルトドウモサウ云フ算盤ニナル——其上デ之ヲ質問スルコトニ致シマス

潛水艦二隻ノ問題デアリマスガ、是ハ海軍大臣ニ於テ一應御取消ニナリマシテ、海軍ノ方ノ繰戻カラ言フト昭和六年度ニ於テハ新計畫ノ潛水艦三隻ヲ造ルト云フノデアッタガ段々内田君カラ明細書ニ依ッテ指摘サレテ、到頭御取消ニナッテ、二隻ト云フモノハ除クト云フコトニアリマスガ、サウスルト昭和七年度ニハイルベキモノデアラウト私ハ思フ、コ、ガ又色々財政計畫ヲ論ズル上ニ私ノ方カラ言フト重要ナ點ニナッテ來ルノデアリマスガ、或ハ海軍ニ於テハ相變ラズ此二隻ト云フモノハ民間ニ向ッテ御註文デモナサッテ——全體民間ニ註文スルノハ内田君カラ言ハレタ通り、或ル程度ノ前金ヲヤラナケレバナラヌガ、前金ヲヤラナクテモ引受ケル所ニ之ヲ請負ハシムレバ詰局民間ニ請負ハシテ、昭和六年度ニ於テ二隻ノ著手が出來ル、斯ウ云フコトヲ相變ラズ思ッテ居ラレル、ヤラレルデアラウト云フヤウナ大分世評ガアルノデアリマス、ソレハ私ノ方カラ言ヘバドッヂデモ宜イ、ドッヂデモ宜イ何等昭和六年度ニヤラレルノヲ惡イト云フノデハナイ、昭和七年度ニヤラレルノヲ宜イト云フノデハナイガ、年度割ヲ見ル上ニ於テ部屬ト云フモノガハッキリキマラヌト、私ノ方デ算盤ガ出來ヌデ困ル、ソコデ私ノ承リタイノハ、假ニ昭和七

年度ノ豫算ニナイ艦ヲ海軍省ガ民間ニ請負ハセルトシテ、手金ヲ一文モヤラズニ契約ヲスルト云フ場合ハ、假令繼續費デアツテモ特殊ノ年度ノ議決ガナイカラ、私ハヤハリ是ハ豫算外國庫ノ負擔ニ依ル契約ニ依ルノ件デ、議會ノ議決ヲ經テ居ル範圍デナイトヤレナイヤウニ思フガ、果シテ是ハ今ノ政府ハドウ解釋シテ居ルカト云フコトガイツ、ソレカラモウ一ツハ、サウ云フ場合ハ契約ヲシタ時ノ年度ニ依ッテ支拂フカ、竣工シタ時ノ年度ニ依ッテ支拂フカ、ソレハ支拂期日ノ契約ヲシタ、其契約ニ依ル支拂期日ノ年度ニ依ルカ、ソレハ會計法規カラ見ルト本當ラシク見ヘルガ、ソレヲドウ見テ居ルカ、此事ヲ確メテ置カナケレバ年度割ノ算盤ガ出來マセスカラ、多分大藏省ガ御答ニナルデセウガ、御答ヲ願ヒタイ

○井上國務大臣 今只ノ潛水艦ノ何隻ト云フコトニ付テハ、イヅレ海軍大臣カラ御答ニナリマセウガ、今ノ大藏省ノ取扱方ヲ政府委員カラ、今ノ事柄ヲ説明致サセマス

○川越政府委員 海軍省ノ今ノ潛水艦二隻ヲドウスルカト云フ事實ノ問題ヲ離レテ、知リマセスカラ論ジマセヌガ、其問題ヲ離レマシテ、唯會計法ノ法律論トシテ繼續費ノ將來ノ年度ニ繼續費ノ豫算ガ成立シテ居ッタモノ、契約ヲ、

前ノ年度デ著手シ得ルヤ否ヤト云フ問題ト考ヘマシテ、其法律論ダケ私ガ申上ゲマス、御承知ノ通り豫算外契約ノ場合ニハサウ云フ場合ガ澤山アリマシテ、是ハ問題デアリマセヌ、繼續費ハ會計法ノ理論ト致シマシテハ、數年間ニ互リマシテ豫算ガ成立スルノデアリマス、初年度ハ幾ラ、二年度ハ幾ラ、三年度ハ幾ラト豫算ガ成立致シマス、サウ致シマスルト、其翌年度ノ豫算ト云フモノガ今既ニ成立シテ居リマシカラ、其點カラ言ヒマスト翌年度ノ豫算外契約ヲ本年度爲シ得ルト同ジニヤウニ、來年度ニ於テ成立シタ豫算ヲ基礎ニシマシテ其豫算ヲ使フト云フコトノ契約ヲ今致シマス、サウ致シマス、全ク拂フノハ勿論豫算ニアルモノデナケレバ金ヲ拂ヒマセスカラ、翌年度ニ於テ金ヲ拂ヒマス、例ヘバ請負ニ致シマスル場合ニハ、請負業者ト契約ヲスル人トノ間ニ契約ヲシテ、此艦ハ來年竣工スル、サウシテ金ヲ來年拂フト云フコトデアリマシテ、著手ハ本年カラ著手スルト云フコトハ繼續ノ豫算ガ成立シテ居レバ、其豫算ノ範圍内ニ於テナラバ出來ルト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○大口委員 幸ニ良イ御答ヲ得タガ、ソコデ疑問ガ一ツアリマスカラ、モウ一ツ疑問ヲ解イテ戴キタイ、是ハ現在ヲ

言ヘバ大藏大臣ニ聞クベキ所デスケレドモ、昔ノ御師匠サンノ川越君カラデ結構デス、ソコガ非常ニ私今疑問ヲ學生トシテ持ッテ居ル、何故デアルカト云フト、最初川越君ノ御答ノ通りニ私モ思ッテ居ッタ、繼續費ト云フモノガソレナ永イ間ノ繼續年期ト云フモノガ、全體ガ貴衆兩院ノ議ヲ經テ居ルモノデアルカラ、アナタノ御説ノ通りデ宜イト思ッテ居ッタ、所ガサウ云フコト、云フモノハ餘リニ放漫ナコトデアツテ、キマリガ付カヌ、斯ウ考ヘタノデ、段々私モ研究シテ見タ所ガ、果セル哉我國ニ於テハ三度シカナイト思ヒマス、繼續費ノ年限ヲ悉クヲ以テ一會計年度トシタト云フコトハ、例ヘバ日清戰爭ノ時、廣島ノ臨時議會ニ於テ議決ニナッタ、丁度此間切抜イテ持ッテ居マシタケレドモ、今日ハ持ッテ居リマセヌガ、アノ時一億圓ト云フ臨時費ヲ議決スル時ニ、繼續年期ヲ何年カキメテ、特ニ議決シテ居リマス、此繼續年期間ヲ以テ一會計年度トスト云フ議決ニナツテ居ル、ソレダカラ、アレハ一會計年度ニナツテ居ル、ソレカラ又例ノ西伯利出兵ノ時ノ軍事費ト云フモノガ其通りノ議決ニナツテ居ッテ、繼續年期ガキマツテ、支出方法ガキマツテ居ッテ、サウシテ特別ニス、曆年ヲ以テ會計年度トスルト云フ會計年度トスト云フ、特別ノ議決ニナツ

テ居ル、唯日露戰爭ノ時ノガヤハリサウ云フ繼續年期ヲ一會計年度ト見テ決議ヲシテ居ルニモ拘ラズ、ドウモ其議決ガ今日マデ見當ラヌデス、是ハ私白狀シマス、ソレデ是ハ餘程繼續費ト云フモノニハ問題ガアツテ、繼續費ト云フモノガ繼續年期ト云フモノヲキメテ、支出方法ヲ貴衆兩院デキメタカラト云フテ、大體ヲキメタケデモ、ヤハリ年度ト云フモノハ其一年度ダケガ一會計年度デアツテ、來年ノ豫算ニ計上シテ行カレテ、其豫算ガ通過シテ、初メテソコニ成立ツモノデアツテ、決シテ一會計年度ヲズット通ッテ、自由ニ爲シ得ベキモノニアラズト云フコトハ、私ハ疑ハナイト思フ、今アナタノ仰シヤッタコトカラ考ヘルト、ドウモサウデナク見エド、コ、ガドウモ今ノ政府委員ト私ノ解釋ガ違ッテ居ルト思フノデアルカラ、此際之ヲ確メテ置キタイト思フ

○川越政府委員 只今ノ御話ハ會計年度ノ御話ヲナスッタヤウニ承ッタノデアリマス、是ハ御話ノ如ク軍事費ニ付キマシテ、日清、日露並ニ西伯利出兵、此三回前例ガアリマス、是ハ法律ニ依リマシテ、事件ノ發生ノ時カラ事件ノ終了ノ時マデ、一ツノ會計年度トスルト云フ、サウ云フ會計年度ニナツテ居リマス、曆年ヲ以テ會計年度トスルト云フコトガ普通ノ會計法ノ原則デアリマス

ケレドモ、戦争ノヤウナ長ク續ク場合ニ於キマシテハ、曆年ニ依ラズシテ、事件ノ發生ノ時カラ事件ノ終了ノ時マデヲ一ツノ會計年度トスルト云フコトニナリマスカラ、戦争トカ、西伯利出兵ノ時ニハ、七八年ノ長イ間、一ツノ會計年度トスルコトニナツタ例ハ、是ハ先例トシテ三回程アリマス、是ハ繼續費ノ觀念トハ別ナ話デアアル、戦争ヲスル費用デアリマシテ、是ハ繼續費デモ何デモナイ、普通ノ豫算デアアル、臨時軍事費ト云フ豫算デアリマスカラ、是ハ繼續費ニナツテ居ラナイノデ、詰リ十年間年度ガ延ビタト御考ニナツテ宜シイ、是ハ繼續費ノ觀念ト云フモノトハ全ク違フノデアツテ、普通ノモノデハ四月カラ翌年ノ三月マデノ一箇年ヲ以テ會計年度ト致シマシテ、其會計年度ハ繼續費デアツテモヤハリ一ツノ會計年度デアアル、例ヘバ一十箇年ノ繼續費トスル、詰リ十箇年ノ會計年度、其十箇年ノ會計年度ヲ通ジテ、豫メ議會ノ協賛ヲ得テ置ク、豫算ハ一箇年ダケノ豫算デアリマスカラ、昭和六年度ノ豫算ヲ出シタ場合ニハ、昭和六年度ノ豫算ダケシカ議會ノ協賛ヲ經ナイノデアリマスケレドモ、繼續費デアリマス、例ヘバ五箇年ノ繼續費トスレバ昭和六年度、七年度、

八年度、九年度、十年度、此五箇年度ノ協賛ヲ議會ニ於テ前以テ得テ置ク、サウスルト昭和六年度ノ豫算ハ成立シテ居ルガ、七年度、八年度、九年度、十年度モ同時ニ成立スル、ソコデ今度ハ契約ヲシマス、是ハ建築ノコトデ説明ヲ申上ゲルト最モ明瞭ダト思ヒマスガ、三年間ニ三百萬圓デ大藏省ヲ建テルト云フ豫算ガアリマス、サウシマストソレハ繼續費トシテ出シマシテ、初年度ガ百萬圓、二年目ガ百萬圓、三年目ガ百萬圓、斯ウ云フ見積豫算ヲ出シマス、其儘其豫算ガ成立シマス、其場合大藏省ガ契約ヲ致シマス時ニ、初年度ハ百萬圓拂フ、二年目ニハ百萬圓拂フ、三年目ニハ百萬圓拂フト云フ契約ヲ致シマス、サウシテ其工事ニ著手致シマス、詰リ昭和六年度ニ於テハ百萬圓拂フ、七年度ニ於テハ百萬圓拂フ、八年度ニ於テハ百萬圓拂フト、初年度ニ於テ三箇年分ノ契約ヲ爲シテ置クノデアリマス、即チ七年度ノ繼續費豫算、八年度ノ繼續費豫算ト云フモノヲ使フソレダケノ金ヲ拂ヒ、サウシテソレダケノ工事ヲスルト云フ契約ヲ昭和六年度ニ於テヤルノデアリマス、詰リ將來繼續シテ年度制支出ヲスルト云フ契約ヲ前以テ、十年前トカ二十年前トカニスル、斯ウ云フ事ガ善イカ悪イカカハ別問題デアリマスガ、理論ヲ上カ

ラハ許サレテ居リマス、但シ大藏財務當局ノ立場ト致シマシテハ、サウ云フ契約ヲ無暗ニヤラレテハ、將來ノ財政計畫ヲスルノニ非常ニ不都合ヲ生ジマスカラ、ソレハ政策ノ上カラ成ダケヤツテ貰フコトヲ希望ハ致シマセス、希望ハ致シマセスガ、純理論ト致シマシテハ、サウ云フコトガ法律的ニ可能ナリヤ不可能ナリヤト云フ議論デアレバ、私共ハ可能ナリト云フ答辯ヲセザルヲ得ナイノデアリマス

○大口委員 折角先生ノ御講釋デスガ、私共ノ知り切テ居ルコトモ言ハレテ居ルガ、ソレハ知ツテ居ルノデス、ソレ以上ニ疑問ガアル、實ハ今ノ御答デ私ガ最も不服ナノハ、臨時軍事費ハ繼續費ニ非ズト云フコトハ直チニ承服致シマセス、是ハ折ヲ見テ私ハ色々議論ヲ立テ見タイト思ヒマスガ、政府ノ今持ツテ居ル學理ト、政治上カラヤラレテハ困ルト云フ御話ト、ソレカラ理論デハ宜イト云フコトヲ分ケテノ御話デ、政府ノ恩召ノアル所ハ分リマシタ、實ハ川越君ハ一政府委員デアリマスガ、實是ハ大藏大臣ニ問フマデモナク、策源地デサウ云フコトノ本家デアアルカラ、大藏大臣モ認メラレルデアラウト思ヒマス、政府ノ御解釋トシテ只今承シタコトニハ私ハ大分異論ヲ持ツテ居リマスガ、ソナナ横道ヘ這入ツテハ大變デ

アリマスカラ、御教授ダケ承ツテ、不服ノ點ガアルト云フコトヲ私ハ申シテ置キマス、ソレデ私ノ大藏大臣ニ對スル質問ハ大分アルノデ、是カラ大藏大臣ニ對スル質問ガ始マルノデアリマスガ、海軍ニ關スルコトハ只今ノ數字ガ分リマシタラモウ少シ承リタイガ、大臣ハ此處ラデ私ハ宜シカラウト存ジマス、他ニ質問者ガナケレバ、御用モ御在リニナリマセウカラ、洵ニ海軍大臣有難ウゴザイマシタ、所デドウデセウ、是ハ委員長ノ御指圖ヲ受ケマスガ、他ノ方ノ大藏大臣ニ對スル質問中デスガ、續ケテヤツテ宜シウゴザイマスカ

○本田委員長 海軍ノ方ノ數字ガ分ツタサウデス

○加藤政府委員 巡洋艦ノ數字ノ御尋デアリマシタガ、六年度ノ追加額、此豫算ニ現ハレテ居リマス八百三十二萬千六百八十七圓ノ中ニ、舊計畫ノ分ガ五百九十七萬五千九百九十圓入ツテ居リマス、ソレカラ七年度ハ追加額千四百九十五萬二千二十一圓ノ中、舊計畫ノ分ガ四百九十四萬四千二百二十五圓合ンデ居リマス、兩方合セマス、千九十一萬九千四百十五圓デアリマス

○大口委員 私ハ八百六十萬圓バカリ積ツタノデスガ、私ノ計算ト少シ違ヒマスガ、サウスルト巡洋艦デ新設サル、モノハ昭和六年度カラ昭和七年度マデ

ニ總計三萬四千噸ト承ッテ居リマスガ
違ヒマスカ、新規計畫ハ……

○加藤政府委員 其通りデアリマス

○大口委員 サウスルト一昨日カ昨日
御示ニナッタ單價ヲソレニ掛ケマス、
九千九百三十四萬七千圓トナリマス
ガ、是ハ違ヒマスカ

○加藤政府委員 單價ヲ巡洋艦四隻ニ
掛ケマス、九千九百三十三萬五千八
百圓ニナリマス

○大口委員 一寸一萬圓バカリ私ト算
盤ガ違ヒマスガ、私ハ一噸當リヲ二千
九百二十二圓ト見タノデス、サウ御説
明ニナッタト思ヒマス、ソレヲ掛ケルト

私ノ言フヤウニナリマス、九千九百三
十四萬七千圓トナルデアリマス、一
萬圓バカリ違ッテモ大數ニ關係ハアリ
マセヌネ、アナタノ方ガ正シケレバモ
ウ一度承リタイノデアルガ、一萬圓位
ノ違ヒハ、私ノガ違ッテ居テモ、ソッチガ

違ッテ居ッテモ宜シイ、今ノ御話ノ千九
十一萬九千四百十五圓ヲ加ヘマス、
此總數ヨリハ金額ガ殖エルガ、ソレハ
何處カラ出タノデスカ、サウ云フ違ヒ
ガ方々ニ在ル、内田君ノ方カラ言ハレ
ナクテモ、私ノ財政ノ方カラ言ッテモ

サウ違ヒガ出ル、ソレデ海軍ノ表ニ疑
問ヲ持ツノデアル、一億七百九十四萬
三千二百八十三圓ニナリマセヌ

○加藤政府委員 只今ノハ全體ノ巡洋

艦ノ數字ノ外ニ奏任俸給、判任俸給、
若クハ監督諸費、ソレモ含ンデノ御計
算デアリマスカ

○大口委員 イヤ別デス、茲ニ巡洋艦
ト書イテ、巡洋艦バカリノ所ガアリマ
ス、此本ノ二十一頁ニ艦艇製造費ト云
フモノガアリマス、ソレニ補助艦艇製
造費ト書イテ内譯ガ出來テ居ッテ、奏任

俸給、判任俸給、監督諸費、保管、運搬
費ハ別デ、巡洋艦ト云フ目ガアッテ純粹
ノ巡洋艦ト云フ目、是ハ巡洋艦ダケダ
ト思フ、サウシテ此追加額ト云フモノ

ガ一億七百九十四萬三千二百八十三圓
トナッテ居ッテ、其中カラ三萬四千噸ノ
新規計畫ノ巡洋艦ヲ、九千九百三十三
萬幾ラト仰シヤイマシタガ、ソレヲ引

キマス、一千九十一萬圓トナラナイ
ト思フ、八百六十萬圓近邊ダト思フ、
算盤ガ合ヒハシマセヌ、サウ云フコ
トガ起ルカラ、斯ウ云フ海軍ノ表ニ

大藏省ノ川越君ガ居ッテドウシテ同意
シタカ分ラヌガ、サッパリ合ハヌデス
ネ

○川越政府委員 甚ダ僭越デアリマス
ガ、私カラ御答申上ゲマス、昨日海軍
大臣カラ御話ガアリマシタ巡洋艦一噸

當リノ單價二千九百二十一圓ト申上ゲ
マシタノハ、先程海軍ノ經理局長カラ
申上ゲマシタ工事費モ、監督費モ、其

他ノ俸給モ、軍艦製造ニ從事スル役人

ノ給料トカ、其他事務費ト云フヤウナ
モノヲ皆括メテ二千九百二十一圓ト云
フコトニナリマス、ソレニアナタガ三
萬四千噸ヲ掛ケルト、御持チニナル表

ノ外ニ監督費、奏任俸給、判任俸給ト
云フモノガ若干加ハル、アナタノ算盤
ノ違ヒノ數字ハ其監督諸費ノ方ガ入ッ
テ居ルモノ、斯ウ云フ風ニ御承知ヲ願
ヒマス

○大口委員 ソレデ大體分ッタ、サウス
ルト一噸當リト云フモノ、中ニハ奏任
官俸給ダトカ、監督諸費、判任官俸給、
保管、運搬費マデ含メテ居ル譯デアリマ
スカ

○川越政府委員 左様デアリマス
○大口委員 ソレデ吾々カラ見ルト一
噸當リト云フモノト内容トノ比較ノ仕様

ガ一寸ナイデスナ、モウ少シ根據ヲ示シ
テ貫ハヌト困ル、此巡洋艦ト云フモノガ
斯ウ云フ風ニシテ出テ來タト云フコト

ヲ見ヤウト云フニハ、監督費ダノ役人
ノ給料ト云フモノガドウ現ハレテ居ル
カト云フ根據ヲ示シテ貫ヒタイ、サウ

シナケレバ分リハシマセヌ
○川越政府委員 只今デハ時間ガ掛リ
マスカラ、後程デモ表ニシテ宜シウゴ
ザイマセウカ

○大口委員 明朝デ宜シウゴザイマ
ス、私ハ是デ一時海軍ニ對スル分ハ了
リマス、表ヲ拜見シテ又質問ガアルカ

モ知レマセヌ

○本田委員長 岡田君ニ御相談致シマ
スガ、今内務大臣ガ御出ニナルト云フ
コトデスガ、此際アナタノ質問ニ移リ
マスカ——ソレデハ内務大臣ニ御出ヲ
願フコトニ致シマス

○岡田委員 此際此間御尋シタ人絹ノ
相場ニ付テ御答辯ヲ願ヒタイ

○吉野政府委員 此間ノ御尋ニ御答致
シマス、人絹ノ相場デゴザイマスガ、
岡田サンガ御引ニナッタノハ二百六十
「デニール」ノ人絹ノヤウニ拜聽シマシ
タガ、人絹ノ普通ノ相場ヲ出シマスニ

ハ百二十「デニール」ノ人絹ヲ採ッテ居
リマス、百二十「デニール」ノヲ、或日
ヲ取ッタノデハハッキリセヌカラ、去年

ノ一月カラ十二月マデノモノヲ月ノ平
均ニシテ見マシタ

「委員長退席、西脇理事著席」
サウスルト人絹ノ百二十「デニール」
ノ市場價格ガ百封度ニ付テ一番高イノ

ハ去年ノ四月百九十五圓、一番安イノ
ハ七月ノ百十七圓デアリマス、而シテ、
是人絹ニ交織スル綿絲トノ比較、斯

ウ云フ御話デゴザイマシテ、人絹ニモ
色々ナ番手ノ綿絲ヲ用ヒマスケレド
モ、元々御承知ノ通り絹ニ見セヤウト

云フノデスカラ、太イノハゴザイマセ
ヌガ、大體先ヅ平均致シマシテ綿絲ハ
四十番手位ノ物ガ人絹ト比較スルト交

織スルニ相應シト見マシテ、綿絲ノ四十番手ノ百封度ニ直シタ値段ヲ去年ノ一月カラ十二月マデ比較致シマスト、一番高イノハ一月ノ六十八圓ゴザイマス、一番安イノハ八月ノ五十一圓ゴザイマス、要スルニ去年ノ平均ヲ取りマス、人絹相場ヨリ綿絲ノ四十番手ノ方が低イ、序デゴザイマスケ、レドモ人絹ノ一番良イハ八十「デニール」ト云フモノト、瓦斯絲ノ中ノ一番良イハ百二十番手ト云フモノヲ比較スルト、殆ド同ジヤウナ値段ニナッテ、日ニ依ッテ御示ノ通り綿絲ノ方が高イト云フコトモアルノデアリマス

○岡田委員 私ハ今ノ説明デ大體分リ

マシタガ、要スルニ人絹ノ相場ト綿絲ノ相場ト生絲相場ト三ツ集メテ見ルト云フト、寧ロ人絹ハ綿絲ニ近イモノデアルト云フコトガハッキリ分ルダラウト思ヒマス、而モ人絹ト云フモノ、値段ハ段々競争其他技術ノ進歩ノ結果下ッテ居ル譯デアルカラ、追々是ハ將ニ綿絲ト同等若クハソレ以下ニナルデアラウト私ハ思フ、サウ致シマス云フト、我日本帝國政府トシテハ、ドウシテモ之ニ向ッテ大ナル獎勵ヲ加ヘラレテ、綿絲同様ノ扱ニシテ、而モ是ハ南洋印度其他ノ方面ニ向ッテハ殆ド八九千萬圓以上ノ輸出ガ今日アルノデアリマス、其中我國ノ輸出ガ殆ドナイト云

フ狀況デアル、サウスレバ今日獎勵サレテ居ル交織、之ヲ獎勵スルヤウナ方策ヲ執ラレマシテ、一ハ以テ内地ノ消費ヲ獎メ、之ニ依ッテ海外ノ發展ニ資スルト云フコトハ、今日ノ急務デアルト思ヒマス、此點ガ用意ノナイノヲ遺憾トスル、一層將來ハ此意味ニ於テ大藏當局ヲ鞭撻セラレテ、此機會若クハ他ノ機會ニ於テモ此趣旨ヲ貫徹セラレンコトヲ希望シテ置キマス

○岡田委員 第一ニ此義務教育費ノ一千萬圓ヲ配

當ニ依ッテ各地方ノ減稅並ニ課率ノ減ト云フモノガ如何ホドアルト云フコトヲ聞イタノデアアル、是ハ申スマデモナク政府ノ聲明ニ依ッテ、各地方ノ負擔ヲ減ズルト云フ趣旨デアッタ、ソコ段々詳シク伺ヒマス、段々色々ノ材料モ出テ居リマスガ、私ハ此材料ヲ非常ニ疑ッテ見テ居ッタノデアアル、所ガ一層其疑ヲ深クスルノデアリマスガ、即チ此「義務教育費國庫負擔金増額ニ依ル各都市減稅種目別金額並ニ課稅輕減調」ト云フ此表ニ依ッテ盛岡ノ例ヲ伺ッタノデアリマス、所ガ此三角ノ印ハ元金デアルト云フコトデアッタ、ソレナラバ元

金ハナンボアルト聞イテモ分ラヌト云フコトデアアル、甚ダ是ハ根據ノナイ答辯デアリマスガ、元金ハナンボデアリマスカ、ソレヲ先ニ聽キタイノデアリマス

○岡田政府委員 盛岡市ハ昭和五年度

ノ當初豫算ノ金額ガ四萬二千圓デアリマシテ、ソレガ今回義務教育費一千萬圓増額ニナリマシタ場合ニ於ケル標準ヲ基礎ト致シマシテ見込額ヲ立テマシタ所ガ、ソレガ四萬一千二百四十四圓ニナルト、斯ウ云フ計算ニナリマシテ、其結果トシテ此三角ノ千百三十六圓ト云フ數字ガ出タ譯デアリマス

ハ前年度トノ比較ヲ此處ニ計上シタ譯デアリマス、事柄ノ性質上已ムヲ得ナカッタ譯デアリマシテ、御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○岡田委員 デスカラ元金ヲ仰シヤッ

テ下サイ、義務教育費ノ増額ノ爲ニ幾ラ盛岡ニ配當サレテ、其爲ニ幾ラ減ニナッテ居ルカト云フコトヲ簡單ニ仰シヤッテ下サレバ宜イノデアリマス、盛岡ニ義務教育費ヲ幾ラ増サレタカ、増サレタコトニ依ッテ戸數割ハ減ゼラレテ居ルノデアアルカラ、元金ハナンボ増シタノデアアッテ、其爲ニ四十七錢八厘ノ減額ヲナシタノデセウ

○岡田政府委員 ソレハ前年度トノ比

較ヲ申上ゲタラ其點ガハッキリスルダラウト思ヒマス、昭和四年度ニ於キマシテハ三萬六千六百圓ノ豫算デアリマシタ、義務教育費國庫負擔金ノ増額ガ盛岡市ニ付キマシテハ三萬六千六百圓デアリマシタ、ソレガ五年度ニ於キマシテハ——是ハ此市バカリデハアリマセス、多少サウ云フ町村ガアリマシタノデアリマスガ、ソレガ一千萬圓増額ニナルト云フコトヲ當初豫算ニ於テ早クモ見込デ計上シタモノガボツ、アッタノデアリマス、其結果トシテ四萬二千圓ヲ五年度ノ當初豫算ニ計上シタノデアリマス、サウスルト此差ガ五千四百圓バカリニナリマス、ソレダケガ

盛岡市ニ於キマシテハ本年度増額ニナ
ルト見込ミマシテ増額計上シタ分デア
リマス

○岡田委員 サウスルト詰リ、斯ウ云
フ事デスカ、五千四百圓ノ増ガアッタ、
ソレガ爲ニ盛岡市ニ於テハ下ニアル所
ノ四十七錢八厘ト云フ減ガ出タト、斯
ウ仰シヤルノデアリマスカー——モウ一
遍申シマセウカ、詰リ増額ノ結果戸數
割ガ幾ラ減ジタカト云フコトヲ聞イテ
居ルノデアリマスガ、此五千四百圓ノ
増額ノ結果此下ニアル四十七錢八厘ト
云フモノガ出タノデアリマスカ

○岡田政府委員 五千四百圓増額致シ
マシタ事ガ少シ増額シ過ギタ關係ニナ
リマシテ、千三百三十六圓其中カラ戻
サナケレバナラス、ソレヲ差引致シマ
シタ四千三百六十四圓ト云フモノガ減
税ニナリマス

○岡田委員 四千三百六十四圓ト云フ
モノト盛岡市ノ戸數ト云フモノヲ對照
シテ、四十七錢八厘ノ減ニナッタノデア
リマスカ

○岡田政府委員 ソレハ只今申上ゲマ
シタヤウニ、當初豫算ノ減税デアリマ
スカラ、義務教育費國庫負擔増額ニ依
ル分ダケデナイノデアリマスカラ、其
二ツノ關係ヲ區別スルコトガ出來マセ
ヌノデ、是ハ當初豫算ニ於キマシテ前
年度トノ課率ノ比較ヲ此處ニ書キマシ

○岡田委員 サウ云フ譯デアリマシ
テ、皆サン御聽キノ通りデアリマス、
マルデ内務省ノ統計ト云フモノハ無茶
デアル、私ハ義務教育費ノ増額ニナッテ
居ルト云フコトヲ度々聽イテ居ル、ソ
レヲ此通りニ書イテ一般新聞ニモ出シ
テ聲明サレテ居ルデハナイカ、ソレヲ
今聞ケバサウデナイト言フ、左様ナコ
トハマルデ統計ノ基礎ヲ破壊スルモノ
デハアリマセヌカ、斯様ナ數字ヲ出シ
テ、他ノ場合ニモアッタガ、サウシテ天
下ヲ欺瞞スルト云フコトハ、甚ダ私ハ
心得ヌコト、思フノデアアル、ソレ故ニ
私ハ此前カラ頻ニ聞イテ居ルノデアアル、
モットシカリシタ答辯ヲシナケレバ駄
目デハナイカ、私ハモウ政府委員ニハ
聞キマセヌ、内務大臣ニ御尋致スノデ
アル

○岡田政府委員 此課率ノ點ハ先日モ
申上ゲマシタヤウニ、後デ減税シマシ
タ分ハ茲ニ報告ガアリマシタリナンカ
シテ、ソレカラ拾ヒ出シタノデアリマ
スカラ、當初豫算ノ分ニ付キマシテハ
少シ事情ガ違ッテ居ルノデアリマシテ、
ソレヲ區別シテ申上ゲルコトハ甚ダ困
難ナノデアリマス

○岡田委員 成程其他ノ部分ト云フモ
ノハアナタノ方ノ出サレタ材料デア
ルカラ、私ハ之ヲ「チエッコ」スル方法ハ

ナイ、私ハ今機關ヲ持ッテ居ラナイケレ
ドモ、此當初豫算ト云フモノハ、私ハ
我黨ノ政務調査會ノ人ニ言ウテ調べテ
貰ッタノデアリマス、皆是ハ違ッテ居ル、
諸君、聽イテ下サイ、例ヘバ此處ニアル
八戸、山口、伏見ト云フモノハ、四年
度ニハ市デナカッタカラ、アナタノ方ノ
地方概計表ト云フモノニハナイノデア
ル、ソコデ以テ斯ウ云フモノハ皆白紙
ニシテ地方財政概要ヲアナタ方デ作
タモノニ違ヒナイ、サウシテ東京市ノ
如キ近所ノモノハ當然分ラナケレバナ
ラナイデハナイカ、此前カラ聞イテ居
ル、ソレヲ白紙デ出シテ居ルト云フコ
トハ何タルコトデアアル、電話ヲ掛ケテ
聽ケバ直グ分ルデハナイカ、白紙デ出
シタ所ハ何等回答シテナイデハナイ
カ、ノミナラズ、是ハ私ハ段々御話シ
テ置キタイノデアリマスガ、松江市ニ
於テハドウナッテ居ルカト言ヘバ、地方
概計表ニ依ルト云フト、却テ昭和五年
度ノ國庫負擔金配當金ト云フモノハ二
百五十三圓ノ減額ヲ爲シテ居ルノデア
ル、概計表ニ減トナッテ居ルノデアリマ
ス、其減トナッテ居ル岐阜市ニ於テ戸數
割ガ下ッタト云フコトハ、何ノ意味スル
ノデアリマスカ、殆ド其根據ハナイデ
ハナイカ、又更ニ岐阜市ニ付テ私ハ調
ベテ見タト云フノハ政友會ノ政務調査
會ニ於テ調べサセタノデアアルガ、岐阜

市ニ於テハ成程戸數割ハ減額サレテ居
ルケレドモ、是ハ義務教育費ノ増額ノ
爲ニ減ジタモノトハ見ルコトガ出來ナ
イ、ナゼカト申スナラバ、家屋税ノ附加
税ニ於テ八萬二千餘圓ノ増額ヲ爲シテ
居ル、内務省ノ地方概計ガ語ッテ居ル、
營業税ノ附加税ニ於テ五萬九千圓ノ増
額ヲ爲シテ居ル、雜種税附加税ニ於テ
モ十七萬六千圓ナル増額ヲシテ居ル、
此増額增收ヲ以テ戸數割ノ減ニ充ツル
コトハ僅ニ二十四萬四千圓デアリマシ
テ、此增收ヨリカ少イノデアアル、ソレ
故ニ是ハアナタノ方デ國庫負擔金ヲ増
スト云フ關係デハナイコトハハハキリ
アナタノ統計ガ之ヲ示シテ居ルノデア
ル、又佐賀市ニ於テハドウナッテ居ルカ
ト云フナラバ、昭和四年ト五年度ノ比
較ヲ致サレテ、佐賀市ニ於テハ戸數割
ニ於テ二十七錢三厘増額ヲ爲シテ居ル
ト云フニ拘ラズ、地方概計表ニ依レバ
ソレヲ却テ減ズルモノトシテ茲ニ表ガ
出テ居ルト云フコトハ、全クアナタ方
ノ方デハ此辻褄ヲ合サンガ爲ニ概計表
ヲ用ヒテ天下ヲ欺瞞シテ居ルモノデア
ルト謂ハナケレバナラス、斯様ナ欺瞞
ノ數字ヲ以テ天下ニ公表シ、新聞記者
ニマデ宣傳セラレテ、サウシテ我輩ハ
斯ノ如クシテ戸數割ヲ減ズルト云フコ
トハ、私ハ内務大臣トシテ不都合千萬
デアルト思フ、故ニ私ハ此非ヲ述ベテ

○岡田委員 成程其他ノ部分ト云フモ
ノハアナタノ方ノ出サレタ材料デア
ルカラ、私ハ之ヲ「チエッコ」スル方法ハ

ナイ、私ハ今機關ヲ持ッテ居ラナイケレ
ドモ、此當初豫算ト云フモノハ、私ハ
我黨ノ政務調査會ノ人ニ言ウテ調べテ
貰ッタノデアリマス、皆是ハ違ッテ居ル、
諸君、聽イテ下サイ、例ヘバ此處ニアル
八戸、山口、伏見ト云フモノハ、四年
度ニハ市デナカッタカラ、アナタノ方ノ
地方概計表ト云フモノニハナイノデア
ル、ソコデ以テ斯ウ云フモノハ皆白紙
ニシテ地方財政概要ヲアナタ方デ作
タモノニ違ヒナイ、サウシテ東京市ノ
如キ近所ノモノハ當然分ラナケレバナ
ラナイデハナイカ、此前カラ聞イテ居
ル、ソレヲ白紙デ出シテ居ルト云フコ
トハ何タルコトデアアル、電話ヲ掛ケテ
聽ケバ直グ分ルデハナイカ、白紙デ出
シタ所ハ何等回答シテナイデハナイ
カ、ノミナラズ、是ハ私ハ段々御話シ
テ置キタイノデアリマスガ、松江市ニ
於テハドウナッテ居ルカト言ヘバ、地方
概計表ニ依ルト云フト、却テ昭和五年
度ノ國庫負擔金配當金ト云フモノハ二
百五十三圓ノ減額ヲ爲シテ居ルノデア
ル、概計表ニ減トナッテ居ルノデアリマ
ス、其減トナッテ居ル岐阜市ニ於テ戸數
割ガ下ッタト云フコトハ、何ノ意味スル
ノデアリマスカ、殆ド其根據ハナイデ
ハナイカ、又更ニ岐阜市ニ付テ私ハ調
ベテ見タト云フノハ政友會ノ政務調査
會ニ於テ調べサセタノデアアルガ、岐阜

市ニ於テハ成程戸數割ハ減額サレテ居
ルケレドモ、是ハ義務教育費ノ増額ノ
爲ニ減ジタモノトハ見ルコトガ出來ナ
イ、ナゼカト申スナラバ、家屋税ノ附加
税ニ於テ八萬二千餘圓ノ増額ヲ爲シテ
居ル、内務省ノ地方概計ガ語ッテ居ル、
營業税ノ附加税ニ於テ五萬九千圓ノ増
額ヲ爲シテ居ル、雜種税附加税ニ於テ
モ十七萬六千圓ナル増額ヲシテ居ル、
此増額增收ヲ以テ戸數割ノ減ニ充ツル
コトハ僅ニ二十四萬四千圓デアリマシ
テ、此增收ヨリカ少イノデアアル、ソレ
故ニ是ハアナタノ方デ國庫負擔金ヲ増
スト云フ關係デハナイコトハハハキリ
アナタノ統計ガ之ヲ示シテ居ルノデア
ル、又佐賀市ニ於テハドウナッテ居ルカ
ト云フナラバ、昭和四年ト五年度ノ比
較ヲ致サレテ、佐賀市ニ於テハ戸數割
ニ於テ二十七錢三厘増額ヲ爲シテ居ル
ト云フニ拘ラズ、地方概計表ニ依レバ
ソレヲ却テ減ズルモノトシテ茲ニ表ガ
出テ居ルト云フコトハ、全クアナタ方
ノ方デハ此辻褄ヲ合サンガ爲ニ概計表
ヲ用ヒテ天下ヲ欺瞞シテ居ルモノデア
ルト謂ハナケレバナラス、斯様ナ欺瞞
ノ數字ヲ以テ天下ニ公表シ、新聞記者
ニマデ宣傳セラレテ、サウシテ我輩ハ
斯ノ如クシテ戸數割ヲ減ズルト云フコ
トハ、私ハ内務大臣トシテ不都合千萬
デアルト思フ、故ニ私ハ此非ヲ述ベテ

○岡田委員 成程其他ノ部分ト云フモ
ノハアナタノ方ノ出サレタ材料デア
ルカラ、私ハ之ヲ「チエッコ」スル方法ハ

ナイ、私ハ今機關ヲ持ッテ居ラナイケレ
ドモ、此當初豫算ト云フモノハ、私ハ
我黨ノ政務調査會ノ人ニ言ウテ調べテ
貰ッタノデアリマス、皆是ハ違ッテ居ル、
諸君、聽イテ下サイ、例ヘバ此處ニアル
八戸、山口、伏見ト云フモノハ、四年
度ニハ市デナカッタカラ、アナタノ方ノ
地方概計表ト云フモノニハナイノデア
ル、ソコデ以テ斯ウ云フモノハ皆白紙
ニシテ地方財政概要ヲアナタ方デ作
タモノニ違ヒナイ、サウシテ東京市ノ
如キ近所ノモノハ當然分ラナケレバナ
ラナイデハナイカ、此前カラ聞イテ居
ル、ソレヲ白紙デ出シテ居ルト云フコ
トハ何タルコトデアアル、電話ヲ掛ケテ
聽ケバ直グ分ルデハナイカ、白紙デ出
シタ所ハ何等回答シテナイデハナイ
カ、ノミナラズ、是ハ私ハ段々御話シ
テ置キタイノデアリマスガ、松江市ニ
於テハドウナッテ居ルカト言ヘバ、地方
概計表ニ依ルト云フト、却テ昭和五年
度ノ國庫負擔金配當金ト云フモノハ二
百五十三圓ノ減額ヲ爲シテ居ルノデア
ル、概計表ニ減トナッテ居ルノデアリマ
ス、其減トナッテ居ル岐阜市ニ於テ戸數
割ガ下ッタト云フコトハ、何ノ意味スル
ノデアリマスカ、殆ド其根據ハナイデ
ハナイカ、又更ニ岐阜市ニ付テ私ハ調
ベテ見タト云フノハ政友會ノ政務調査
會ニ於テ調べサセタノデアアルガ、岐阜

市ニ於テハ成程戸數割ハ減額サレテ居
ルケレドモ、是ハ義務教育費ノ増額ノ
爲ニ減ジタモノトハ見ルコトガ出來ナ
イ、ナゼカト申スナラバ、家屋税ノ附加
税ニ於テ八萬二千餘圓ノ増額ヲ爲シテ
居ル、内務省ノ地方概計ガ語ッテ居ル、
營業税ノ附加税ニ於テ五萬九千圓ノ増
額ヲ爲シテ居ル、雜種税附加税ニ於テ
モ十七萬六千圓ナル増額ヲシテ居ル、
此増額增收ヲ以テ戸數割ノ減ニ充ツル
コトハ僅ニ二十四萬四千圓デアリマシ
テ、此增收ヨリカ少イノデアアル、ソレ
故ニ是ハアナタノ方デ國庫負擔金ヲ増
スト云フ關係デハナイコトハハハキリ
アナタノ統計ガ之ヲ示シテ居ルノデア
ル、又佐賀市ニ於テハドウナッテ居ルカ
ト云フナラバ、昭和四年ト五年度ノ比
較ヲ致サレテ、佐賀市ニ於テハ戸數割
ニ於テ二十七錢三厘増額ヲ爲シテ居ル
ト云フニ拘ラズ、地方概計表ニ依レバ
ソレヲ却テ減ズルモノトシテ茲ニ表ガ
出テ居ルト云フコトハ、全クアナタ方
ノ方デハ此辻褄ヲ合サンガ爲ニ概計表
ヲ用ヒテ天下ヲ欺瞞シテ居ルモノデア
ルト謂ハナケレバナラス、斯様ナ欺瞞
ノ數字ヲ以テ天下ニ公表シ、新聞記者
ニマデ宣傳セラレテ、サウシテ我輩ハ
斯ノ如クシテ戸數割ヲ減ズルト云フコ
トハ、私ハ内務大臣トシテ不都合千萬
デアルト思フ、故ニ私ハ此非ヲ述ベテ

置イテ、内務省ノ豫算關係ノ數字ハ殆
ド信憑スルニ足ラザルモノデアルト云
フコトヲ茲ニ聲明致シテ、此問題ハ打
切ッテ置キタイト思ヒマス、御答辯ガア
レバ……

○次田政府委員 其一ツ一ツニ付テノ
御話ハ今此處ニ材料モアリマセヌカ
ラ、全部ヲ御答ハ致シ兼ネマスケレド
モ、東京市ノ分ハ是ハ明瞭ニ申上ゲマ
ス、東京市ノ分ハ先達テ申上ゲマシタ
如ク、ソレダケ増額ヲ致シマシテモ、
之ヲ何ニ使フカト云フコトヲマダ決定
シテ居ナイノデアリマス、隨テ此表ニ
モ唯ソレダケノ増額ガアルト云フ見込
ヲ掲ゲタダケデ、ドノ稅幾ラ減ジタ
ト云フコトヲ表ニ現ハシヤウガナイノ
デ、其儘ニシテ居ルノデアリマスガ、
之ニ付テハ何度モ通牒ヲヤリマシテ、
之ヲ減稅ニ充テルヤウニト云フコトヲ
東京府知事ヲ通ジテヤッテ居ル譯デア
リマス、是ハ書キヤウガナイノデ、書
カナカッタノデアリマス

○岡田委員 兎ニ角分ラスト言ヘバ分
ラヌノデアリマセウケレドモ、東京市
ノ如キ御膝下ノモノハヤハリ是ハ其目
的ノ爲ニ出シテアル金デアル以上ハ、
内務大臣ハ監督者トシテ近クニ居ルノ
デアルカラ、速ニヤラセルガ宜イ、私
ガ申上ゲテカラ既ニ何日ニナリマス
カ、私ガ言ウテカラ後デモ手が著ケラ
レルモノデハナイカ、マダ手が著ケテ
ナイ、白紙デアルト云フコトハ如何ニ
内務大臣ガ地方監督ニ對シテ不熱心デ
アルカ、又義務教育費一千萬圓ノ費途
ニ付テ監督ガ不十分デアルト云フコト
ヲ示スモノデアアル、仍テ此問題ハ打切
テ置キマス、今度ハ本間ニ移ルノデア
リマスガ、現行ノ此地租附加稅ノ課率
ト云フモノハ各地目トモ不均一デア
タノデアリマス、ソレヲ今回均一ニサ
レルノデアリマシテ、是ハ申スマデモ
ナク府縣ニ於テモ、市町村ニ於キマシ
テモ、附加稅ノ率ハ異ツテ居ル、即チ市
ノ方ガ割ガ安クナッタノデアルガ、今回
ハ宅地其他ノモノハ、市ニ於テモ宅地
以外ノモノ、高イ方ニ準ズルヤウニサ
レテ居ル、市町村ニ於テモ高イモノニ
準ジテ均一サレテ居リマス、從前ノ不
均一デアッタ所ノ理由ヲ一應伺ッテ見タ
イノデアリマス

○次田政府委員 地租ノ附加稅ハ明治
四十三年以來宅地ト其他ノ土地ニ依リ
マシテ、其制限率ヲ異ニシテ居ッタコ
トハ、今御話ノ通りデアリマス、是ハ
從來宅地ト其他ノ土地ニ付キマシテ、
本稅ノ制限率ガ違ッテ居リマシタノニ
應ジテ、ソレニ對スル附加稅モ其制限
率ヲ異ニシテ居ッタノデアリマス、今度
ソレヲ一ツニ致シマシタノハ、本稅ノ方
ガ地目ニ依ッテ稅率ヲ異ニスルコトヲ
止メマシテ、各地トモ同一ノ方法ニ依
テ調査シタ賃賃價格ニ改メテ、其稅率
ヲ統一シタノデアリマスカラ、之ニ對
スル附加稅モ地目ヲ異ニスルコトニ
依ッテ、其制限率ヲ異ニスル理由ガナイ
ト考ヘテ、各地目トモ之ヲ同一ニ致シ
タノデアリマス、稅ノ安イ宅地ノ方ニ
引付ケタ譯デアアリマセヌ、總テノモ
ノヲ合算致シマシテ、從來ト同ジ位ノ
收入ヲ得ルト云フコトヲ目安トシテ課
率ヲキメマシタノデアリマス、宅地ニ
對スル稅ガ殖エマスノハ、本稅ガ殖エ
マシタ結果ナノデアリマス

○岡田委員 只今ノ御話ハ能ク私ニ解
シ兼ネルノデアリマスガ、是迄宅地ニ
付テハ例ヘバ府縣ノ宅地ニ付テハ百分
ノ三十四、其他ニ付テハ百分ノ八十三
デアッタ、市町村ニ付テハ宅地ガ百分ノ
二十八、其他ガ百分ノ六十六、是ハ申
上ゲルマデモナイ、今度ソレヲ府縣ニ
於キマシテハ、殆ド均一ニ百分ノ八十
二、又市町村ニ於テハ百分ノ六十六、
斯ウ變ルノデアリマスガ、從前此二ツ
ノ區別ガアッタノハドウ云フ意味デア
ルカト云フコトヲ伺ヒタイ、從前何故
之ヲ異ニシテ居ッタカ、ソレハ今ノ御話
デハ本稅ガ別ニナッテ居ルト云フ單ナ
理由ノヤウデアリマスガ、サウ致シ
マスト左様ナル理由ハ一ツノ机上論ニ
過ギスト云フコトハ、營業收益稅ニ於
テハドウナッテ居ルカ、本稅ニ於テハ從
前異ッテ居ッタモノデモ、營業收益稅ノ
附加稅ハ均一デアッタ、故ニ本稅ヲ均一
ニスルカラ附加稅モ均一ニスル、本稅
ガ別ダカラ附加稅ヲ別ニスルト云フコ
トノ理由ハ立タナイ、ヤハリ人々ノ負
擔ガドウ云フ風ニナッテ居ルカト云フ
コトヲ最モ深刻ニ内務大臣ニ於テ考ヘ
テ、ソレニ對スル負擔ノ均衡ヲ得ナケ
レバナルマイト思フ、左様ナル簡單ナ
机上ノ議論ニ依ッテハ私ハ諒承スルコ
トハ出來ナイ

○西脇理事退席、委員長復席
之ニ對シテハ成ルベク地方局長、若ク
ハ大臣ヨリ御答ヲ願ハヌト云フト、ド
ウモ満足ガ出來ナイ

○岡田政府委員 地租附加稅ノ沿革ハ
以前カラ申上ゲマスト色々ニナッテ居
リマス、或ハ一ツニナッテ居リマシタリ
或ハ稅率ガ只今ノヤウニ幾ツニモ分ッ
テ居リマス、是ハ本稅ノ改正ニ伴フ結
果デアリマシテ、本稅ヲ改正シタ場合
ニ於テモ、尙ホ各地目均一ニスルト
云フコトニシマス、宅地ナラバ宅地
ダケノ地價修正ヲヤッタ場合ニ於キマ
シテ、ソレヲ相變ラズ均一ニシテ置キ
マス、宅地ノ負擔ガ或ハ他ニ移リ、
或ハ他ノ負擔ガ宅地ニ來ルト云フヤウ
ナ缺點ガアリマス、地租全體ヲ改正ス
ル場合ニ於キマシテハ別問題デアリマ

スカ、一部分ダケ改正スル場合ニハ、各地目ニ付テ或ハ從來ト同ジニスル、或ハ從來異々モノヲ一緒ニスルト云フヤウナコトヲシマス、負擔ノ變化ガ起ルコトヲ恐レマシテ、或ハ均一ニシタリ、或ハ均一ニナッテ居ル關係ノヤウニ考ヘテ居リマス、從來ハ明治四十二年マデ各地目ニ對シテ均一ニナッテ居タノデアリマスガ、四十三年以後ニ於キマシテ、先程申上ゲマシタヤウニ現在ノヤウナ制度ニ變テ參ッタノデアリマス

○岡田委員

私ハ申上ゲテ置キマスガ、成ベク大臣、若クハ地方局長ニ答ヘテ戴キタイ、三人モ四人モ掛ッテ仰シヤッテハ、後デ非常ニ困ルト思ヒマス、是ハ重大ナ問題デアリマスカラ、御二人ノ中カラ御答辯ヲ希望致シマス、尙ホ私ハ今ノ御答辯ニ満足ノ出來ナイノハ、一體此宅地ト云フモノハ、從前ト雖モ本稅ガ既ニ百分ノ二半ト云フコトニシテ、田畑ハ百分ノ四五デアリマシタカ、サウ云フモノトハ非常ニ率ガ違ッテ居ル、今之ヲ成程其地價ヲ賃賃價格ニ直サレタモノデアリマスガ、何レニシテモ標準ヲ直シタノミデアル、ソレヲ突然トシテ本稅ニ於テモ均一トスルト云フ一片ノ机上ノ議論カラヤッテシマッタ又今度ハ附加稅ニ於テモドシント上ゲテシマッタ、即チ宅地ニ付テ言ヘ

バ百分ノ三十四ノモノヲ百分ノ八十二ニ致シ、市町村ニ於テモ百分ノ二十八ノモノヲ百分ノ六十六ニ上ゲル、斯ウ言ヘバ地租附加稅ト云フモノハ一時ニ都會地ノモノガ上ッテシマフ、左様ナ不均衡ナ負擔ヲ課スルト云フコトハ、如何ニ宅地ヲ持ッテ居ル都會ノ人ニ深刻ナル影響ヲ與ヘルカト云フコトハ分ラナケレバナラヌ筈デアルト思フ、其深刻ナル痛サヲ考ヘズニ、均一デアアルカラヤルト云フ、收益稅ニ付テハ從前ハ本稅ガ別ニナッテ居ルノニ、附加稅ハ均一ニナッテ居ルノデハナイカ、是ハ何レモ皆負擔ノ均衡ヲ見テキメテ居ル深刻ナ立法デアルト云フコトハ、御承知シテ戴カナケレバナラヌ、今内務省ハ机上論ニ依ッテ此重大ナ稅ヲ實施セントスル傾向ハ、私ハドウシテモ變ヘテ貫ハナケレバナラヌ、此希望ヲ茲ニ私ハ述ベテ置ク、戰時利得稅ト云フモノヲ本稅ニ直シタ、直シテソレマデト同一ノ附加稅ヲ課スルト云フコトニナレバ是ハ非常ニ宅地ヲ持ッテ居ル都會ノ人ハ困ルカラ、此戰時利得稅ヲ本稅ニ直シタル四十二年ニ於テハ、附加稅ヲ多クシナカッタデハナイカ、四十二年當時ノ爲政家ハソレダケ、ノ用意ヲ持ッテ居ッタモノト思フ、今日ノ内務大臣初メ當局ハ其用意ガ無イ、御尋ヲシテモ内務大臣ハ何モ答ヘラレナカッタシタ

ナラバ、何ヲ以テ地方ノ人々ハ内務大臣ヲ信賴シ得ルカ、私ハ甚ダ之ヲ遺憾ト思ヒマス、急ギマスカラ此問題ハ是ダケニシテ切上ゲマス、ソレカラ家屋稅ハ若槻内閣ノ時ニ府縣稅トシテ之ヲ設定サレタ、吾々ハ之ヲ都會地ニ及ボスコトハマダシモデアルケレドモ、田舎ノ農村ニ至ルマデ家屋稅ヲ行フト云フコトハ、第一ニ無理ダト云フコトヲ唱道致シテ置イタノデアリマス、第二段ニ於テハ、假ニ課スルトスレバ、此家屋稅ト云フモノハ全國ニ於テドノ位ノ程度ニ止メルカト云フコトヲ尋ネタ所ガ、是ハ公約ト致シテ、國稅ハ三千萬圓、附加稅ハ千四百萬圓ニ止メルト云フコトハ立派ニ速記録ニ載ッテ居ル、今ヤ即チ如何、内務大臣ハ今日ノ家屋稅ノ現狀ニ顧ミ、是ハ幾ラノ金ヲ取ラレテ居ルカト云フコトヲ御承知遊バシテ居ルカ、又其現狀ニ満足シテ居ルモノデアカドウカ、御意見ヲ聽キタイノデアリマス

○次田政府委員

現在ノ家屋稅ノ總額ハ家屋稅及ビ附加稅ヲ合セテ約一億圓ニナルノデアリマス、此點ハ法律制定以後議會ニ於ケル公約ニ鑑ミテ、出來ルダケ之ヲ制限シタイト云フコトニ隨分内務省トシテハ歴代ノ内閣ガ骨ヲ折ッタノデアリマスガ、地方費ノ膨脹ノ結果、地方ノ財源ガ涸渇致シマシテ、持ッテ行

キ所ガナクテ、自然家屋稅ニ持ッテ行ッタト云フ點ハ、内務省ニ於テモ甚ダ遺憾ニ考ヘテ居ル所デアリマス
○岡田委員 内務大臣ハ無論其御意見デアラウト思ヒマス、詰リ若槻内閣當時ノ稅法ト云フモノハ、今日ノ此結果ヲ招來スルコトハ明瞭デアッタ、吾々ハ極論致シテ居ル、家屋稅ヲ田舎ニ施行スルコトノ不利ナルコトハ固ヨリ、地方ノ財源ヲ殆ド皆中央ニ集メテ置イテ、ドウシテ行ケルカト云フコトヲ申シテ置イタ、果シテ其結果ガ、今日四千五百萬圓ニ止メヤウト云フノガ、總計一億以上ニ達シテ居ル、今回ノ稅法ニ依ルト云フト、此前御質問申上ゲテ置イタ通り、家屋稅、附加稅、戶數割ニドウシテモ掛ッテ行クノデアル、サウスルト一般ノ市民ト申シマスルガ、一般ノ人々ノ負擔スル稅目ノ方ヘクト是ガ走ッテ行クコトニナル、其傾向ヲ止メルト云フ努力ハ少シモ致シテ居ラナイ、今日ノ稅制整理、今日ノ稅法ニ付テ將來ドウスルカト云フ御考ガアリマスカ、此家屋稅ト云フモノ、戶數割ト云フモノヲ廻ッテ一ツ内務大臣ノ御見込、御意見ヲ聽イテ見タイト思ヒマス
○次田政府委員 御意見ハ拜承致シマス、内務省デモ此家屋稅ノ殖エルコト、戶數割ノ殖エルコトハ甚ダ遺憾デア

ル、昨年、地方財政ノ整理節約ヲ致サ

セマシタ際ニモ、成ベク家屋税、附加税、戸數割等ガ減ズルヤウニト云フコトヲ申シテヤリマシタ、ソレカラ義務教育費國庫負擔ガ増額ニナリマシタ時ニモ、成ベク家屋税ノ附加税、戸數割ヲ減ズルヤウニト云フコトヲ申シテヤリマシテ、相當努力致シテ居ルノデアリマス、其根本的ニ家屋税ヲドウスルカ、戸數割ヲドウスルカト云フコトニ付キマシテハ、今回ノ地方税制整理ニ關スル法律ハ、地租ノ改正ニ伴フテ、從來ノ税ト増減ノナイダケノ税ヲ取りタイト云フ考デ、ソレダケノ改正ニ止メ

タノデアリマス、此家屋税トカ、戸數割トカ云フヤウナ税ヲ、如何ニ整理スルカト云フ根本的ノ問題ハ、昭和六年度ニ於テ開カレマス行財政整理ノ調査會デ十分ニ研究シテ、適當ノ案ヲ得タイト考ヘテ居リマス

ナ點ニ付テ考究シテ見タイト云フ考ヲ持ッテ居リマス

テ居ルト云フ、斯ウ云フ苦シイコトモサレテ居ル、隨分苦シカッタラウト思ヒマス、儲テソコデ以テ此帳面ヅラニ於テハ増減ナカラシメテ居ルガ、其結果ト云フモノハ、内務省地方局ニ於テハ、各府縣各市町村ニ伺ッテ戶別的ニ、ドウ云フ影響ヲ及ボスカト云フ、即チ各府縣各市町村ノ戶別税ト云フモノガ、全ク閑却サレテ居ルヤウデアアル、成程國ノ收入ハ、ソレ一本デアアルカラ、ドウ云フ風ニヤッテモ宜シウゴザイマスガ、苟モ全國ノ府縣市町村ヲ統督サレテ居ル内務大臣ガ、此戶別税ヲ閑却サレテ、各個々ノ町村、個々ノ府縣ト云フモノハ、ドンナニナッテモ宜イト云フ考デアルナラバ、私ハ非常ナ間違デアルト思ヒマス、其點ニ付テ大體論トシテ如何ナル考慮ヲ費サレタカ、是ハ最モ大事ナ點デアリマスカラ、内務大臣ノ御答ヲ願ヒマス

○岡田委員 來年度ノ行財政ノ整理、其時ニ考ヘテ見ル、一應御尤デアリマスガ、併シ斯ウ云フモノハ皆政府ガ責任ヲ以テ原案ヲ作ルノデアアル、大抵ハ何時デモ政府ノ人ガ作ッテ原案、次田君邊リガ幹事ニナッテ原案ヲ作ッテ出スノデアリマス、何處マデモ政府ガ中心トナッテヤルコトハ今日マデノ事實デアアル、サウスレバ今日ニ於テ此重大ナル缺陷ニ向ッテ、ドウシヤウト云フ相當ノ腹案ガナケレバナラヌト考ヘルノデ

アリマス、ソレガアレバ此際伺ッテ置キタイ

更ニ進ンデ質問致スコトハ、地方税ノ増減調節ニ付テハ、此前ノ質問ニ依ッテ略、分ッテ居ル、即チ地方税ノ調節ヲ爲ス爲ニハ、先ヅ國稅ノ變化ノ爲メ、地方ノ收入ニ増減ナカラシメルト云フコトガ根據ニナッテ居ルヤウデアリマス、大體ニ於テ地方ノ收入ヲ増減ナカラシメルト云フコトニセラレテ、其結果ハ昨日モ申シマシタヤウニ、折角都市計畫ノ爲ニ法律ヲ以テ與ヘテアル所ノ此權限ト云フモノハ、今度ハソレヲ改正法ニ依ッテソレヲ取ッテシマフ——消シテシマフ、就中何モ負擔シテ居ラヌヤウナ沖繩或ハ埼玉、又現ニ實行シテ居ラヌヤウナ三十何府縣ニ向ッテマデモ、將來ノ財源ヲ割イテ一般ノ收入ニ入レ

○安達國務大臣 先般來度々御答致シテ居リマス通り、此税ノ均衡ヲ得ル爲ニハ、昭和十二年マデ過渡的ノ茲ニ規定ヲ設ケテ置イテ、其間ニ急激ナル變化ヲ蒙ラナイヤウニシテ行キマスト云フノデアアッテ、其後ハ結局御話ノ通り財源ガ一方ニナリマスカラ、ソレデ其時ドウスルカト云フコトガ問題デアリマス、先刻地方局長カラ申シマシタヤウニ、其場合ハヤハリ第一トシテハ、地

○次田政府委員 是ハ申スマデモナク、政府ノ案トシテ定ッテ譯デハアリマセヌガ、地方局デ考ヘテ居リマスコトハ、一體今日地方財政ガ非常ナ窮境ニ陥ッテ居ルト云フコトハ、歳入ノ方ノ問題モ去ルコトデアアルガ、歳出ノ方デ色々ナモノヲ市町村ニ背負ハセテ居ルコトガ、亦大キナ原因デアラウト思フノデアリマス、即チ地方費ト國費トノ分擔ノ規定ヲドウ云フヤウニ改メルカ、負擔ノ仕方ヲドウ云フヤウニ改メルカト云フ所ニ一ツノ研究ノ題目ガアラウト思フ、今日市町村ノ義務トシテ擔任シテ居ル事柄、府縣ガ義務トシテ擔任シテ居ル事柄ニ、隨分是ハ酌ンデヤッテ宜カラウト思フコトガ澤山アリマス、小學校教育ノ如キモ其一デアリマス、今日ノ市町村ニアレダケノモノヲ背負ハスコトガ適當デアアルカドウカト云フコトモ研究ニ値スルコト、考ヘテ居リマス、小學校教員ノ恩給ノ如キモ今日府縣ノ義務ニナッテ居ルノデアリマス、段々増加シテ、年々何萬圓ト云フモノガ増加シテ、府縣ノ財政ハ非常ナ壓迫ヲ被ッテ居ル、俸給ヲ拂フノガ町村デ、恩給ヲ拂フノガ府縣ト云フ團體デアルト云フヤウナ定メ方ハ、餘程考究スル餘地ガアルト思ヒマス、サウ云フヤウ

ナ點ニ付テ考究シテ見タイト云フ考ヲ持ッテ居リマス

○岡田委員 此問題ハ此程度ニ止メテ置キマス、兎ニ角内務省トシテハ、モット深刻ナ研究ヲ遂ゲラレテ、而モ大藏省ハ何時デモ中央ノ都合デ地方支出ヲ増シテ居ルノデアリマス、現在ハ家屋税戸數割ト云フモノニ過重ノ負擔ガ掛ッテ居ル、一體民政黨ノ人ハ考ヘ方ガ違ッテ居ル、總テ中央集權主義ニナッテ居ル、ソレニ壓倒サレテシマッタ、安達内務大臣ハ之ヲ直シテ行クト云フ決心ヲ以テ、地方局ノ人モ左様ナ考デナッテ貫ヒタイト思フ

テ居ルト云フ、斯ウ云フ苦シイコトモサレテ居ル、隨分苦シカッタラウト思ヒマス、儲テソコデ以テ此帳面ヅラニ於テハ増減ナカラシメテ居ルガ、其結果ト云フモノハ、内務省地方局ニ於テハ、各府縣各市町村ニ伺ッテ戶別的ニ、ドウ云フ影響ヲ及ボスカト云フ、即チ各府縣各市町村ノ戶別税ト云フモノガ、全ク閑却サレテ居ルヤウデアアル、成程國ノ收入ハ、ソレ一本デアアルカラ、ドウ云フ風ニヤッテモ宜シウゴザイマスガ、苟モ全國ノ府縣市町村ヲ統督サレテ居ル内務大臣ガ、此戶別税ヲ閑却サレテ、各個々ノ町村、個々ノ府縣ト云フモノハ、ドンナニナッテモ宜イト云フ考デアルナラバ、私ハ非常ナ間違デアルト思ヒマス、其點ニ付テ大體論トシテ如何ナル考慮ヲ費サレタカ、是ハ最モ大事ナ點デアリマスカラ、内務大臣ノ御答ヲ願ヒマス

○岡田委員 來年度ノ行財政ノ整理、其時ニ考ヘテ見ル、一應御尤デアリマスガ、併シ斯ウ云フモノハ皆政府ガ責任ヲ以テ原案ヲ作ルノデアアル、大抵ハ何時デモ政府ノ人ガ作ッテ原案、次田君邊リガ幹事ニナッテ原案ヲ作ッテ出スノデアリマス、何處マデモ政府ガ中心トナッテヤルコトハ今日マデノ事實デアアル、サウスレバ今日ニ於テ此重大ナル缺陷ニ向ッテ、ドウシヤウト云フ相當ノ腹案ガナケレバナラヌト考ヘルノデ

アリマス、ソレガアレバ此際伺ッテ置キタイ

更ニ進ンデ質問致スコトハ、地方税ノ増減調節ニ付テハ、此前ノ質問ニ依ッテ略、分ッテ居ル、即チ地方税ノ調節ヲ爲ス爲ニハ、先ヅ國稅ノ變化ノ爲メ、地方ノ收入ニ増減ナカラシメルト云フコトガ根據ニナッテ居ルヤウデアリマス、大體ニ於テ地方ノ收入ヲ増減ナカラシメルト云フコトニセラレテ、其結果ハ昨日モ申シマシタヤウニ、折角都市計畫ノ爲ニ法律ヲ以テ與ヘテアル所ノ此權限ト云フモノハ、今度ハソレヲ改正法ニ依ッテソレヲ取ッテシマフ——消シテシマフ、就中何モ負擔シテ居ラヌヤウナ沖繩或ハ埼玉、又現ニ實行シテ居ラヌヤウナ三十何府縣ニ向ッテマデモ、將來ノ財源ヲ割イテ一般ノ收入ニ入レ

○安達國務大臣 先般來度々御答致シテ居リマス通り、此税ノ均衡ヲ得ル爲ニハ、昭和十二年マデ過渡的ノ茲ニ規定ヲ設ケテ置イテ、其間ニ急激ナル變化ヲ蒙ラナイヤウニシテ行キマスト云フノデアアッテ、其後ハ結局御話ノ通り財源ガ一方ニナリマスカラ、ソレデ其時ドウスルカト云フコトガ問題デアリマス、先刻地方局長カラ申シマシタヤウニ、其場合ハヤハリ第一トシテハ、地

○岡田委員 來年度ノ行財政ノ整理、其時ニ考ヘテ見ル、一應御尤デアリマスガ、併シ斯ウ云フモノハ皆政府ガ責任ヲ以テ原案ヲ作ルノデアアル、大抵ハ何時デモ政府ノ人ガ作ッテ原案、次田君邊リガ幹事ニナッテ原案ヲ作ッテ出スノデアリマス、何處マデモ政府ガ中心トナッテヤルコトハ今日マデノ事實デアアル、サウスレバ今日ニ於テ此重大ナル缺陷ニ向ッテ、ドウシヤウト云フ相當ノ腹案ガナケレバナラヌト考ヘルノデ

アリマス、ソレガアレバ此際伺ッテ置キタイ

更ニ進ンデ質問致スコトハ、地方税ノ増減調節ニ付テハ、此前ノ質問ニ依ッテ略、分ッテ居ル、即チ地方税ノ調節ヲ爲ス爲ニハ、先ヅ國稅ノ變化ノ爲メ、地方ノ收入ニ増減ナカラシメルト云フコトガ根據ニナッテ居ルヤウデアリマス、大體ニ於テ地方ノ收入ヲ増減ナカラシメルト云フコトニセラレテ、其結果ハ昨日モ申シマシタヤウニ、折角都市計畫ノ爲ニ法律ヲ以テ與ヘテアル所ノ此權限ト云フモノハ、今度ハソレヲ改正法ニ依ッテソレヲ取ッテシマフ——消シテシマフ、就中何モ負擔シテ居ラヌヤウナ沖繩或ハ埼玉、又現ニ實行シテ居ラヌヤウナ三十何府縣ニ向ッテマデモ、將來ノ財源ヲ割イテ一般ノ收入ニ入レ

○安達國務大臣 先般來度々御答致シテ居リマス通り、此税ノ均衡ヲ得ル爲ニハ、昭和十二年マデ過渡的ノ茲ニ規定ヲ設ケテ置イテ、其間ニ急激ナル變化ヲ蒙ラナイヤウニシテ行キマスト云フノデアアッテ、其後ハ結局御話ノ通り財源ガ一方ニナリマスカラ、ソレデ其時ドウスルカト云フコトガ問題デアリマス、先刻地方局長カラ申シマシタヤウニ、其場合ハヤハリ第一トシテハ、地

○岡田委員 來年度ノ行財政ノ整理、其時ニ考ヘテ見ル、一應御尤デアリマスガ、併シ斯ウ云フモノハ皆政府ガ責任ヲ以テ原案ヲ作ルノデアアル、大抵ハ何時デモ政府ノ人ガ作ッテ原案、次田君邊リガ幹事ニナッテ原案ヲ作ッテ出スノデアリマス、何處マデモ政府ガ中心トナッテヤルコトハ今日マデノ事實デアアル、サウスレバ今日ニ於テ此重大ナル缺陷ニ向ッテ、ドウシヤウト云フ相當ノ腹案ガナケレバナラヌト考ヘルノデ

アリマス、ソレガアレバ此際伺ッテ置キタイ

更ニ進ンデ質問致スコトハ、地方税ノ増減調節ニ付テハ、此前ノ質問ニ依ッテ略、分ッテ居ル、即チ地方税ノ調節ヲ爲ス爲ニハ、先ヅ國稅ノ變化ノ爲メ、地方ノ收入ニ増減ナカラシメルト云フコトガ根據ニナッテ居ルヤウデアリマス、大體ニ於テ地方ノ收入ヲ増減ナカラシメルト云フコトニセラレテ、其結果ハ昨日モ申シマシタヤウニ、折角都市計畫ノ爲ニ法律ヲ以テ與ヘテアル所ノ此權限ト云フモノハ、今度ハソレヲ改正法ニ依ッテソレヲ取ッテシマフ——消シテシマフ、就中何モ負擔シテ居ラヌヤウナ沖繩或ハ埼玉、又現ニ實行シテ居ラヌヤウナ三十何府縣ニ向ッテマデモ、將來ノ財源ヲ割イテ一般ノ收入ニ入レ

○安達國務大臣 先般來度々御答致シテ居リマス通り、此税ノ均衡ヲ得ル爲ニハ、昭和十二年マデ過渡的ノ茲ニ規定ヲ設ケテ置イテ、其間ニ急激ナル變化ヲ蒙ラナイヤウニシテ行キマスト云フノデアアッテ、其後ハ結局御話ノ通り財源ガ一方ニナリマスカラ、ソレデ其時ドウスルカト云フコトガ問題デアリマス、先刻地方局長カラ申シマシタヤウニ、其場合ハヤハリ第一トシテハ、地

方ノ財政ノ整理緊縮ヲシナケレバナリ
マセスケレドモガ、其歳出ノ整理節約
ニ依ッテ尙ホ補填シ得ザル場合ハドウ
スルカ、ソレハヤハリ他ニ方法ハナカ
ラウト考ヘマス、今町村ニ許サレ居ル
所ノ各種ノ税ニ付テ、ソレヲ増徴スル
外ハナカラウト考ヘテ居リマス、ソレ
デ今回ノ此税制整理ニ付テハ、サウ云
フ増徴ヲ爲スト云フコトハ不都合ダト
云フ論モアリマセウケレドモ、土地ガ
從來比較的ニ多クノ負擔ヲナシテ居
タノガ、今度ノ改正ニ依ッテソレガ是正
セラレルノデアリマス、サウシテ始メ
テ各税ノ間ノ均衡ヲ得ルト云フコトニ
ナルモノト認メマスカラ、是ハ已ムヲ
得ナイコト、考ヘテ居リマス

度内務大臣ガ口ヲ噉ラシテ言ハレル失
業問題デアリマス、失業問題ハ今日ノ
政策ヲ遂行スル限りハ恆久的ノモノデ
アルト思ヒマス、唯一年限ノモノデナ
イノデアリマス、ソレヲ中央ガ僅カ三
千萬圓出シテ救済出來タヤウナ顔ヲシ
テ居ルガ、大部分ハ是ハ地方民ニ負擔
サセテ居ル、ソレガ爲ニ段々地方ハ負
擔ガ増シテ來テ居ル、ソレヲ内務大臣
ハ緊縮方面ノ監督ハシテ居ル、俺ハ是
デ満足ダ、是レ以上ハヤッテモ力ガ及
バスト、自己ノ力ヲ是デ發表シテ居
レル、サウナッテ來レバ、地方財政ノ緊
縮ハ出來ナイ、出來ナイナラバ、ドウ
致シマシテモ惡税トスル所ノ、即チ民
政黨内閣ノ作ツタ所ノ家屋税賃賃價格
ガモット重クナッテ行クコトハ明瞭デア
ル、サウスレバ私ハ具體的ニモット申
上ゲテ見タイト思ヒマスガ、今地租法
案ノ結果ノミヲ見マシテモ、地租ノ附
加税ガ増加致ス府縣ト云フモノハ、僅
カ十府縣ニ過ギナイノデアリマシテ、
全國デ三十何府縣ト云フモノハ、明カ
ニ地租附加税ハ減ジマス、ソレデアリ
マスカラ、特別税モ同ジ經過ヲ以テ其
處ニ關係ガ及ンデ來ルト思ヒマス、ソ
コデ私ハ増ス方カラ聽イテ見タイ、政
府ノ一片ノ法令ニ依ッテ増スノデア
ル、其増シタ所ノ金額ヲ如何ナル方法
ヲ以テ、アナタハ監督サレントシテ居
ルノ

デアルカ、内務大臣ノ御明答ヲ伺ヒタ
イ、必ズ之ハ腹案ガナケレバナラス、
既ニ若槻内閣ニ於テ其憾ミガアツタ、其
憾ミヲ再ビセザル爲ニハドウスルカ、
ソレヲ伺ヒタイ
○安達國務大臣 地方局長カラ御答致
サセマス
○岡田委員 ソレハイケマセヌ、是ハ
大キナ問題デアリマスカラ、内務大臣
カラデナケレバイケマセヌ
○安達國務大臣 地租附加税ノ増加シ
マス地方ニ對シテハ、其團體ニハソレ
ダケ將來ノ財政ニ餘裕ガ生ジマスカ
ラ、之ニ依ッテ他ノ國稅附加税又ハ戶數
割、家屋税其他ノ附加税等ノ輕減ヲス
ルコトヲ得ルモノト、斯ウ考ヘテ居リ
マス

方法ヲ立テ、之ヲドウ云フ風ニ用ユ
ルカト云フコトノ、具體的ノ方法ヲ御
示シ下サラヌ限りハ、私ハ安心シテ之
ニ承服スルコトハ出來ナイ、必ズ内務
省ニハ其ノ御考ガナクチャナラヌト思
ヒマス
○次田政府委員 御話ノ如ク突然附加
税ノ、制限一杯税ヲ取ルト云フコト
ニナリマス、非常ナ増收ニナル譯
デアリマス、併ナガラソレハ團體自身
ニ取ッテモ、ソレダケノ澤山ノ金ヲ今ノ
所直グ必要トスル譯デアリマセヌ、
又ソレダケ税ヲ負擔スル者ノ方カラ申
シマスレバ、非常ナ増税ニナリマスコ
トハ苦痛デアリマスカラ、是ハ法律ノ
附則ニ書イテアリマス通りニ、都會ノ
規定ニ依ッテ濟崩ニ少シツ、増シテ行
クヤウニスル積リデアリマス濟崩シニ
致シマシテモ、ドンノ年々増シテ行
クノデアリマスガ、ソレハ地方財政ノ
監督ヲ十分ニ致シマシテ、地租附加税
以外ノ重イ税ヲ整理サセタイト考ヘテ
居リマス

○岡田委員 今仰セノコトヲ綜合スル
ト、詰リ財源ノナクナルモノハ仕方ガ
ナイノデアル、其結果ハ兎ニ角、今ハ
與ヘラレタル所ノ雜種税其他ノ戶數
割家屋税ヲ増サナケレバナラスト云フ
コトデアル、然ラバ其先ノ見透ガドウ
ナルカ、ドンナ負擔ヲ庶民ニ與ヘ、如
何ナル財政上ノ困難ニ市町村ガ遭ッテ
モ、深ク御考慮ニハナッテ居ラナイト
私ハ思フノデアル、第一此市町村府縣
ノ財源ヲ緊縮スルト云フコトデアッテ、
是ハ出來ル筈ハナイ、現ニ府縣ニ致シ
マシテモ、現ニ今年三千萬圓ノ公債ヲ
増シテ來テ居ル、何故カト云フト、度

ガモット重クナッテ行クコトハ明瞭デア
ル、サウスレバ私ハ具體的ニモット申
上ゲテ見タイト思ヒマスガ、今地租法
案ノ結果ノミヲ見マシテモ、地租ノ附
加税ガ増加致ス府縣ト云フモノハ、僅
カ十府縣ニ過ギナイノデアリマシテ、
全國デ三十何府縣ト云フモノハ、明カ
ニ地租附加税ハ減ジマス、ソレデアリ
マスカラ、特別税モ同ジ經過ヲ以テ其
處ニ關係ガ及ンデ來ルト思ヒマス、ソ
コデ私ハ増ス方カラ聽イテ見タイ、政
府ノ一片ノ法令ニ依ッテ増スノデア
ル、其増シタ所ノ金額ヲ如何ナル方法
ヲ以テ、アナタハ監督サレントシテ居
ルノ

○岡田委員 先程申シマシタ一千萬圓
ノ義務教育費ノ増加、ソレデスラ監督
ガ出來テ居ナイ、既ニ今日迄多數ノ日
子ヲ費シテ居ルニモ拘ラズ、内務當局
ハ明瞭ナル御答辯ガ出來ナイト云フ有
様デアアル、私ハ内務省ノ統計表ト云フ
モノハ、其根據ニ於テ信用出來ナイ、
左様ナル洵ニ薄弱ナル監督權シカ持ッ
テ居ラス所ノ内務省ガ、突然斯ウ云フ
ヤウナ増シ方ヲサレルノニハ、私ハ之
ヲ信用スルコトガ出來ナイ、何かモット
具體的ドウスルト云フ研究ガナクチャ
ナラス、或ハ勅令ヲ發シ、或ハ取締ノ

○岡田委員 其位ノ事ハ誰デモ考ヘル
コトデアリマス、ソレヲ今日ノ如キ意
思ノ徹底セザル内務省ハ、ドウ決行ス
ル積リデアリマスカ、モット内務省ハ強
イ所ノ勅令其他ノ方法ヲ以テシナケレ
バ出來ヤシマセヌ、アナタノ方デ概念
ダケヲ述ベテモ、私ハ満足セヌ、之ヲ

ドウ云フ風ニ決シテ行クカト云フ、具體的ノ觀點ガナイコトヲ憾ム者デアリマス、幾ラ答辯ヲシテモ其アトハ聽キマセヌ

ソレカラ更ニ地租並ニ地租附加税ノ變動ニ依リマシテ、都會地ト云フモノハ非常ナ負擔ヲ受ケテ居ルト云フコトハ、アナタノ下サッタ數字デ明瞭デアル、軍縮ニ依ッテ地租ニ當ラレタル減税ヲ差引キマシテモ、宅地ニ於テモ尙ホ略五百萬圓バカリ増税ニナッテ居ルト思ヒマス、ソレニ附加税ガ當然宅地ニ付テハ増スノデアリマス、サウ致シマシテ、茲ニ六大都市ノ地租並ニ各種ノ附加税ヲ累計致シマス、アナタノ統計ニ依ッテ見ルト、東京市ニ於テハ六百四十四萬圓ト云フ、コンナニ大キナ増税ニナッテシマフ、大阪市ハ九千五百萬圓、京都市ハ百二十萬圓、神戸市モ百二十萬圓、名古屋市ハ百六十萬圓、横濱市ハ八十萬圓、斯様ニ非常ナル増税デアリマス、東京市ノ如キハ、六百四十四萬圓デ、即チ一戸當リ十五圓以上モ増ス現狀デアリマスガ、殊ニ東京市ニ付テ見マスレバ、震災ノ後始末ガマダ出來テ居ラス、又他ノ都市ニ付テモ、對策ガ出來テ居ルカドウカ知ラスガ、不況ガ沁ミテ居ル、斯様ナ所ノ宅地ヲ持ッテ居ル者ニ増税ヲ課ケテ、果シテ耐ヘ得ルカドウカ、又進ンデ是ガ思想ノ上ニ

モ及ブモノト思ヒマス、内務大臣ハ爲政家トシテ此現狀ヲドウ見マスカ

○安達國務大臣 御話ノ地租附加税ガ都會地ニ高クナルコトハ、御話ノ通りデアリマスガ、ソレハ本税ガ高クナッテ居リマスカラ、附加税モ從ッテ高クナルコトハ、已ムヲ得ナイト考ヘテ居リマス、ソレガ思想上ニ及ボスト云フヤウナコトヲ言ハレマスガ、ソレダケ都會ハ發展シテ利益ヲ受ケテ居ルノデアリマスカラ、私ハ左様ナ結果ヲ茲ニ來スコトハ、已ムヲ得ザルモノト考ヘテ居リマス

○岡田委員 先程申上ゲタ如クニ、明治四十三年ノ地租改正ノ時デスラモ、餘程考ヘテ居ッタノデアアル、況ヤ今日ハ政治家トシテ、モット民衆的ニ、又國民ノ生活ニ即シタル考ヲシナケレバナラヌ、只今ノ内務大臣ノ御答辯ハ驚クベキモノデアアル、本税ガ増シテ居ルカラ已ムヲ得ナイト言ハレルガ、本税バカリデハナイ、附加税モ増シテ居ル、本税ガ増シタカラ附加税モ増サナケレバナリマス

更ニ私ハ聽キタイノデアリマスガ、借地借家人ニ對シテ、今日ノ借地借家法ハ非常ニ地主ガ公課ヲ増サレタコトヲ原因トシテ、地主ヨリ借地借家料ノ増率ヲ爲スコトガ出來ルト云フ權限ガ與ヘテアルヤウデアアル、サウ致シマス、此宅地税ノ増加ハ、借地借家人ノ上ニ影響スルモノト思ヒマスガ、此點ハ如何ナル御研究ガアッタカ、内務大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイ

○安達國務大臣 民衆ノ云々ト云フ御話デアリマシタガ、第一ニ土地ヲ持ッテ居ル人ハ——細民ノ所謂大多數ノ民衆ハ土地ヲ持タナイモノデアアル、其借地借家人ノ影響ト云フ御話デアリマシタガ、今日ノ如キ不景氣ナ場合ニ於キマシテハ、ソレヲ借家人ナドニ土地所有者ガ轉嫁スルヤウナコトハナイト思ヒマス

○岡田委員 今日ハ不況デアルカラ一般ノ細民ハ困ッテ居ル、故ニ轉嫁出來ヌ、不況デアルカラ吾々ハ土地ノ税ヲ上ゲテ貰ヒタクナイト思フ、一方ニハ上ゲル時ニハ上ゲタト言フ、其時ニハ不況ヲ考ヘズニヤッタト言フ、附加税ニ就テハ何等考慮ナシニ當然上ゲタト云フコトヨリ考ヘテ居ラス、一方細民ハドウカト言フト不況ダカラ轉嫁セヌト云フ、左様ナ一ツノ問題ヲ二ツニ捉ヘテ言ハレルコトハ、殆ド確信ヲ缺クモ

居ルモノデアナイカラ宜イデハナイカト云フ、成程一種ノ今日ノ社會政策カラ言ヘバ貴方ハ非常ニ進歩シタル御考デアリマセウケレドモ、遺憾ナガラ借地借家人ハ不況ヲ原因トシテ擧ゲ得ラレルノデアアル、地主ハ此不況ニ應ジテドウシテモ上ゲラウガ、細民ハ之ニ應ズルコトガ出來ヌトスレバ、是ニ於テ社會的ニ紛議ヲ起スデハナイカ、此政府ノ投ゲタ石ハ地主ノミノ影響デハアリマセヌ、即チ東京市ニ付テ言ヘバ、市全體ノ人ニ影響ヲ及ボスコトヲ考ヘナケレバナラス、私ハ非常ニ爲政家トシテ、貴方ノ考慮ノ足ラザルコトヲ憾ムモノデアリマス、是ハ内務大臣トシテ確ニ失敗デアルト私ハ思ヒマス、ソレデ此減ズル部分ニ付テ御話ヲ聽イテ置キタイノデアリマスガ、此地租並地

租附加税ノ爲ニ、非常ナ減收ヲスルト云フコトハ貴方ノ御提出ニナッタ統計表ニ依テ明カデアリマス、私ハ試ニ三四ノ府縣ニ付テノ調ヲ御願ヒ致シタ所ガ、大變御面倒ナ所ヲ態、御調べ下サイヤシテ、洵ニ有難ク御禮ヲ申上ゲル次第デアリマスガ、之ヲ讀ンデ私ハ有難ク思ッタドロコデハナイ、涙ヲ零シタノデアル、譬ヘテ申セバ、私ハ之ヲ速記ニ殘ス爲ニ讀上ゲテ見マセウ、富山縣ニ於キマシテハ御取調ノ二百五十三箇町村ノ中デ、減税トナッテ居ル所ノモノガ二百二十五デ、殆ド大部分デアリマス、就中一箇町村ニ於テ二千圓以上ノ地租附加税ノ爲ニ減收ヲ來ス所ガ四十七アル、増加シ若クハ同等ニ止ッテ居ルモノハ僅カ二十八シカアリマセヌ、是ガ富山縣ノ取調デアアル、三重縣ニ付テ申シマス、百一箇町村ノ中デ減税ニナッテ居ルモノハ九十六デアリマシテ、是亦大部分デアリマス、増税ノモノハ僅ニ五箇町村、就中二千圓以上ノ減收トナルモノハ三十九モアルノデアリマス、サウシテ茲ニ不思議ナコトニハ、三重縣ハ百一箇町村デハナカラウト思フ、モット多イダラウト思フ、其中百一箇町村御抜キニナッテ居ルノハ如何ナル譯カ分リマセヌ、兎ニ角此百一箇町村ノミヲ見テモ、非常ナ變化ヲ來シテ居ルコトガ明カデアアル、ソレカラ滋賀

縣デアリマスガ、百九十五箇町村ノ中デ、減トナルモノハ百八十六モアル、ヤハリ同ジ事デアアル、増トナルモノハ僅ニ九箇町村、而モ現在二千圓以上ノモノガ八十八箇町村ノ多キニ及ンデ居ルト云フ、是デ大勢ガ私ハ分ルト思フ、岡山縣ノ例ヲ先程頂戴致シタガ、是ハマダ見テ居テヌカラ御話出來ヌガ、兎ニ角斯ウ云フヤウナ有様デアリマス、此中デ滋賀縣ノ坂田郡神照村ノ如キハ地租ニ於テ七千圓カラノ減トナッテ居リマス、而モ此町村ト云フモノハ戶數割ガ既ニ一萬圓以上掛ッテ居ル、ソコヘテ來テ今度七千圓、假令七箇年トシテモ一箇年ニ千圓ツ、是ガナクナッタナラバ、ドウスルカト云フコトデアリマス、必ズヤ是ハ一萬圓以上ノ重イ戶數割ノ上ニ、モット重キヲ加ヘルト思フデアリマス、即チ政府ノ爲ス所ノモノデアリマス、即チ政府ノ爲ス所ノモノト云フモノハ、全ク地方農村ニ於ケル所ノ府縣市町村ニ向ッテハ、比較的ニ有力ナ地主並ニ資本ヲ擁シテ居ル營業者——大小ハ問ハス——ニ對シテ課税ヲ減ゼンガ爲ニ、一般ノ細民ノ負擔スル戶數割ニ向ッテハ非常ナ重課ヲ一層加ヘツ、アル、繰返シテ申ス通りニ、此前ノ税法ニ依ッテ非常ナ戶數割ノ負擔ヲシツ、アル、ソコヘ又今度税法ノ改正ニ依テ、新ニ非常ナ負擔ヲ加ヘテ

來ルト云フコトニナッタナラバ、今日ノ不況ト相俟ッテ、是等ノ町村ト云フモノハドウシテ立チ行クカト云フコトヲ考ヘナケレバナラス、之ニ對シテ内務大臣ハドウ考ヘテ居ラレマスカ、此新タナル税法ト云フモノハ、非常ナル反動的、反社會政策的ノ結果ヲ來シハセヌカト云フコトヲ虞レルノデアリマス、之ニ對スル内務大臣ノ御答辯ヲ願ヒマス、内務大臣ノ御答辯デナケレバ満足致シマセヌ

○安達國務大臣 簡單ニ申上ゲマス、今迄土地ニ對シテ負擔ガ過重ニナッテ居ッタ府縣——今御話ノ滋賀縣三重縣ト云フヤウナ所ガアリマスガ、其處ガ今度地租法ノ制定ニ依リマシテ、均衡ヲ得ルコトニナリマス、ソレデ今度財源ガ減ジマシタケハ、是ハヤハリ戶數割ナリ其他ノ各税ニ依テ、分擔サスヨリ外ハ致方ガナイト考ヘマスガ、其場合ニナッタナラバ、又戶數割等ニ付テハソレレ、均衡ヲ得ルヤウナコトニナコトニナルモノト思ッテ居リマス

○岡田委員 内務大臣ハマルデ天ヲ信ズル人デアリマシテ、自己ノ努力ニ依テ町村ヲ救ハウト云フ御決心ハ全ク無イ、戶數割ハ増スデアラウト仰シヤルガ、増サレタラ大變デハアリマセヌカ、ソレニ對シテ救濟モ何モシナイト云フコトハ、所謂内務大臣ノ任務ヲ缺クモ

○次田政府委員 營業收益稅ガ減ジマスル結果トシテ、同ジ業態デ純益四百圓未滿ノ營業稅ヲ納メテ居ル者ハ、權衡ヲ得ルガ爲ニ略、同ジ率ニ減ジナケレバナナイト思ッテ居リマス、其結果府縣ノ財政ニ缺陷ヲ生ズル、其缺陷ヲ補ヒマスルノニハ、先以テ營業收益稅ノ課率ヲ從來ヨリカ百分ノ一・五ダケ引上ゲテ、其一部分ヲ補ヒマス、ソレデ尙ホ足ラナイモノガザット百萬圓バカリアルノデアリマス、其分ハ單リ營業稅ノミナラズ、許サレテ居ル色々ナ業稅ノ均衡ヲ圖ッテ、補填スル外ナイト思フノデアリマスガ、唯ドウシテモ立行カスドウシテモ補填ノ途ガナイト云フ所ニ於キマシテハ此法律ニハ書イテゴザイマセヌガ、三箇年ダケ營業稅ノ制限外課稅ヲ認メヨウト思ッテ居リマス、此三箇年ト云フコトヲ考ヘマシタノ

ハ、一舉ニ百萬圓ノ歳入缺陷ヲ生ズル
ト云フコトニナリマスレバ、府縣ガ非
常ニ困ルデアラウカラ、三年ノ間ニ整
理ヲサシタイト云フ趣旨デヤッタノデ
アリマス

○岡田委員 辻棲ヲ合セルト云フコト
ノミデ、此税法ト云フモノ、缺陷ガ社
會ニ如何ナル影響ヲ及ボスカト云フヤ
ウナコトハ、何ニモ御考ヘニナッテ居
スヤウニ思ハレル、兎ニ角今ノ御答辯
ニ依リマス、三箇年間ハ營業收益稅
ノ下ツタ率ニ應ジテ、營業稅ヲ下ゲテ置
キナガラ、又今回制限外課稅ヲスルト
云フコトニナリマス、地方稅ヲ納メ
ル者ハ此減額ノ惠澤ニ浴スル度ガ少
イ、朝ニ與ヘテタニ奪フモノデアル、
是ハ非常ニ撞著矛盾ノ政策デアルト云
フコトヲ、遺憾トシナケレバナラナイ

更ニ進ンデ聞キマスガ、内務省ト大
藏省トガ大分長ク論争サレテ居ッ
ウデアリマス、新聞ニモ是ハ洩レテ居
タ、ソシテ内輪喧嘩ノコトヲ聞クノデ
ハナイケレドモ、聞ク所ニ依ルト、免
稅點ノ問題デアタヤウニ私ハ思フ、此
前ニ私ガ聞イタ所ガ、地方ノ營業稅ニ
對シテハ免稅スルト云フコトヲ一般
ニセス、ソレハ十七條デアリマシタカ、
何條カニ依リ、シタイ地方長官ハスル
アラウ、シタクナイ地方長官ハセヌ
アラウガ、内務省トシテハ一律ニ下ノ方

ノモノヲ下ゲテヤルト云フ誠意ハ認メ
ラレナカッタ、今度ハ府縣稅ノ上ノ方、
四百圓以上ノモノ、例ヘバ五百圓ニモ
免稅點ヲ上ゲテ、サウシテ一面ニ於テ
ハ比較的ニ國稅カラ見テ下層ノ營業者
ノ負擔ヲ輕減シ、第二ニ此免稅ニ依ッ
テ一面ニハ地方ノ財源ヲ涵養セシメテ、
今回ノ租稅計畫ニ依ル所ノ地方ニ對ス
ル負擔ト云フモノヲ補ッテ行カウ、此事
ハドウ致シテモ私ハ内務大臣トシテ
ヤッテ貫ヒタカッタノデアリマス、ナゼ
之ヲ爲サラナカッタノカ、其理由ヲ先以
テ内務大臣ヨリ伺ヒタイ、是ハ大キナ
問題デアリマス

○安達國務大臣 今御尋ノコトハ内務
省トシテ色々研究ヲ致シマシタ、併ナ
ガラ國ノ財政ノ上カラ、ドウシテモサ
ウ云フコトハ此際ニ行ハレナイト云フ
結論ヲ得マシタカラ、ソレデ此通りニ
シタ次第デアリマス、御話ノヤウナ意
見モ大分アッタト云フコトヲ申上ゲテ
置キマス、併シ遺憾ナガラサウ云フコ
トガ出來ナカッタノデアリマス

○次田政府委員 チョット私、補足シテ
申上ゲマス、營業稅ニ付テ課率ヲ一部
分引下ゲルコトニシタニ拘ラズ、更ニ制
限外課稅ヲ許スト云フコトハ、一旦與
ヘテ直グソレヲ取上ゲルモノデアルト
云フ御話デアリマシタガ、一應御尤モ
デアリマスガ、是ハ私共ハ斯ウ云フ風

ニシタイト思ッテ居リマス、營業稅ヲ下
ゲマス、サウスルト、ソコニ府縣ニ
幾ラカノ歳入缺陷ガ生ズル、其歳入缺
陷ガ生ズルモノハ總テノ外ノ稅デ、ソ
レヲ補ハセタイ、譬ヘテ申シマスレバ、
營業收益稅ノ制限外課稅ト云フヤウナ
コトモ、考ヘラレルト思フノデアリマ
ス、サウシテモ尙ホドウシテモ其途ガ
ナイ、制限外課稅ニ付テモ地租ノ附加
稅、營業稅附加稅、營業收益稅附加稅
等ニ付テモ、ソレト制限外課稅ヲス
ル限度ガ、ソレト決ッテ居ルモノデ
カラ、ドウシテモ工面ガ付カナイト云
フ際ニハ、營業稅ニ付テ制限外課稅ヲ
而モ今マデ課稅ヲ致シテ居ル範圍ヲ越
ユルコトハ出來ナイノデアリマスガ、
其範圍内ニ於テ極ク僅カノ制限外課稅
ヲ認メヨウ、申サバ營業收益稅ガアリ
マシテ、ソレカラ營業稅ガアリマス、
其營業收益稅ノ方ヲウント制限外課稅
ヲシテ、餘計取ルヤウナ場合デアリマ
セネバ、營業稅ノ制限外課稅ハサセナ
イ積リデアリマス、一旦與ヘテ直ニソ
レヲ取上ゲルト云フコトノ御非難ハ、
一應御尤モデアリマスガ、ソレハ行政
上成ベクサウ云フコトハサセナイ、唯
公共團體トシテハ、ドウシデモ經驗ス
ル事ガ出來ナイト云フ場合ガアリ得ル
コトヲ考ヘマシテ、營業稅ノ制限外課
稅ヲ三年ダケ、認メテ行カウト云フ趣

旨デアリマス

○岡田委員 一應御尤モダ、私ハ一應
モ二應モ御尤モダト思ッテ居ル、一應下
ゲテ又上ゲル、ドツチデモ五十歩百歩
デアリマス、サウ言ハレルト非常ニ茲ニ
不思議ナコトガ起ッテ來ル、營業稅ナ
リ、營業收益稅ノ課率ト云フモノヲ上
ゲル、下ゲルト云フコトハ、ドウシテ
事實上オヤリニナリマスカ、營業稅ナ
ルモノハ、此前アナタノ示サレタ表ニ
モアル通り、外形標準ノ隨分込ミ入ッ
モノデアリマス、或ル府縣ニ於テハ純
益ニ依ッテ、取ッテ居ルモノモアリマセ
ウ、府縣ニ於テハ、外形的ニ取ッテ居ル
モノモアル、之ヲ課率ヲ上ゲルトカ、
下ゲルトカ云フコトハ、ドウ云フ風ニ
オヤリニナルノデアリマスカ、具體的
ニ御話願ヒタイ

○次田政府委員 御答致シマス、從來
ノ課率ニ對シテ、或ル程度ノ上ゲ下ゲ
ヲ致サセテ居リマス、サウシテソレハ
内務省デ許可ヲスルトカ云フ方法デ、
取締ッテ行ク積リデアリマス、營業稅ノ
制限外課稅ヲスルニハ、無論内務省デ
許可ヲ詮議スルノデアリマスガ、其課
率ノ點ヲ昭和六年度、七年度ト、十分
ニ内務省デ詮議スル積リデアリマス

○岡田委員 一寸其課率問題ハ、又後
ニ御話ヲスルコトニシテ、少シ話ガ混
淆シテ參リマシタカラ、ソコデ止メテ

戴キタイノデスガ、ソレデ今ノ話デ、内務大臣ノ御答辯ニ依リマスルト、免稅ヲ上ゲルコトハ、要スルニ國ノ財政ノ都合上、財源ノ都合上、出來ナカッタ、甚ダ遺憾デアアル、ヤラウト云フ氣モアッタ、氣分デモアッタ云フコトハ、私ハ非常ニ贊成スルノデアリマス、所ガ一面ニ於テハ賃賃價格ニ課スル爲ニ、是ハ或ハ大藏省ノ事ニ屬スルノデアリマセウ、例ノ二百圓ヲ二百四十圓ニスル問題デアアル、二百圓ノモノガ二百四十圓見當ト云フコトニナッタノデアリマシガ、其課率ヲ追ウテ行ケバ、ドウ致シテモ營業收益稅ハ先ヅ以テ四百圓、五百圓位ニシテ、免稅點ヲ均衡上決メナケレバナラナイト思フ、其均衡ヲ取ルト云フコトニ付テ考ガナカッタノデアリマスガ、是ハ内務大臣デナケレバ大藏大臣カラデモ御答ヘ願ッたら宜イト思ヒマス、私ハ其均衡ヲ取ルベキモノデアルト云フ考デアアルガ其觀念ニ付テハ如何ナル御意見デアリマスカ

○井上國務大臣 營業收益稅ニ付キマシテハ千圓ト云フ限界ヲ置イテ、其上ト下トノ課率ヲ變ヘマシタ、ソレニ依ッテ大體今岡田君ノ言ハレルヤウナ目的ヲ達シ得ル、斯ウ考ヘマシテ免稅點ヲ置キマスコトモ、アノ點デ、上下トニ急激ナ變化ヲ來シテ、可ナリ具合ノ惡イ所モアリマスガ、千圓ト云フ限

度ヲ置イテ、只今ノヤウニシテ其目的ヲ達スルヤウニシタ譯デアリマス

○岡田委員 サウ致シマス、地租ノ免稅點ハ二百四十圓ニナッタ、ソコデ營業收益稅ノ先ヅ千圓以下ノモノヲ少シ下ゲテヤッタカラ、均衡ヲ得タト云フノデアリマスガ、詰リ均衡ノ事ヲ御考ヘニナッタノデアリマスガ、營業稅ト地租トノ均衡ト云フモノハ御考ヘニナラヌ

○井上國務大臣 私ガ申上ゲルマデモナク、地租ノ免稅點ハ、アレハ營業收益稅ノ免稅點トハ大變性質ヲ異ニシテ居リマス、一方ハ自作農ノ獎勵ノ爲メノミデゴザイマス、隨テ營業收益稅ノ免稅點ト、地租ノ免稅點ト云フノハ、全ク稅法カラ申シマス目的ヲ異ニシテ居ルト申シテ宜シイノデアリマス、隨テアノ間ニ鈞合ヲ取ルト云フコトハ考ヘマセスノデゴザイマス、唯鈞合ト言ヒマスガ、社會政策ト言ヒマスガ、下層社會ニ對スルモノニ對シテハ千圓ヲ限度ニシテ、只今御手許ニ差出シテアルヤウナ案ヲ拵ヘタノデアリマス

○岡田委員 ソレデハ詰リ結著、稅法ノ上カラ言ヘバ、免稅點ヲ作ルニ付テハ營業稅ト地租トハ權衡ヲ取ル必要ハナイ、斯ウ云フコトデアリマスガ、ソレデハ更ニ伺ヒマスガ、元來地租、營業稅ト云フモノハ濱口君アタリノ言葉

ニ依レバ、所謂兩翼トシテ、補完稅トシテヤルト云フ時ニ、此均衡ヲ得セシメテ、免稅點ヲ作ルト云フ所ノ御考ハナカッタノデアアルカ、アルノデアアルカト言ヘバ、アルヤウニ私ハ思フノデアリマス、ソレハアナタハ新シイ大藏大臣デアアルガ、古イ人ガ居リマセウ、其時ノ速記等ニ依ッテ見ルト、必ズ是ハ均衡ヲ得セシメルヤウニシテ居ルモノト私ハ見テ居ルノデアアル、政府ノ言明モ左様デアッタヤウニ私ハ承知シテ居ル、今大藏大臣ハ由來ヲ御承知ナイカラ、是ハ別ノモノデアルト此前モ言ハレタ、アレハ是、是ハアレト頻ニ仰シヤッテ居ルガ、私ハサウ思ハヌ、同ジク是ハ收益稅ノ一種デアアル以上ハ、ソコニ均衡ヲ得ルト云フコトハ態形ヲ整ヘル上ニ於テ、ドウシテモシナケレバナラヌ

○青木政府委員 御答ヲ致シマス、只今御質問ニゴザイマシタ此前ノ濱口大藏大臣ノ稅制整理ノ際ニ、地租ノ免稅點ノ二百圓ト云フモノト、營業收益稅ノ四百圓ト云フモノトハ、權衡ヲ取ッテ決メタノデアアルト云フ御答辯ガアッタヤウニ思フト云フ御話デゴザイマシタガ、私モ正確ニハ記憶致シマセヌケレドモ、サウ云フヤウナ事ガアッタヤウニ思ヒマス、併シ私共ガ今日考ヘテ居リマス事ハ、只今大藏大臣カラ御述ベニナリマシタヤウニ、地租ノ二百圓ノ免

稅點、ソレハ自作農ヲ獎勵スル爲ニ、田畑ニ限リマシテ、而モ自作スル者ニ限ッテ之ヲ免稅スルト云フ趣旨デアリマシテ、ソレ以下ハ地租ヲ負擔スル擔稅力ガナイト云フヤウナ趣旨カラ、出テ居ルノデハゴザイマセヌ、又營業收益稅ヲ四百圓ト云フ所デ、地方稅ト國稅トノ分界ヲ定メテ居リマスケレドモ、其四百圓ト云フ所ハ、四百圓以下ハ御承知ノ府縣營業稅ヲ取ルノデアリマシテ、全然四百圓以下ノ人ガ所謂營業收益稅、營業稅ト云フヤウナ廣イ意味ノ、營業稅ヲ負擔シナイト云フ譯デハゴザイマセヌノデ、私共ガ只今考ヘテ居リマス所デハ、此地租ノ所謂免稅點ト云フノト、營業收益稅ノ所謂免稅點ト云フノハ、全ク性質ノ違ッタモノデアルト考ヘテ居リマス

○岡田委員 サウナッテ來ルト云フト、濱口君ニ病床ヨリ御出デラ願ッテ來ナケレバナラヌト云フコトニナッテ、ソレダカラ臨時首相代理ガ困ルノダ——是ハ濱口君ノ意見ニ依レバ、所謂補完稅トシテ兩翼トスルノダ、故ニ免稅點ニ付テモ均衡ヲ得セシメナケレバナラヌト云フコトハ、始終口癖ノヤウニ言ウテ居ルノデアリマス、已ムヲ得ナイカラ私ハ茲ニ速記録ノ一端ヲ讀ンデ見マセウ、皆様御聽ヲ願ヒタイ、サウシテ此濱口君ノ意見ノヤウニスルナラバ私

ハ免稅點ト云フモノハ、少クトモ五百ラデモ願ヒタイ

ニ濱口大藏大臣ノ御意見通リト致シマシテモ、營業收益稅ノ免稅點ヲ引上ゲタルト云フコトニハナラナイト申上ゲタ

ハ免稅點ト云フモノハ、少クトモ五百ラデモ願ヒタイ

稅率デナイト云フコトニナル、丁度負擔ヲホド、ニシヤウト云フヤウナ所カラ、サウ云フヤウナ立法例ト云フモナガ多クアルノデアリマス

○本田委員 岡田君ニ伺ヒマスガ、内務大臣ハ宜シウゴザイマスカ

○岡田委員 サウハ行キマセヌ

○本田委員長 アッチノ方ハ開會スル都合ガアルサウデアリマス

○岡田委員 成ベク早クヤリマセウ、ソコデ今ノ累進課率ト云フモノヲ用キルノハ、實ニ私ハ不思議ニ思フ、何故

累進課率ヲ取ツタカ、實際ノ立法ノ原理ヲ聞イテ見タイ、何故千圓以下ニ於テハ斯ウ云フコトニサレタカ、ドウ云フ道理デサレタカ、其道理ヲ聞キタイ

○小川政府委員 今申シタヤウニ同ジヤウナ率デ減稅致シマスレバ、千圓以上ト千圓以下ニ於キマシテハ違フノデアリマス、何故千圓以下ハサウデアアルカト云フト、營業稅カラ營業收益稅ニ移リマシタ折ニモ、大分千圓以下ノ所

ハ急ニ變ツタヤウニモ思ヒマスシ、又現在ノ狀況カラ考ヘマシテモ、千圓以下ノ營業收益ヲシテ居ル營業者ハ、氣ノ毒ナヤウニ思ヒマスルノデ、ソレデ歩合ヲ餘計減ジタト云フコトニナリマス、ソレハ理窟デアリマス、立法例ハ他ニアリマスガ、營業收益稅ニ於テハ普魯西ノ立法ニモ階段ハ刻ンデ居リマ

ス、普魯西ノ所得稅ハ非常ニ刻ンデアリマスガ、營業稅ト云フモノハ餘リ刻ンデ居ナイノデス、佛蘭西ノ商業所得稅ト云フモノモヤハリ同ジデアリマス、ソレデアリマスカラ、所得稅デアリマセヌ、營業稅デアリマス、營業稅或ハ營業收益稅ニ當ルモノデス、營業收益稅カ何カニ其立法例ハアリマス

○岡田委員 是ハ地租トノ權衡問題ガ起キテ來ル、ソレハ先ニ繰返シ申ス通りニ、現内閣ノ大藏大臣ハ認メヌト言フガ、私ハ元ノ立法ノ起リト云フ由來

歴史ガ、サウナツテ居ルト思フ、ソコデ千圓以下ノ者ハ稅ガ重イ、負擔ニ堪ヘヌデハナイカ、サウスレバ千圓以上ノ者モ、二千圓以上ノ者モ三千圓以上ノ者モ、次々ニヤツテ行クノデスカラ、收益ノ多イ者ハ、モット重イ負擔ヲシテモ宜イト云フコトニナリマスガ、ソレハ

收益ノ多イ者程負擔力ガ多イト云フ原理カラ行クノデスカ

○小川政府委員 既ニ答ヘタコトガアリマスガ、營業收益稅ハ資産ト勤勞ト云フモノガ、結付イテ出來テ居リマスカラ、資産ノ分子ガ少クテ勤勞ノ分子ガ多イト云フモノニハ、特ニ斟酌スル必要ガアル、千圓以下ノ者ニハ資本ノ分子ガ少クテ勤勞ノ分子ガ多イノデアリマスカラ、ソコヲ少シ緩メテヤル必要ガアルト、斯ウ云フ風ニ考ヘタ次第

デアリマス、累進率トカ言ヒマス、階段ヲ澤山刻ンデ行クヤウニ御考デアリマセウガ、現實サウナツテ居ルノデアリマセヌ

○岡田委員 最後ニ申上ゲテ置キマス、其政府ノ考ハマルデ間違ッテ居ル、純益ガ多ケレバ勤勞ガ少イ、純益ガ少ケレバ勤勞ガ多イト云フコトハ間違ッテ居ル、其近イ例ハ郵船會社デアアル、今無配當デヤツテ居ルガ、勤勞ノ分子ガ多イトカ少イトカ言ヘルカ、斯様ナ原理原則ニ依ツテ營業收益稅ノ減稅或ハ免稅ヲ期スルト云フコトハ、租稅ノ原理ニ於テ間違ッテ居ルト、私ハ茲ニ言明致シマス

○小川政府委員 今ノ御話ハ個人營業稅デアリマスカラ、公人デアリマセヌ、個人營業收益稅デアリマスカラ、郵船會社ノヤウナ場合ハ……

○岡田委員 サウ云フ間違ッタ考デアラレテハ困ル、故ニ私ハ政府ノ方針ガ違ッテ居ルノデアアルカラ、此稅法ハ間違ッテ居ルト云フコトヲ茲ニ申上ゲテ、先ヘ進ミマス、ソレカラ先程營業稅ノ附加稅ニ付テハ少ク共三年間ハ限外課稅ヲ許スト云フコトデアリマシタ、サウスルト之ニ聯關シテ伺ヒタイ、營業稅ヲ減ズル、附加稅ハ多少舉ゲラレテ居ルガ、營業稅ヲ減ズル、營業稅的ノモ

ノデアッテ、所謂雜種稅ニ入ルモノデア

リマセウ、アレハドウナサルノデスカ、一應減ジマスカ、減ジマセヌカ

○次田政府委員 雜種稅ニハ手ヲ觸レナイ積リデ居リマス、併シ雜種稅ノ中ニハ營業稅ト性質ノ同ジヤウナモノガアリマス、其方ニ付テハ斟酌ヲ加ヘル積リデ居リマスガ、併シ制度論ト致シマシテハ、營業稅ハ雜種稅トハ別ノモノトシテ考ヘル積リデ居リマス

○岡田委員 總テノ内務省ノ考方、御答辯ト云フモノガ、皆紙ノ上ノ制度ヲ行フモノデアッテ、私ノ考トハ皆違ッテ居ル、私ハ負擔力或ハ人々ノ生活狀態ヲ見テヤツテ貫ヒタイ、内務省ハ雜種稅ハ別ダ營業稅ハ減ズルト云フ、左様

ナ机上論デ律スルコトハ宜クナイト申上ゲテ、先ヘ進ミマス、ソレカラ營業稅ニ付テ、其附加稅ニ付テノ問題デアリマス、アナタハ三年間ハ限外ハ許スト言ウテ居ルガ、斯ウ云フヤウナ制度ヲ行ツタナラバ、三年デハ濟マス、必ズ將來ニ於テモ許サナケレバナラヌト思フ、之ヲ許ス許サヌト云フコトニ付テ、私ハ非常ナ疑問ガアル、此處ニ地方營業稅ノ課稅標準、及ビ昭和五年度課率ト云フモノヲ配付セラレテ居リマス、北海道ハ純益百分ノ二・八トサレテ居ルガ、是ハ限外ヲ許スカ許サヌカ、併シ青森縣ノ如キハ收入金ノ千分ノ四デア

アル、從業者ハ一人ニ付テ四十錢ト云

ル

フヤウニ、外計標準ニ依ッテ居ル、是ハ多數ノ縣ガ皆サウデアリマス、ソレヲアナタハ限外課税ヲドウシテ扱フノデアルカ、其ヤリ方ガ分ラナイ

○次田政府委員 現在ノ地方税ニ關スル法律ノ施行勅令ニ、營業税ハ營業收益税ヨリ餘計取ルコトハナラヌト云フ法律ガアリマス、違ッタ業態ノモノハ別デアリマスガ、同ジヤウナ業態ノモノニ付テハ、營業税ハ營業收益税ヨリ餘計取ルコトハナラヌ、ソレデ外形標準ニ定メテアリマス場合ニ於テモ餘計取ルコトハナラナイノデアリマスカラ、營業收益税四百圓程ノ税ニ達シテ居ナイト考ヘナケレバナラヌ譯デアリマス、反證ガアレバ、其點ハ斟酌致シマスガ、

課シテ居ルト考ヘマス、詰リ營業收益税ト同一業態ノモノニ付テハ、現在ノ課率ヲ二十八分ノ二十二ニナリマスト同ジ割合ニ引下ゲルノデアリマス、譬ヘテ申セバ、今御示シノ青森縣ノ收入金千分ノ四ト云フコトニナッテ居ルモノハ、其千分ノ四ニ二十八分ノ二十二ヲ掛ケタモノヲ税率ニスレバ、宜シイト思ッテ居リマス、サウスレバ丁度二十八ガ二十二ニナッテ同ジ割合ニ税金ガ下ルサウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、他ノ外形標準ニ依ルモノモ同様ニ考ヘテ居リマス、併ナガラ例ヘバ青森縣ニ

付テ申シテ、收入金千分ノ四ト云フコトガ純益ニ換算シテ百分ノ二八ニ達シテ居ナイト云フコトガ明瞭デアリマシテ、ソレガ百分ノ一・五ト云フヤウナ場合ニハ、ソレハ斟酌シテ考ヘマスガ、ソレガ反證ノナイ限りハ、純益ニ換算スレバ百分ノ二・八ノ課税ヲセラレテ居ルモノト認メマシテ、ソレノ二十八分ノ六ダケ減少セシメレバ宜イト考ヘマス

○岡田委員 ソレハ分リマシタガ、純益ニ換算スルト云フコトデスカ、誰ガ換算スルノデスカ、ソナコトハ出來ナイト思フ、ソナコトヲスルモノデスカ、遂ニシマイニハ外形標準ニ依ッテ、結著ハ各地方々々ニ於テ純益ヲ先ニ出シテ、ソレデ以テ率ヲ計ッテ、是ガ制限ニナルカナラヌカ、是ガ國稅營業税ノ上カ下カ見ナケレバナラヌ、ソナコトヲヤッタナラバ徵稅費ニ掛ッテ迎モ稅ハ取レマセヌ

○次田政府委員 ソレハ現在サウ云フ問題ガ起ルノデアリマス、營業税ハ營業收益税ヨリ餘計取ッテハナラヌト云フコトニナリマシテ、營業收益税ハ純益ヲ標準ニシテ取ッテ居ルノデアリマス、ソコデ收入金ノ千分ノ四ト云フノガ、現在ノ勅令違反ニナルカナラヌカ、此青森縣ノ收入金千分ノ四ト云フノハ、此地方税ニ關スル法律施行ニ際ニ内務省デ認可ヲシテアルノデアリマス、其認可ノ際ニハ收入金千分ノ四ト云フコトデ課税スレバ、純益ニ對シテ百分ノ二・八ニ匹敵スルト云フヤウニ考ヘテ認可シテ居ルノデアリマス、昭和六年度、七年度ニ於テノ營業税ノ課税率ハ、内務省デ別ニ認可スル積リデ居リマスカラ、其際ニ換算シテヤレバ宜シイト考ヘテ居リマス

○岡田委員 例ヘバ茨城縣デ云ヘバ、賣上金ガ一等カラ二等、三等トナッテ居リマシテ、收入金ノ總額ヲ調ベテ見マスト、多種多様ニナッテ居リマス、之ヲ一營業收益税ト比ベテ課率ヲ出スコトハムヅカシイト思フ、ソコデ實際上監督ガ十分ニ行カスト云フ結論ニナル、兎ニ角監督シヨウト思ヘバ、府縣稅ノ最高限度ノ營業稅者ト、國ノ最高限度ノ營業稅者ト比ベタ時ニハ、最高限度ノモノハ大抵分ルデアリマセウ、併シ其下ノ方ニ行クト、一々之ヲ調査スルコトハ中々ムヅカシイ、ソコデ内務省ノ監督ガ事實届カヌ、其結論トシテ上ノ方ハ内務省ニ對シテハ課率ヲ決メテ認可申請スルガ、下ノ方ハ認可申請ノ範圍外デアルカラ、ソレニ對シテハヤタラ勝手ニ税率ヲ設ケテ、高イ率デ取ラレルカラ、下ノ方ニ對シテハ過重サレテ來ル結果ガ生ジテ來ルト私ハ思ヒマス

○次田政府委員 最高限度ノモノニ付テ認可シタト申シマスノハ、現行ノ地方税ニ關スル法律施行ノ際ノ御話デアリマシテ、昭和六年度七年度ニ認可スルト申シマスノハ、其課率ヲ調ベル積リデ居リマス、而シテ茨城縣ノ賣上金ガ一等カラ十等デアリマスモノニ付テモ、同ジ割合ニ二十八分ノ二十二ヲ之ニ掛ケタモノヲ以テ、賦課スルヤウニスル積リデ居リマス

○岡田委員 詰リ最高限度ノ取締ハ出來ルガ、ズット下ノ方ノ取締ハドウスルノデスカ

○次田政府委員 是ハ純益ニ付テヤルノデハナク、課稅標準ヲ外形ニ求メマスト、上ノ方ト下ノ方ト全ク同ジ割合ニ課稅スルコトハ困難デアリマス、純益デ致シマスレバ、一番餘計納メマス者モ、一番少ク納メマス者モ、百分ノ二・八乃至百分ノ一・二トシテ行ケルデアリマスガ、例ヘバ物品販賣業ノ賣上金ヲ三等ニ區別スルコトニナルト、千圓以上ノモノヲ一等トシ、千圓カラ五百圓マデヲ二等トシ、五百圓以下ヲ三等トスルト、ドウシテモ比例稅ニハナリマセヌ、純益ニ對シテ正確ニ稅ヲ掛ケラレルコトニナラナイノハ已ムヲ得マセヌ、併ナガラ何等々ト云フモノニ對スル課率ハ、丁度二・八ヲ一・二ニ減ジタト同ジ割合ニ減ゼシメマス

カラ、現在ノ外形標準デ稅ヲ課スル制
度ノ下ニ於テハ、適當ナ減稅ヲサスコ
トガ出來テ、此監督ハ十分出來ルト確
信致シテ居リマス

ナラバ、十等ニ付テモ一割減サセマス
カラ、上ノ方ガ減ズルノミデ、下ノ方
ガ減ズルコトハナイト云フコトハナイ
ト思ッテ居リマス

定ニ依ッテ御定ニナルノデアリマスカ、
併セテ聽イテ置キマスガ、自作農ノ免
租地ノ特別地稅ハ免租スルカドウカ
○次田政府委員 從來ハ取ラナイト云
フ解釋デアリマシタガ、其解釋ガ惡イ
ト云フノデ、ソレヲ改メテ地方ヘモ通
達スル積リデ居リマス、ソレカラ自作
農ノ免租地ニ關シテハ、一村擧ッテ地租
ヲ免租サレルト云フ場合ニハ、其自作
農ノ特別地租ヲ取ラセナイコトニ規定
ヲ作ル積リデアリマス

○次田政府委員 是ハ一番始メニ計算
ヲ致シマシテ、年々幾ラ〜ヅ、ハ増
スコトヲ認ムルトカ、年々幾ラ〜ヅ
ツ減ズルコトヲ認ムルト云フコトヲ、
先ヅ始メノ年度ニ決メテシマフ積リデ
居リマス、サウシテ假ニ或ル年度ニソコ
ノ土地ガ半分免租ニナッタト致シマス
レバ、其半分ニ該當スルモノダケシカ
取ラセナイ、例ヘバ從來ノ地租ニ較ベ
テ來年ハ附加稅ヲ千圓ダケ殖ヤシテ宜
イ、制限外トシテ取ッテ宜シイト云フヤ
ウニナッテ居リマシタ場合ニ、其村ノ土
地ガ半分災害ニ罹ッテ駄目ダト云フコ
トニナリマス、五百圓ダケハ取ッテ宜
シイ、サウ云フコトニスル積リデ居リ
マス

○岡田委員 外形標準ニ依ッテヤルノ
ガ多イノデアリマスカラ、下ノ方ノ階
級ニ付テ課率ヲ下ゲタ點ニ付テノ監督
ガムヅカシイト思フ、ソコデ政府ハ先
程申ス通り、營業稅ヲ減率シタ缺損ニ
向ッテハ、財源ヲ與ヘテナイノデアルカ
テ、營業稅ノ上ノ分ハ減ジテ來ル、隨
テ收入ガ減ッテ來ルコトニナルト、下ノ
者ニ向ッテハ減稅率ヲ一割ニセズニ、一
割五分若クハ一割位ノ減稅ニシテ、不
足額ヲ下ノ方ニ割込ンデ來ルト云フ危
險ガ大ニアルト思フ、上ノ方ノ率ハ分
ルガ、下ノ方ノ率ハ何割減ッタカハ純
益ニ計算シナケレバ分ラナイ、其計算
ガ非常ニ困難デアルカラ、町村收入ノ
缺損ヲ補ハシガ爲ニ、上ノ方ハ内務省
ガ押ヘルカラ宜シイガ、之ヲ營業稅者
ノ下ノ者ニ割込ムコトニナルト思フ

○岡田委員 下ヲ減ゼスト申スノデハ
ナイ、減ズル率ヲ少クシテ潛ッタ時ニ、
ドウシテ監督サレルカラ問ウテ居ルノ
デアリマス、併シ是ハ面倒ニナリマス
カラ當局ノ御研究ニ俟ツコトニ致シマ
ス、次ニ地租法改正案ノ第三章ノ災害
地ノ免租ニ關スル件デアリマス、災害
地ヲ免租シテ地租ノ附加稅ハ取リマス
一カ、其御見込ヲ聽キタイ

○次田政府委員 附加稅ヲ取ラナイ考
デアリマス

○岡田委員 取ラナイトナルト、大風、
霜害其他ノ事デ、一箇町村殆ド全滅ト
云フヤウナ場合ニハドウナリマスカ

○次田政府委員 今マデハ取ッテ居ッ
ノデアリマスガ、ソレハ無理ダト思ヒ
マス、ソレデ取ラナイコトニスル、サ
ウスルト其町村全體ガ災害ニ罹ッタ場
合ニハ、其町村ノ地租附加稅ノ財源ガ
全部ナクナッテ、町村ガ困ルデアラウ
ト云フコトデアリマスガ、其年ダケハ
町村債ヲ起シテヤラス積リデ居リマ
ス、サウシテ其償還財源ヲ將來ノ地租
附加稅デヤラス、斯ウ云フ考デアリマ
ス

○岡田委員 ソレハ通牒トカ其他ノ規

○次田政府委員 地方稅ニ關スル法律
ノ施行勅令ニ、其事ヲ書ク積リデ居リ
マス

○岡田委員 減收ノ村ガアッタトスル、
減收ノ村ノ惡イ分ハ……、殘リノ宜イ
部分ダケナラ増收ニナル、其時ハドウ
ナルカ、是ハ事務上法令上ノコトデア
リマスカラ、ドナタカラデモ宜シウゴ
ザイマス、例ヲ擧ゲテ見マセウ、例ヘ
バ百萬圓ノ地價ヲ持ッテ居ル村ガ、賃貸
價格ノ結果百十萬圓ノ村ニナッタ、是ハ
増收ヲ生ズル村デアリマスガ、其中ヲ
半分ニ分ケテ見ルト「エー」ナ大字ニ於
テハ五十萬圓ノ地價デアッタガ、今度ノ
賃貸價格デ四十萬圓トナッタ、一方ノ半
分ニ於テハ、同ジ五十萬圓ガ舊法ニ依

○次田政府委員 其點ハ私共大丈夫デ
アルト思ヒマス、例ヘバ茨城縣ノ例ヲ
御覽下サツテモ、賣上金ヲ標準ニシテ
定額賦課ヲシテ居ルノガ、一等カラ十
等マデアリマスガ、今度認可ヲ申請サ
セマスノハ一等ダケデハナク、一等カ
ラ十等マデノ課率ニ付テ申請サセルノ
デアリマス、假ニ一等デ一割ヲ減ジタ

○岡田委員

○岡田委員 ソレデ序ニ希望シテ置キ
マスガ、其結果ハ國稅ノ免租地ト地方
稅ノ免租地ト云フモノハ、其認定スル
人ガ違ッテ居ル爲ニ、色々違フ例ガアル
ト思ヒマス、其邊ノ關係ヲ調和スルヤ
ウニ御考慮ノ上、ヤルナラバヤッテ貰ヒ
タイ、ソレカラモウ一ツ簡單ナコトヲ
聽イテ置キマス、七年間ニ町村ノ土地
ノ課率ト云フモノハ、減ノ分モ増ノ分
モ七分ノ一ニナッテ居ルト思フガ、途中
デ以テ荒地ガ——町村ノ中ノ半分ナラ
半分ガ、洪水ナド荒地ニナッタト云フ

ナラバ、計算ノ基礎ガナクナルノデハ

○岡田委員

○岡田委員

○岡田委員

○岡田委員

ル地價デアッタケレドモ、今度ハ七十萬圓ニナッタト云フコトニナルト、詰リ元ハ五十萬圓ヅ、デアッタガ、今度ノ結果ハ半分ハ四十萬圓、半分ハ七十萬圓ニナリ、合計百十萬圓、斯ウ云フ時ニ「ピ」ノ大字ガ荒地ニナッタ、サウスルト元來增收スル村デアッタモノガ、残りモノデ計算スルト減收ニナル、斯ウ云フ場合ニ計算ノ根據ガナクナッテシマフヤウニ思フガ……

○次田政府委員 私ノ申上ゲヤウガ惡ウゴザイマシテ、サウ云フヤウニ御尋ニナッタノダラウト思ヒマスカ、モット正確ニ申シマスレバ、七年間ノ課率ヲ始メノ年度ニ決メテ、其課率デ災害免租ニナラナカッタ土地ニ課スルコトニ致シマス

○岡田委員 ソレハ條文ノ何處ニアリマスカ

○岡田政府委員 明治四十一年法律第三十號中改正法律案ニ付テ申シマス、其附則四項ニ依ッテ、勅令ノ定ムル所ニ依リ制限外課稅ガ出來ル、五項ノ方ニ付キマシテハ、勅令ヲ以テ此法律ノ制限ニ代ル制限ヲ命ズルコトガ出來ルコトニナッテ居リマス、ソレニ基イタ勅令ガ出ル譯デアリマシテ、其勅令要項ノ四及六ガ主トシテ其規定デアリマス

○大口委員 私シ内務大臣ニ御伺致シマスコトハ、大分岡田君等ノ質問應答

デ盡キテ居リマスカ、二點バカリ御説明ガ足ラナイヤウニ考ヘマスカラ、此ノ點ヲ御答辯煩ハシタイト考ヘマス

第一ハ私共ノ考ト政府ノ考トニ於キマシテ、自治體ノ財政ニ關シマシテ、根本ノ考ガ違ッテ居リハセヌカト云フ疑ガアル、現政府ニ於カレマシテハ、組閣ノ當時カラ通牒ヲ頻ニ出サレマシテ、地方自治體ニ對シテ財政ノ緊縮節約ヲ強要、要求サレテ居リマス、勿論無駄ハ何處マデモ省カナケレバナラヌカラ、緊縮出來ルモノヲ緊縮スルコトニハ、私等モ異論ハアリマセヌガ、政府自ラガヤラウト思フヤウナ緊縮ガ、地方自治體ノ財政ノ上ニ出來ルト思ッテ居ラレルコトガ、私共最初ヨリ不審デアアルデアリマス、政府ノ財政ヲ緊縮節約スルカラ、地方財政モ同ジヤウニ緊縮節約サレヤウト思ハレマシテモ、財政ノ仕組ガ根本カラ違ッテ居ルノデア

ル、例ヘバ府縣デ申シマスレバ、最も多イ歳出ハ土木費デ、其土木費ノ中ノ主ナルモノハ道路橋梁事業デアリマス、之ヲ除ケバ後ハ洵ニ僅カナモノニナッテシマフ、又市町村ハ小學校教育ノ費用ガ大部分ヲ占メテ、之ヲ除クト後ハ少イモノデアリマス、ソレニ次デハ土木費——ヤハリ道路デアリマセウ、サウ云フ譯デアルカラ、何處ヲ減ズルカト云フト、結論ハ教育費ニ切込ムカ、

土木費ニ切込ムカ、何レニシテモ其餘地ハ極メテ僅カナモノデアリマス、斯ウ云フ市町村ノ状態デアルカラ、政府自ラガ義務費ヲ削ルダケノ力ガナイ事情ニアッテ、地方ノ自治體デ小學校ノ教育費ヲ非常ニ削レ、或ハ土木費ヲウシント削レト言ウタ所ガ、是ハ實ハ難キヲ人ニ求メルモノデアッテ、私共ハ頗ル無理ナ註文デアルト最初カラ考ヘテ、根柢カラ間違ッテ居ルデハナイカト思フノデア

ルカト云フト、今日御覽ノ通りシテ居ルカト云フト、今日御覽ノ通りノ状態デアリマス、之ヲ取上ゲテ追窮致シマシタラ、今岡田君ガ言ハレタヤウナコトヲ、一々竝ベテ行カナケレバナリマセヌケレドモ、之ヲ此處デ議論ヲスレバ、目ノ前ニ見エテ居ッテモ、イヤサウハ思ハヌト御答辯ニナルカモ知レナイ、併シ實際今日各府縣ヤ市町村ノ財政ヲ御覽ニナッタラ思ヒ半ニ過ギルデセウ、無理ニ辻褄ヲ合セル爲ニ、無理ニ作ッテ、一方ニ於テハ借金ノ殖エ

ルヤウナ支出ヲ實現シテ居ルコトハ申スマデモナイ、市町村債ノ殖エタコトモ御承知ノ通りデアリマス、ソレデア

ルカラ地方ニ向ッテ難キヲ責メテ、極端ナル緊縮節約ヲ行ヘト云フ根柢ガ、私ハ無理デアルト思フ、無理デナイト云フナラバ、何處ヲ削レト云フノデアルカ、之ヲ聽キタイ、ソコデ結論ハドウデア

ルカト言ヘバ、私共ハ豫テ市町村ニモ無駄ガアルダラウト思フ、此無駄ハ出來ルダケ省イテ整理ヲシナケレバナラヌガ、今ノ政府ガ思ッテ居ルヤウナ大キナコトハ出來ヌ、政府ノ行政財政ノ整理ノヤウニ大キク行カナイ、ソコデ國家ハ益、發達シテ、地方自治ト云フモノモ發達シテ行クカラ金ガ要ル、今回政府ガ道路ヲヤルト仰シヤッテ居ルガ、失業救濟ノ名ニ於テ一年ニ其金額ハ僅ニ二千萬圓、是デドレダケ市町村ヲ益シ、府縣ヲ益シマスカ知レタモノデス、ア

トハ市町村、府縣ガ引受ケテヤラナケレバナラヌ、ソレダカラ市町村、府縣自治體ノ財政ト云フモノハ、今日我國ノ道路ノ發達ニ伴ッテ非常ニ苦シイモノデアッテ、財源ニ窮シテ居ルト云フコトハ、苟モ爲政者ト云フ者ハ考ヘテ居ラナクチャナラヌ、ソレデ地方ニハドウ云フ財源ガアルカ、氣ノ利イタ財源

ハ大概政府ガ取ッテシマッテ居ル、サウシテ附加稅ニ對シテハ、無論制限ヲ設ケラレテ居ル、何處デ一體市町村、府縣ハ財源ヲ得ルノデアアルカト考ヘテ見レバ、家屋稅カ戶數制ニ行クヨリ外ニ仕方ガナイ、先刻カラ話ガアル通り、家屋稅、戶數制ト云フモノハ非常ニ殖エル、家屋稅ハ私共ハ設ケラレル當時、惡イ稅デハナイガ、全國一般ニ行フコトハ困難ナ稅デアアル、三千萬圓以上ヤッ

タラエライコトデアルト云フコトヲ論ジ、當時ノ内務大臣若槻氏モ幾ラト言ハレタカ、是レ以上ハ取ラセヌ方針ダト申シタノガ、多分市町村、府縣デ六千萬圓位デアッタと思フ、ソレガ一億近イモノニナッテ居ル、或ハ一億ヲ超シテ居ルカモ知レナイ、サウ云フヤウナコトニナッテ居リマスカラ、此地方自治體ノ財政ト云フモノヲ少シ知ッテ居ル人ガ考ヘレバ、非常ニ困難デアル、ソレダカラ吾々ハ國費ヲ減ゼラレルダケ減ジテ、地方財政モ整理ヲスルダケハ整理ヲサセネバナラヌガ、一面ニハ寧ロ中央カラ財源ヲ與ヘテヤラナクチャ地方自治ノ發達ハ出來ナイ、國民ハ非常ニ苦シム、ソレデ歴代ノ政府ト云フモノハ、ドウ云フヤリ方ニナッテ居ルカト云フト、貴衆兩院ニ對シテ國費ノ方ヲ工合好クヤラウト思フカラシテ、國費ノ方ヲ節約スルト言ヘバ、節約ノヤウナ形ヲ拵ヘテ見セル、其結果ハイツモ地方ニ仕事ガ轉嫁サレル、時間ガアレバ私ハ例ヲ擧ゲタイガ、大概例ヲ暗誦シテ居ルガ、地方へ轉嫁サレル、ソレダカラ一ツ議會ガ濟ム毎ニ地方ノ仕事ハ殖エマズ、議會ガ濟ム毎ニ法律ガ殖エル、ソレニナント書イテアルカト云フト、市町村長之ヲ何トカスト云フヤトナコトガアッテ、市町村ノ仕事ト云フモノハ、議會ガ一ツ濟ム毎ニ殖ヤサレ

ル、國家ノ委任事務、管掌事務ト云フモノハ、政府カラ一文モ呉レシマセヌ、ソレデ地方ニハ緊縮セヨ、ドウセヨト言フケレドモ、一體斯ナ無理ナ縛テ叩クヤウナヤリ方ハナイと思フ、之ニ對シテ内務大臣ハドウ思ッテ居レルカ、之ヲ私ハ承ッテ見タイ、今回ノ此地方稅ニ關スルコトデモ總括シテ考ヘルト、根本ニ於テ私共ノ考トアナタ方ノ考トドウモ違ヒガアルヤウニ見え、モウ一ツ小サイ質問ガアリマスカ、此根本ノ問題ヲ分ラシテ下サレバ、モウ私ハ内務大臣ニハ用ハナイ、此質問ニ付テハ是ダケヲ申上ゲテ御所見ヲ承リタイと思ヒマス

○安達國務大臣 大變緊要ナ割切ナ御問ト考ヘマス、地方町村ノ財政ノ困難ナタノ御尋ニ大體ニ於テ私モ同感申シテ宜シウゴザイマス、此地方財政ノ困難ト云フコトハ、現内閣ガ出來テカラ出來タノニアラズシテ、是ハ御承知ノ通りニ長イ間ニ有ユル仕事ヲシテ、サウシテ茲ニ大ナル行詰リヲ生ジテ居ルト考ヘマス、然ルニ町村ヲ緊縮スル餘地ハナイデハナイカ、成程ソレハ緊縮スル餘地ハナイケレドモ、ソレハ別ニ考ヘテ戴キタイ、ソレハ茲ニ國家ノ財政ノ根本カラ建直シヨスルト云フ場合、意見ハ御互ニ違フケレドモ、總テ

ノ方針ヲ——財政經濟ヲ根本カラ建直ス、即チ金解禁ガ其主ナルモノデアアル、其場合ニ當ッテ、茲ニ一度ハ中央及地方ガ緊縮整理ヲシナケレバナラヌト云フコトハ、當然ナ話デアリマスカラ、ソレデ多少ソレハ無理ナコトモアリマセウケレドモ、國家非常ノ場合ニ際シテハ、非常ノコトヲシナケレバナラヌカラ、茲ニハ中央モ地方モ苦シイナガラ出來ルダケノ緊縮ヲシテ、サウシテ兎ニ角國民ヲシテ、茲ニ思想ヲ根本カラ大轉換ヲセシメテ、緊縮セシメネバナラヌト云フ考デアアル、是ハ御互ニ立場ヲ異ニシテ居ルカラ、其整理ノ方針ハ違フカモ知レマセヌケレドモ、兎モ角今マデ右ニ進ンデ居ッタノヲ、今度ハ左ニ向換ヘル、國家ノ方針ニ大變動ヲ與ヘル時デアルカラ、中央モ地方モ已ムヲ得ズ苦シイケレドモ、一度ハサウ云フコトヲシナケレバナラヌ、ソレデ今ノ御話ノ町村財政ノ困難ナコトハ能ク承知致シテ居リマス、又全國ノ町村長ノ代表者ナドカラモ、斷エズ聽イテ居リ、地方ヲ廻ッテ承ッテ居リマシテ、全ク同情ヲ表シマス、又委任事項ガ殖エ色々ナ事務ガ多クナルト云フコトモ同感デアリマス、要スルニドウスルカト云フコトハ、是ハ私ハ中々至難ナ問題デアルト思フ、ソレナラ大口サン方ガ政權ヲ取ラレタ時ニ、直グ出來ルカト

言ヘバ、中々は一朝一夕ニ出來ルコトデハナイ、私ハ非常ナ困難ナ問題ト思フ、吾々ノ今考ヘル所デハ、六年度ニ於テ財政行政ノ整理ヲスル時ニ、地方ノ問題モ、地方ノ稅制ノコトモ、根本カラ一ツ建直シヨシテ見ヨウト考ヘマス、是デドノ位出來マスカ、私非常ナ決心ヲ以テシナケレバナラヌト思フガ、モウ一ツ此處デ露骨ナ話ヲシテ見レバ、是ハ地方ノ政黨ノ弊害ガ私ハ目ニ見エテ居ル、決シテ政友會ガ惡クテ民政黨ガ善イトハ思ハナイ、此弊害ヲ何トカシテ除去スルコトニシナケレバ整理緊縮ヲシテ行クノニ非常ニ困難ハナカラウカト考ヘテ居リマス、是ハ御互ニ國政ヲ料理シ、殊ニ地方自治ノコトヲ考ヘルナラバ、何時カ機會ガアッタナラ——アナタ方トモ根本的ニサウ云フ點ノ御相談ヲスル機會ヲ造リタイト考ヘテ居リマス、サウシテ眞面目ニナッテ黨争ノ弊害ヲ御互ニ除去スルト云フコトガ出來タナラ、私ハ是ハ餘程遠フダラウト思フ、學校ノ如キ、町村ハ兎モ角、府縣ノ學校整理ナドハ頗ル至難ナコトデアリマス、誰モ氣ガ付イテ居ル、氣ガ付イテ居ッテ斷行シ得ナイノハ、或郡ノ學校ヲ削ルコトガ確ニ宜イト云フコトハ分ッテ居ル、併シ其郡ノ學校ヲ削ルカト云フト、其郡ノ人ハ黨派ノ如何ヲ問ハズ、民政黨ノ人モ、

政友會ノ人モ、嫌ヤダト言ッテ削ラナイ、ソレデ地方税ノ根本的整理が出来ナイ、ドウモ私ハ痛感シテ居リマスカラ、中々民政黨ノ力バカリデイカヌ所モアリマス、政友會モ共ニハサウ云フ地方ニ對スル政黨ノ弊害ヲ御互ニ自覺シテ、サウシテ除去スルト云フコトガデ、眞面目ニ整理ヲスルト云フコトガ出来タラ、私ハ餘程地方ノ面目モ一新セラレルト考ヘマスガ、今日ノ状態デハ中々ソレが出来ナイ、併ナガラサウ云フ話ヲシテ見ヤウヂヤナイカト云フコトニナッタラ、私ハ喜ンデ應ジマシテ、吾々ノ同志ニモ注意警戒シテ、戒メル所ハ戒メテ行ッテ、政友會ニモサウ御願シ、サウシテ黨弊ヲ除去スルコトが出来タラ、私ハ本當ニ地方財政ノ整理が出来ハセヌカト痛感シテ居リマス、サウ云フ感ジヲ近來幾度カ浮ブガ、幸ニ大口サンノヤウナ眞面目ナ方カラ御質問ガアリマシタカラ、私ハ平生ノ所感ヲ率直ニ披瀝シテ見ル次第デアリマス、何ト言ッテモ自治ノ基礎ハ町村ニアルノデアリマスカラ、御互ニソコニ詰ラナイ黨争ナドヲセズニ置イテ、正シキコトヲシタラ、私ハ大ニ町村ノ自治ニ見ルベキモノガアリハセヌカト考ヘマスカラ、アナタノ御尋ニ對シテ覺エズ私ノ平生ノ所信ノ一端ヲ披瀝シタ次第デアリマス

○大口委員 只今ノ御答ニ對シテ、私モウ一言一寸伺ヒ旁々申上ダタイノデスガ、内務大臣ハ現在我國ノ地方自治體ガ財政上行詰リニナッテ居ルト云フコトハ只今明瞭ニ御認メニナッタ其行詰リガ今ニ始ッタコトデナイ、長イ間ノ因襲ト申スカ、習慣デ行詰リニ相成ッテ居ル、是ハ何トカ救済シナケレバナラスト云フコトハ、只今御明言ニ相成ッテ、併ナガラ今回ハ金解禁ヲスルニ當テ、我國ノ財政ノ建直シヨシナケレバナラスノデ、根柢カラ大緊縮ヲシテ人心ヲ新タニスル必要上、已ムヲ得ズ今回地方ニ向ッテモ、極端ナ緊縮節約ヲ強要シタト云フ思召デアリマスカラ、是ハ御議論トシテ、一ツノ御意見トシテハ、ソレデ宜イデアリマセウ、ソレノ善イ惡イハ、私ハ只今批評ハ致シマセヌケレドモ、結果カラ云フト、金解禁ノ爲ニ、此一ツノ我國ノ財政ノ根本ヲ建直スト云フコトノ爲ニ、或ル程度マデ困惑シテ居ル所ノ地方自治體ヲ犠牲ニ致シタト云フコトダケハ、御承認ニナラナケレバナラスノデアリマス、其犠牲ガ大キイカ、御建直シニナラウト云フ金解禁ノ效能ガ大キイカ、是ハ又別問題デアリマス、ソレカラ又其善惡、意見ノ違フコトモ是亦別問題デアリマスケレドモ、兎ニ角ソレガ爲ニ困惑シテ居ル所ノ地方自治體ヲ今日一層

困難ナラシメテ、或ル程度ノ犠牲ヲ拂ハシタト云フコトハ、是ハモウ否ムコトハ出来ヌ、即チ困惑シテ居ルモノニ對シテ、更ニ一ツノ重荷ヲ負ハシタノデアルカラシテ、地方自治體ノ苦シミマスコトハ、中央ノ財政以上デアルト云フコトモ、此處デ認メザルヲ得ナイ、ソコデ私ナドガヤッテモ餘程困難デアラウト云フ仰セデアリマスガ、此點ハ或ル程度マデハ御同感デアッテ、中々ムヅカシイコトト私ハ思ヒマス、併ナガラソレガ爲ニ私共ハ此地租委讓並ニ營業收益税ノ地方委讓ヲ企テタノデアリマス、之ニ對シテハ色々御議論ガアッテ宜クナイト云フ御議論モアリマセウ、反對意見モアリマセウガ、私共トシテハ強キ確信ヲ以テ、地方自治體ノ根柢ヲ財政カラ救フニハ、中央ノ財政ヲ成タケ緊縮ヲシテ、中央カラ浮ビ出シタ所ノ財源ノ一部ノ確實ナモノヲ地方ニ與ヘテ、地方ノ財政ノ基礎ヲ作ル、サウシテ與ヘテ置イテ、一面ニ於テ相當ナ監督ヲシテ無駄ハ省カセ、ヤハリ緊縮スベキ所ハ緊縮セシメテ、地方ノ産業ノ振興ヲ圖リ、自治ノ發達ヲ圖ラウト考ヘタ精神ガ、吾々ノ營業稅並ニ地租委讓案ヲ出シタ譯デアリマス、此是非善惡ノ議論、意見ノ相違ハ別トシテ、私共ノ兩稅ヲ地方ニ委讓セントシタ所ノ根柢ノ肚ノ底ハ、ソコニアッタモ

ノデアルト云フコトダケハ、私茲ニ申述ベタイト考ヘマス、ソコデ幸ヒ政黨關係ノ話ガ出マシタカラ、率直ナ御意見デアッタカラ、私モ一ツ率直ニ此場合内務大臣ニ意見ヲ述ベテ見タイ、折ガアッタ話シテ見タイト思ッテ居ッタガ、幸デアルカラ私モ一言率直ナ意見ヲ述べサセテ戴キタイト思フ、此政黨ノ弊害ト云フコトニ付テハ洵ニ御同感デアリマス、是ハ地方バカリデハナイ、中央モ其通りデアリマス、政黨ハ極メテ必要ナモノデアッテ、立憲政治ノ下ニ於テ政黨ナカルベカラズト私ハ確信シテ、自ラ政黨員ニナッテ居ルモノデアラガ、然ラバ政黨ハ善イコトバカリヤルカト言ヘバ、中央地方ヲ問ハズ非常ナ弊害ガアル、此弊害ハ心アル者、上ニ立ツ者ハ何處マデモ之ヲ矯メ直スコトヲ御互ニ心懸ケナケレバナリマセス、アナタ方ガ胸襟ヲ開イテ來タラ何處マデモ相談スルト仰シヤッタガ、私モアナタ方カラ胸襟ヲ開カレ、バ御相談ニ乘リタイト考ヘル、唯斯ウ云フコトヲ考ヘテ居ル、アナタ方ガ内閣ヲヤッテ居ラレルト、成タケ政黨ノ弊害ヲ去ッテ、俺等モ公平ニヤルカラ、皆揃ッテ政友會モ俺等ヲ援ケヨト仰シヤルガ、政友會内閣ニナルトキットサウハ仰シヤラスノダ、假ニ吾々ガ政友會内閣ヲヤッテ居ッテ、政黨ト云フモノハ仲良クヤルノ

ダカラ、アナタ方モドウカサウ反對セズニ、吾々ニ讓ッテ軟ラカニヤッテ下サイト言ッテモ、中々其時ニハサウハ行カヌノダ、ソコデ困ル、今アナタハ内務大臣デオイデニナルカラ、大口ナドハ共ニ力ヲ盡シテ弊害ノナイヤウニシテ呉レヌカ、胸襟ヲ開ケト仰シヤルガ、ソレナラアナタガ内務大臣ヲ罷メタラドウカ、此方ニヤラシタラドウカト云フト、キツト反對デアル、ソコニ政黨ノ弊害ト云フモノガ起ル、私ハアナタガ選舉干渉ヲシタナドト云フコトハ此處デハ言ヒマセヌ、アナタ方ニ言ハシタラ、政友會モヤッタデハナイカト言ハレドレセウ、所ガ吾々ノ經驗カラ云フト、此間ノ選舉ノ如キ大千涉壓迫ヲ受ケタト感ジタコトハ實際ナイ、大口喜六ハサウ感ジル、所ガソソナコトヲ此處ヘ持ッテ來テ言ヘバ、ヤラナイト仰シヤルニキマッテ居ル、私ハ長イ間政治生活ヲシテ居ルカラ、縣廳ノ知事ヤ警察部長ヤ警察署長ナドガ、ドシナニ酷イコトヲシテ居ルカ知ッテ居ル、無警察ナラマダ宜イケレドモ、吾々ハ惡辣ナ警察ト戰ッテ此間ノ選舉ヲヤッテ來タノダガ、ソソナコトヲ言ッテ所ガ野暮ダカラ私ハ言ヒマセヌ、肚ニ思ッテ居ルダケデ、何カアレバヤッテヤラウト云フ氣デ居ルカラ、アナタニモ酷ク當ルコトニナル、何かアッタラバ罵倒シテヤラウ、面皮ヲ

ヒン剝イテヤラウト云フ氣ニナッテ來ル、所ガ既ニ二度モ議會ヲヤッテ、斯ウ云フコトヲ言ハシテ貰フト、幾ラカソレガ緩和シテ來テ、サウ云フコトガ言ヘナクナル、サウ云フコトヲ振返ルト、ソレガ段々上ノ人ニ分ッテ、ドチヲノ黨派デモ内閣ガ送ッテ大臣ニナリ、政務次官ナドヲヤルト厭ニナル、アナタ方デモ今ニ厭ニナリマス、厭ニナル時分ニハヤッテ下サイ、ヤッテ下サイト云フ、ドウモ俺ハ困ルト云フ時分ニハ人ガヤラセルヤウニナル、サウ云フ風ニ兩黨派ニ其實質ガ分ッテ來レバ、内閣ヲ取ラウトモ思ハヌ、又取ッテ所ガ權利ヲ馬鹿ニ振廻シモシナイ、或ハ此道路ナドハヤリタイガ、アレハ政友會ノ道路ダカラ棒引ニシヨウト云フヤウナコトハヤラナクナル、現ニ失業救済ト稱スル道路、是ハ縣ニ起債ヲ許スノデセウ、ソレヲ利用シテ政黨ノ擴張ヲヤッテ居ルモノガ澤山アリマス、例ヲ舉ゲヨト言ヘバ私ハ言ヒマスケレドモ、サウ云フコトヲ言フノハ政黨員トシテ野暮ダカラ私ハ言ハナイ、ソレカラ又政黨ト云フモノハ随分——唯彼ト私ハ言ヒマセヌガ、黨派ヲ擴張シテ自己ノ努力扶植ノ爲ニハ嘘ヲ言ヒ合フ、ドッチガ言フトハ言ヒマセヌガ、之ヲ先ヅ第一偉イ人カラ止メナケレバナラヌ、本ヲ書イテ出シテモ好イ加減ナコトヲ書イテ、

自分ノ好イ方バカリ書イテ、惡イコトハ棚ニ上ゲテ置イテ、反對派ヲ惡ク言フ、ソレカラ甚シキニ至ルト、大正九年ニドウダト云フヤウナ古イコトヲ言ヒ出シテ來ル、自分ノ方ノ惡イコトヲ抹殺スル爲ニ、十年十五年前ノ反對派ノコトヲ持出シテ抹殺シヨウト云フヤウナ議論ヲスル、ソレダカラ此方モ桂内閣ハドウダ、大隈内閣ハドウダ、或ハ若槻内閣ハ銀行ヲ潰シタデハナイカト云フヤウナコトヲ言ハナケレバナラナイヤウニナル、斯ウ云フコトヲ大臣ニナッテ居ル人カラ慎シク、先ヅ自ラ空シクシテ掛レバ一等宜イ、斯ウ云フコトヲ言ッテハ濟マヌカモ知レマセヌガ、露骨ニ私ヲシテ言ハシムレバ、此我國ノ實ニ今日ノ如キ經濟國難ニ當ッテ、我が帝國ヲドウスルト云フ時ニハ、是マデ言フテハドウカ知レマセヌガ、私ハ政友會ヲ代表シテ言フノデハナイ、大口喜六ノ信念ヲ言フノダガ、アナタ方ガ内閣ヲ投出シテ、斯ウ云フ場合ハ共々ニ我が帝國ヲ料理シナケレバナラヌカラ、今マデノ怨ヲ捨テ、内閣ノ大命ガ下ッタナラ共々ニ組織シテ、共々ニ我が帝國ノ爲ニ盡サウデハナイカト云フコトニナレバ、私ハ應ズル、アナタダケガ大臣ヲシテ居ッテ、内閣ヲヤッテ、權利ヲ握ッテ、好イコトダケハヤッテ、材料ヲ出セト言ッテモ、大藏省ナドハ——

昔私ガ大藏省ニ居ッタ時分ニハ出シタ、所ガ今日ハ決シテ私ハ窘メヤシナイト言フノニ、中々向フヲ向イテコソコソシテ出サヌ、ソレデ大口ハエライコトヲ知ッテ居ル、日本銀行ノ帳尻マデ知ッテ居ル、ソレハ大藏省デ漏シハセヌカ、日本銀行デ漏シハモヌカト疑ハレル人ガアルト可哀相デ、氣ノ毒デアラカラ、大藏省ニモ、日本銀行ニモ寄付カヌヤウニシテ、苦心慘憺シテ、新聞記者ガ探ルヤウナヤリ方デ、私ガ理論的ニ藥ノ學問ヲシタ時ノヤウニ、ソレ位吾々ハ苦心慘憺ヲシナケレバ材料ガ得ラレヌト云フノデアラカラ、日本ト云フ國モ困ッタモノダ、大藏省デモ、内務省デモ、日本人ノ役所ダカ、民政黨ノ役所ダカ分ラヌヤウナコトデス、アナタハンソソナコトハ感ジナイダラウガ、コ、デアナタハ罷メル氣ニナッテ、先ヅ内閣ヲ御投出シナサイ、サウシテ吾々ニ相談シナサイ、吾々ハ吾々ノ仲間ダケデヤラウトハ私ハ言ハヌ、政友會ハ何ト言フカ分ラヌカ、同じ日本人デ親ノ讐デモ何デモナイノダカラ、一緒ニナッテ國民一致シテ共々ヤッタラドウカ——一體馬鹿ノコトダ——ソレマデ分ッテヤレバ地方自治體デモ、日本ノ財政デモ、直グ根柢ガ出來テ、失禮ダケレドモ、コンナアヤフヤナ財政計畫ヲヤラヌデモ、確ッカリシタモノガ

出來ル、井上サンガ色々雄辯デオヤリ
ニナラヌデモ、黙ッテ居テモ通ル、ソレ
マデ考ヘル氣ガアレバ、私ハ洵ニ安達
サンダト言ヒマス、折角政黨ノコトヲ
仰シヤツタカラ、私ハ腹藏ナイ意見ヲ言
フノデ、内閣ハコツチデ取ッテ置イテ、
腹藏ナク巧クヤラウナド、云ッテモ、誰
ガソナコトヲ……(笑聲、拍手)
私ハ護憲三派内閣ノ時ニハ身ヲ挺シテ
盡シタ積リデアル、忠實ニ盡シタ積リ
デアル、ソレ程内務大臣ガ御考付イタ
ナラ、モウ一步ダカラ、一ツ根柢ニ向ッ
テモウ少シ御考ヲ願ヘレバ、委員會ナ
ドモスラノト通りマス、ドウカ一ツ
御考ヘ願ヒタイ、内務大臣モ御用ガ多
イカラ此位ニシテ置キマセウ、押問答
シタ所ガ仕方ガナイ

次ニ私ノ御伺致シタイコトハ段別割
ノコトデスカラ、是ハ次田地方局長デ
宜シイノデ、内務大臣ハ他ヘ御出ニナッ
テモ宜シウゴザイマス

○**本田委員長** 内務大臣ガ退席セラレ
ルナラバ、大口君ノ質問ヲ一寸御中止
願ッテ内務大臣ニ聞キタイト云フ人ガ
アリマスカラ——**鏑木君**

○**鏑木委員** 内務大臣ハ大變御忙シイ
ヤウデアリマスガ、此機會ヲ利用シテ
簡單ニ要點ノミヲ御質問シタイト思フ
ノデアリマス、ソレハ此前ニ一回簡單ニ
御質問シタコトガ、ゴザイマスガ地方

税デアル所ノ山林原野ノ段別割ノ問題
デアリマス、此段別割ハ御承知ノ通り、
明治四十一年法律第三十七號ヲ以テ、
特別税トシテ賦課サレルコトニナリマ
シタ、併シ此税ノ起リハ、元ト北海道
ノ無租地ニ對シテ賦課シタ税デアリマ
スノデ、内地ニハ賦課シテ居ナカッタノ
デアリマス、然ルニ世界大戰後地方財
政ノ膨脹ニ伴ヒマシテ、市町村ノ財源
トシテハ極メテ宜シイノデ、漸次之ヲ
賦課スルヤウニナリマシテ、現在ハ全
國デ三百七十七箇町村ノ多キニ及ンデ
賦課シテ居ルデアリマス、市町村ニ
於テハ此段別割ハ田畑山林其他ニ付キ
マシテ、各地目トモ平均一圓ヲ課シ得
ルコト、ナッテ居ルデアリマス、而シ
テ今此山林ノ法定地價ヲ見マスト、昭
和四年四月大藏省ノ御發表デゴザイマ
スガ、一段歩三十三錢ニ相成ッテ居ル、
之ニ對スル畑ハ其約二十五倍、田ガ百
倍、宅地ガ五百倍ニナッテ居リマス、今
度御改正ニナラントシテ居ル所ノ賃貸
價格ヲ見マスト、山林原野ハ一段歩五
十一錢デアリマス、之ニ對シテ畑ハ約
十六倍、田ガ五十七倍、宅地ガ三百倍
ト云フ風ニナッテ居ル、斯様ニ山林原野
ニ對スル段別割ハ、之ヲ田畑宅地ノ賃
貸價格ニ比較シテ見マシテ、モット安ク
ナクテハナラヌノデアリマスノニ、田
畑、宅地、山林各地目トモ一率ニ平均

一圓ヲ課シテアルト云フコトハ、是ハ
甚ダ不合理、不公正デアルト考ヘルノ
デアリマス、就キマシテハ今回地租改
正法案ガ提出サレテ、社會ノ經濟事情
ノ變遷ニ應ジ、時勢ニ順應シテ適當ナ
ル改正ヲ加ヘマシタコトハ、吾々ノ非
常ニ悦ンデ居ル所デ、國家ノ爲ニ慶賀
シテ居ル次第デアリマスガ、唯此段別
割ニ付キマシテハ、折角此地租法ノ改
正ヲサレルニ當リマシテハ何等手ヲ著
ケナカッタト云フコトハ、多少ノ遺憾ヲ
感ジテ居ルデアリマス、聞ク所ニ依
リマスレバ、來年度ニ於テ行政財政稅
制ノ大調査會ヲ設ケマシテ、色々根本
的ノ御研究ニナルサウデアリマスガ、
此調査會ニ於キマシテハ、必ズ段別割
ニ付テ各地目共平均一圓ト云フヤウナ
不合理、不公正ナ點ヲ改正スルヤウ
ニ、宅地、田畑ト山林トノ比較ガ公正
ヲ保ツヤウ御研究御考慮ヲ願ヒタイト
思フノデアリマス、此點ニ付テノ政府
ノ御方針ヲ承リタイノデアリマス

○**安達國務大臣** 只今ノ御意見ノコト
ハ能ク了承致シマシタ、御希望ノ點ハ
明年度行政財政ノ根本調査ヲヤリマス
ニ付テ、能ク考慮致シマシテ、御話ノ
ヤウナコトガアッタラ、御希望ニ副フヤ
ウニ努メタイト考ヘテ居リマス

○**大口委員** 私モ同ジ質問デスカラモ
ウ止シマス

○**本田委員長** 加藤君、農林大臣ガ繰
合セテ御出ニナッテ居リマスカラ、此際
農林大臣ニ對スル御質問ヲ願ヒマス

○**加藤委員** 私ハ時間モ大分迫ッテ居
リマスカラ、極ク簡單ニ大綱ニ付テ御
伺致シマス、今回ノ地租法ガ愈々實施サ
レル場合ニ於テ、農林大臣トシテ農林
省ノ從來ノ色々ノ仕事ノ上ニ相當ナル
支障ヲ生ジ、若クハ從來ノ方針事業ヲ
妨ゲルコトニナリハシナイカ、之ヲ先
ヅ伺ヒタイ、極ク簡單デ宜シウゴザイ
マス

○**町田國務大臣** 加藤君ノ御質問ノ要
旨ハ、マダ十分私ハ了解致シマセスガ、
此度ノ賃貸價格ニ依ル地租法改正ノ結
果、大體ニ於テ農村ニ於キマシテハ負
擔ノ軽減ニ相成ルコトト、大體ニ於テ
其意味カラ此改正ヲ喜ンデ居ルノデア
リマスガ、御尋ノ要領ヲ一寸了解仕兼
マスカラ、モウ少シ詳シク御話ヲ願ヒ
マス

○**加藤委員** 私が斯様ニ質問ヲ致シマ
スレバ、ピント頭ヘ來ベキ所デアラウ
ト存ジマシタガ、存外サウ云フ方面ニ
吞氣デアラレルコトヲ甚ダ遺憾トシマ
ス、ソコデ賃貸價格ノ問題ハ申スマデ
モナイノデアリマスガ、私ノ御尋スル
コトハ、開墾事業ニ對シテ農林大臣ハ
此地租法ガ實施セラレルコトヲ御喜ビ
ニナルカ、私ハ大ニ農林大臣トシテハ

相當抗議ガアルベキ筈デアラウト思フガ、ソレガ何ノコトデアラウカト言ハレルノハ、頗ル吞氣過ギタコトデハナイカト思フデアリマス

○町田國務大臣 多分耕地整理ニ關係シタ御尋ト思ヒマスガ、左様デゴザイマスカ

○加藤委員 益、其吞氣サ加減ヲ發揮サレタコトデアリマシテ、何レ耕地整理ノ問題ハ——區劃整理ノ問題モアリマシテ、前夜内務大臣ニ質疑ヲ致シ、何等内務大臣ハ此地租問題ニ對シテ御知識ガナカッタ私ハ大ニ惡口ヲ致シマシタガ、此問題ニ付キマシテモ、農林大臣ガ何ノコトデアラウト言フコトハ、實ニ私ハ驚カザルヲ得ヌ、是ハ開墾ニ付テゴザイマス、從來農林大臣ハ開墾事業ニ對シテハ助成方針ヲ執ラレ、即チ開墾助成法ナド、云フ法律ヲ出シテ、色々干拓シタリ、埋立シタリ、海ヤ湖ヲ開墾スルコトニ付テ努力シ、ソレニ金ヲ出シテ補助シテ居ラレル、サウ云フ立場デアラレル、農林省ハ、此地租法ニ依ッテ、是ガ非常ナ阻害ヲ受ケル、開墾事業ニ非常ナ壓迫ヲ受ケル、例ニ依ッテ井上サンノ搾取主義デ税金ヲ取ラレテシマツテ、吞氣ニ構ヘテ居ル、是ハ何ノコトデゴザイマセウカ、開墾ト言ッテモ何ノコトカ分ラヌ、私ハ農林大臣ハ日本ノ農林事業ニ對シテハ

俺一人ガ背負ッテ立ッテ居ルト云フヤウナコトヲ思ッテ居ラレルヤウデアリマスガ、是程遺憾千萬ナコトハナイ、之ニ對シテ御返事ヲ得タイ

○町田國務大臣 加藤君ニ私ハ御願致シマス、相當研究シテ居ル積リデスガ、モウ少シ具體的ニ御質問ノ要旨ヲ仰シヤッテ下サイ

○加藤委員 苟モ農林大臣ト致シマシテハ、此地租法ノ大典典ガ出來ル時ニ當リマシテ、モウ少シ詳シク言ハナケレバ分ラヌトハ實ニ驚キ入ッタ譯デアリマス、私ハ先ヅ大體ニ於テ農林大臣ハドウカト云フ漠然タル質問ヲ致シタ、ソレヲ是ダケ開墾ニ關スルコトヲ言ッテモマダ分ラヌカラト云ウテ、ドウ云フコトデアラウナド、言ハレルノハ、如何ニモ吞氣加減ニ驚キニ堪ヘナイノデアアル、ソレデハ私細カク申上ゲマス、詰リ此今回ノ地租法ニ依リマシテ、開墾ノ減租ノ年期ト云フモノガアル、地目變換ノ減租サレタ所ノ年期、是ガ悉ク短カクサレタデアリマセヌカ、斯ウ云フコトハ開墾ノ仕事ノ上ニ於テドウ云フコトニ相成ルノデアリマスカ、是ダケデハイケナイカラ、モウ少シ細カク申シマスト、條文ニ付テ言ッテ方ガ他ノ委員諸君ニモ御分リガ宜カラウト存ジマシテ、條文ニ付テ申シマス

○高橋委員 委員長議事進行ニ付テ發言ヲ求メマス

○加藤委員 委員長發言中デスカラ一寸待ッテ下サイ

○高橋委員 一寸御待チナサイ、議事進行ニ付テ……

○本田委員長 ソレデハ高橋君

○高橋委員 吾々ハ逐條審議ヲシナケレバナラヌ必要ガアルコトハ前カラ承知シテ居ルノデアリマス、然ルニ議事ヲ進行スル上カラ吾々ハ疑義ヲ狹ンデ居ルノモ我慢シテ、自分ハソレニ付テ拘泥セズシテ、サウシテ大要ニ付テ質疑ヲ盡クサウ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ今加藤君ノ質問ノ如キハ地租法ノ改正ニ於テ大切ナコトデアアルト思フ、農林當局トシテ主管ノ農家ノ事業ニ付テドレダケノ支障ヲ生ズルカ、利益ヲ生ズルカ豫メ之ヲ考ヘナイト云フコトハ何事デアアルカト私共ハ思フ、此地租法改正ニ依ッテ、今舉ゲラレタ開墾ニ付テドウ云フ利益ガアルカ、ドウ云フ弊害ガアルカト云フコトハ、疾ニ御承知ノ筈デアアル、項目書ニモアナタハ取ッテ置カナケレバナラヌ筈デアアル、ソレデ此委員會ニ於テハ吾々モ十分自省ヲ致シテ、質問ノ要點ダケヲ成ベク概括的ニ聞カウト云フコトヲ皆心掛ケテ居ラレルノデアアル、ソレヲ態々政府ノ方カラ指摘シテ、

逐條ニ吾々ヲ審議セシメナケレバナラナイト云フコトハ、私共ハ議事進行ノ上カラ許スベカラザル行為ナリト考ヘルノデアリマス、殊ニ國務大臣トシテ斯ノ如キ不用意ナコトハ何タルコトデアリカト私ハ叫バザルヲ得ナイノデアリマス、加藤君ニ於カレマシテ、農林當局ニ對シテ詳細ニ此質問ヲ盡クシタナラバ、恐ラクハ更ニ一日ヲ追加サレナケレバナラヌト思フデアリマス、ソレデ加藤君ハ我慢ニ我慢ヲ重ネテ、サウシテ是ダケノ簡單ナル質問デ以テ自分ノ國政ニ對スル審議權ト云フモノヲ止メヨウト思ハレテ努力シテ居ルノデアアル、ソレニ敬意ヲ拂ハズシテ、サウシテモット何か具體的ニ質問ノ要點ヲ舉ゲロナド、云フコトハ、何事デアアルカ、私ハ委員長ニ於テ農林大臣ニ對シテ注意ヲ與ヘラレンコトヲ議事進行ノ爲ニ望ム次第デアリマス

○加藤委員 只今高橋君ノ申サレマシタ如ク、私ハ成ベク時間ヲ省略スル立場ヨリ大綱ニ付テ伺ヒマシタ所、此地租法ガ改正サレルコトニ依ッテ農林大臣ハ開墾ノコトヲ聞イテモ、ドウ云フコトデスカト云フヤウナコトデ、其吞氣サ加減ハ私ハマルキリトシマノ状態デナイカト思フ、ソコデ私ハ更ニ能ク分ルヤウニ條文ニ付テ、斯ウ云フコトハドウカト云フコトヲ申上ゲタイト思

農林大臣ハ日本ノ農林事業ニ對シテハ

農林大臣ハ日本ノ農林事業ニ對シテハ

農林大臣ハ日本ノ農林事業ニ對シテハ

農林大臣ハ日本ノ農林事業ニ對シテハ

フノデアリマス
租ト云フ恩典ガナイ、又地目變換ノ場
合デモ左様ゴザイマス、斯ウ云フコ
トハ農林大臣ガ何ノコトデスカト言ハ
レテ呑氣ニ構ヘテ居ラレル間ニ此開
墾ニ對シテモ——恰モ内務大臣ガ都市
計畫ノコトヲ私ガ質問スルト、何ノ
事デスカト云ッタヤウナ調子デアリマ
シタガ故ニ、聰明ナル井上サンハチ
ヤント税金ヲ取ツテシマツテ居ル、アナ
タモ亦今度サウ云フ風ニ呑氣ニ構ヘテ
居ルカラ、開墾ヲ助成スル爲ニ金ヲ出
シテ努力シナガラ、一方開墾スル者ニ
對シテ、從來ノ特典ト申シマスカ、從
來ノ減租ノ年期ヲ短縮サレテシマツテ、
而モ何ノ事デスカト言ツテ之ヲ知ラズ
ニ居ラレルト云フノハ、實ニ私驚カザ
ルヲ得ヌノデアリマス

○加藤委員 私ノ發言中デアリマスカ
ラ、政府委員ト雖モ議員ノ發言中ハ之
ヲ阻止スルコトハ出來マセヌ、私ハ續
ケマス、詰リ第三十六條ヲ御覽ニナレ
バ一番能ク分リマスガ、開墾ニ著手致
シマシタモノハ、其土地ノ所有者ガ之
ニ對シテ開墾著手ノ申請ヲ致シマスレ
バ、地租ガ減租サレルノデアアル、ソレ
ガ現行地租條例ニ依リマシテハ十年以
内ニ成功シ能ハザルモノハ四十年間減
租ノ年期ガアルノデアリマス、然ルニ
今回ハ是ガ二十年内ニ成功シ能ハザル
モノトアルノデアリマシテ、二十年以
内ニ成功シ能ハザルモノモ四十年シカ
減租ノ年期ガナイ、十年以内ト申シマス
ト、分リ惡イガ、十一年ニ成功スル所
ノ開墾事業ニ對シテ四十年間ノ減租ノ
年期ガアル、ソレヲ今度ハ二十年ニ大
藏省ガ一寸變ヘテシマツタ爲ニ、二十年
ヲ要スルモノニ非ザレバ四十年間ノ減

農林省關係カラ見マズレバ、主トシテ
耕地整理ニ依ル開墾ガ多イノデアリマ
スルガ故ニ、私ハ其耕地整理ノ關係ノ
問題デアアルカト思ツテ、アナタノ廣イ意
味ノ御尋ニ對シテ左様ナ御問ヒヨシタ
ノデアリマス、ソレニ付テ私ニ對スル
御批評ガアリマスガ、其御批評ニ對シ
テハ、私茲ニ御答辯スルコトハ致シマ
セヌ、併シ農林省トシテハ主トシテ關
係致シマシタノハ、開墾ヲ主トシタル
耕地整理ノ問題ニ對シテ、地租法ニ色
色ナ關係ガアル點ニ於テ苦慮致シタノ
デアリマス、例ヘテ申シマズレバ、耕
地整理ニ依ッテ行ク開墾ハ、御承知ノ通
リ開墾ニ依ッテ新タナ收益ガ増シテモ、
現行法ニ依ッテモソレニ對シテ新ニ稅
ヲ課シテ居ラスコトハ御承知ノ通りデ
アリマス、此度ノ稅法ニ依リマシテモ、
耕地整理開墾ニ依ッテ耕地ヲ整理シタ、
是ガ爲ニ新タナ收益ガアル——一方他
ノ一般ノ土地ハ十年毎ニ貸賃價格ニ
依ッテ訂正ヲシテ、或ル地方ニ於テハ稅
額ガ殖ニ、或ル地方ニ於テハ稅額ガ減
ルト云フ、十年毎ニ改正ノ立テ方デア
リマス、耕地整理ニ依ッテ土地ノ或ハ
改良セラレ、或ハ地目變換等ニ依ッテ
有利ナ土地ト相成ツタ場合ニハ、十年毎
ニ貸賃價格ニ依ッテ修正サレマスレバ
非常ニ負擔ガ増ス筈デアリマス、現行
法モソレヲ免ジテ居ルト同様ニ、此度

耕地整理法ニ於テハ相成ベクハ現行
ノ法律ノ如ク、永遠ニ之ヲ減ジタイト
云フ考ヲ以テ、耕地整理法ノ此度ノ提
案ヲ致ス時ニ長イ間研究モシ、大藏當
局トモ種々ナル協議ヲ致シマシタノデ
アリマスガ、兎モ角モ一方ノ方ハ十年
毎ニ變ルト云フ原則ガ立チマシタ故
ニ、多少私ノ方デモ考慮シテ、七十年
ト云フ相當ナ長イ年限ノ間、耕地整理
ニ依ッテ得タ所ノ利益ニ向ッテ負擔ヲ増
サスト云フ一ツノ妥協案ヲ作ツタノデ
アリマス、是ガ第一デアリマス

第二ニハ御承知ノ名古屋邊リニモ屢、
アル問題ト私ハ承知致シテ居リマスル
ガ、市街地若クハ市街地附近ニ於ケル
耕地整理ノ關係デアリマス、之ニ對シ
テ此度ノ法律ハ、市街地若クハ市街地
附近ノ特殊ナル地域ニ於テ耕地整理ヲ
致ス場合ニ於テ、是ハ市街地ニナルト
思ハル、部分ニ對シテハ耕地整理法ノ
特典ハ參ラスノデアリマスガ、ソレニ
對シテ相當ナル考慮ヲ加ヘテ、一種ノ
特定ナ地域ヲ設ケテ之ニ恩典ヲ與ヘル
ト云フコトニ致シマシタ、是等ハ開墾
ノ上ニモ相當考慮シタ結果ト大體ニ於
テ私ハ考ヘテ居リマス、御話ノ三十何
條ト云フ事務的ノ點ニ對シテハ、今聞
キマスルト變ッテ居ラスト云フ話デア
リマスガ、農務局長ナリ耕地課長ナリ、
實際事務的ノ事ニ當ツタ専門家ヨリ御

○町田國務大臣 只今ノ御尋ニ御答ヲ
スル前ニ、直接ノ御答デハアリマセヌ
ガ、一言私カラ申添ヘルコトノ御諒解
ヲ得タイト思ヒマス、地租法ノ此度ノ
貸賃價格ニ依ッテ改正ヲスル大體ノ趣
意ニ於キマシテハ、地租全體ノ減ズル
額ヨリモ農村ニ對スル減額ガ多イコト
ハ御承知ノ通りデアリマス、此意味ニ
於キマシテ私ノ立場トシテハ、農村問
題ヲ中心トシタル考カラシマシテ、賃
貸價格ニ依ッテ此改正ヲスルコトノ大體
ハ贊成致シテ居ルノデアリマス、同時
ニ先刻御尋ノ加藤君ノ開墾ノ御話ハ、

耕地整理ノ關係ニ依ル開墾ガ多イノデアリマ
スルガ故ニ、私ハ其耕地整理ノ關係ノ
問題デアアルカト思ツテ、アナタノ廣イ意
味ノ御尋ニ對シテ左様ナ御問ヒヨシタ
ノデアリマス、ソレニ付テ私ニ對スル
御批評ガアリマスガ、其御批評ニ對シ
テハ、私茲ニ御答辯スルコトハ致シマ
セヌ、併シ農林省トシテハ主トシテ關
係致シマシタノハ、開墾ヲ主トシタル
耕地整理ノ問題ニ對シテ、地租法ニ色
色ナ關係ガアル點ニ於テ苦慮致シタノ
デアリマス、例ヘテ申シマズレバ、耕
地整理ニ依ッテ行ク開墾ハ、御承知ノ通
リ開墾ニ依ッテ新タナ收益ガ増シテモ、
現行法ニ依ッテモソレニ對シテ新ニ稅
ヲ課シテ居ラスコトハ御承知ノ通りデ
アリマス、此度ノ稅法ニ依リマシテモ、
耕地整理開墾ニ依ッテ耕地ヲ整理シタ、
是ガ爲ニ新タナ收益ガアル——一方他
ノ一般ノ土地ハ十年毎ニ貸賃價格ニ
依ッテ訂正ヲシテ、或ル地方ニ於テハ稅
額ガ殖ニ、或ル地方ニ於テハ稅額ガ減
ルト云フ、十年毎ニ改正ノ立テ方デア
リマス、耕地整理ニ依ッテ土地ノ或ハ
改良セラレ、或ハ地目變換等ニ依ッテ
有利ナ土地ト相成ツタ場合ニハ、十年毎
ニ貸賃價格ニ依ッテ修正サレマスレバ
非常ニ負擔ガ増ス筈デアリマス、現行
法モソレヲ免ジテ居ルト同様ニ、此度

耕地整理法ニ於テハ相成ベクハ現行
ノ法律ノ如ク、永遠ニ之ヲ減ジタイト
云フ考ヲ以テ、耕地整理法ノ此度ノ提
案ヲ致ス時ニ長イ間研究モシ、大藏當
局トモ種々ナル協議ヲ致シマシタノデ
アリマスガ、兎モ角モ一方ノ方ハ十年
毎ニ變ルト云フ原則ガ立チマシタ故
ニ、多少私ノ方デモ考慮シテ、七十年
ト云フ相當ナ長イ年限ノ間、耕地整理
ニ依ッテ得タ所ノ利益ニ向ッテ負擔ヲ増
サスト云フ一ツノ妥協案ヲ作ツタノデ
アリマス、是ガ第一デアリマス

第二ニハ御承知ノ名古屋邊リニモ屢、
アル問題ト私ハ承知致シテ居リマスル
ガ、市街地若クハ市街地附近ニ於ケル
耕地整理ノ關係デアリマス、之ニ對シ
テ此度ノ法律ハ、市街地若クハ市街地
附近ノ特殊ナル地域ニ於テ耕地整理ヲ
致ス場合ニ於テ、是ハ市街地ニナルト
思ハル、部分ニ對シテハ耕地整理法ノ
特典ハ參ラスノデアリマスガ、ソレニ
對シテ相當ナル考慮ヲ加ヘテ、一種ノ
特定ナ地域ヲ設ケテ之ニ恩典ヲ與ヘル
ト云フコトニ致シマシタ、是等ハ開墾
ノ上ニモ相當考慮シタ結果ト大體ニ於
テ私ハ考ヘテ居リマス、御話ノ三十何
條ト云フ事務的ノ點ニ對シテハ、今聞
キマスルト變ッテ居ラスト云フ話デア
リマスガ、農務局長ナリ耕地課長ナリ、
實際事務的ノ事ニ當ツタ専門家ヨリ御

耕地整理法ニ於テハ相成ベクハ現行
ノ法律ノ如ク、永遠ニ之ヲ減ジタイト
云フ考ヲ以テ、耕地整理法ノ此度ノ提
案ヲ致ス時ニ長イ間研究モシ、大藏當
局トモ種々ナル協議ヲ致シマシタノデ
アリマスガ、兎モ角モ一方ノ方ハ十年
毎ニ變ルト云フ原則ガ立チマシタ故
ニ、多少私ノ方デモ考慮シテ、七十年
ト云フ相當ナ長イ年限ノ間、耕地整理
ニ依ッテ得タ所ノ利益ニ向ッテ負擔ヲ増
サスト云フ一ツノ妥協案ヲ作ツタノデ
アリマス、是ガ第一デアリマス

第二ニハ御承知ノ名古屋邊リニモ屢、
アル問題ト私ハ承知致シテ居リマスル
ガ、市街地若クハ市街地附近ニ於ケル
耕地整理ノ關係デアリマス、之ニ對シ
テ此度ノ法律ハ、市街地若クハ市街地
附近ノ特殊ナル地域ニ於テ耕地整理ヲ
致ス場合ニ於テ、是ハ市街地ニナルト
思ハル、部分ニ對シテハ耕地整理法ノ
特典ハ參ラスノデアリマスガ、ソレニ
對シテ相當ナル考慮ヲ加ヘテ、一種ノ
特定ナ地域ヲ設ケテ之ニ恩典ヲ與ヘル
ト云フコトニ致シマシタ、是等ハ開墾
ノ上ニモ相當考慮シタ結果ト大體ニ於
テ私ハ考ヘテ居リマス、御話ノ三十何
條ト云フ事務的ノ點ニ對シテハ、今聞
キマスルト變ッテ居ラスト云フ話デア
リマスガ、農務局長ナリ耕地課長ナリ、
實際事務的ノ事ニ當ツタ専門家ヨリ御

耕地整理法ニ於テハ相成ベクハ現行
ノ法律ノ如ク、永遠ニ之ヲ減ジタイト
云フ考ヲ以テ、耕地整理法ノ此度ノ提
案ヲ致ス時ニ長イ間研究モシ、大藏當
局トモ種々ナル協議ヲ致シマシタノデ
アリマスガ、兎モ角モ一方ノ方ハ十年
毎ニ變ルト云フ原則ガ立チマシタ故
ニ、多少私ノ方デモ考慮シテ、七十年
ト云フ相當ナ長イ年限ノ間、耕地整理
ニ依ッテ得タ所ノ利益ニ向ッテ負擔ヲ増
サスト云フ一ツノ妥協案ヲ作ツタノデ
アリマス、是ガ第一デアリマス

第二ニハ御承知ノ名古屋邊リニモ屢、
アル問題ト私ハ承知致シテ居リマスル
ガ、市街地若クハ市街地附近ニ於ケル
耕地整理ノ關係デアリマス、之ニ對シ
テ此度ノ法律ハ、市街地若クハ市街地
附近ノ特殊ナル地域ニ於テ耕地整理ヲ
致ス場合ニ於テ、是ハ市街地ニナルト
思ハル、部分ニ對シテハ耕地整理法ノ
特典ハ參ラスノデアリマスガ、ソレニ
對シテ相當ナル考慮ヲ加ヘテ、一種ノ
特定ナ地域ヲ設ケテ之ニ恩典ヲ與ヘル
ト云フコトニ致シマシタ、是等ハ開墾
ノ上ニモ相當考慮シタ結果ト大體ニ於
テ私ハ考ヘテ居リマス、御話ノ三十何
條ト云フ事務的ノ點ニ對シテハ、今聞
キマスルト變ッテ居ラスト云フ話デア
リマスガ、農務局長ナリ耕地課長ナリ、
實際事務的ノ事ニ當ツタ専門家ヨリ御

答シタ方が却テ御判リガ宜イカト思ヒマス

而シテ十一年ヲ要スル開墾者ニ對シテハ、此第三十六條ノ初メノ減租年期シ

事ヲ御尋シテ居ルノデアリマス、先ヅ農林大臣トシテノ御答辯ヲ得テ、ソレ

デアリマスカラ農務局長カラ一應答辯

○加藤委員 私ハ益、驚カザルヲ得ヌ

カ與ヘヌト云フコトニナリマシテ、從

カラ政府委員ノ方ノ御説明モ聽キマセ

○加藤委員 大臣カラ御答辯ヲ願ヒタ

ノデアリマス、私ハ只今ハ地租法ニ付

來十年デ五十年ノ年期ノアツタモノヲ、

ウガ、先ヅ平素農村ノ事ハ俺ガ一人デ

○本田委員長 政府委員ノ説明ヲ御聽

テ質疑ヲ致シテ居リマシテ、耕地整理

二十年ニ延バサレタ理由ヲ私ハ聽イテ

運命ヲ擔ツテ居ルト云フヤウナ顔ヲシ

○本田委員長 何ダ其言葉ハ……

法ニ付テハ、先日内務大臣ニ對シマシ

居ル、是ハ事務的ノ事デアリマセ

テ居ラッシャル、スベテ博學デサウ云

○加藤委員 政府委員ノ説明ヲ御聽

テモ、ソレハ又別ナ場合ニ於テ質疑ヲ

ス、開墾ノ重大ナ問題デアル、農林大

フ方面特ニ造詣ノ深イ農林大臣カラ、

○本田委員長 政府委員ノ説明ヲ御聽

スルト云フコトヲ申シテ居リマスガ、

臣頗ル博學デアラセラレテ縱横ニ御答

地租法ニ付テハ大藏省ト屢、折衝シタ

○加藤委員 何ト云フコトヲ言フノダ

私ハ地租法ニ付テ只今ハ質疑ヲ致シテ

辯ガアルノデアリマスガ、違ッタ方面

ト言ハレル、何ヲ折衝ナサッタカ、此重

○本田委員長 政府委員ノ説明ヲ御聽

居リマスルノニ、農林大臣ハ耕地整理

ノ御答辯ハ駄目デアリマス、ソレハ又

大ナ問題ヲ忘レテ何デアルカ、十年内

○本田委員長 政府委員ノ説明ヲ御聽

ノ御説明デ、名古屋ノコトマデ御話デ

耕地整理ノ時ニ十分御高見ヲ拜聽致ス

ニ成功シ能ハザルモノト云フノヲ二十

○加藤委員 御聽キ下サイト言ッタラ

アリマスガ、ソレハ他日ノ時ニユック

ノデアリマスガ、此十年以内ニ成功シ

年ニ變ヘタト云フコトヲ明確ニ承レバ

○高橋委員 議事進行ニ付テ發言ヲ求

リ拜聽致シタイノデアリマス、故ニ私

能ハザルト云フモノヲ、何故大地主ヲ

宜シイ

○加藤委員 議事進行ニ付テ發言ヲ求

ハ條文マデ茲ニ出シタ、三十六條ヲ御

保護スル爲ニ二十年トサレタカ、是デ

テ、大體ニ於テハ此度ノ賃貸價格ニ依ッ

○加藤委員 吾々ハ鄭重ニ簡潔ニシテ

讀ミニナルト明白ニ判ル、三十六條ノ

大藏省ハ活馬ノ眼ヲ抜クヤウニ、内

テ地租改正ノ根柢トスルト云フ趣意カ

○本田委員長 何デサウ仰シヤルノカ

第二項デアリマス、一ツ御覽ヲ願ヒタ

モ大藏省ハ活馬ノ眼ヲ抜クヤウニ、内

ラ、前申シマシタ通り、農村ニ於ケル

○高橋委員 議事進行ニ付テ……

イ、今度ノ地租法ニハ「二十年内ニ成

務大臣モヤラレテ居ル、農林大臣

農家ノ負擔ガ、之ニ依ッテ他ノ市街地以

○本田委員長 暫ク御待チ下サイ

功シ能ハサル開墾地ニ付テハ前項ノ年

臣モヤラレテ居ル、農林大臣ハ斯ウ云

上ニ負擔ノ輕減ガ得ラレルト云フ大局

○高橋委員 政府委員ノ説明ニ先ダッ

期ハ開墾著手ノ年及其ノ翌年ヨリ四十

フ事ハ能ク御承知ダト思ッテ居レバ、又

ノ下ニ、私ハ此地租法ノ改正ニ贊成ヲ

○本田委員長 政府委員ノ説明ニ先ダッ

年トス」トアル、尙ホ地味成熟セザル

ヤラレテシマッタ、サウシテノホ、ソラ

致シタノデアリマス、而シテ話ガ餘談

○高橋委員 暫ク御待チ下サイ

場合ハ十年内ノ年期延長ヲシテ五十年

極メテ、何ノ事デスカ、具體的ニ説明

ダト御叱リデアリマスガ、私ハ、實ハ

○本田委員長 政府委員ノ説明ニ先ダッ

ニスルト云フコトニナッテ居ルノデア

ヲシロナント言フ、私ガ條文マデ引イ

此耕地法ノ事ニハ餘程思ヒヲ致シテ、

○高橋委員 政府委員ノ説明ニ先ダッ

リマス、私ハ此事ヲ聽イテ居ル、從來

テ聽イタ所ガ、今度ハ耕地整理ノ話ヲ

此方ノ改正ニ對シテハ相當考慮致シマ

○本田委員長 政府委員ノ説明ニ先ダッ

ハ十一年位デ出來ル所ノ比較的小開墾

クダ、トナサル、ソナナ事ヲ私ハ聽

シタガ、其他ノ條項ニ付テハ大シタ不

○高橋委員 政府委員ノ説明ニ先ダッ

ニ對シテ、五十年間ノ減租ガアルニ拘

イテ居ルノチヤナイ、三十六條デアリ

便ガナイト大體ニ斯ウ見テ居ッタノデ

○高橋委員 政府委員ノ説明ニ先ダッ

ラズ、之ヲ二十年トサレタ、二十年ト

マス、十年ヲ何故二十年ト云フ風ニ大

研究ハマダシテ居ラヌノデアリマス、

○高橋委員 政府委員ノ説明ニ先ダッ

致シマスレバ大開墾デアル、サウシテ

地主ヲ庇ハレタカ、農林省ハ開墾助成

アリマス、今ノ四十何條カ三十何條カ

○高橋委員 政府委員ノ説明ニ先ダッ

十一年ト云フヤウナモノハ全ク特典無

ニ付テハ、補助ヲシタリ色々ノ事ヲシ

ノ細カイ關係ハ、甚ダ相濟ミマセヌガ

○高橋委員 政府委員ノ説明ニ先ダッ

シニナッテシマッタ、二十一年ヲ要スル

テ居ルニ拘ラズ、斯ウ云フ重大ナ事ヲ

大體宜シイト云フコトニシテ居ッタノ

○高橋委員 政府委員ノ説明ニ先ダッ

大開墾ト云ヘバ本當ノ大地主デアル、

忘レテ農林大臣トシテドウスルカ、此

研究ハマダシテ居ラヌノデアリマス、

○高橋委員 政府委員ノ説明ニ先ダッ

ナイノデアリマス、併ナガラ理事並ニ
委員長ガ心配ヲ致シテ、議事ヲ圓滿ニ
進メタイト云フ所カラシテ、吾々ノ質
問權ヲ或ル程度マデ拋棄ヲ致シテ、サ
ウシテ今日ハ質疑ヲ打切ルト云フノ打
合セノ下ニ進ンデ居ルノデアリマス、
ソレガ爲ニ、地租法外五件ニ遲レテ提
出サレタ所ノ耕地整理法ハ到底吾々ハ
審議ヲ進メルコトハ出来ナイカラ、是
ハ第二次ニ審議ヲシヨウト云フノデ、

其點ニハ觸レナイコトニ吾々ハ今朝理
事ニ於テ申合セテ、委員長ノ承認ヲ得
テ左様ニ致シタ、委員長ハ又此委員會
ニ向ッテハ此耕地整理法ノ改正案ヲ議
事ニ付スルコトノ御宣言ハ未ダアリマ
セヌ、左様ナコトデアリマスカラ、加
藤君ハ、此地租法ニアル所ノ開墾ニ關
スル事項ヲ限ッテ御説明ヲ求メタノデ
アリマス、ソレデアルカラ、サウ云フ事
ノ御間違ノナイヤウニシナケレバナラ
ヌ、其事ヲ知ッテ居リナガラト加藤君ガ
思ハレテ居ルカラ感情ヲ刺激スルノデ
アリマス、ソレデアルカラ、委員長モ、
政府委員ノ説明ヲ聽ケ、ナド、云フヤ
ウナ命令的ニ言ハレルカラ、加藤君ハ
之ニ對シテ憤慨致シタノデアリマスカ
ラ、委員長ニモ其點ハ十分御考慮アラ
ンコトヲ望ミマス

○本田委員長 御尤デアリマス

○町田國務大臣 只今ノ加藤君ノ御尋

ニ對シテ先ヅ以テ私カラ大要ヲ御答ヘ
シマス、實ハ率直ニ申シマス私ノ此
委員會ニ出ルノハ耕地整理ノ問題デア
ルカラト云フコトヲ前以テサウ云フ話
ヲ承ッテ居ッタカラ、自ラ答辯ガ其方ニ
參ッタノデアリマシタ、併ナガラ今承ル
ト耕地整理ノ問題ハ更ニ他ノ機會ニ於
テヤッテ、今晚ハ其問題ニ關係ナイト云
フコトヲ明ニ高橋君カラ今承ッテ能ク
事情ハ分リマシタ——ソコ御話ノ、
從來十年デアッタノヲ二十年ニシタト
云フコトニ對シテハ、此條文ノ上カラ
言ヘバ左様ナ御解釋ハ正當ト思ヒマ
ス、即チ是ガ開墾ノ上ニ非常ナ利益
ヲ、農村當局トシテ斯様ナ箇條ヲ設ケ
ルコトニ同意シタノハ如何ト云フ御尋
ト大體承知シテ居リマス、御尤ナ御尋
デアリマシテ、此點ニ付キマシテハ、
農林當局ト大藏當局ト屢、交渉ヲシタ
問題デアリマシテ、農林當局ハ、從來
ノ如ク之ヲ十年ニスル事ニ對シテ強キ
主張ヲ持ッテ居リマス、併シ最後ニ兩省
ノ間ニ相當ナ諒解ガ出来マシテ、他ノ
權衡上二十年トスルコトニ致シマシタ
モノ、實際ハ從來ト同様ノ有利ナ取
扱ヲスルト云フコトニ大藏省トノ間ニ
交渉ガ出来マシタ、隨テ之ヲ斯様ナ年
限ニ變ヘタニ拘ラズ、從來ト同様ノ取
扱ガ出来ルト云フ其ヤリ方ニ對シテ

ハ、大藏當局カラ説明サシタ方ガ便宜
レバナラヌ、兎ニ角只今十年ノモノヲ

カト思ヒマス、私ノ方デハ此年限ヲ二
十年トシタコトノ法文上不利ナルコト
ハ認メマス、ト同時ニ實際上ハ從來ト
同様ニ取扱フト云フ兩省ノ話ガ付キマ
シテ此邊デ同意シタノデアリマスガ、
然ラバ如何ニシテ此年數ガアルニ拘ラ
ズ今日同様ニスルカト云フ事務的ノ方
法ハ、大藏當局ノ方カラ御答シタ方ガ
便宜ト思ヒマス

○加藤委員 農林大臣ガ、今日ハ耕地

整理ノ事デ呼ビ出サレタト思ッテ終ヒ
マデ居リマシタノハ恐レ入ッタコトデ
アリマス、コンナボケタ事ヲ仰シヤラ
ナクテモ宜シイ、耕地整理ノ事ハ高橋
君ガ言ハナクテモ私が初メカラ耕地整
理ノ事ニ付テ聽クノデハナイ、地租ニ
付テ、而モ地租ノ三十六條ニ付テトマ
デ言ッテ居ルノデアアル、ソレヲアナタハ
吞氣ニチットモ知ラナカッタ、其處デ色
ズニア、サウ云フコトデスカト言ッテ、
欺瞞デ來ルト云フコトハ、アナタハ平
素正直サウナ顔ヲシテ居ルノニ似合ヒ
マセヌ、而モ賃賃價格ニシテ、農村ノ
方ハ賃賃價格ガ安クナッタカラアナタ
ガ取レタッテ構ハヌト云フヤウナ風ニ
承リマシタガ、サウデナカッタナラバ宜
シイガ、ソレハ間違ッテ居ルト言ハナケ
レバナラヌ、兎ニ角只今十年ノモノヲ

二十年ニ爲サッタト云フコトハ屢、折衝
ヲシタトアナタハチットモ仰シヤラナ
カッタ、此點ハ内務大臣同様デアアル、ソ
コデ以テドウ云フ折衝ヲシタカ、今御
聽キニナッタダケノ御話デアアル、大藏省
デ加減ヲズルト云フガ、ドウ云フ加減
ヲスルノデアリマスカ、法律デ二十年
トナッタノヲ十年トドウ云フ加減ヲス
ルカ、アナタノ如キ能ク分ッテ御方ガソ
ンナ馬鹿氣タ事ヲ言ッテ、本當ニ今晚コ
ソハアナタハ吞氣サ加減ヲ悉ク暴露シ
タ、法律デハ二十年トナッテ居ルケレド
モ、元ノ十年ノヤウニ何トカ加減スル
ヤウナ折衝ガ出来テ居ルナラバ、ナゼ
十年ト云フコトヲ書カレナカッタカ、大
藏大臣カ青木局長デモ宜シイ、二十年
ト書イテアルノフドウシテ十年ニサレ
マスカ、ソナ事ヲサレルナラバ法文
ハ何ノ爲ニ之ヲ書イタノデアアルカ

○青木政府委員 御答ヘ致シマス、此

十年ヲ二十年ニ改メマシタ理由ヲ一應
御聽取リ願ヒマス

○加藤委員 理由ハ聽キマセヌ、農林
省ガ來テ居ルノニ大藏省カラ理由ハ要
ラヌ、二十年ヲ十年ト云フコトニ加減
ヲスルト云フ事ヲ聽イテ居ルノデア
ル

○青木政府委員 ソレヲ申上ゲマス、
是ハ元地租條例ハ御承知ノ如ク明治十
七年ノ三月ノ布告第七號デアリマス

地所有者ノ申請ニ依ッテ二十年間ノ開墾免租年期ヲ與ヘルト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスルガ故ニ、開墾ニ著手シタナラバ、其土地ハ二十年間ノ減租ニナッテ居ルト云フコトハ、是ハ第一項ニ明白ニ證明シテ居ル、ソコデ現今ノ地租條例ニ依リマシテハ、十一年ヲ要スル稍大ナル開墾ニ對シテハ更ニ四十年ノ減租ヲ與ヘルト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、ソレヲ今度二十年ニシタト云フニトハ、初メノモノヲ二十年ニシタカラ此所ヲ二十年ニシタト云フガ、ソレト全ク意味ガ違フ、ソレデアリマスルガ故ニ、前ノトハ違フノデアリマスカラ、十一年ヲ要スル所ノ相當ノ開墾ニ對シテハ、四十年ト十年、即チ五十年ノ減租年期ヲ與ヘル、今年二十一年ヲ要スルモノニモ同様ナ開墾免租年期ヲ與ヘルト云フコトハ不合理ダト云フノデアリマス、十一年ノモノニ五十年與ヘタモノヲ、二十年トシタナラバ、今度六十年モ七十年モノモノニシナケレバナラス、ソレデアリマスルガ故ニ、アナタノ考ハ唯釣合カラ來タ、アナタノ誤解カラ來タモノデアラナラバ、ソレテ宜シイ、サウスレバ能ク御研究ニナッテ是ハ十年トスル方ガ本當デアルト云フコトガ御分リニナルダラウト思フ、茲デ彼此議論致シマシテモ、其根據、頭

ガ違ッテ居ル、サウスルト二十年ト云フマスト前ノ二十年ヲ引繼イデ來テ居ル、サウ云フコトデハナイ、是ハ私共ハ議論致シマセス、能ク御研究ヲ願ヒタイト思ヒマス

青木政府委員 御答致シマス、今ノ點ハ十分ニ研究ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、十年以内ニ成功シ能ハザル開墾ヲ爲サントスルトキハト云フノハ十年經ッテカラ年期ヲ與ヘルノデアリマセス、開墾ニ著手ノ時ニ、此四十年ノ減下期期ヲ與ヘルノデアリマス、ソレデアリマスカラシテ、年期ヲ與ヘマストハ、一體何年掛ルカト云フコトニ付テハ、是ハ將來ノ豫想ナノデアリマス、ソコデ先程申上ゲマシタヤウニ、現行法ノ解釋トシテ取扱ッテ居リマスノハ、各稅務監督局ニ對シテ、此二十年以内ニ投資費用ヲ完済シ能ハザル程度ノモノニ限ッテ減下期期ヲ付與スルヲ妥當ト認ムルカラ、左様ニ取扱ヘト申シテ居ルノデアリマスカラ、アナタノ仰セノヤウニ十一年目ニ成功シ能ハザル開墾ヲ爲サントスル時ハ四十年ノ減下期期ヲ與ヘルト云フコトハ今日稅務署ニ於テ致シテ居リマセス

加藤委員 是ハ斯ウ云フ席デ幾ラ議論ヲシタ所ガ考ガ間違ッテ居ルノデアリマスカラ、能クモウ一遍御研究願ヒ

本田委員長 加藤サンニ一寸伺ヒマスガ時間ガ何デスカラ……

加藤委員 モウ少シデス——サウスレバ私序デニ農林大臣ニ伺ヒタイ、同ジヤウナコトガ幾ツモアル、ソレデ具體的ニ申ス爲ニ、條文ヲ讀ミマス、矢張三十六條デアリマス、此池ヤ沼ヲ開墾シタトキニハヤハリ是ト同様ニ四十年減租年期シカナイ、所ガ公用水面ヲ埋立テタトキニハ六十年ト十年、七十年アルノデアリマス、而シテ公用水面ニ於キマシテハ此地租法ニ依ッテ免租ニナルノデアリマス、池ヤ沼ヲ開墾シテ——之ヲ埋メテサウシテ之ヲ開墾シテ田畑ニ致シマシタ、所ガ是デ見ルト四十一年シカナイ、一ツハ國家ノ海トカ沼トカサウ云フモノヲ自分ノモノニシテ、ソレニ地租ノ免租ガ七十年アル、池ヲ埋メテ、自分ノ池デモ何デモ宜シイ、ソレヲ埋メテサウシテ四十年シカタクテ而モソレハ減租デアアル、今度ノ地租法ニ於テ斯ウ云フコトガ澤山アルノデアリマスガ、極ク簡單ニ是ダケ申シマスレバ分リマス、農林大臣ハトテモ駄目デスカラ他ノ御方カラ大體御答辯ヲ願ヘバ宜シイ、農林大臣ノ御答辯ハモウ私ハ聞キマセス

石黒政府委員 是モ農林省ノ方ニト云フ御尋デアリマスカラ申シマス、農

林省ノ方トシマシテハ出來ルダケ年期等ハ利益ヲ得タイ方ノ側デアアルノデアリマスカラ、熱心ニ主張ヲシテ居リマスルシ、注意モ致シテ居ル、只今ノ現行ノ法制ノ下ニ於キマスル個人ノ埋立公有水面ノ埋立等、此關係ニ於キマシテハ、新地租法ハ何等變リガナイコトニ承知ヲ致シテ居リマスノデ、大藏省ノ方ト此點ニ付テハ別段交渉シテ居リマセス

加藤委員 農林省ノ立場ハ私ハ承ッテ置キマスガ、大藏省ト致シマシテ、片方ハ公用水面ヲ埋立テ、所謂開墾ヲシマス、例ヘバ海ヲ埋立テ、公用水面ヲ埋立テ、ソレヲ田ニ致シマス、サウスルト七十年間免租ナノデアリマス、元モサウデアリマスガ、今度ノ地租法ニ依ッテモ七十年間税金ナシ、然ルニ茲ニ一方ニ於テ自分ノ、例ヘバ沼ナラ沼ヲ埋立テ、開墾スルモノニ四十年シカナイ、年限ガ少イノミナラズ、ソレガ漸ク租稅ガ安クシテ貫ヘルダケデアリマス、不合理デハナイカ、斯ウ云フコトナノデアリマス

青木政府委員 御答ヲ致シマスガ、此地租ノ年期ノ問題ニ付キマシテハ、新地租法ヲ制定致シマストキニ於テ特色協議ヲ致シテ見マシタ、ソレデ此地租法ヲ編ミマスニ付キマシテ、年期ヲ今日現行法ニ依ッテ與ヘラレテ居リマ

ス所ノ年期ト違フヤウニシヨウカト云フコトハ、一ツノ考ヘ方デアリマシタ、ケレドモ從來種々ナル年期ヲ知得シテ居ラル、モノ等ノ權衡カラ考ヘマシテ、其年期ト云フモノハ大體ニ於テ其儘ニシテ置ク、殆ド全ク其儘ニシテ置クト云フ方ガ宜シト考ヘマシタノデアリマス、ソレデアリマスカラシテ、實際ノ取扱方トシテハ條文ハ大分文句ハ違フテ居リマスガ、只今加藤サンノ御讀ミニナツタヤウニ現行地租條例ニ於キマシテモ「官有ノ水面ヲ埋立テ又ハ干拓シ民有ニ歸セシ土地ハ六十年ノ新開免租年期」デ、免租デアリマス、ソレカラ尙ホ缺下年期新開免租年期地價据置年期ノ延長ニ關スル法律ニ依リマシテ、單行法ニ依ッテ尙ホ十年延バシ得ルコトニナツテ居リマス、ソレカラ一方ノ民有地ヲ埋立テマシタヤウナ場合ニハ、即チ只今問題ニナツテ居リマシタ四十年ノ缺下年期、缺下年期ト云フノハ即チ減地價ニ依ッテ地租ヲ取ルノデアリマスカラ、此度ハ言葉ヲ改メマシテ減租年期ト致シマシタ、現行法ノ實際ノ取扱方ヲ變ヘタ方ガ宜イト云フコトモ一ツノ御意見ト思ヒマスガ、吾々ハ變ヘルコトハ大體ニ於テヤメタノデアリマス

○加藤委員 ソレハ理窟ニナリマセヌ、全ク是ハ政黨的ノ問題デハアリマセ

願ヒタイ、從來ノ惡イ所ヲ直ス爲ニ地租條例ヲ、地租法ニ改正ニナツタトキニ、又ソノナ理窟ヲ言フテ、極端ニ云ヘバ從來ノ地租條例デ宜イト云フコトニナルチヤアリマセヌカ、ソレヲ自分達ハ分ラヌカラ、何デモ其儘ニシテ知ラヌ顔ヲシテ居ルト云フノデアアルガ、是ハ能ク御研究ニナリマシテ、明日デモ答辯ヲ願ヒタイ、私ハ此處デ彼是レ言フテモ時間ヲ要シマスカラモット御研究ヲ願ヒタイト思ヒマス、要スルニ國家ノ公用水面ヲ埋立テ、ソレガ自分ノ埋メテサウシテ自分ノモノデ——自分ニ埋メテ、ソレガ四十年デ只ニシテ貫ヘルカト云フト安クシテ貫ヘルダケデアル、是ハ實ニドウ考ヘテモ議論デハナイ、不合理デアルト思ヒマスニ依ッテ、是ハ一ツノ問題トシテ農林大臣モ開墾ノ上カラ、私ハ惡口ヲ言フ譯デナ

メ、是ハ眞面目ニ明日マデニ御研究置ヲ願ヒタイ、サウデアリマセウ、國家ノモノ、公用水面ヲ埋立テ、自分ノモノニスル、ソレガ七十年間只、自分ノ池ヲ埋立テ、四十年、而モソレガ税金ガ安クシテ貫ヘルダケ、是ハ誰ガ聞イテモ不合理デアアルノデアリマス、此事ハ何レ又明日モ御目ニ懸カルニ依ッテ、

是ハ研究問題トシテ置キマス
今度ハ農林省ハヤメマシテ大藏省ノ方ニモウ一ツ主ナル點ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス、一口ニ申シマスレバ荒地免租ノ件デアリマス、是ハ農林大臣モ御聞ヲ願ヒタイ

○本田委員長 加藤サン、高橋君ガ農林大臣ニ聞キタイト云フノデアリマス
○加藤委員 直グヤメマス——條文ノ方ガ分リ易イト思ヒマス、荒地デアリマス、災害ニ依ッテ荒レテシマッタ地所、ソレニ對シテハ、只今ノ現行法デナシニ、地租法ニ依ッテハ、十五年願出デレバ免租ニシテ貫ヘルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、詰リ第五十五條ノ「荒地ニ付テハ納稅義務者ノ申請ニ依リ荒地ト爲リタル年及其ノ翌年ヨリ十五年内ノ荒地免租年期ヲ許可ス」詰

シ位出ル、斯ウ云フモノニ對シテ今度ノ地租法ニ依ッテ二十年間只ニナルト云フコトニナツテ居リマス、ソレデアリマスガ故ニ十五年ハ當然、更ニ海ヤ川ヤ或ハ湖トナツタモノニハ二十年間免租、三十五年間ノ免租ト云フコトニナルノデアリマス、然ルニ公用水面ハ前記同様デアリマス、自分ノ所有シテ居ルモノハ三十五年、災害ヲ受ケテ運ガ惡イ目ニ遭ッテモ三十五年間シカ免租ニナツテ居ラヌ、ソレカラ國家ノ公用水面ヲ埋立テ、自分ノモノニナルモノハ七十年、此間ハ甚ダドウモ不合理デアアル、御分リニナリマシタカ、自分ガ災害ニ遭ッタ——大藏大臣、一寸御考ヘ

ニナツタカラ、分ラナケレバモウ一遍申上ゲマス、自分ノ地所ガ海嘯カ何カ、川デモ宜シイ、自分ノ田畑ガ海ニナツテシマッタ場合ハ三十五年間免租ニナルノデアリマス、是ハ頗ル面倒デス、所ガ公用水面ニアツテハ前記ノ通り、先刻申シマシタ如ク七十年、是ハ地租ノ二十條ニアルノデアアルガ、頗ル不權衡デアルト思フノデアリマス、是ハドウ云フコトデアリマスカ

○青木政府委員 先程年期ノコトニ付

キマシテ私ガ現行法ヲ大體其儘踏襲スルコトニ致シマシタト云ツタノガ、大變惡イヤウニ仰セニナリマシタガ、現行法ニモソレ相當ノ理由ガアルト思ヒマ

シテ、單行法ニ依ッテ尙ホ十年延バシ得ルコトニナツテ居リマス、ソレカラ一方ノ民有地ヲ埋立テマシタヤウナ場合ニハ、即チ只今問題ニナツテ居リマシタ四十年ノ缺下年期、缺下年期ト云フノハ即チ減地價ニ依ッテ地租ヲ取ルノデアリマスカラ、此度ハ言葉ヲ改メマシテ減租年期ト致シマシタ、現行法ノ實際ノ取扱方ヲ變ヘタ方ガ宜イト云フコトモ一ツノ御意見ト思ヒマスガ、吾々ハ變ヘルコトハ大體ニ於テヤメタノデアリマス

メ、是ハ眞面目ニ明日マデニ御研究置ヲ願ヒタイ、サウデアリマセウ、國家ノモノ、公用水面ヲ埋立テ、自分ノモノニスル、ソレガ七十年間只、自分ノ池ヲ埋立テ、四十年、而モソレガ税金ガ安クシテ貫ヘルダケ、是ハ誰ガ聞イテモ不合理デアアルノデアリマス、此事ハ何レ又明日モ御目ニ懸カルニ依ッテ、

詰リ第五十五條ノ「荒地ニ付テハ納稅義務者ノ申請ニ依リ荒地ト爲リタル年及其ノ翌年ヨリ十五年内ノ荒地免租年期ヲ許可ス」詰レカラ前記ノ年期滿了シテモ尙ホ荒地ノ場合ハ十五年間、三十年間ト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、サウ云フコトニナル、十五年間荒地ニナルト云フト只、更ニ形狀ガ舊ニ復セヌトキハ、三十年間只、地租ハナシ、所ガ是ガ私共實例ハ幾ツモ持ッテ居リマスガ、海岸

デ、立派ナ田デアリマスガ、海嘯カ何カ來テ、何町歩ト云フ廣イ、二十町歩モノ間ガ海ニナツテ、干潮ニナルト少

シテ、單行法ニ依ッテ尙ホ十年延バシ得ルコトニナツテ居リマス、ソレカラ一方ノ民有地ヲ埋立テマシタヤウナ場合ニハ、即チ只今問題ニナツテ居リマシタ四十年ノ缺下年期、缺下年期ト云フノハ即チ減地價ニ依ッテ地租ヲ取ルノデアリマスカラ、此度ハ言葉ヲ改メマシテ減租年期ト致シマシタ、現行法ノ實際ノ取扱方ヲ變ヘタ方ガ宜イト云フコトモ一ツノ御意見ト思ヒマスガ、吾々ハ變ヘルコトハ大體ニ於テヤメタノデアリマス

ス、只今御話ニナリマシタヤウニ官有地ノ水面ヲ埋立テマシテ民有ニナリマシタ場合ト、ソレカラ民有ノ池沼ヲ埋立テマシテサウシテソレガ他ノ地目ニナリマシタ場合トニ、斯様ニ現行法ニ於テ區別ヲ設ケテ居リマヌル理由ハ、私共ノ解釋スル所デハ國有地ハ從來モ何等地租ヲ負擔セザル土地デアッテ、ソレカラ今度地租ヲ負擔スル土地ニナリマヌレドモ、一方ニ同ジク地租ヲ負擔スル土地ガ直グ負擔スル土地ニ變ルト云フ時ニハ恐ラク察スル所現行法ニ區別ヲ設ケテ理由デハアルマイカト思ヒマス、ソレカラ尙ホ只今ノ荒地ノコトノ御話ガゴザイマシテ、御郷里デアリマスカ、附近ニサウ云フ經驗モアルト云フコトヲ伺ッタノデアリマスガ、此荒地ノ中ニ若シ今御話ニナリマシタヤウナ、スツカリ水ガ被ッテシマイマシテ、海トカ湖トカ云フヤウナモノニナリマシタ場合ニ於キマシテハ、其三十五年ノ年期ガ滿了致シマシタ時ニ、其土地ガドウ云フ狀況デアルカト云フコトヲ考ヘマシテ、其時ニモ尙ホ其狀況ガ不變デアッテ到底地租ヲ課スルヤウナ状態デナケレバ、ソレハ最早海、湖、又ハ河川トナッタモノト看做スト云フ規定ヲ置キマシタカラ、結局三十五年經テマシテモヤハリソレニ地租ハ課ラナイコトニナリマス

○加藤委員 サウスルト私更ニ伺ヒマテ、ソレカラ海ニナッタモノト認メル、然ラバ海ニナッタノハ誰ノ物カ、但書ニ「海、湖又ハ河川ト爲リタルモノト看做ス」トアルノデアリマスガ、只今ノ地租條例ニ依リマシテモ二十四條ニ「川海、湖ニ歸スルモノトス」トアルノデアリマス、此御渡シニナリマシタ對照表ニ依ルト…所ガ、私ハ細カイ法律論ハ知リマセヌ、法律ノコトハ知リマセヌガ、海ヤ河ニナルト云フト是ハ國家ノ物ニナルト云フコトデアラウト思フ、即チ海、河ヤ斯ウ云フモノニナルト國家ノ物ニナル、所ガサウ云フ物ハコ、ノ此地所名稱區別ト云フモノニチヤント書イテアル、サウ云フ物ハ官有デアルト書イテアル、明治七年十一月七日太政官布告百二十號デチヤント書イテアル、所ガ此地租法ヲ讀ンデ見マスト、サウ云フ法律ヲ廢スルトナルト、一體是ハドコニ行クカ、サウ云フモノハ今マデハ國家ノモノデアアル、今度ハソレヲ取ッテシマッタ、國家ノモノデアルト云フ法律ヲ取ッテシマッタ、私ハ法律ノコトハ知ラナイケレドモ、苟モ地所ヲ三十五年免租ニシテ海又ハ川ニ歸スルト云フコトガアリマスガ、是ハ一體誰ノモノニナルカ、私ハ法律論ハ知ラナイガ、國家ガ取ッテシマウノデヤナイカト思フ、ドウ云フモノデアアルカト云フコトヲ伺フ、地所名稱區別トカ

○青木政府委員 ソレハ法律論トシテハ餘程問題ノアル點デアリマシテ、ソレハ民法上其所有權ヲ失フト云フヤウナコトニ相成リマス云フト、大變ニ重大ナ問題ニナリマスカラ此五十五條ノ第三項ニ於キマシテ「本法ノ適用ニ付テハ海、湖又ハ河川ト爲リタルモノト看做ス」、即チ地租ヲ課シマセヌ、即チ地租法ハ地租ヲ取ルコトニ關スル規定デアリマスカラ、其民法上ノ所有權ニハ決シテ立入りマセヌデ、本法ノ適用ニ付テハ海、湖又ハ河川トナルモノト規定致シタノデアリマス

○加藤委員 是ハ二ツノ不合理ガアルト思フ、第一ハ公有水面ヲ埋立テ、自分ノ物トスルヤツハ七十年間免租ニスル、ソレカラ自分ノ田畑ガ海水ノ爲ニ埋ッテシマッタ場合ハ三十五年免租ニシ

云フモノヲ廢止サレテシマウ、サウスルト一體ドコノモノニナルカ、之ヲ的確ニ自分ノモノデアラナラバ、海又ハ川ニナッテモ自分ノモノデアアル、個人ノ所有デアルト云フナラバ、ドコカニ之ヲ明記シナケレバナラヌヤウニ思フノデアリマス

○青木政府委員 御答致シマス、成程現行法ニ於キマシテハ「他ノ地目ニ變セサルモノハ川、海、湖ニ歸スルモノトス」ト書イテアリマシテ、即チ此地租法ヲ制定致シマス時ニ、此條文ヲ能ク讀ンデミマス、アナタノ御議論ノヤウニ、一體所有權ハドウナルダラウカト云フコトハ、此二十四條ノ規定ニ於テハ甚ダ曖昧デアリマス、所ガ今ノ地所名稱區別ノ方カラ云フト、或ハ官有ニナルカノ如キ感ジモ致シマスルカラ、ソレハ土地ノ所有權ニ關スルコトヲ、地租法ニ於テ規定スルト云フコトハ、法律論ト致シマシテハ甚ダ不穩當ノコトデアリマス、ソレデアリマスカラシテ地所名稱區別モ廢止ヲ致シマシタ、サウシテ新法ニ於キマシテハ單ニ「本法ノ適用ニ付テハ海、湖又ハ河川ト爲リタルモノト看做ス」ト書キマシタカラ、其土地ノ所有權ニ付テハ一般ノ民法ノ原則ニ依リマシテ、民法上ノ權利ニ依ッテ定マルコトデアリマシテ、地租法ノ規定スルコトデモアリマセヌシ、

○青木政府委員 御答致シマス、成程現行法ニ於キマシテハ「他ノ地目ニ變セサルモノハ川、海、湖ニ歸スルモノトス」ト書イテアリマシテ、即チ此地租法ヲ制定致シマス時ニ、此條文ヲ能ク讀ンデミマス、アナタノ御議論ノヤウニ、一體所有權ハドウナルダラウカト云フコトハ、此二十四條ノ規定ニ於テハ甚ダ曖昧デアリマス、所ガ今ノ地所名稱區別ノ方カラ云フト、或ハ官有ニナルカノ如キ感ジモ致シマスルカラ、ソレハ土地ノ所有權ニ關スルコトヲ、地租法ニ於テ規定スルト云フコトハ、法律論ト致シマシテハ甚ダ不穩當ノコトデアリマス、ソレデアリマスカラシテ地所名稱區別モ廢止ヲ致シマシタ、サウシテ新法ニ於キマシテハ單ニ「本法ノ適用ニ付テハ海、湖又ハ河川ト爲リタルモノト看做ス」ト書キマシタカラ、其土地ノ所有權ニ付テハ一般ノ民法ノ原則ニ依リマシテ、民法上ノ權利ニ依ッテ定マルコトデアリマシテ、地租法ノ規定スルコトデモアリマセヌシ、

第五類第一號 地租法案(政府提出)外六件委員會會議錄 第二十一回 昭和六年二月二十七日 五五

又私共大藏省主税局デ取扱フ事柄デモアリマセス

○加藤委員 此點ハ私ハ分ラヌデ御伺ヒシタノデアリマシタ、アナタ方ノ間違ダト云フテ反對モ非難モシテハ居ラス、伺フ積リデアリマシタガ、ソレデ所有權ハ失ハレルコトハアリマセスカ、モウ一度念ヲ入レテ置キマス

○青木政府委員 御答致シマス、地租法ノ「本法適用ニ付テハ海、湖又ハ河川ト爲リタルモノト看做ス」ト規定シタル爲ニ、所有權ガナクナリ、或ハ其他ノ關係ニ於テ所有權ガ無クナルカナラスカハ、ソレハ地租法若クハ私共ノ關係スル所デハアリマセス

○加藤委員 是ハ大藏省デサウ云フ御言明ヲ得タ所ガソレハドウナルカ、私共ノ言明スル所デアリマセヌト答ヘラレルガ、此何十町歩ト云フモノガ海ニナルコトガアル、現ニ名古屋ノ附近ニ何十町歩ト云フモノガアルノデアリマシタガ、是ハドウナッタカ分ラヌガ、是ハ私ハ疑問トシテ置キマス、アナタニ聽イタ所ガアナタガサウ思フト云フダケデアツテ、此地目名稱區別ヲ廢止ナサタト云フコトハドウカト思ヒマスガ、

此問題ハ私ハ研究問題トシテ明日マデ御研究ヲ願ヒタイ、是ハ大キイ問題デアリマスガ故ニ、私ハ實際上ノ經驗カラ申上ゲルノデス、モウ一ツハ極ク小

サイ問題デスガ申上ゲテ見タイ、地租法第三十二條ニ「分筆ヲ爲シタルトキハ測量シテ各筆ノ地積ヲ定ム」ト斯ウアルノデアリマスガ、斯ウ云フコトガ出來ヌ場合ハドウスルノデアリマスカ、「分筆ヲ爲シタルトキハ測量シテ各筆ノ地積ヲ定ム」トアルガ、分筆ガ出來ヌ場合ガアルガ、サウ云フ場合ハドウシマス、是ハ詰ラヌヤウデアリマスガ、

○青木政府委員 御答ヘ申シマス、前ニ一寸御伺ヒシタイノデアリマスガ、分筆ガ出來ナイ場合ト云フコトハ私共ハナイヤウニ思ヒマスガ、ドウ云フ場合デスカ

○加藤委員 幸ヒ農林省ノ御方ガ御キデニナリマスカラ、農林省ノ方カラ伺ヘバ宜シイノデスガ、サウ云フコトガアル、耕地整理ノ時アル、事實ヲ私ノ方カラ申上ゲマスガ工事ニ著手シタル時ハドウシテ分ケル、是ハ分ラナイノデアリ、ソレデサウ云フ場合ハ特別ニ但書デモ御置キニナラヌト、測量ノ出來ナイ場合ガアル、皆工事中ニ毀シテ仕舞ッテ居ル場合ガアル、是ハ今ドウト云フコトハ言ハナイ、何レ明日マデニ御研究ヲ願ツテ、折角地租法ヲ御設定ニナツテ、斯ウ云フ缺陷ノ穴ダラケ、農林大臣ハ自己ノ方ハ他ニスツカリ鼻毛ヲ拔カレテ御存ジガナイ、大藏省ナドモソレヲ

知ラズニヤツテ居ル、十年ノ奴ヲ二十年ニシテ居ル、違ッタ解釋ヲシテ居ル、ソレダケ政府ガ增收ニナル譯デ、不豫想利得、是ハ豫想セザル利得ト云フコトニ相成ルノデアリマス、尙ホ色々言ヒタイ事ガアリマスガ、私ハ一應是デ質疑ヲ打切りマス

○高橋委員 只今ノ川成地ト言ヒマスカ、川ト見做スト云フ方面ニ付テハ、大藏省ハ不確實ノヤウデアリマスルカラ、今日ノ此質問ノ終ルマデニ於テ司法當局カラ御説明ガアツテ、是ノ解釋ヲ確定シテ置イタラドウカト私ハ思フノデアリマス、ソレカラ農林大臣ニ御注意マデニ申上ゲテ置キタイノデ極ク、一

分間カ二分間、簡單ニ申上ゲマスカラ能ク御忘レニナラナイヤウニ御聽キ下サイ、アナタハ開墾地ト云フモノハ大部分ハ耕地整理ニ依ルモノダト云フヤウナ、サウ云フ間違ッタコトヲ言フト云フノハ何事デアルカ、耕地整理ニ依ルモノハ極ク一部分シカナイノデアリマス、耕地整理ニ依ルモノハ規定ガアツテ、アナタノ言フヤウニ、耕地整理法ニ依ル開墾ト云フモノハ極ク僅デアル、耕件數カラ言ツテモ面積カラ言ツテモ、耕地整理法ニ依ラザル所ノ開墾ト云フモノガ大部分ヲ占メテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスルカラ、サウ云フ僅カナコトデアアルカラ、自分ハ考ヘナカッ

午後八時十七分開議

○本田委員長 休憩前ニ引續キ開會致シマス——海老澤君

○海老澤委員 私ハ織物消費税法中改正法律案ニ付キマシテ、僅ナ一事項デゴザイマスガ、大藏當局ニ御尋致シマス、此織物消費税法ガ若シ本法通過ノ上、實施ノ曉ニハ、自然其當該織物ノ價額ハ當然ソレニ相當スルダケノ低下ヲ見ルモノダト存ゼラレマスガ、之ニ對スル當局ノ所見ハ如何デアリマセウカ、先ヅ其所見ヲ御伺致シタイ

○井上國務大臣 當然低下スルモノト考ヘテ居リマス

○海老澤委員 大臣御答辯ノ如ク私モ確信シテ居リマス、而シテソレハ即チ法ノ精神カラ見テ左様ナ效果ノ舉ガル

午後六時四十二分休憩

○本田委員長 是ニテ休憩致シマシテ、八時ニ開キマス

午後八時十七分開議

モノト信ジマス、然ル場合ハ自然其際ニ其織物ヲ現在所有致シテ居リマス所ノ業者ハ、當然其價額ノ低下ニ連レル所ノ損害ヲ被ムルノデアリマスガ、是ハ申スマデモナク一般物價ノ低落ヨリ來リマスノデゴザイマセヌ、法令改正實施ノ結果現レテ參ル損害デアリマス、之ニ對シテ當局ハドウ云フ御處置ヲ執ルノ御考デゴザイマセウカ

○井上國務大臣 如何トモスルコトノ出來ナイコトデアリマシテ、又從來モ斯様ナ場合ハ常ニアリマスコトデアリマス、例ヘバ關稅ヲ上ゲマスニシテモ、下ゲマスニシテモ、或ハ見越輸入トモ謂フヤウナコトモアリマセウ、今度ノ織物消費稅ノ如キハ大體ヲ謂ヒマスト免稅ノモノモ多ウゴザイマス、又全體ヲ通ジテ絹物ニ對シテノ稅デスガ、其値段ノ點モ餘程豫想サレテ居ルダラウト思ヒマス、恐ラクハ今後ニ於ケル取引ハ、四月一日カラ後ノ分ガドウト云フコトハ含マレテ居ルダラウト豫想シテ居リマス

○海老澤委員 成程或ハ業者ノ取引關係ニ於キマシテハ、既ニ此案ノ當然通過スベキコトモ豫想サレテ居ルカモ知レマセヌ、從ヒマシテ又其分量以上ニモ一體ニ互ッテ下落ノ趨勢ヲ迎ッテ居ルモノモアリマス、デアリマスカラ既ニソレヲ見越シテソレ位ノ低落ヲ見ル

ヤウナ都合モアルカモ知レマセヌ、併ナガラソレハ一般ノ取引關係カラ起ル低落デアリマスカラ、法ノ實施ノ結果トシテ損害ヲ被ムル者モ、ソレアルガ爲ニ構ハヌデ宜イ、斯様ナコトハ、甚ダ不合理デハアルマイカ、私ノ承知シテ居リマス所デアリマス、抑、此織物消費稅ヲ實施致シマスル當初ニ於キマシテハ、悉ク織物ノ手持品ニ對シテ相當ノ取調ヲ致シ、全國悉ク手持品ノ業者ニ課稅シテ其稅金ヲ徵收シテ居リマス、其時ニ若シ手持品ヲ、自然ノ價格ノ増減ニ伴フ儘ニ打捨テ、置カレマシタナラバ、今日ノ低落ニ付キマシテモ、持品ガアツテモ、——業者者其人ハ變ッテ居リマシテモ、理窟上ハ變リナイト思ヒマス、既ニ一番初メニ此法ヲ施行スル時ニ、左様ナコトガアッタノデアリマス、業者者ヲ悉ク調査シテ、ソレニチャント賦課徵收シタノデアリマス、然ルニ茲ニ來テカラ、此損害ヲ見ルト云フコトハ如何トモ致方ガナイ、拾置イテ可ナリト云フコトハ、全ク不

合理デアリ、思ハザルノ甚シキモノデハナイカト存ゼラレマス、此點ニ付テモウ一段ノ御考慮ヲ願ヒマス

○井上國務大臣 過去ノ事ヲ、私ハ甚ダ不敏ニシテ聞イテ居リマセヌカラ、政府委員カラ一寸御答致サセマス

○青木政府委員 御答ヲ致シマスガ、

此處ニ詳細ナル記録ヲ持ッテ居リマセヌケレドモ、私ノ聞覺エニハ、只今海老澤サンノ仰セニナリマスコトハ、明治三十七年四月デアリマス、非常特別稅トシテ織物消費稅ヲ實施セラレタ時ニ、其後ニ生産サレル織物ダケニ稅課シタノデハナクシテ、法律施行當時ニ於テ、マダ消費者ノ手許ニ渡ッテ居ラナイ物ニ對シテ課稅ヲシタト云フコトヲ聞及ンデ居リマス、又多分私ノ聞及ンデ居ル所ニ誤リハナカラウト思ヒマスガ、織物消費稅ニ付キマシテハ、御承知ノ如ク、三箇月ノ延納期間ガゴザイマス、ソレデ本法ハ御承知ノヤウニ、法律案ニ書イテアリマセヌヤウニ、昭和六年ノ十二月一日カラ之ヲ施行スルコトニナッテ居リマス、ソコデ私共ノ考デハ、十二月一日カラ施行スルト云フコトニナリマス、十一月、十月、九月等ニ至リマス、十二月カラハ減稅ニナルカラ、或ハ或ル物ハ免稅ニナルカラト云ッテ、自然其査定ヲ延期スル、取引ヲ遅延スルト云フコトニナリマス

カ、只今御心配ニナルヤウナ非常ナ大キナ損害ヲ與ヘルト云フコトハナイノデハナイト思ヒマス、詰リ稅金ヲ既ニ納メタ品物ガマダ生産者ノ手許カラ消費者ノ手ニ移ラナイ間ニ此稅法ガ實施セラレテ、サウシテ稅ヲ納メタ品物ノ値段ガ下ッタト云フコトガ此稅法改

正ノ結果起リマス損失ト言ヘバ損失ト言ハレルダラウト思ヒマスガ、サウ云フモノガ非常ニ澤山アルヤウニハ考ヘマセヌ

○海老澤委員 重ネテ御尋スルノモ甚ダ何デアリマスガ、此稅法ノ初メテ施行サレマシタ當時ノコトヲ只今明治三十七年ノ四月ノ其當時ノ狀況ヲ御覽ニナッテ、ケデ深ク實施ノ有様ヲ御承知ニナッテ居ラヌト云フ事柄ガ、自然只今御尋ノ如キ有様デアラウト想像サレマス、其當時ノコトヲ私ハ詳シク之ヲ知ッテ居リマス、當時立法府ニハ固ヨリ立ッテ居リマセヌデシタガ、事情ハ詳シク知ッテ居リマス、悉ク全國ノ商人、機業家ハ勿論ノコト仲買、問屋、小商人、繭賣商人、小裂ヲ一尺賣ル者モ、其小裂ニ至ル迄モ一尺ドレ位ト云フ風ニ各稅務署ノ手ヲ經テ、稅務官吏立會ノ上悉ク調べ、非常ナ面倒ナ手續ガアリマシタ、ソレハ全ク容易ナラヌ手續デアリマシタ、其面倒ナ手續ヲ經テ國民ハ悉ク稅務官吏ノ確カナル承認ヲ得テ、之ニ相當スル其當時ノ實施上ノ課稅ヲ受ケテ徵收サレテ居リマス、ソコデ只今御答辯ニアリマス如ク、其損害ハ極メテ僅カデアラウ、或ハ左様デアリマセウ、私モサウ思ヒマス、併ナガラ餘リニ損害ノ輕微ナルガ爲ニソレハシナイデ宜イ——只今ノ御答辯ノ中ニ

ノ値段ガ下ッタト云フコトガ此稅法改

モ機場ヤ何カノ關係、大キク言ヘバ「モスリン」會社ノ如キモヤハリ同様デアリマス、或ル大キナ組織ト小サナ組織ニ論ナク、兎ニ角織控ヲスル、是等ハノ損害ヲドウシテモ補償シテヤリマス

モウ既ニ提案サレテ居リマスル法案デアルカラシテ、之ヲ見越シテ織控ヲスル、斯ウ云フコトモアリマセウケレドモ、現在ニ於テ夏織物ノ如キ、或ハ中形ノ如キ、染付ヤ何カ決シテ之ヲ捨テテ置ケナイ、ソレガアルガ爲ニ此法案ノ通過ヲ夢見テ打捨テ、置クコトハ出來ナイ、ソレデ相當ナ數ヲ取引サレテ

モ、深ク其當時ノ情況ヲ御穿鑿下サイマシテ、是等憐ムベキ小商人ノ手ニアル持合品、一切ノ全國ニ於ケル當業者ノ損害ヲドウシテモ補償シテヤリマス

ニナル、之ヲ詳シク申シマスナラバ、材料ニアリマス通りニ百五十二萬一千二百二十一町歩、即チ現行ノ地價二百圓未演ノ免租地ト云フモノハ約百三十萬町歩、詳シク申上ゲマスレバ百三十萬二千八百九町歩、ソレデアアルカラ差引スルト、二十二萬町歩ノ増ニナルノデアリマス、此増ニ對スル所ノ稅額ト云フモノハ當然減ルベキ筈デアアルガ減ラナイ、斯ウ自分ハ考ヘルノデアリ

機屋、加工場ニ廻ッテ居ル許リデナク、勿論小商人ノ手ニモ渡ッテ居ル、是等ハ寧ロ憐ナル商人ノ手ニ渡ッテ、相當ナル損害ヲ免レルコトガ出來ヌ、ソレ故ニ最初ニ於テ左様ナ實施ノ時ニ取ッテアル税金デアアルカラ、謂ハバ現在取ッテアル税金ハ現在ノ所有者ハ此改正法律實施ノ曉ニハ戻稅ト申スト語弊カ知リマ

○松本委員 先般來織物消費稅ニ付テモノニ付テ政府ノ御所見ヲ伺ッテ置キタイノデアリマス、即チ今度ノ改正ニ依ッテ四十七番手ノ麻織物ハ全部無稅、比較的上層階級ニ用ヒラレル純麻ノ白「リンネル」ノ洋服地ノ如キモノガ全部無稅トナッタノデアリマス、然ルニ同ジク麻織物ニシテ値段モ安ク實際ニ於テ一般大衆ニ使用セラル、「ラミー」織物

○高橋委員 私モ控ヲ持ッテ來マシタノデ、朗讀ノニ質問ノ要點ダケヲ述べマスカラ、成ベク時間ヲ喰ハナイヤウニ御答辯ヲシテ戴キタイト思ヒマス、是ハ大臣カラ御答辯ヲ願ヘレバ結構デアリマスケレドモ、青木局長カラデモ宜シウゴザイマス、是ハ數字ニ互ル問題デアリマスルカラ、若シ私ノ質問ガ御理解ガ行カカッタラ此處ニ鉛筆書キニシタモノガアリマスカラ、御手許ヘ差上ゲテモ宜シウゴザイマス、私ハ本會議ニ於テモ之ニ觸レタノデアリマ

見タ、此免租地ノ増反別ニ對シテ地租ハドノ位ニナルカト云フコトヲ計算シテ見マスト云フト、此表ニ現レテ居リマス自作農ニ對スル免租稅額ト云フモノハ、現行法ニ依ルト七百三十九萬圓ニナッテ居ル、此七百三十九萬圓ニ二百二十萬町歩ヲ掛ケテ、之ヲ百三十萬町歩割ッテ見ル、サウスルト百二十五萬圓ト云フモノガ出テ參ルノデアリマ

セヌガ、戻稅スベキヤウナ意味ヲ以テ相當補償的ニ致サナケレバナラヌモノダト私ハ信ズルノデアリマス、本法ノ精神ハ、此條文ノ改正ヲシナクテモ左様ナコトハ私ハ出來得ルモノダト思ヒマシテ此御尋ネヲシタノデアリマス、

○井上國務大臣 只今ノ松本君ヨリノ御注意ノ點ハ度々申上ゲマスヤウニ、昭和六年度ニ稅ノ全體ニ互リマシタ點查ヲ致ス積リデアリマス、御注意ノ點ニ付キマシテハ重要ナ事項トシテ一ツ

調査致シマシテ、左様ナ不權衡ノ點ガアリマシタナラバ何トカ處置ヲ執ルヤウナコトニ考ヘタイト思ッテ居リマス

是ハ三・八デヤッタノデ、之ヲ四・八ノ今迄通りデヤルト百二十五萬圓、是ダケガ當然減ズルコトニ相成ル、斯ウ云フ吾々ハ考ヲ持ッテ居リマス、ソレデアリマスカラ此二十二萬町歩ト云フモノハ、當然課稅ノ基準ノ減ジタルモノデ

ル税金ハ現在ノ所有者ハ此改正法律實施ノ曉ニハ戻稅ト申スト語弊カ知リマセヌガ、戻稅スベキヤウナ意味ヲ以テ相當補償的ニ致サナケレバナラヌモノダト私ハ信ズルノデアリマス、本法ノ精神ハ、此條文ノ改正ヲシナクテモ左様ナコトハ私ハ出來得ルモノダト思ヒマシテ此御尋ネヲシタノデアリマス、

○井上國務大臣 只今ノ松本君ヨリノ御注意ノ點ハ度々申上ゲマスヤウニ、昭和六年度ニ稅ノ全體ニ互リマシタ點查ヲ致ス積リデアリマス、御注意ノ點ニ付キマシテハ重要ナ事項トシテ一ツ

調査致シマシテ、左様ナ不權衡ノ點ガアリマシタナラバ何トカ處置ヲ執ルヤウナコトニ考ヘタイト思ッテ居リマス

是ハ三・八デヤッタノデ、之ヲ四・八ノ今迄通りデヤルト百二十五萬圓、是ダケガ當然減ズルコトニ相成ル、斯ウ云フ吾々ハ考ヲ持ッテ居リマス、ソレデアリマスカラ此二十二萬町歩ト云フモノハ、當然課稅ノ基準ノ減ジタルモノデ

メナカッタト云フノデアリマシタナラ

○井上國務大臣 只今ノ松本君ヨリノ御注意ノ點ハ度々申上ゲマスヤウニ、昭和六年度ニ稅ノ全體ニ互リマシタ點查ヲ致ス積リデアリマス、御注意ノ點ニ付キマシテハ重要ナ事項トシテ一ツ

調査致シマシテ、左様ナ不權衡ノ點ガアリマシタナラバ何トカ處置ヲ執ルヤウナコトニ考ヘタイト思ッテ居リマス

是ハ三・八デヤッタノデ、之ヲ四・八ノ今迄通りデヤルト百二十五萬圓、是ダケガ當然減ズルコトニ相成ル、斯ウ云フ吾々ハ考ヲ持ッテ居リマス、ソレデアリマスカラ此二十二萬町歩ト云フモノハ、當然課稅ノ基準ノ減ジタルモノデ

メナカッタト云フノデアリマシタナラ

○井上國務大臣 只今ノ松本君ヨリノ御注意ノ點ハ度々申上ゲマスヤウニ、昭和六年度ニ稅ノ全體ニ互リマシタ點查ヲ致ス積リデアリマス、御注意ノ點ニ付キマシテハ重要ナ事項トシテ一ツ

調査致シマシテ、左様ナ不權衡ノ點ガアリマシタナラバ何トカ處置ヲ執ルヤウナコトニ考ヘタイト思ッテ居リマス

是ハ三・八デヤッタノデ、之ヲ四・八ノ今迄通りデヤルト百二十五萬圓、是ダケガ當然減ズルコトニ相成ル、斯ウ云フ吾々ハ考ヲ持ッテ居リマス、ソレデアリマスカラ此二十二萬町歩ト云フモノハ、當然課稅ノ基準ノ減ジタルモノデ

アルカラ、此基準ガ減ズルダケ、ソレダケノ段別ガ減ジテ居ルカラ之ニ對スル所ノ地租ト云フモノハ當然ソレダケ除外サルベキモノデアアル、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、然ルニ全體ヲ計算シテ見ルト是ハ減ジテ居ラナイ、計算ニ於テ百二十五萬町歩ニナツテ居ル、又實際此全體ヲ計算シテ見タ表ニ依ルト云フト、全體ノ有租地ノ總段別ト云フモノガ千六百八十二萬町歩ニナツテ居リマス、是ハ全體デアリマス、全部ノ有租地ノ面積ハ千六百八十二萬町歩ニナツテ居リマス、ダカラ百三十萬町歩ノ免租地ヲ——現行法ニ依ッテ、アリマス、引クト云フト、其課稅段別ト云フモノハ千五百五十二萬町歩ニナル、之ニ對スル地租額ト云フモノハ表ニアリマス通り、六千七百六十六萬七千回ニナルノデアリマス、ソレデ之ヲ一町歩當リニ前ノモノデ割ッテ見マスト一町歩當リガ四圓三十六錢ニナル——全體ノ總平均ガ……之ヲ改正法ニ依ルト云フトドウナルカト云フト、表ニ依ッテ見マスト改正法ニ依ル所ノ總面積ハ同ジク千六百八十二萬町歩、ダカラ免租地ガ今度ハ殖エテ百五十二萬町歩ニナツテ居ルカラ、之ヲ差引マスレバ、其残りハ改正法デ幾分ハ減リマシテ、是ガ千五百三十萬町歩ニナルノデアリマス、其地租ヲ見マスト是ガ六千七百五

十四萬五千圓ニナル、是ハ皆表カラ出テ來ル數字デアリマス、ソレデアリマスカラ段別デ之ヲ割ッテ見ルト、一町歩當リノ金額ガ四圓四十一錢四厘七毛ト云フコトニナル、之ヲ差引キマスト一町歩當リデ五錢四厘七毛ト云フ差ガ出テ來ル、此五錢四厘七毛ト云フモノハ、當然是ハ地租ヲ課稅サレル所ノ基本ガ減ッテ居ルノデアリマスカラ、是ダケハドウシテモ減ラナケレバナラヌ、ソレデアリマスカラ此一町歩五錢四厘七毛ト云フモノヲ總段別ノ千五百三十萬町歩ニ掛ケテ見ルト八十三萬六千九百圓ト云フモノガ出來テ參ル、是ハ當然減ゼラルベキ管ノモノガ減ゼラレナイト云フコトニ相成ッテ居ルノデアリマス、是ハ私ハ不當ニ課稅ヲ受ケタモノデア

ルハ當然減ゼラルベキモノガ減ゼラレナイデ、實際免稅點ガ上ツタ爲ニ減ゼラ

ルベキモノガ依然トシテ減ゼラレズニ他ノ頭ノ上ニ負ハサレテアルノデア

ル、斯ウ考ヘルノデアリマス

青木政府委員 御答致シマス、本會以來色々御話ガゴザイマシテ、今日御話ノ點ヲ諒解シ得タヤウニ思フノデア

リマス、詰リ御話ハ元ハ自作農ノ地價

二百圓ガ免稅點デアッタ、ソレヲ賃貸

價格二百圓ニシタ、ソレデアアルカラ此

自作農免除ノ段別ガ殖エテ居ル、サウ

スレバ地租ノ課カル所ノ段別ハ減タ

譯デアアル、サウスルト一段歩當リヲ出

スト、地租ノ金額ガ殖エテ居ル、殖エ

テ居リマスノハ、當然減ゼラルベキモ

ノデナイカ、斯ウ云フ御話デアリマシ

テ、御話ノ筋ハ私御尤ト思ヒマス、唯

私共計算ニ依リテ地租ヲ増減ナカラス

ムルト云フノハ、今ノ自作農ノ免除デ

アリマストカ、或ハ激増制限ト云フヤ

ウナモノヲ、スッカリ計算ニ入レタ其末

ノ金額ヲ増減ナカラスムルト云フコト

ニ致シタカラ、ソレデ丁度先程御議論

ニナツテ居リマシタ激増制限ヲスルト

云フト、其制限ヲセラレタ結果ト云フ

モノハ、一般他ノ地主ノ負擔ニナルデ

ハナイカト云フヤウナ御説ト結局同ジ

デアリマシテ、詰リ自作農免除地價二

百圓ガ賃貸價格二百圓ニナツタ爲ニ、ソ

レガ爲ニ自作農ノ免除サレル段別ガ殖

エタ、ソレデアアルカラ其殖エタダケハ

一般ノ地主ガ之ヲ負擔スル、ソレハ總

額ニ於テ増減ナカラシムル爲ニ、サウ

云フ結果ニ相成リマス、ドウモ總額ニ

於テ増減ナカラシムルト云フコトヲ、

自作農免除ト云フコトヲ考慮ニ入レテ

ヤリマシタカラ、此私共ノヤリ方ハ已

ムヲ得ナイト思ヒマスガ、高橋サンノ

仰セニナルコトハ其通りノヤウニ私ハ

了解致シマス

高橋委員 此以上ハ議論ニナルカラ、

其事ヲ御認メ下サレバ私ハソレデ宜シ

ウゴザイマス、ソレデ何レ又討論カ何

カノ機會ニ於テ是ハ論ジタイト思ッテ

居リマス、ソレカラ極ク簡單デアリマス

カラ大藏大臣ニ御尋フスルノデアリマ

スガ、大藏大臣ハ常ニ色々御説ヲ天下

ニ御發表ニナルト云フコトハ、立憲政

治家トシテ洵ニ其當ヲ得タ事ト思ッテ

吾々ハ喜ンデ居ルノデス、喜ンデ居ル

事デアリマスガ、時々大變宣傳ニ都合

ノ好イヤウナ事實ヲ拾ヒ集メラレテ御

宣傳ニナルト云フコトガ間々アルノデ

ス、故意カ間違カソレハ分ラヌケレド

モ、ソレデ吾々ハ大ニ迷惑ヲスルノデ

アリマスガ、一體大藏大臣ハ此海軍ノ

豫算等ニ於テ十分御研究ニナツタニ違

ナイノデアリマスケレドモ、世ノ中ニ

御發表ニナツタ御意見デ、大分事實ト間

違ッテ居ルデハナイカト思フヤウナ事

ヲ御發表ニナツテ居ルノデアリマス、詰

リ今此豫算ニアリマス所ノ海軍ノ補充

計畫ト云フモノハ、條約デ以テ獲得シ

タル權利ハ三億七千四百萬圓ノ經費デ

以テ全部此計畫ハ實行出來ルンダ、其

他ニ「オブション」トシテ權利ガアル

モノモ是モ大部分實行シテ居ルンダ、

其他ニモ又航空隊ノ増勢増設ト云フヤ

ウナ事ナドモ決行シテ居ルノデアアル、

ソレデ此三億七千四百萬圓デ賄ヒ得タ

ト云フ、ソレデ五億八百萬圓ノ保留財

源カラ之ヲ引イター億三千四百萬圓ヲ減稅ニ充テルンダ、大分之二付テハ骨ガ折レタ、斯ウ云フヤウナ御意見ヲ御發表ニナツテ居リマスガ、斯ウ云フ意見ヲ御發表ニナツタコトハ御記憶ニナルダラウト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○井上國務大臣 其通りデアリマシテ、今マデモ左様考ヘテ居リマス

○高橋委員 サウスルト現ニ海軍大臣ノ御説明ニ依リマシテモ色々第二次計畫ガアルノドウノト云フコトハ別問題ニ致シマシテ、吾々ノ謂フ第一次計畫——其整備計畫ノ中ニアリマシテモ、當然條約ニハマダ驅逐艦ノ如キハ

十八隻ヲ拵ヘ得ルダケノ權利ヲ持ッテ居ル、其中十二艘ダケ造ッテアトノ六艘ト云フモノハ後廻シニスル、必要ニ應ジテ何時デモ之ヲ拵ヘルンダ、ソレハ今ノ豫算ニ上ツテ居ル所ノ三億七千四百萬圓ニハ含ンデ居ラス、サウト吾

吾ハ解釋致シテ居ルノデアリマスガ、是ハ含メテ御計算ニナツテ居ルノデアリマスカ

○井上國務大臣 今般議會ニ提出致シマシタ海軍ノ艦艇製造費二億四千七百萬圓デ海軍ノ計畫ハ是デ今般ハ宜シ

ハナイ、例ヘバ十一年前ニドウ云フ器具ヲ幾ラ拵付ケテドウトカ云フコトハ

海軍大臣カラ度々申上ゲタ如ク、只今計畫ガ立ッテ居ナイガ、其以外ノモノハ此計畫デ宜シイ、又航空隊ノ擴張ノ如キモ相當ニ出來テ居ル、斯ウ云フコトニ考ヘテ居ルノデアリマス

○高橋委員 左様ナ事ハ此議會デ吾々ハ海軍大臣カラ承ッテ居リマセヌ、此條約ト云フモノ、中ニハ驅逐艦ノ六隻ハ

云フコトヲ吾々ハ屢々承ッタノデアリマス、大藏大臣モ是等ノ事ハ當然御承知置キノ筈ダト吾々ハ考ヘテ居ルノデ

ス、其他ニマダ私共ハ是カラ洩レテ居ル、將來建造スルト云フモノハ相當ニアルダラウト思フノデス、ソレデ私ハ

後デ他ノ方カラ補充シテ戴キマスカラ、駈足デ行ッテシマヒマスガ、當然此驅逐艦六隻ト云フモノハ、條約デ以テ

千九百三十六年マデニ完成シ得ル建造艦ノ總數ノ中ニ這ッテ來ルベキモノ、

中デ後廻シサレタノダ、第二次補充計畫ト云フモノ、中ニ入レタノダ、サウスレバ是ダケト云フモノハ當然後デ何時カノ機會ニ此六艘ヲ造ルニハ八九千

萬圓ノ金ヲ要スルノデス、ソレダケノモノハ此條約ニ依ッテ得タル所ノ權利ノ中カラ省ケルノデス、ソレカラ「オ

ブシヨ」トシテ有セラル、ト云フケ

レドモ、私ハ倫敦條約デ日本側デ「オブシヨ」デ取ッタナド、云フ權利ハ

承知致サヌノデアリマス、マダ海軍大臣カラ「オブシヨ」デ取ッタナド、

云フコトハ「亞米利加ニハ「オブシヨ」ガアッテ、例ノ第一型巡洋艦ノ三

萬噸ト云フノガ「オブシヨ」ニナツテ居ッテ、之ヲ小型ノ輕巡洋艦ニ致シマス

レバ五割増ノ四萬五千噸ノ「オブシヨ」ガアルト云フコトハ聞イテ居リマ

ス、其他ニアリマスルヤウデアリマスガ、極ク著シイ例ヲ採リマスルト、左様ナモノヲ「オブシヨ」トシテ居ル

○高橋委員 私共ハ不明ニシテ左様ナ

モノハ「オブシヨ」トシテ日本ガ取ッテ居ルト云フヤウナコトハ、吾々ハ聽

イテ居ナイコトヲ遺憾トスル次第デアリマシテ「オブシヨ」ト云フノハ、左

様ナモノヲ含ンデ居ナイヤウニ吾々ハ考ヘテ居リマス、ソレデアリマスルカ

ラシテ、此問題ニ付テ私共ガ考ヘマスニ付テ、此處ニ書イタモノガアリマス

カラ、一寸讀ンデ見マスガ、「經濟往來」ノ二月號ノ附録トシテ「我國財政及經濟ノ現狀トソノ將來」ト題シテ御書

キニナツテ御投書ニナツタモノデ附録デアリマスガ(笑聲)軍縮剩餘金ノ性質

ナドヲ色々御説キニナツテ「留保財源ノ使途」ト云フ所デ色々御説キニナツ

テ「海軍ノ補充計畫」詳細ヲ申述セル自由ハナイノデアリマスガ、大體申シマ

スト、海軍ノ軍縮條約ニヨリ與ヘラレタル權利ノ全部ヲ實行シテ尙ホソレ以

外ニモ「オブシヨ」ノアリマスモノハ大部分實行シテ、ソレ以外ニ航空隊ヲ擴張スルノデ、ソレニ依ッテ三億七千四

百萬圓ノ金ヲ使用スルノデアリマス」ト云フヤウナコトガ書イテアルノデア

リマス、之ヲ今大部分ヲ御實行ニナツ

タト云フコトデアリマスカラ、私ハ時
 間ノ持合セガナクハ大口先輩ガ九時
 カラ御述ベニナリ、又木暮君モヤルノ
 デアリマスカラ、其間ニ私ハ駢足デヤ
 テ居ルノデアリマスガ、兎ニ角私共ハ
 大藏大臣ノ斯ク言フ事ノ中ニ——私モ
 餘リ専門デナイカラ詳シイコトハ後デ
 大口先生ニデモ御頼ミシヨウト思ヒマ
 スガ、兎モ角是ハ何ニ致シマシテモ、
 只今大藏大臣ガ御斷定ニナッタ通りニ、
 條約ニ依ッテ得タル權利ノ全部ヲ行使
 致シタナドト云フコトニ付テハ、私共
 ハ承服ハ出來ヌノデアリマス、私共ハ
 忙シイノデ海軍大臣ガドレダケノコト
 ヲ此議會ニ於テ御申述ベニナッタカト
 云フコトヲ十分統計的ニハ取ッテ見ル
 暇ハアリマセスケレドモ、少クトモ驅
 逐艦六隻ト云フモノハ、是ハ問題ニナ
 タト云フコトハ明カデアリマス、其他
 ニモ條約ノ權利トシテ取ッタト云フモ
 ノハ權利ヲ拋棄シナイト云フ以上ハマ
 ダ澤山アルノデアリマス「オブシヨ
 ン」ト云ハレタノハ何カ説明サレマシタケ
 レドモ、ソレ以外ニ斯ウ云フコトモ私
 ハ其當時考ヘラレタノデヤナイカト思
 フノデス、千九百三十六年マデニハ完
 成シテハイケナイケレドモ、其前ニ著
 手ハ出來ル、斯ウ云フヤウナコトモ「オ
 ブシヨン」ト考ヘマシタノデハナイカ、
 ソレモ得タル權利デアリマス、ソレデ
 ハ非常ニ困難ナ仕事デアッタト云フコ
 トヲ敢テ國民諸君ニ申上ゲタイノデア
 リマス」斯様ニ仰セニナリマスルガ、
 是モ先程仰セニナッタヤウナ具合ニ之
 ニ間違ハ少シモナイ、此記事ニ付テハ
 全責任ヲ負ハレル、斯様ニ承知シテ宜
 シウゴザイマスカ
○井上國務大臣 其通りニ考ヘテ居リ
 マス
○高橋委員 ソレデハ私ハアトガツカ
 ヘマスカラ是ダケニシテ、何レ他ノ機
 會ニ於テ之ニ付テ論議ヲ致スコトニ致
 シマス
○本田委員長 大口君
○大口委員 私ハ豫算總會デ承リマセ
 ナンダ點ニ對シテ少シ伺ッテ置キタイ
 ト思ヒマス、只今高橋君ヨリモ出マシ
 タ海軍保留財源五億八百萬圓ト云フノ
 デアリマスガ、是ハ何時ノ概計表カ、
 何時ノ財政計畫ヲ根據トシテ出サレタ
 金デアリマスカ
○井上國務大臣 ソレハ昭和五年度デ
 ス
○大口委員 私モ左様デアラウト考ヘ
 テ居ル、サウスルト云フト、先般モ一
 寸私討論ノ時申シマシタヤウニ、昭和
 五年度ノ其當時ノ歳入ト云フモノハ經
 常部ガ十五億餘萬圓ノ時代デアアル、所
 ガ昭和六年度、今日ニ至リマスト歳入
 ガ非常ニ減ッテ參ッテ、經常部十三億餘
 萬圓、ソレデアリマスカラ其間ニ非常
 ナ歳入ガ減ッテ居リマス、現在此五億
 八百萬圓ト云フ金ハナイ譯ダト私ハ思
 フノデアアルガ、之ヲ保留財源トシテ此
 處ニ擧ゲラレルト云フコトハドウ云フ
 譯デアリマセウカ、今日ノ歳入カラ考
 ヘレバ、即チ今日ノ概計表、財政計畫
 カラ見レバ、五億八百萬圓ノ中ガ其歳
 入ノ減ッテ割合ニ減ラサレテ居ラネバ
 ナラヌ譯デアアル、ソレヲ今日ノ歳入ニ
 當嵌メテ、歳入ノ多カッタ時代ノ昭和五
 年度ニ出來テ居ル財政計畫ニ依ッテ、五
 億八百萬圓保留財源ガアリトサレルコ
 トガ第一分ラヌノデアリマスガ、其御
 説明ヲ願ヒタイ
○井上國務大臣 御尤モナ御質問デア
 リマスガ、丁度私ノ財政計畫ニソレトナ
 シニ今大口君ノ言ハレルヤウナ意味ヲ
 記載シテ置キマシタノデアリマス、大
 體ノ稅ガ減ルノデアアルカラ、サウスレ
 バ普通ノ歳出デアアルナラバ五億八百萬
 圓ト云フモノハ年々年度割ニシテモ可
 ナリ減ルノガ本當デアアル、併ナガラソ
 レヲ減サズニ、五億八百萬圓ト云フモ
 ノダケハ減サズニ置カウ、サウシテ他
 ノ歳出デ減シテ歳入ノ減ッタノニ應ジ
 テ行カウト云フノデアアルカラ、歳出ヲ
 各省ニ互ッテ減スノガ非常ニ大キクナ
 タ、斯ウ云フコトヲ申シテ置キマシタ
 ガ、左様ナ事實デアリマス、五億八百萬
 圓ト云フモノニ手ヲ觸レズニ、他ノ歳

出デ歳人ノ減タノニ應ジテ減シタノデアリマス

場ニ於テ豫算ノ時論ジマシタ通り、臨時部ニ於テ減サレテ居ル、事業ノ中止、繰延、是デ減シテ居ルノデス、經常部

ノガ、昭和六年度ノ繼續費以外ノ臨時費デアリマス、此一億二千百萬圓ノ繼續費以外ノ臨時費デモ随分窮屈ヲ感ジ

斯ウ云フ風ニナツテ居リマス、御説ノ如ク臨時部デ節約繰延ガアツテ、經常部ノ方デハチヨット三分ノ一強ニナツテ居リ

○大口委員 サウスルト、全體言ヘバ海軍ノ保留財源ハ五億八百萬圓ナイノ

線延、是デ減シテ居ルノデス、經常部

テ、總テノ事業ガ多ク中止繰延ベラレタリシテ居ルノガ現状デアリマス、所ガ昭

ソレカラ只今ノ繰延以前ノ臨時費ハ大體先頃豫算委員會デ御質問ノ時ト同

ガ本當デアルガ、ソレヲ強ヒテ五億八百萬圓取ラウトサレタ結果ハ、他ノ各

部ト云フモノヲ事業ノ中止、繰延ヲ致シテ結局強ヒテ五億八百萬圓ト云フモ

ト、詳シイ計算ヲシテ持ッテ居リマスガ、節約シテ結末ダケ申スト、繼續費以外

ノ臨時費デ七年度ニ八千九百萬圓ニ減ッテシマフ、ソレカラ八年度ニ行ケバ

省ノ歳出ニ向ッテ減シタト云フ話ニナルノデアリマスガ、成程昭和六年度ノ

ノヲ作ッタト云フコトニ相成ッテ居ルノデアルカラ、臨時部ト云フモノガ非常

ニ窮屈ニ減ッテ居ル、是カラモウ少シ色モウ繼續費以外ノ臨時費ハ七千八百七

十餘萬圓ニ減リマシテ昭和九年度へ行ケバ七千萬圓一寸餘ニナリマス、昭和十

概計表ヲ見ルト云フト、サウ云フ風ノ計畫ニ總テ現レテ參ッテ居ル、ソコデ先

日ノ豫算委員會デ大體私申シテ御質問シマシタガ、ドウモア、云フ場合デアッ

テ、少シ要領ヲ得兼ネテ居リマスカラ、今一應詳シク申述ベテ説明ヲ乞ヒタイ

ト思フノデアリマスガ、各省カラ減シタト云フ金ガ少ケレバマダ宜イノデア

ルガ、中々多ク減サレテ、其多ク減サレテ居ルノナラバ之ヲ私ハ領クコトガ

出來ル、承認スルコトガ出來ル、所ガ經常部ニ於テハ殆ド——殆ドヂヤナイ、減サレテ居ナイト言ウテモ宜イ、

幾ラカ減ッテ居リマスガ、極メテ僅カナモノデアリマス、此處デ讀ンデモ宜イノデアリマスガ、經常部ノ方デ申セバ

昭和五年度ノ財政計畫デ見マスト云フト、歳出經常部十二億圓バカリデアリ

マストモノガ、十一億七千五百萬圓ニ今度ノ昭和六年度ノ新シイ計畫デハナッ

テ居リマスカラ、二百餘萬ノ減額ハアリマスケレドモ、極メテ僅カデス、何

億二千百十四萬六千三百九十圓ト云フ

○井上國務大臣 大體サウデゴザイマス、經常部デ減スト云フコトハ中々大口君モ御承知ノ如ク困難デアリマス、臨時部デ餘計減ッテ居リマス

○大口委員 餘計ト言ハレルガ、私ハ殆ド臨時部デハ減サレテ居ルト思フ、ソレヲ私ハ數字デ舉ゲテ見ルト、

大體ハ豫算總會デ申シマシタガ、尙ホ稍、詳シク申スト、昭和六年度デ申スト云フト、概計表ニ依ル臨時歳出二億六

千八百餘萬圓ノ中繼續費ニ屬シマスモノガ一億四千六百餘萬圓デアリマス、

デアリマスカラ差引一億二千二百餘萬圓デアリマスガ、其中海軍ノ補充計畫

デ繼續費ニ屬セスモノガ百二十三萬圓

バカリデアリマス、ソレヲ差引クト一

億二千五百萬圓デ、繰延ガ六千五百萬圓、

○井上國務大臣 チヨット前ノヲ御答

致シマスガ、經常部ノ節約額ガ三千七

百萬圓、ソレカラ臨時部ノ方ノ節約ガ

二千五百萬圓、繰延ガ六千五百萬圓、

御承知ノ如ク繰延額ヲ致シマス時ニ、大口君モ御體験ノアルコトデアラウト

思ヒマスガ、何時デモ段々先ノ方ニ繰延ベテ行ク、併ナガラ先ニ行クダケ尻

太リガシテ居ッテ、サウシテ手前ノ方ヲ成タケ少クシテ、ソレカラ陸軍ノ

殊ニ陸軍デアリマスガ、陸軍ノ繰延ノ如キハ其時其年ニナツテ又繰延ベルト

云フヤウナ事實ハ最近數年間之ヲ繰返シテ居ルノデアリマス、隨テ御説ノ如

ク繼續費以外ノ臨時費ガ先ニ至ルト五

千萬圓ニナリ大變少イト云フコトハ其

通りデアリマスガ、只今ノヤウナ事情

デアリマシテ、ソレニ依ッテ賄ッテ行ク

ヨリ外ニナイト云フ數字上ノ状態デア

リマス、併ナガラ實際ハ、歳入ヲ其儘

ニシテ置クナラバ、繰延ノモノヲ段々

先送りニシテ行クト云フコトニナルノ

デアリマス、御承知ノ如ク陸軍ガ非常

ナ大キナ繼續費ヲ持ッテ居リマスノデ、

陸軍ノ當局者ト大藏省ノ當局者トハ、モウ常ニ折衝ヲ重ネルノデアリマスガ、何時デモ所謂繼續費ノ繰延ト云フモノガ、中々此歳出ヲ減ズル上ニ於テハ餘程重要ナ問題トナルヤウナ次第デアリマスカラ、ソレデ財政計畫ニ於テ都合ヲ付ケテ行ケルト斯ウ考ヘタノデゴザイマス

○大口委員

其處ニ稍、疑問ガアルノデ

ス、成程今マデハ随分マダ繰延ベル餘地ガアッタ、陸軍デモ、海軍デモ、其他ノ省デモアッタノデアリマスガ、現内閣ニナラレマシテカラ、昭和四年以來繰延竝ニ事業ノ中止ト云フモノヲ盛ニ行ハレテ、今再ビ其數字ヲ此處デ繰返ス必要ハアリマセヌガ、其處デ帳簿ヲ御覽ニナレベ直グ分ルノデアアルガ、殆ド繰延中止ヲシ盡シタト言フノハ少シ言葉ガ過ギマスガ、殆ド極端ナ所マデ行ッテ居ルノガ現狀デアルト私ハ思フ、ソレデアリマスカラ結局此繼續費ト云フモノ、幾分ヲ繰延ベルコトニシタ、所ガ中々サウエライ繰延ガ利クカ利カナイカト云フコトハ一ツノ問題デアアル、ソレデ海軍ヲ繰延ベレバハ宜イノデアリマス、海軍ハ新規ノ計畫デ、此計畫ヲ拵ヘルト同時ニ繰延ベル譯ニハ行キマセヌカラ、先ヅ今度ノ海軍ノ計畫ト云フモノハ豫定通り行ハナケレバナラヌ、ソレデ私ハ今日海軍大臣ニモ念ヲ

押シテ置イタ、斯ウ云フ風ナ年度割ヲ拵ヘテ、澤山ノ金ヲ取ッテ置イテ、サウシテ議會ヲ通シテ置イテ、今日ハ極ク必要ナ事ト云ッテ置イテ、來年直グ繰延ヲヤル、サウ云フコトヲヤルカラ惡ク言フト欺瞞デスケレドモ、欺瞞ト云フ言葉ハ過ギマセウガ、如何ニモ國民ノ代表者ヲ馬鹿ニスルヤウナコトニナドウモエライ繰延ノ八千萬圓九千萬圓ト云フ繰延ヲスレバ、陸軍ノ事業ガ中止サレルヤウニナルカラ私ハ出來ナイト思フ、今ノ日本ノ財政ト云フモノハ惡ク言ヘバ行詰ッテ來テ居ル、以前トハ大分違フ、ソコデ各省ノ補助費ダケヲ合計シテ見マスト、是ハ參考書ニ出テ居ルノデアリマシテ、政府ノ出サレタ數字ヲ云フノデアリマスガ、六千八百萬圓アルノデアリマス、是ハ參考書ヲ御覽ニナレバ分ル、各省ノ補助費合計ト云フノガ六千八百萬圓アリマス、是ハ大部分私ハ繼續費デハナイト思ヒマ

ス、幾ラカ繼續費ガ這入ッテ居ルカモ知レヌガ、是ハ繼續費以外ノモノデア

ル、ソレカラ内務省ダケノ繼續費ト云フモノヲ段々寄合セテ見レバ二千七八百萬圓アリマス、農林省ノ臨時費全部ガ二千六百十三萬五百七十一圓デ、其中繼續費ハ僅ニ二十一萬五千八百十一圓デゴザイマス、ソレデアリマスカラ二千六百萬圓バカリ農林省ダケデ臨時費ガアル、商工省ハ割合ニ少イガ、ソレデモ六百萬圓バカリ繼續費以外ノ臨時費ガアリマス、ソレデ農林省、商工省ト云フモノヲ、之ヲ能ク細カニ讀ンデ見マスト、極メテ細カナ金ガ集ッテ斯ウナッテ居ル、産業ノ獎勵トカ農事ノ改良トカ云フ、色々澤山ナ數ヘ切レナイモノガ、集ッテ斯ウナッテ居ルノデア

リマス、アナタ方ガ御經驗下ステモ分リマスガ、一年ノ中ニ一億二千萬圓ト云フヤウナ國ノ財政ヲ立換ヘルト云フコトハ殆ド不可能デアリマス、併ナガラ御覽下サル如ク陸軍デ二千萬圓、海軍デ三千何百萬圓ト思ッテ居リマス、所謂何ト云ヒマスカ、無イ袖ハ振レヌト言ヒマスカ、所謂皆ガ歳入ノ非常ニ減ズルコトヲ能ク理解シテ此處マデ私ハ豫算ヲ作ツタ、能ク減シタト思フ位デアル、隨テ此減シマシタ跡ヲ見マスルト云フト、アナタノヤウナ御經驗ノオアリノ方ハソレニ同情シテ下サルト共ニ、非常ニ拙イ財政計畫ガ出來テ居ルト云フコトハ一目シテ能ク分ル、ソコデ次年度ハドウスル、此狀態デハ到底日本ノ財政ト云フモノハ行ケルモノデナイ、殆ド全部ニ於テ立直シヲ圖ランケレバイカスモノダ、斯ウ考ヘテ先日加藤君カノ御質問ニ對シテ、行政整理竝ニ財政整理ハ必要ニ迫ラレテ居ルカラ、是マデヨリカ相當ノ效果ヲ舉ゲル積リデヤツタノモ其處ニアル、ソコデアナタノ御指摘ニナルヤウナ無理ナ事ガ出來テ居ルノデアアル、行政整理、財政整理ト云フモノハ、何人ガ之ニ當ッテモ私ハソレデ行クヨリ外ニ仕方ガナイト思フ、又行クノガ本當ノ道ダト斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラアナタガ陸軍ノ繼續費ガ減セナ

イ、何處ノ繼續費ガ減セナイ、歳出ガ減セナイト云フガ、私ハ二度三度、昭和四年度ノ實行豫算カラ三度經驗シテ見マシタガ、非常ニ困難デアリマス、併シ財政ヲ鞏固ニスル上ニ於テハ、ドウシテモ是デ行クヨリ仕方ガナイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ之ヲ御批評ナサレテ、サウ云フ御批評モ出來マセウガ、吾々ニハ經驗ノ上カラサウ云フ確信ヲ以テサウシテ行カウト云フコトニ考ヘテ居ルノデゴザイマス

○大口委員 前後ノ御答ハ私ハ洵ニ大

藏大臣ニ同情ノ念ヲ禁ゼナイノデアリマスガ、最後ノ御言葉ニ對シテハ大ニ酬イザルヲ得ヌ、極メテ了解セザル點デアリマス、ト云フノハドウ云フコトカト云フト、成程今日ノ不景氣ニ遭遇サレテ歳入ガ非常ニ減ッテ來テ來テ居ル、是モ承知シテ居ル、此不景氣ニナツタ原因ハ何デアアルカト云フコトハ、今日私ハ之ヲ論ジマセヌガ、兎ニ角大藏大臣トシテハ、非常ニ御困リニナツテ居ル事デアラウ、御苦心ノ中ニ昭和六年度ノ豫算ヲ御編成ニナツタ御苦心ニ對シテハ、私確ニ同情致シマス、其處マデハ私アナタニ同情スル、所ガソレデ陸軍ダトカ海軍ダトカニ減シタト云フノデ自慢シテ居ラレルガ、ソレハ事業ノ繰延中止デアリマスカラ、エライ事ヲヤツタト云ッテモ數字ノ辻褄ヲ合セタ

ダケデ、御自慢ノヤウデアルガ、ソレハ借金ヲ後ノ年ニ送ツタト同ジデアアル、ソレデアリマスカラ、段々アトノ繼續費ト云フモノガ、先刻御話ノヤウニ太ッテ來テ、結局普通ノ臨時費ト云フモノハ減ッテ參ッタ、弊害ガ茲ニ觀面ニ現レテ來テ、現在マデドウカ斯ウカヤッタガ、直グニ後年ニナツテ七年、八年、九年、十年ト著々ト此財政ノ上ニ困難ガ現レテ來テ、繼續費ガ段々延バサレテ、繰延バサレタ結果、繼續費以外ノ臨時費ト云フモノヲ減シテ計上セザルヲ得ザルコトニナツテ來テ、事實出來ナイト云フコトニナル、是ハ前ノ御答デアナクハ腹ハ能ク分ッテ居ル、困難ナ事情モ確ニ御察シ致シマスガ、サウ云フ事實ヲ明カニシテ行クト云フト、結局減税ガ無理ダト云フコトニナル、減税ガ無理ダ、今年九百萬圓ハ無理デモ、假ニ歳入ヲ稍、多ク見積ッテモ九百萬圓デアルカラ出來マスガ、アトノ平年度ノ二千五百萬圓減税ヲスルト云フコトガ出來ナイ問題デアアル、出來ヌ仕事デアアル、モト五億八百萬圓ハナイ金デアアル、五億八百萬圓ナイ金ヲアルトシテ取ッテ置イテ、サウシテ無理ニ之ヲ留保シテ行クカラ、此財政計畫ノ上ニ於テ、ソレガ他ノ經費ニ喰込マレテ今言フ通りナル財政ノ計畫ヲ立テナケレバナラスコトニナツテ來タ、所ガ現内閣ガ倫敦條約ノ結果減税ヲスルト言ツタカラ、之ニ囚ハレテ、到底財政計畫上ヤレナイ無理ナ事ヲ、アナタガ大藏大臣トシテ強ヒラレタ譯デアアル、アナタノ肚カラ云ヘバ、減税ハ出來ナイト御思ヒニナルハ本當デセウ、ケレドモソレハ此處ニ白狀ハ出來マスマイ、今内閣ニ列ッテ御居デニナルカラ——併シ誠ニ其苦衷ハ御察シ致シマス、ソレデ私ハ責メマセヌ、責メマセヌガ、事實出來ナイ仕事ヲ茲ニシヨウト云フノダカラ、ドウシテモ本當ノ計畫ハ立チマセヌ、此處デ私ハ減税ニ反對シテ議論ヲシヨウトハ思ヒマセヌ、略、肚ノ中モ仰シヤッタヤウデアアルカラ、然ラバ此處デ無理ナコトヲシテ斯ウ云フコトデ減税ヲシタ曉ニ、今ノ通り繼續費以外ノ臨時費ハ七年度ガ足りマセヌ、ヤレル譯ハアリマセヌ、サウスルト又今度ハ繼續費ノ方ヲ延バシテ行カウト云フ、私ハ段々詰リ詰ッテ來テ延バヌモノハ極メテ少イト思フガ、アナタハ自分ノ手腕デ今マデ經驗ガアルカラ、モット延シテ見セルト云フガ、海軍ニ手ヲ著ケテ延セバ延スト大變デアアル、之ヲ今延バスト云フコトガ分ッテ居レバ、全體ノ海軍ノ豫算ナドハ通ラヌ譯デアアル、サウスルト他ノ所デ、陸軍ヲドウシテ御延シニナルカ知レナイガ、延シニ延シテ此以上延シ

テ行ケバ、仕事が出来ナクナル、延シタ所ガ又八年ガ困ル、八年ヲ延セバ九年ガ困ル、段々後ノ年へ災ヲ持ッテ行カナケレバナラヌコトハ當然デアリマス、ドウシテモ此無理ハアナタハ御認ニナラナケレバナラヌ、是ハ御同情申上ゲルト同時ニ私ハ日本ノ財政ト云フモノハ非常ニ窮乏ニ陥ッテ居ルモノダト云フコトヲ、御互ガ慨嘆シ、又憂ヘザルヲ得ヌ、本當ニ胸襟ヲ開イテ言ヘバ減税ハ無理デアアル、二千五百萬圓ノ減税ハ事實出来ナイ、ケレドモヤラナケレバナラヌ、行掛リ上デオヤリニナル、ソコドドウナルカト云フト、今言フ通り財政上困ル、是ハ行政財政ノ整理デアルト言ハレタ、一寸机ノ上デハ好ク聞エマスガ、然ラバ昭和七年度ドウシテ其財政行政ノ整理ノ頭ガ出テ、ソレダケノ節約ガ繼續費ニ加ヘラレテ行ケカ、斯ウナッテ來ルノデス、是ハアナタモドレダケ行ケルカ分ラヌト仰セニナリマスガ、行政財政ノ整理ヲ經常費ニ加ヘテ行カウト云フトハ、私ノ考デハ、中々半年ヤ一年デ出來ルモノデハアリマセヌ、現ニアナタ方ハ御經驗ニナッテ居リマスガ、是ハ全體濱口總理大臣ハ今少シ御經驗ガナクテハナラヌト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、實ハ井上大藏大臣ハ當時ハマダ餘リ——失禮デアリマスガ、大藏大臣トシテノ御經驗ハ少カッタカラシテ、思切ッテ自分ガヤッタラバ、行政財政ノ整理ガ出來ルト御考ヘニナッタカモ知レマセヌガ、濱口氏ハ相當ニ其經驗ヲ持ッテ居ラレル筈デアリマス、ソレガ組閣ノ當時十大政綱ノ中ニ書カレテ、行政財政ノ整理ヲスル、緊縮ヲスル、其全豹ト云フモノハ昭和五年度ノ豫算ニ計上スルト云フヤウナコトヲ旗印ニ揚ゲラレタカラ、知ラナイ者ガ見ルト良イ事ヲヤッテ呉レルト思ッテ信賴シタデアリマセウガ、私ハ其趣意ニ賛成デアアルト同時ニ、事實ハ出來ルモノデハナイト考ヘル、果セル哉、出來ヌデハアリマセウカ、漸ク御經驗ニナッテ出來ナイ、唯事業ノ繰延中止以外ニハ經常部ニ對スル眞ノ行政財政ノ整理ト云フモノニハ、指ヲ染メルコトハ出來ナイト云フト今御經驗ニナッテ、五萬圓ノ金ヲ取ッテ是カラ行政財政整理ノ調査會ヲ設ケヤウト言フガ、調査ハ何箇月掛レバ出來マスカ、サウ云フトガ出來ルモノデハアレマセヌ、如何ニアナタガ敏腕デアラレテモ、昭和七年度ノ豫算デ、經常部ニ向ッテ行政財政ノ整理ニ於テ何千萬圓ト云フモノガ、昭和七年度ノ豫算ニ出ヨウトハ思ハレヌ、是ハドウモ人間業トシテハ容易ニ出來ルコトデナイ、昭和九年度マデ行ッテ、相當朝野力ヲ合セテ一大英斷ヲ以テヤルコトニナッタ

ナラバ或ハ出來マセウガ、反對ヲ受ケテ居ル内閣ガ茲ニカシク見タ所デ、今日ノ如ク割據ノ狀況ニナッテ居ル各省ヲ統一シテ、繰延中止以外ノ本當ノ行政財政ノ整理ヲシヨウト云フトハ餘程困難デアアル、サウスルト是ガドウシテ生レルカ、此處ガ餘程問題デ大藏大臣ノ御心中ヲ、懸値ノナイ話ヲ承ッテ見タイ、私此間カラ斯ウ思ッテ居リマセウガ、今晚最後ニ此點ヲ腹藏ナイ所ヲ承リタイト考ヘテ居リマス

○井上國務大臣 今ノ大口サンカラ繰延或ハ臨時部ノ方ノ話ヲサレタガ、私ガ先刻申上ゲタ數字ハ違ッテ居リマシタガ、昭和六年度デハ陸軍ガ二千七百萬圓、海軍ガ四千五百萬圓、其次ニ多イノガ遞信省デ千九百萬圓、遞信省或ハ海軍ニ於テモ節約ハ勿論少ナク、繰延ガ多イノデアリマスガ、繰延ト云フトハ唯單ニ事業ヲ向フヘ送ルコト、言ハレマスケレドモ、政府ノ仕事ノ中ニハ、此經濟界ニ應ジタ立場カラ見マスト、今ヤラヌデ延バシテモ宜カラウト云フヤウナ仕事ハ可ナリアリマス、或年カラ云ヘバ、金ヲ使ハヌ程度カラ云ヘバ同ジコトデアアル、サウシテ整理ヲシテ行ク上カラ云ヒマス、繼續費ノ如キヲ繰延ベルト同時ニ其事業ヲ立直シテ行クト云フトハ、此行政ノ整理ヲシテ行ク上ニ付テハ確ニ一ツノ方

災デアリマス、アナタモ御覽ノ如ク、政府部内ニハ節約ヲスレバ節約ノ出來ル課目ハ可ナリ多クアルヤウニ私ハ認メル、併ナガラ今ノ各省ノ轄據カラ言ッテ、普段ノ是ハ整理ヲスルガ宜シイト云フヤウナ位ノ意味デ整理ヲスルノト、無イカラ、歳入ガ減ッタカラ、是デ行カウト云フトノ覺悟カラ言ヒマス、餘程其處ノ所ハコッチニモ決心ヲ付ケテ行ケバ、普段ヨリカ成功スルト云フトハ私ハ確信ヲ持ッテ居リマス、其處ガ吾々ノ考ヘル所デアリマシテ、又今大口君ノ舉ゲラレルヤウニ成程無理デアアル、併ナガラ樂ヲシテ考ヘテ見ルト皆無理デアリマセウ、五億八百萬圓ト云フモノモ歳入ガ減レバ當然減ル、之ヲ減サズニ他デ減シテ置イテ減税デモシテ行カウト云フ、難儀ヲシテ見ヨウト云フトコトニナレバ、其處ニ幾ラカ違ガ出テ來ル、是ハ逆モ減税出來ヌ税ガ減ッタカラ減税出來ヌト言ヘバソレマデノ話デアリマスガ、其處ニ吾々ハ相當ナ決心ヲ以テ臨ンデ見ヨウ、斯ウ云フ考デアリマスカラ、今大口君ノ言ハレルヤウニ昭和七年度ニ至ッテドウシテ金ヲ出スカト言ハレマス、是マデ繰返シテ來タヤウナ覺悟デ行クヨリ他ニ途ハナイノデアアル、斯ウ考ヘテ居リマス、又今日斯ノ如ク歳入ノ減ジタ時ニ應ジテ行クノニハソレヨリ他ニ途ハナイ、

又減税ノ問題ニシテモ少シデモ減税ガ出來ルナラバ、私ハ今日ノ如キ經濟界ニ對シテハ是ヨリ以上ニ有效ナル對策ハナイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマスカラ、其覺悟ノ點ヲ羅列シテ申上ゲテ置キマス

シウゴザイマセウガ、繼續費年度割ハ川越君モ言ハレタ通り、法律上ノ議論カラハツキリシテ居ルト云フコトヲ承認サレテ居ル、私共ハ之ニ對シテ意見ハアルガ、一度議會ヲ承認サシテ、何年度マデニ是ダケノ仕事ヲスルト、金額ヲ要求シテ、國民ノ代表者ヲ同意サシテ、其瞬間カラ繰延ガ財政計畫上明瞭ニナツテ居ルト云フコトハ、此位不確實ナコトハナイ、故ニサウ云フ理窟ハ大藏大臣ハ御止メニナラナケレバイカヌ、全ク今ハ苦シイ時デアルカラ、場合ニ依レバ或ハ繰延ベルコトガアルカモ知レナイ、又當然繰延ベテ宜イモノモアルダラウガ、出來ルダケハ斯ク斯クノ方針ヲ以テ、行政財政ノ整理ヲ進ムノダ、斯ウ大藏大臣ガ言ハレルダラウト私ハ思ッテ居タ、ソレガ本當デア

テ行カレヨウトスル、是ハ私トアナタノ根柢ノ考ガ違ッテ居ル、私ハ繼續費ヲ定メタ以上ハ、成タケ繰延ベナイノガ本當デアルト思ヒマスケレドモ、時代ガ變ルカラ繰延ベテ宜イモノガアレバ、ソレヲ繰延ベテ新シイモノヲヤツタ方ガ宜イコトガアル、其場合ヲ比較對照シテ、舊イモノヲ繰延ベルノハ同意シマスケレドモ、今カラ繼續費トシテ議決シテ置イテ、事實ハ繰延ベナケレバヤレナイト云フコトハ、大藏大臣ハ行政財政ノ整理ニ對シテ誠意ナシト論ジナケレバナラヌ、事實ハサウデハナカラウト思ヒマス、誠ニ御氣ノ毒ニ思ヒマス、斯ウ論ズルノハ、實ハ私トアナタハ同論ダト思ッテ居ルカラデアリマス、上手ニ御議論ヲナサツテ、私ヲ抑ヘヨウトスルカラ、私ハピン／＼跳

計畫ト稱スルモノハ頭ヲ出シテ來ル、此金ヲ一文モ取ツテ居ナイガドウシマスカ、海軍大臣ハ確實ナル約束ガナイヤウニ言ハレマスガ、今ノ内閣ニハ或ル程度ノ諒解ヲ得テ居ルヤウニ言ハレ、又或ル程度ノ諒解ガアルヤウニ大藏大臣ハ此間ノ豫算總會ニ於テモ言ハレテ居ルガ、是ハ今カラ考ヘナケレバナラヌ、財源ハ一文モナイ、昭和九年カラ始マルト云フコトニシタ所ガ、十年ニシタ所ガ、之ヲ一體ドウシマス、是ハ繼續費デアアル、サウシタナラバ陸海軍ノ舊イモノヲ繰延ベテ、新シイモノヲヤルト云ツタ所ガ、海軍ノ方ニハ繰延ベルモノハナクナル、サウスレバドウシテ此財源ヲ充タサレマスカ、ソコトニナレバ、是ハ増税ヲシテモヤラナケレバナラヌコトハ明瞭デアリマ

要デアアルカラ、是ハヤラナケレバナラヌトシテ議會ノ議決ヲ經テ置キ、其議決ヲ經ルカ經ナイカノ境カラ、既ニ場合ニ依レバ之ヲ繰延ベルト仰シヤル、ソレモ繰延ベルベキ事情ニナツテ來テ繰延ナラバ、私共同意スルカモ知レマセヌガ、今日カラ財政計畫上ヨリ見テ、繼續費ヲ繰延ベルヨリ外ニナイト決心シテ居ルト云フコトハ、何ノ爲ニ

今晩ハ意見ヲ闘ハシテ見ヨウト思ッタノデアリマスガ、ソレヲ避ケラレテ、繼續費ヲ繰延ベルトカ云フ理窟ヲ言ッ

ナツタ通りニ、昭和十一年度以前ニ於テ、ドウシテモ吾々ノ所謂第二次補充

他財源ヲ要スルモノハ澤山眼ノ前ニ見

サシテ居ルノデアアルカ、一ツモ信ズルコトガ出來ナイ、概計表ハ概計表デ宜

カモ知レヌ、私ハ露骨ニ言ヒマスガ、行政財政整理ヲスル論者デアリマス、ケレドモ是ハ容易ニ出來ナイコトヲ知

今ノ財政計畫ハ概計表ニ現レテ居ル、概計表ハ其儘で行ケマセウガ、更ニ海軍ノ問題ニ入りマス、政府ハ如何ニモ小サイ金デアルトシテ輕ク扱ハレヨウトサレマスガ、總理大臣代理及ビ海軍大臣モ言明サレ、大藏大臣モ御認

アル、國防ニ缺陷ガアツタナラバ大變デア

決ヲ經ルカ經ナイカノ境カラ、既ニ場合ニ依レバ之ヲ繰延ベルト仰シヤル、ソレモ繰延ベルベキ事情ニナツテ來テ繰延ナラバ、私共同意スルカモ知レマセヌガ、今日カラ財政計畫上ヨリ見テ、繼續費ヲ繰延ベルヨリ外ニナイト決心シテ居ルト云フコトハ、何ノ爲ニ

今晩ハ意見ヲ闘ハシテ見ヨウト思ッタノデアリマスガ、ソレヲ避ケラレテ、繼續費ヲ繰延ベルトカ云フ理窟ヲ言ッ

ナツタ通りニ、昭和十一年度以前ニ於テ、ドウシテモ吾々ノ所謂第二次補充

他財源ヲ要スルモノハ澤山眼ノ前ニ見

正ヲシヨウト云フ案ガ、私案ナガラ出
來テ居リマスカラ、首相代理ノ施政方
針ノ演説ニモ、恩給ノ改正ヲシヨウト
云フコトヲ發表シマシタヤウナ次第デ
アリマス

海軍ノ維持費ノ問題ハ先日海軍大臣
カラ説明致シマシタ如ク、七八年度ニ
於キマシテ大體申シマス、一萬八千
噸位ノ艦ガ殖エルノデアリマスガ、ソ
レカラ又段々減ッテ行キマシテ、結局昭
和十一年度ニ確カ一萬八千噸、「ネット」
一萬八千噸位ノ艦ガ殖エル、ソレニ對
シテノ維持費ガ要ルノデアリマス、ソ
レヲ考ヘテ見マスト艦ノ殖エタリ減ッ
タリスルコトハアリマスガ、左程大キ
ナモノデモナイノデアリマシテ、大口
君モ勿論御承知ノ如ク、海軍ノ維持費
ト云フモノハ、是マデノ例ヲ申シマス
ト、軍艦ヲ餘計拵ヘルコトニ忙ガシク
シテ、海軍自體ガ維持費ヲ留保シテ居
ルト云フコトハ、イツデモ缺ケテ居ル
ノデアリマス、隨テ非常ニ大キナ豫算
ヲ持ッテ居ル海軍トシテハ、種々様々ナ
繰合セラシテ、是マデ要求スル何分ノ
一モ維持費ハヤッテ居ラスノデアリマ
ス、其事態カラ申シマス、吾々ハ今
朝モ海軍大臣カラ説明致シマシタ「ネッ
ト」一萬八千噸位ノ艦ノ殖エルノニ對シ
テノ維持費ハ、左程巨額ナモノト思ハ
スノデアリマシテ、ソレ位ノコトハ自

ラノ繰合セデモ出來ヨウ、又大藏當局
者等ノ今マデノ交渉ノ點カラ行キマシ
テハ、左程困難ナ問題トモ考ヘテ居リ
マセヌ

ハ能ク知ッテ居ルガ、今アナタノ仰シヤ
ル事情トハ大分違フト私ハ思ヒマス、
此本當ノ事情ハ内田君ニデモ聽カナ
ト分リマセヌガ、先日大演習デ衝突シ
タ艦ナドハ、働カセズニ長ク繋イデ居
タノヲ急ニ持出シタ結果、思フヤウニ
角度ガ取レナクテ衝突シタト云フコト
デアリマスガ、海軍ノ維持費ニ付テハ、
餘程アナタノ仰シヤルコトハ事情ガ違
フト思ヒマスケレドモ、ソレハソレト
シテ、更ニ私ハモウ一ツ伺ヒマス、斯
ウ云フコトヲ言フト幾ツモアリマス
ガ、大體分レバ宜イ、モウ一ツダケ問
ヒマス、ソレハドウ云フコトデアアルカ
ト云フト公債デス、公債ヲ殖ヤサナイ
ト云フ考ハ一方ニ於テ私ハ宜イコトダ
ト思ヒマス、私ハアナタ方ノヤウニ、
公債ガ非常ニ惡イモノダトモ思ッテハ
居リマセヌ、或ル必要ナコトデ、國民
全體カラ考ヘテ、算盤ガ採レルト言フ
ト少シヲカシイノデスガ、間接ノ算盤
デアッテモ、國家ヲ益スルコトデア
トカ、或ハ已ムヲ得ザル事デアルトカ
云フモノデアラナラバ、私ハ敢テ公債
ヲ辭スルモノデハナイ、ナイケレドモ、
借金サヘスレバ宜イトモ私共ハ考ヘテ
居ラナイ、ダカラ出來ルナラバ公債ヲ
殖ヤサナイト云フコトハ、今日ノ如ク

○大口委員 恩給ノ點ハ、アレヲ御改
正ナサッテ、昭和七年度カラハ少クトモ
今日ノ恩給ノ増加スル額ハ減ス、恩給
法ノ改正ノ結果、モウ恩給ハ増加シナ
イ程度ニ改正スル、サウナラナケレバ
算盤ガ合ハヌ、恩給ハ毎年三百萬圓以
上増加スルガ、其財源ニ困ルデハナイ
カト云フ質問ニ對シテ、恩給法ハ根本
カラ改正ヲスル、ソレデ財政ガ良クナ
ルト云フナラバ、恩給ニ依ッテ増加スル
モノガ増加シナイヤウニ改正ヲスルト
云フ意思アルモノト認メザルヲ得ヌ、
ソレヲオヤリニナルト云フナラ、私共
根柢ハ賛成デス、是ハヤルト云フ御言
明ヲ得タモノトスレバ其點ハ満足ス
ル

併シアナタノ仰シヤル維持費ハ大分
違フ、是ハ海軍ノ方ハ、實ハ維持費ニ
困ッテ居ル、大藏省ガ割合ニ維持費ヲ
ヤラナイ、ソレデ海軍ノ方デハ維持費
ガ少クナルモノダカラ、段々段々海軍
ノ方デハ困ッテ來タ、海軍ノ方ニ言ハセ
ルト三百萬圓ヤ三百五十萬圓ノ維持費
デハ、實際ハ艦ノ運轉ニ困ル、ソレデ向
フモ色々ヤリ繰リヲシマシテ、大藏省
ニモ掛合ヒマス、サウシテ其事情モ私

ハ能ク知ッテ居ルガ、今アナタノ仰シヤ
ル事情トハ大分違フト私ハ思ヒマス、
此本當ノ事情ハ内田君ニデモ聽カナ
ト分リマセヌガ、先日大演習デ衝突シ
タ艦ナドハ、働カセズニ長ク繋イデ居
タノヲ急ニ持出シタ結果、思フヤウニ
角度ガ取レナクテ衝突シタト云フコト
デアリマスガ、海軍ノ維持費ニ付テハ、
餘程アナタノ仰シヤルコトハ事情ガ違
フト思ヒマスケレドモ、ソレハソレト
シテ、更ニ私ハモウ一ツ伺ヒマス、斯
ウ云フコトヲ言フト幾ツモアリマス
ガ、大體分レバ宜イ、モウ一ツダケ問
ヒマス、ソレハドウ云フコトデアアルカ
ト云フト公債デス、公債ヲ殖ヤサナイ
ト云フ考ハ一方ニ於テ私ハ宜イコトダ
ト思ヒマス、私ハアナタ方ノヤウニ、
公債ガ非常ニ惡イモノダトモ思ッテハ
居リマセヌ、或ル必要ナコトデ、國民
全體カラ考ヘテ、算盤ガ採レルト言フ
ト少シヲカシイノデスガ、間接ノ算盤
デアッテモ、國家ヲ益スルコトデア
トカ、或ハ已ムヲ得ザル事デアルトカ
云フモノデアラナラバ、私ハ敢テ公債
ヲ辭スルモノデハナイ、ナイケレドモ、
借金サヘスレバ宜イトモ私共ハ考ヘテ
居ラナイ、ダカラ出來ルナラバ公債ヲ
殖ヤサナイト云フコトハ、今日ノ如ク

然ラバ現内閣ハ公債ヲ減シタカト云フ
ト、ドウモ公債ガ減ッテハ居ラナイ、減
ラナイノミナラズ、借入金ト云フモノ
ハ殖エテ居ル、借入金ト云フモノヲ公
債ニ勘定セズニ發行シテ居ル、公債ダ
ケデ隨分御議論ニナルヤウデアアルガ、
先日來申シマス通り、公債ヲ募集シ得
ル特殊法ノ中ニハ、公債ヲ發行シ、又
ハ繰替借入金ヲ爲スコトヲ得ト大概ノ
法ニ書イテアル、ソレヲ利用サレテ、
内輪デ公債ヲ發行セズシテ、繰替借入
金ヲシテ居ラレル、此借入金ト云フモ
ノハ、無論前内閣時代ヨリ殖エテ居リ
マス、雙方寄セテ見ルト云フト、此借
金ト云フモノハ、今ノ内閣ニナッテ、減
テ居リマセヌ、ソレノミナラズ昭和六
年度ノ公債ヲドウ云フ風ニスルカト見
ルト、昭和六年度ノ豫算上ニ於テ、現
内閣ガ募集スベキ公債ハ、今度ノ失業
公債等ヲ入レルト、九千二百萬圓ニ
ナルト私ハ思フノデス、サウシテ此公
債ヲ償還スル金ハドウデアアルカト云フ
ト、モウ剩餘金ハ無クナッテ來タカラ、
剩餘金ノ何分ノ一ト云フモノヲ返スコ
トハ出來ナイ、ソレカラ獨逸賠償金デ
御返しニナッタノモ、是モ返セナイ、ド
レダケ償還スルカト云フト、昭和六年
度ノ豫算中ニ於テ、例ノ一萬分ノ百十
六ニ相當スル公債償還ニ廻ス金ハドレ
ダケデアアルカト云フト、六千九百十二

ラノ繰合セデモ出來ヨウ、又大藏當局
者等ノ今マデノ交渉ノ點カラ行キマシ
テハ、左程困難ナ問題トモ考ヘテ居リ
マセヌ

併シアナタノ仰シヤル維持費ハ大分
違フ、是ハ海軍ノ方ハ、實ハ維持費ニ
困ッテ居ル、大藏省ガ割合ニ維持費ヲ
ヤラナイ、ソレデ海軍ノ方デハ維持費
ガ少クナルモノダカラ、段々段々海軍
ノ方デハ困ッテ來タ、海軍ノ方ニ言ハセ
ルト三百萬圓ヤ三百五十萬圓ノ維持費
デハ、實際ハ艦ノ運轉ニ困ル、ソレデ向
フモ色々ヤリ繰リヲシマシテ、大藏省
ニモ掛合ヒマス、サウシテ其事情モ私

ハ能ク知ッテ居ルガ、今アナタノ仰シヤ
ル事情トハ大分違フト私ハ思ヒマス、
此本當ノ事情ハ内田君ニデモ聽カナ
ト分リマセヌガ、先日大演習デ衝突シ
タ艦ナドハ、働カセズニ長ク繋イデ居
タノヲ急ニ持出シタ結果、思フヤウニ
角度ガ取レナクテ衝突シタト云フコト
デアリマスガ、海軍ノ維持費ニ付テハ、
餘程アナタノ仰シヤルコトハ事情ガ違
フト思ヒマスケレドモ、ソレハソレト
シテ、更ニ私ハモウ一ツ伺ヒマス、斯
ウ云フコトヲ言フト幾ツモアリマス
ガ、大體分レバ宜イ、モウ一ツダケ問
ヒマス、ソレハドウ云フコトデアアルカ
ト云フト公債デス、公債ヲ殖ヤサナイ
ト云フ考ハ一方ニ於テ私ハ宜イコトダ
ト思ヒマス、私ハアナタ方ノヤウニ、
公債ガ非常ニ惡イモノダトモ思ッテハ
居リマセヌ、或ル必要ナコトデ、國民
全體カラ考ヘテ、算盤ガ採レルト言フ
ト少シヲカシイノデスガ、間接ノ算盤
デアッテモ、國家ヲ益スルコトデア
トカ、或ハ已ムヲ得ザル事デアルトカ
云フモノデアラナラバ、私ハ敢テ公債
ヲ辭スルモノデハナイ、ナイケレドモ、
借金サヘスレバ宜イトモ私共ハ考ヘテ
居ラナイ、ダカラ出來ルナラバ公債ヲ
殖ヤサナイト云フコトハ、今日ノ如ク

然ラバ現内閣ハ公債ヲ減シタカト云フ
ト、ドウモ公債ガ減ッテハ居ラナイ、減
ラナイノミナラズ、借入金ト云フモノ
ハ殖エテ居ル、借入金ト云フモノヲ公
債ニ勘定セズニ發行シテ居ル、公債ダ
ケデ隨分御議論ニナルヤウデアアルガ、
先日來申シマス通り、公債ヲ募集シ得
ル特殊法ノ中ニハ、公債ヲ發行シ、又
ハ繰替借入金ヲ爲スコトヲ得ト大概ノ
法ニ書イテアル、ソレヲ利用サレテ、
内輪デ公債ヲ發行セズシテ、繰替借入
金ヲシテ居ラレル、此借入金ト云フモ
ノハ、無論前内閣時代ヨリ殖エテ居リ
マス、雙方寄セテ見ルト云フト、此借
金ト云フモノハ、今ノ内閣ニナッテ、減
テ居リマセヌ、ソレノミナラズ昭和六
年度ノ公債ヲドウ云フ風ニスルカト見
ルト、昭和六年度ノ豫算上ニ於テ、現
内閣ガ募集スベキ公債ハ、今度ノ失業
公債等ヲ入レルト、九千二百萬圓ニ
ナルト私ハ思フノデス、サウシテ此公
債ヲ償還スル金ハドウデアアルカト云フ
ト、モウ剩餘金ハ無クナッテ來タカラ、
剩餘金ノ何分ノ一ト云フモノヲ返スコ
トハ出來ナイ、ソレカラ獨逸賠償金デ
御返しニナッタノモ、是モ返セナイ、ド
レダケ償還スルカト云フト、昭和六年
度ノ豫算中ニ於テ、例ノ一萬分ノ百十
六ニ相當スル公債償還ニ廻ス金ハドレ
ダケデアアルカト云フト、六千九百十二

ハ能ク知ッテ居ルガ、今アナタノ仰シヤ
ル事情トハ大分違フト私ハ思ヒマス、
此本當ノ事情ハ内田君ニデモ聽カナ
ト分リマセヌガ、先日大演習デ衝突シ
タ艦ナドハ、働カセズニ長ク繋イデ居
タノヲ急ニ持出シタ結果、思フヤウニ
角度ガ取レナクテ衝突シタト云フコト
デアリマスガ、海軍ノ維持費ニ付テハ、
餘程アナタノ仰シヤルコトハ事情ガ違
フト思ヒマスケレドモ、ソレハソレト
シテ、更ニ私ハモウ一ツ伺ヒマス、斯
ウ云フコトヲ言フト幾ツモアリマス
ガ、大體分レバ宜イ、モウ一ツダケ問
ヒマス、ソレハドウ云フコトデアアルカ
ト云フト公債デス、公債ヲ殖ヤサナイ
ト云フ考ハ一方ニ於テ私ハ宜イコトダ
ト思ヒマス、私ハアナタ方ノヤウニ、
公債ガ非常ニ惡イモノダトモ思ッテハ
居リマセヌ、或ル必要ナコトデ、國民
全體カラ考ヘテ、算盤ガ採レルト言フ
ト少シヲカシイノデスガ、間接ノ算盤
デアッテモ、國家ヲ益スルコトデア
トカ、或ハ已ムヲ得ザル事デアルトカ
云フモノデアラナラバ、私ハ敢テ公債
ヲ辭スルモノデハナイ、ナイケレドモ、
借金サヘスレバ宜イトモ私共ハ考ヘテ
居ラナイ、ダカラ出來ルナラバ公債ヲ
殖ヤサナイト云フコトハ、今日ノ如ク

併シアナタノ仰シヤル維持費ハ大分
違フ、是ハ海軍ノ方ハ、實ハ維持費ニ
困ッテ居ル、大藏省ガ割合ニ維持費ヲ
ヤラナイ、ソレデ海軍ノ方デハ維持費
ガ少クナルモノダカラ、段々段々海軍
ノ方デハ困ッテ來タ、海軍ノ方ニ言ハセ
ルト三百萬圓ヤ三百五十萬圓ノ維持費
デハ、實際ハ艦ノ運轉ニ困ル、ソレデ向
フモ色々ヤリ繰リヲシマシテ、大藏省
ニモ掛合ヒマス、サウシテ其事情モ私

ハ能ク知ッテ居ルガ、今アナタノ仰シヤ
ル事情トハ大分違フト私ハ思ヒマス、
此本當ノ事情ハ内田君ニデモ聽カナ
ト分リマセヌガ、先日大演習デ衝突シ
タ艦ナドハ、働カセズニ長ク繋イデ居
タノヲ急ニ持出シタ結果、思フヤウニ
角度ガ取レナクテ衝突シタト云フコト
デアリマスガ、海軍ノ維持費ニ付テハ、
餘程アナタノ仰シヤルコトハ事情ガ違
フト思ヒマスケレドモ、ソレハソレト
シテ、更ニ私ハモウ一ツ伺ヒマス、斯
ウ云フコトヲ言フト幾ツモアリマス
ガ、大體分レバ宜イ、モウ一ツダケ問
ヒマス、ソレハドウ云フコトデアアルカ
ト云フト公債デス、公債ヲ殖ヤサナイ
ト云フ考ハ一方ニ於テ私ハ宜イコトダ
ト思ヒマス、私ハアナタ方ノヤウニ、
公債ガ非常ニ惡イモノダトモ思ッテハ
居リマセヌ、或ル必要ナコトデ、國民
全體カラ考ヘテ、算盤ガ採レルト言フ
ト少シヲカシイノデスガ、間接ノ算盤
デアッテモ、國家ヲ益スルコトデア
トカ、或ハ已ムヲ得ザル事デアルトカ
云フモノデアラナラバ、私ハ敢テ公債
ヲ辭スルモノデハナイ、ナイケレドモ、
借金サヘスレバ宜イトモ私共ハ考ヘテ
居ラナイ、ダカラ出來ルナラバ公債ヲ
殖ヤサナイト云フコトハ、今日ノ如ク

然ラバ現内閣ハ公債ヲ減シタカト云フ
ト、ドウモ公債ガ減ッテハ居ラナイ、減
ラナイノミナラズ、借入金ト云フモノ
ハ殖エテ居ル、借入金ト云フモノヲ公
債ニ勘定セズニ發行シテ居ル、公債ダ
ケデ隨分御議論ニナルヤウデアアルガ、
先日來申シマス通り、公債ヲ募集シ得
ル特殊法ノ中ニハ、公債ヲ發行シ、又
ハ繰替借入金ヲ爲スコトヲ得ト大概ノ
法ニ書イテアル、ソレヲ利用サレテ、
内輪デ公債ヲ發行セズシテ、繰替借入
金ヲシテ居ラレル、此借入金ト云フモ
ノハ、無論前内閣時代ヨリ殖エテ居リ
マス、雙方寄セテ見ルト云フト、此借
金ト云フモノハ、今ノ内閣ニナッテ、減
テ居リマセヌ、ソレノミナラズ昭和六
年度ノ公債ヲドウ云フ風ニスルカト見
ルト、昭和六年度ノ豫算上ニ於テ、現
内閣ガ募集スベキ公債ハ、今度ノ失業
公債等ヲ入レルト、九千二百萬圓ニ
ナルト私ハ思フノデス、サウシテ此公
債ヲ償還スル金ハドウデアアルカト云フ
ト、モウ剩餘金ハ無クナッテ來タカラ、
剩餘金ノ何分ノ一ト云フモノヲ返スコ
トハ出來ナイ、ソレカラ獨逸賠償金デ
御返しニナッタノモ、是モ返セナイ、ド
レダケ償還スルカト云フト、昭和六年
度ノ豫算中ニ於テ、例ノ一萬分ノ百十
六ニ相當スル公債償還ニ廻ス金ハドレ
ダケデアアルカト云フト、六千九百十二

ハ能ク知ッテ居ルガ、今アナタノ仰シヤ
ル事情トハ大分違フト私ハ思ヒマス、
此本當ノ事情ハ内田君ニデモ聽カナ
ト分リマセヌガ、先日大演習デ衝突シ
タ艦ナドハ、働カセズニ長ク繋イデ居
タノヲ急ニ持出シタ結果、思フヤウニ
角度ガ取レナクテ衝突シタト云フコト
デアリマスガ、海軍ノ維持費ニ付テハ、
餘程アナタノ仰シヤルコトハ事情ガ違
フト思ヒマスケレドモ、ソレハソレト
シテ、更ニ私ハモウ一ツ伺ヒマス、斯
ウ云フコトヲ言フト幾ツモアリマス
ガ、大體分レバ宜イ、モウ一ツダケ問
ヒマス、ソレハドウ云フコトデアアルカ
ト云フト公債デス、公債ヲ殖ヤサナイ
ト云フ考ハ一方ニ於テ私ハ宜イコトダ
ト思ヒマス、私ハアナタ方ノヤウニ、
公債ガ非常ニ惡イモノダトモ思ッテハ
居リマセヌ、或ル必要ナコトデ、國民
全體カラ考ヘテ、算盤ガ採レルト言フ
ト少シヲカシイノデスガ、間接ノ算盤
デアッテモ、國家ヲ益スルコトデア
トカ、或ハ已ムヲ得ザル事デアルトカ
云フモノデアラナラバ、私ハ敢テ公債
ヲ辭スルモノデハナイ、ナイケレドモ、
借金サヘスレバ宜イトモ私共ハ考ヘテ
居ラナイ、ダカラ出來ルナラバ公債ヲ
殖ヤサナイト云フコトハ、今日ノ如ク

併シアナタノ仰シヤル維持費ハ大分
違フ、是ハ海軍ノ方ハ、實ハ維持費ニ
困ッテ居ル、大藏省ガ割合ニ維持費ヲ
ヤラナイ、ソレデ海軍ノ方デハ維持費
ガ少クナルモノダカラ、段々段々海軍
ノ方デハ困ッテ來タ、海軍ノ方ニ言ハセ
ルト三百萬圓ヤ三百五十萬圓ノ維持費
デハ、實際ハ艦ノ運轉ニ困ル、ソレデ向
フモ色々ヤリ繰リヲシマシテ、大藏省
ニモ掛合ヒマス、サウシテ其事情モ私

ハ能ク知ッテ居ルガ、今アナタノ仰シヤ
ル事情トハ大分違フト私ハ思ヒマス、
此本當ノ事情ハ内田君ニデモ聽カナ
ト分リマセヌガ、先日大演習デ衝突シ
タ艦ナドハ、働カセズニ長ク繋イデ居
タノヲ急ニ持出シタ結果、思フヤウニ
角度ガ取レナクテ衝突シタト云フコト
デアリマスガ、海軍ノ維持費ニ付テハ、
餘程アナタノ仰シヤルコトハ事情ガ違
フト思ヒマスケレドモ、ソレハソレト
シテ、更ニ私ハモウ一ツ伺ヒマス、斯
ウ云フコトヲ言フト幾ツモアリマス
ガ、大體分レバ宜イ、モウ一ツダケ問
ヒマス、ソレハドウ云フコトデアアルカ
ト云フト公債デス、公債ヲ殖ヤサナイ
ト云フ考ハ一方ニ於テ私ハ宜イコトダ
ト思ヒマス、私ハアナタ方ノヤウニ、
公債ガ非常ニ惡イモノダトモ思ッテハ
居リマセヌ、或ル必要ナコトデ、國民
全體カラ考ヘテ、算盤ガ採レルト言フ
ト少シヲカシイノデスガ、間接ノ算盤
デアッテモ、國家ヲ益スルコトデア
トカ、或ハ已ムヲ得ザル事デアルトカ
云フモノデアラナラバ、私ハ敢テ公債
ヲ辭スルモノデハナイ、ナイケレドモ、
借金サヘスレバ宜イトモ私共ハ考ヘテ
居ラナイ、ダカラ出來ルナラバ公債ヲ
殖ヤサナイト云フコトハ、今日ノ如ク

然ラバ現内閣ハ公債ヲ減シタカト云フ
ト、ドウモ公債ガ減ッテハ居ラナイ、減
ラナイノミナラズ、借入金ト云フモノ
ハ殖エテ居ル、借入金ト云フモノヲ公
債ニ勘定セズニ發行シテ居ル、公債ダ
ケデ隨分御議論ニナルヤウデアアルガ、
先日來申シマス通り、公債ヲ募集シ得
ル特殊法ノ中ニハ、公債ヲ發行シ、又
ハ繰替借入金ヲ爲スコトヲ得ト大概ノ
法ニ書イテアル、ソレヲ利用サレテ、
内輪デ公債ヲ發行セズシテ、繰替借入
金ヲシテ居ラレル、此借入金ト云フモ
ノハ、無論前内閣時代ヨリ殖エテ居リ
マス、雙方寄セテ見ルト云フト、此借
金ト云フモノハ、今ノ内閣ニナッテ、減
テ居リマセヌ、ソレノミナラズ昭和六
年度ノ公債ヲドウ云フ風ニスルカト見
ルト、昭和六年度ノ豫算上ニ於テ、現
内閣ガ募集スベキ公債ハ、今度ノ失業
公債等ヲ入レルト、九千二百萬圓ニ
ナルト私ハ思フノデス、サウシテ此公
債ヲ償還スル金ハドウデアアルカト云フ
ト、モウ剩餘金ハ無クナッテ來タカラ、
剩餘金ノ何分ノ一ト云フモノヲ返スコ
トハ出來ナイ、ソレカラ獨逸賠償金デ
御返しニナッタノモ、是モ返セナイ、ド
レダケ償還スルカト云フト、昭和六年
度ノ豫算中ニ於テ、例ノ一萬分ノ百十
六ニ相當スル公債償還ニ廻ス金ハドレ
ダケデアアルカト云フト、六千九百十二

ハ能ク知ッテ居ルガ、今アナタノ仰シヤ
ル事情トハ大分違フト私ハ思ヒマス、
此本當ノ事情ハ内田君ニデモ聽カナ
ト分リマセヌガ、先日大演習デ衝突シ
タ艦ナドハ、働カセズニ長ク繋イデ居
タノヲ急ニ持出シタ結果、思フヤウニ
角度ガ取レナクテ衝突シタト云フコト
デアリマスガ、海軍ノ維持費ニ付テハ、
餘程アナタノ仰シヤルコトハ事情ガ違
フト思ヒマスケレドモ、ソレハソレト
シテ、更ニ私ハモウ一ツ伺ヒマス、斯
ウ云フコトヲ言フト幾ツモアリマス
ガ、大體分レバ宜イ、モウ一ツダケ問
ヒマス、ソレハドウ云フコトデアアルカ
ト云フト公債デス、公債ヲ殖ヤサナイ
ト云フ考ハ一方ニ於テ私ハ宜イコトダ
ト思ヒマス、私ハアナタ方ノヤウニ、
公債ガ非常ニ惡イモノダトモ思ッテハ
居リマセヌ、或ル必要ナコトデ、國民
全體カラ考ヘテ、算盤ガ採レルト言フ
ト少シヲカシイノデスガ、間接ノ算盤
デアッテモ、國家ヲ益スルコトデア
トカ、或ハ已ムヲ得ザル事デアルトカ
云フモノデアラナラバ、私ハ敢テ公債
ヲ辭スルモノデハナイ、ナイケレドモ、
借金サヘスレバ宜イトモ私共ハ考ヘテ
居ラナイ、ダカラ出來ルナラバ公債ヲ
殖ヤサナイト云フコトハ、今日ノ如ク

併シアナタノ仰シヤル維持費ハ大分
違フ、是ハ海軍ノ方ハ、實ハ維持費ニ
困ッテ居ル、大藏省ガ割合ニ維持費ヲ
ヤラナイ、ソレデ海軍ノ方デハ維持費
ガ少クナルモノダカラ、段々段々海軍
ノ方デハ困ッテ來タ、海軍ノ方ニ言ハセ
ルト三百萬圓ヤ三百五十萬圓ノ維持費
デハ、實際ハ艦ノ運轉ニ困ル、ソレデ向
フモ色々ヤリ繰リヲシマシテ、大藏省
ニモ掛合ヒマス、サウシテ其事情モ私

ハ能ク知ッテ居ルガ、今アナタノ仰シヤ
ル事情トハ大分違フト私ハ思ヒマス、
此本當ノ事情ハ内田君ニデモ聽カナ
ト分リマセヌガ、先日大演習デ衝突シ
タ艦ナドハ、働カセズニ長ク繋イデ居
タノヲ急ニ持出シタ結果、思フヤウニ
角度ガ取レナクテ衝突シタト云フコト
デアリマスガ、海軍ノ維持費ニ付テハ、
餘程アナタノ仰シヤルコトハ事情ガ違
フト思ヒマスケレドモ、ソレハソレト
シテ、更ニ私ハモウ一ツ伺ヒマス、斯
ウ云フコトヲ言フト幾ツモアリマス
ガ、大體分レバ宜イ、モウ一ツダケ問
ヒマス、ソレハドウ云フコトデアアルカ
ト云フト公債デス、公債ヲ殖ヤサナイ
ト云フ考ハ一方ニ於テ私ハ宜イコトダ
ト思ヒマス、私ハアナタ方ノヤウニ、
公債ガ非常ニ惡イモノダトモ思ッテハ
居リマセヌ、或ル必要ナコトデ、國民
全體カラ考ヘテ、算盤ガ採レルト言フ
ト少シヲカシイノデスガ、間接ノ算盤
デアッテモ、國家ヲ益スルコトデア
トカ、或ハ已ムヲ得ザル事デアルトカ
云フモノデアラナラバ、私ハ敢テ公債
ヲ辭スルモノデハナイ、ナイケレドモ、
借金サヘスレバ宜イトモ私共ハ考ヘテ
居ラナイ、ダカラ出來ルナラバ公債ヲ
殖ヤサナイト云フコトハ、今日ノ如ク

然ラバ現内閣ハ公債ヲ減シタカト云フ
ト、ドウモ公債ガ減ッテハ居ラナイ、減
ラナイノミナラズ、借入金ト云フモノ
ハ殖エテ居ル、借入金ト云フモノヲ公
債ニ勘定セズニ發行シテ居ル、公債ダ
ケデ隨分御議論ニナルヤウデアアルガ、
先日來申シマス通り、公債ヲ募集シ得
ル特殊法ノ中ニハ、公債ヲ發行シ、又
ハ繰替借入金ヲ爲スコトヲ得ト大概ノ
法ニ書イテアル、ソレヲ利用サレテ、
内輪デ公債ヲ發行セズシテ、繰替借入
金ヲシテ居ラレル、此借入金ト云フモ
ノハ、無論前内閣時代ヨリ殖エテ居リ
マス、雙方寄セテ見ルト云フト、此借
金ト云フモノハ、今ノ内閣ニナッテ、減
テ居リマセヌ、ソレノミナラズ昭和六
年度ノ公債ヲドウ云フ風ニスルカト見
ルト、昭和六年度ノ豫算上ニ於テ、現
内閣ガ募集スベキ公債ハ、今度ノ失業
公債等ヲ入レルト、九千二百萬圓ニ
ナルト私ハ思フノデス、サウシテ此公
債ヲ償還スル金ハドウデアアルカト云フ
ト、モウ剩餘金ハ無クナッテ來タカラ、
剩餘金ノ何分ノ一ト云フモノヲ返スコ
トハ出來ナイ、ソレカラ獨逸賠償金デ
御返しニナッタノモ、是モ返セナイ、ド
レダケ償還スルカト云フト、昭和六年
度ノ豫算中ニ於テ、例ノ一萬分ノ百十
六ニ相當スル公債償還ニ廻ス金ハドレ
ダケデアアルカト云フト、六千九百十二

萬九千七百三圓デアリマス、サウシテ
 其他ニ償還ニ廻ルモノガ六百八十萬圓
 バカリアリマスカラ、兩方寄セマシテ
 七千五百九十萬圓デアリマス、七千五
 百九十萬圓返シテ、九千二百十萬圓公
 債ダケデ、既ニ募集サレル、此外ニ借入
 金モ出來ルカモ知レナイガ、交付公債
 ト云フモノハ別デゴザイマス、交付公
 債ヲマルデ別物ノヤウニ論ズル人ガア
 ルガ、政府ノ借金ニナルコトモ同ジデ
 アリシ、民間ニ公債ノ出ルコトモ同ジ
 デアリマス、交付公債ハ別ニシテ、九千
 二百十萬圓借リテ、サウシテ七千五百
 何十萬圓御返シニナルノダカラ、公債
 ハ殖エマシテ、組閣當時ニ御聲明ニナ
 タコトハマルデ裏切ラレテシマフ、其
 事業ガ失業ノ名デアルト何デアルトヲ
 問ハズ、事實ハ此通りデアル、申譯ヤ議
 論ハ別ニシマス、其申譯ハ論ジマセス、
 數字ノ上カラ事實ガ斯ウナッテ、サウシ
 テ公債ノ上ニハ償還金ガ殖エテ行ク、
 即チ萬分ノ百十六ガ殖エテ行クシ、利
 息モ拂ッテ行カネバナラヌノダカラ、所
 謂義務費ハ膨脹シテ行クニキマッテ居
 ル、多分二億七千萬圓カ幾ラカ毎年拂
 ハレテ居ル、此大キナ金ガ殖エテモ減
 リハシナイ、是デハ政策ガマルデ誤ッ
 テ居ルト思フガ、之ニ對シテハ大藏大
 臣ハドウ考ヘルカ、斯ウ云フ事ナンデ
 ス、ヤハリ今ノ政府ノ方針カラ行ケバ、
 ドウシテモ是デハモット整理シテ行カ
 ネバナラヌ、吾々ノ建前カラ行ケバ違
 ヒマスカラ、別ニ議論ガアリマスケレ
 ドモ、今ノ内閣ハ長イ間、今ノ借金ハ
 政友會バカリガシタヤウニ御演說シテ
 歩イテ居ラレル、サウシテ如何ニモ此
 借金ヲ減ス内閣ノ如ク宣傳シテ歩イ
 テ居ラレル、是デハ借金ガ殖エルバカ
 リデアル、是デハドウシテモ財政計畫
 ノ上ニ於テ、行政財政ノ整理ヲシヨウ
 トカ、義務費ヲ減サウトシテモイケナ
 イ、ドウ云フ御考ヲ根柢カラ持ッテ居
 ラレルカ、仕事ノ是非善惡ハ今論ジマ
 セス、其御考ヲ聽イテ置キタイト思ヒ
 マス

○井上國務大臣 一寸前ノ御說ニ付テ
 駄目ヲ押シテ置キマセガ、三百萬圓恩
 給ノ資金ガ毎年殖エル、昭和七年度カ
 ラ其額ヲ全部減ス、減サンケレバ勘定
 ガ合ハヌヂヤナイカ、斯ウ云フ御話デ
 アリマスガ、恩給法ノ改正ガ直ニ昭和
 七年度ニ三百萬圓影響シテ來ルカ否ヤ
 ハ、未ダ私ハ確信ハ其處マデ持ッテ居
 リマセヌ、併ナガラ根本ニ於テ後年度
 ニ互リマシテモ、一ツ根本的ニ恩給法
 ヲ改正シテ行カウト、斯ウ云フ考ヲ持
 テ居リマスコトヲ申上ゲテ置キマス
 ソレカラ只今ノ公債ノ問題デアリマ
 ス、今大體御說明ノ通りニ、公債其モ
 ノ總額ガ幾ラカ殖エマス、昭和六年度
 ノ年度末ニナリマシテ、六十億以上ニ
 ハナラヌデモ、約ソ六十億ニ達スルン
 デヤナイカ、或ハ交付公債ヲ入レマス
 ト、ドウ云フ風ニナルカト云フ勘定ハ、
 ハッキリ致シマセヌガ、サウ云フ程度ニ
 ナリマシテ、吾々ノ豫期ニ反シテ居リ
 マス、公債ガ殖エ、減債基金ガ減リ、
 剩餘金モ減ル爲ニ減債スル金ガ減ッテ、
 サウシテ今度ノ失業公債ト云フ爲ニ三
 千五百五十萬圓程公債ヲ餘計發行シタ
 コトハ、吾々ノ前ニ——組閣當時ニ考
 ヘマシタコト、其後吾々ガズット考
 ヘマシタコト、ハ豫期ニ反シテ居リマ
 ス、是ハ御說ノ通りデアリマス、併ナ
 ガラ度々繰返シテ申シマス如ク、是ハ
 今日ノ日本ノ不況ニ對スル特別ナ處置
 トシテ已ムヲ得ズ斯ウ云フコトニナ
 タンダ、斯ウ云フ考デ居ルノデアリマ
 ス、其點ハドウゾ御承知ヲ願ッテ置キ
 マス

○大口委員 私ハ先ニモ申シマシタ通
 リ、ナゼ公債ヲ殖ヤスカトカ、或ハ曩
 ノ御聲明ト反スルガドウダト云フヤウ
 ナコトヲ、今夜詰寄ラウト云フノデア
 リマセヌ、ソレハアナタノ方ニモ相當
 ナ申譯ハアリマセウ、申譯ヲ爲サレバ、
 私ハ又攻撃スル材料ヲ持ッテ居ルガ、ソ
 レハ今夜ハ言ハナイ、唯金ガ殖エテ財
 政計畫ノ上ニ悪クナリ、ソレカラ公債
 ガ六十億ヲ超ス超サヌハ別問題トシ

テ、借入金ガ殖エテ居ル、借入金ハ公
 債ニ代ハルベキモノダカラ、公債ニ
 換ヘレバ無論六十億ヲ超シマスケレド
 モ、ソレナコトハドウデモ宜イ、借入
 金ガ随分アル、借入金ト云フモノヲ入
 レ、バサウナル、借金ガ殖エ、支拂ガ
 殖エテ行ク、ソレニ對シテドウ思ハ
 レルカ、將來整理ヲシテ公債ヲ減ス
 積リデアルカ、最早主義ヲ變ヘタトハ
 言ハナクテモ、已ムヲ得ズ借金ガ殖エ
 テモ仕方ガナイ、借金を殖ヤス金ハ斯
 ウシテ引出ス、斯ウ言ハレルカ、或ハ
 此借金ハ今ハ殖エタガ、翌年ハ返ス考
 デアルト云フノデアルカ、其アナタノ
 腹案ガ聽キタイト云フノデアル、借金
 ノ申譯ヤ御聲明ト反シテ居ル點ヲ、今
 ハ責メナイ、場合ニ依ッテハ責メマス
 ガ、アナタガ仰シヤラネバ今夜ハ言ハ
 ス積リデアリマス、財政計畫ニ付テ今
 夜ハ聽クノデアリマス

○井上國務大臣 今日ノ財政狀態カラ
 申シマシタラバ、剩餘金ヲ作ッテ減債
 基金ヲ殖ヤスト斯ウ云フ、恐ラクハ此
 一二年ニハサウ云フ事態ハ出テ參ラヌ
 ダラウト思ッテ居リマス、ソレナラバ消
 極的ニ斯ウヤルヨリ外ニナイ、成タケ
 歳出ヲ減シテ、財政ノ鞏固ヲ圖ッテ縦シ
 失業公債等ニ今度ノヤウナ金ヲ借リル
 コトガアツテモ、ソレハ事態其モノヲ救
 フダケノ高ニハシテ行カナクチャナリ

マセヌガ、成タケ緊縮シタ方針ヲ用ヒテ行カナケレバナラヌ、斯ウ覺悟シテ居リマス、成タケ金ヲ借リル高ヲ減シテ行カンケレバナラヌト云フコトハ覺悟シテ居ルノデアリマス

イ、借金ハ減ズル、公債ハ殖ヤサナイ、六千萬圓以上ニナルトカ、ナラヌトカ言ツテ、御自慢ニナル今ノ内閣ガ、本年九千二百十萬圓ノ公債ヲ募集サレタ、是ハ交付公債ハ別デス、此外ニ今生絲補償ノ後始末ヲ付ケル爲ニ三千萬圓、ソレカラ失業救済ト稱シテ二千何百萬圓ノ交付公債ガ出ル、是ハ假ニ別ニシタ所デ、借金ヲ返スノガ七千五百萬圓デ、新タニ借リルノガ九千二百萬圓デ、マルデ今マデノ政府ノ聲明方針ト違ッ

タコトヲシテ居ッテ、其借金ヲ一方ニシテ、一方デ九百萬圓ノ減税ヲシタト云フノハ、ドウモ今ノ内閣トシテハ、オカシイデヤアリマセヌカ、如何デゴザイマスカ

リノ公債デアルト云フ考デ、一時的ニ特別ノ事件ニ應ズル爲メノモノデア

○大口委員 サウ考ヘテ數字ヲ見ルトヤハリ減税ガ無理ダト云フコトニナリハシマセヌカ、ヤハリ九千二百萬圓ノ借金ヲシテ、七千五百萬圓借金ヲ返スノデア

○井上國務大臣 度々申上ゲマシタ如ク、三千五百五十萬圓ノ金ヲ借入レテ公債ヲ募集シマスコトハ、是ハ今日ノ特別ノ時代ニ應ズル策デアリマス、何モ公債ヲ毎年三千五百五十萬圓、モツト借リテ行カウ、斯ウ云フ意味デヤナ

○大口委員 ソレハ議論ニナリ、意見ノ相違ニナリマスカラ、私ハ今晚ハ論ジマスマイ、只今ノ御論ハ、ソレハ筋ノ通ラヌ御論ダト思ヒマスケレドモ、是ハ反駁ハ致シマセヌ、御意見トシテ承ッテ置キマスガ、私共ニ言ハセルト、事

ハズツト調査致シテ見マシタ上デ、或ハ今松本君ガ唱ヘタヤウナ、斯ウ云フモノガアルカラ、之ヲ一ツ調査シテ見タラドウカ、聽イテ見マスト御尤トモ思フノデス、之ヲ調査シテ見マシタ結果、アノ品物ガ他ノ品物ト對シテ、非常ナ不公平デアルト云フヤウナラバ、アレヲ無税ニスル、或ハ麻絲ノ番手ヲ變ヘルト云フヤウナコトモ出テ來ヤウ

世ノ中へ振撒クト云フノデハ、是ハ國民モ喜ブカ喜バヌカ分ラヌ、私ハ直ニ或ル時代ニ或ル方ガ論ゼラレタヤウニ、借金ヲシテ減税スルノダト言ッテ、机ハ叩キマセヌケレドモ、實際ハサウ

ナル、是ハドウモ餘程此處ガ現内閣ノ借金ガ悪イ、借金ガ悪イカラ、之ヲ整理スルト御宣言ニナッタ、此今ノ内閣ノ方針カラ言ッテモ、此財政計畫カラ言ッ

テモ、本年ノ九百萬圓ノ減税ト云フモノハ、甚ダオカシイモノダ、サウシテ吾吾ガ地租委讓營業稅委讓ヲ致シタ時ニハ、其時ノ借金ト云フモノハアリマシ

カト思ヒマス、ソレナラバ今日茲ニ稅ヲ出シナガラ、直ニ變ヘル氣カ、斯ウ云フコトニナリマシタナラバ、今日ハ私ハ變ヘル氣ハアリマセヌ、殊ニ地租、營業收益稅ノ如キハ、今日ノ所デハ是

タケレドモ、震災後公債、天災地變已ムヲ得ザルモノデ、既ニ議決ニナッテ居ル公債ヲ公債トシテ募集シタノデア

云フ批評ハ、直接ニハ當ラヌ、即チ今アナタノ言ハレル如ク、減債基金ガ減

ナッタ減稅案ノ此四種類ニ付テハ、稅制整理ヲスル場合モ、是ハイデラナイト

言ハレタノデアリマスガ、之ニハ手ヲ著ケナイ考デアルト云フ意味デア

テ減稅ヲスル、委讓スルト云フノハ何ダト仰セラレタ、其御方ガ借金ハイカナ

ツタカラ公債ハ殖エルデヤナイカ、殖エ

カ、或ハヤハリ是ハ同ジヤウニ稅制整

リノ場合ハ、根本カラ只今御出シニナ

ト仰セラレタ、其御方ガ借金ハイカナ

ツタカラ公債ハ殖エルデヤナイカ、殖エ

カ、或ハヤハリ是ハ同ジヤウニ稅制整

リノ場合ハ、根本カラ只今御出シニナ

ト仰セラレタ、其御方ガ借金ハイカナ

ツタカラ公債ハ殖エルデヤナイカ、殖エ

カ、或ハヤハリ是ハ同ジヤウニ稅制整

リノ場合ハ、根本カラ只今御出シニナ

大藏大臣ノ御言明ノ方が宜イト云フコ
トニナリマシタガ、私共ハ趣意ニ於キ
マシテ、大藏大臣ノ仰シヤルコトニ同
意デアリマス、即チ稅ヲ決メルニハ、
一面ニハ負擔力ヲ見ルコトハ是ハ當然
デアリマス、併ナガラ同時ニ社會政策
竝ニ産業政策ニ對シテモ大ニ考慮ラシ
テ、總テノ事情ヲ加味シテ、稅ヲ決メタ
イト私共ハ考ヘテ居ル、所ガ今度ノ四
種類ト云フモノハ、今回御出シニナリ
マシタ案デハ、大體産業政策ハ含マレ
テ居ナイ、ソレハ明瞭ニ御答ニナツタ、
小川政府委員ノ如キハ、産業政策ハ入
テ居ナイト斷言シタ、大藏大臣ハ何カ
一部分産業政策ヲシク見エルモノガア
ルト云フコトヲ言ハレテ居リマス、小
川政府委員ハ、一切産業政策ハ見テ居
ナイト斷言サレテ居ル位デアアル、何故
之ニ産業政策ヲ加味シナイカト云フ點
ニ對シテハ、ソレハ金ガ限ラレテ居ル
カラ加味シタカッタガ、遺憾ナガラソ
マデ手ガ届カナカッタト云フ、大藏大臣
ノ御答辯デアルカラ、趣意ニ於テハ深
ク之ヲ諒トシテ居ル、サウスルト云フ
ト、今度ノ稅制ヲ根柢カラ整理シヤウ
ト云ヘバ、其中ニ産業政策モ加味シテ
ヤラナケレバナラスト云フコトハ決
タモノデアアル、今度ノ四種類ニハ、産業
政策ハ入ッテ居ナイ、ヤハリ今度ノ稅制
整理ニ於テハ、産業政策ヲ加味シテ考ヘ

ルコトニナレバ、全體ヤリ直シノ中ニ
入レナケレバ、四種類ダケ産業政策ヲ
加味セラレナイモノガ殘ッテ、後デ研究
シテヤラレルモノニハ産業政策ガ入ル
ト云フコトニナル、稅ノ建前ガ根柢カ
ラ誤ッテ居ル、ドウシテモ産業政策ヲ加
味シテ、稅制ノ根柢ヲ樹テルト云フ
コトガ正シイモノナリトスレバ、今回
ノ四種類ハ暫定的ノモノデ、本年一年
限りノモノデアルト、吾々ハ斷ジナク
チャナラヌガ、此處ガドウナリマスガ、
餘程疑問ガアルヤウデス

○井上國務大臣 織物稅ヲ取ッテ一ツ
之ヲ説明致シテ見マス、今度ハ産業
政策ヲ加味スル餘地ガナカッタト云フ
コトヲ、私ガ申シテ居リマスノハ、産
業政策ハ從來ノ織物稅ニハ殆ド入ッテ
居ルト思フノデアリマス、此問題ハ斯
ウ云フ所カラ出テ來タノデアリマスガ
ラ、其歴史ヲ取ルト直グ分リマス、例
ヘバ「レイヨン」ヲ無稅ニシタラバドウ
カト云フヤウナ問題ニナルト、ソレハ
「レイヨン」ハ無稅ニナッテ居ナイト、斯
ウ云フコトデアッタラウト思ヒマス、若
シ今度「レイヨン」織物ヲ無稅ニスル
「レイヨン」ヲ大ニ盛ニスルカラト云フ
コトデアリマスナラバ、今度ノ減稅ニ
モ産業政策ヲ加味スルト云フコトデア
ルガ、産業政策ニ依ッテ出來タ稅ハソッ
クリ其儘ニシテ置イテ、今度織物稅ヲ

下ゲマシタノハ、全ク社會政策ノ見地
カラ云ッテ、下層社會ノ用ヒルモノヲ無
稅ニシタト云フコトニシカ過ギヌ位ノ、
餘地ホカナカッタノデアリマス、其處ヲ
申シテ居ルノデアリマスカラ、其點ハ
ソレデ宜シイ、將來稅制ヲ建直シタラ
ドウカト云フ、斯ウ云フ意味ニナリマ
シタラ、先刻私ガ説明申上ゲル如ク、
色々ナコトヲ考ヘテ見テ、釣合上、或
ハ大口君ノ言フ如ク、或點ニナレバ消
費稅ノ如キハ全部ヲ變ヘルカ、全部ト
云ヒマシテモ、總テノモノニ付テ研究
スルカ、或ハ一二種ノモノヲ取ッテ公平
ヲ保ツヤウニスルカ、サウスルト云フ
アリ得ルデアラウト思ッテ居リマス、併
ナガラマア比較論デ行キマスカラ、地
租トカ、營業收益稅ノ如キハ是デ大體
吾々ハサウスル考デヤッタ積リデアリ
マスカラ、今日ノ所デ之ヲ變ヘヤウト
云フヤウナ考ハシテ居リマセヌノデア
リマス

○大口委員 私ハ此營業稅ナドニ對シ
テハ、大イニ考慮ヲ要スベキ今日ノ時
代ニナッテ居ル、殊ニ産業政策上カラハ
最モ必要デアルト考ヘテ居ル者デアリ
マスガ、ソレハ大藏大臣ガサウスル御
答辯デアレバ、又議論ニナリマスカラ、
普通ナラモウ少シ一口ニ分リ能ク言フ
ト、追窮モシテ見タイノデスガ、マア
議論ハ避ケマシテ、私ハ其問題ハ此處

デ止シマス
ソコデ次ニ段々問題ガ小サクナッテ
行キマスガ、二ツ三ツ小サイ問題ヲ承ッ
テ置キタイノデアアル、今回地租ノ賃貸
價格ヲ御決メニナルニ付テ、東京市ノ
如キハドウ云フ風ニナッテ居リマスガ、
内容ヲ承リタイノデアアルガ、全體賃貸
價格ヲ決メマス時ニ政府ガ長イ間掛
テ下調ベヲサレテ、ソレヲ委員ガ出來
テ、多分アレハ當時地方々々ノ稅務監
督局デ委員ノ議ニ掛ケタ答デアリマ
ス、其委員ノ議ニ掛ケマシタ時ニハ、
私モ實ハ政府當局ノ一人デアッテ、稍、
内容ヲ知ッテ居リマスガ、諸方ニ於テ色
色ナ異論ガアッタ、此賃貸價格ニ付テハ
異論ガアッタガ、何トカシテ之ヲ纏メタ
イト云フノデ、色々稅務監督局長ガ骨
ヲ折ラレテ兎ニ角今日ノ如ク纏メラレ
タノデアアルガ、其當時委員會カラハ色
色ナ附帶決議ヲシテ政府ニ申出テ居ル
コトガアルノデアリマス、殊ニ東京ナ
ドハ大分喧シイ問題ガアリマシテ、其
當時ノ附帶決議ヲ丁度私此處ニ持ッテ
居リマスガ、青木君ハ其時監督局長デ
アラセラレタカト私ハ思フノデアリマ
スガ、斯ウ云フコトガ京橋ナドニ於テ
モ、京橋區ノ稅務署内ノ委員長ナドカ
ラ附帶決議ガ出テ居ル、今回本調査會
ニ提案セラレタル土地賃貸價格ハ全國
ノ權衡ヲ得ル爲メ土地權利金ヲ過大ニ

見積り加算シタル結果現實ニ副ハザルモノトナレリ、然レドモ原案中甚ダシキ不均衡ナル點ヲ修正シ、制度上已ムヲ得ズ原案ヲ認ムト雖モ現在ノ實情ニ徴シ原案ヨリ約三割ヲ減額スルヲ適當ト認ム。斯ウ云フ實ハ附帶決議ガ付イテ居ル、是ハ東京バカリデナカッタ思フ、全國デ隨分アッタと思フ、斯ウ云フコトハ斟酌サレテ居ルデセウカ、斟酌サレテ居ナイデセウカ、是ハ餘程重要ナ點ト思フ

○青木政府委員 御答ヲ致シマス、只今ノ京橋稅務署管内ノ賃賃價格調査會ノ希望決議ト云フモノハ、私モ只今正確ニ記憶致シテ居リマセスケレドモ、其當時京橋稅務署長カラ私ガ報告ヲ受ケマシタ事柄ノ中ニ大體只今仰セニナッタヤウナコトガアッタヤウニ私ハ記憶致シテ居リマス、デ其當時政務次官デオイデニナリマシタ大口サンノ所ニハ、東京市内ノ賃賃價格調査委員ノ代表者ガ陳情ニ參ッタコトモゴザイマシタ、日本全國デ最モ賃賃價格調査會ノ紛糾ヲ致シマシタノハ東京市内デアリマス、ソレハ今日賃賃價格表デ御覽ニナリマシヤウニ、其時ハ地租ノ稅率ガ決マツテ居リマセスケレドモ、賃賃價格ガ激増スルト申シマスカ、今日ノ結果カラ言ヘバ地租ノ激増スル所ハ東京市内デゴザイマスカラ、ソレデ東京市内

ノ賃賃價格調査會ガ最モ紛糾ヲ致シタルデアリマス、ソレハ負擔ノ激増ト云フコトヲ非常ニ恐レタモノデアルト思ヒマス、デアルカラ日本全國ニモ多少再調査ヲ致シマシタヤウナ場所モアリマスケレドモ、最モ紛糾致シマシタノハ東京市内デアリマス、併シ是ハ毎々申上ゲテ居リマス通り、日本全國ノ土地負擔ノ公正ヲ得ル爲ニハ、東京大阪其他六大都市ガ重キ負擔ニナツテ來ルト云フコトハ、ドウモ已ムヲ得ザル結果デアリマスカラ、只今御述ベニナリマシタヤウナ此調査會ノ決議ヲ致シマシタ賃賃價格ニ何割引キラスルト云フヤウナコトハ只今考ヘテ居リマセヌ、サウ云フコトハ致サヌ積リデアリマシタ

フガ満足シマセスカラ、前ニ申上ゲタ附帶決議ヲ付ケタモノト思ヒマス、ソコデ法律上ノ開キガ起ッタト云フコトヲ申上ゲマスレバ、一體土地賃賃價格調査委員會ノ決議ニハ附帶條件ヲ付ケルト云フコトハ法律上ニ認メラレナイコト、思フ、贊成スルカ、反對スルカ、修正スルカト云フ事ト思ヒマスガ、今仰セニナリマシタヤウナ事實ガアッタト云フコトハ私モ臆氣ナガラサウ云フコトガアッタト記憶ヲ致シマス、京橋稅務署長カラ其報告ヲ受ケタヤウニ記憶致シマス

○大口委員 是ハ餘程重大ナ問題ニナツテ來ヨウカト思ヒマスガ、私ガ承ル所デハ是ハ青木サン自身ノ書カレタ手ダトカ云フコトデスガドウデス、サウデスカ、サウデハアリマセヌカ、何デモ斯ウ云フ風ニキメテ吳レヨト云ハレタケレドモ、是ハ困ルカラト云フノデ、私ガ今讀ミ上ゲタヤウナ決議ニナツタ、其時ノ附帶決議ハ地價ノ課稅標準トシテハ日本全國ノ均衡ヲ得ル爲メ稅務署提案ヲ認ムルヲ已ムヲ得ズトスト雖モ、地主ガ借地人ヨリ徵收スル地代トシテハ稅務署提案金額ニ對シ、其約三割ヲ減ジタルモノヲ以テ適當ノ額ト認

○青木政府委員 御答ヲ致シマス、是ハ確ニ私ノ書イタ字デアリマス、ソコデ今大口サンノ仰セニナルヤウニ、是デハ向フガ満足シナカッタ今ノ御話尤モト思ハレマスガ、詰リコ、ハ地主ガ借地人カラ徵收スル地代トシテハ約三割ヲ減ジタルモノヲ以テ適當ナル額トス、詰リ地租ノ課稅標準トシテハ稅務署ノ提案シタノガ宜シイケレドモ、今ノ地租ガ上ルト地代ガ上リハシナイカト云フコトガ一方ニ議論ニナツタコトモアル、ソレデ實際借地人カラ取ル地代トシテハ、今ノ權利金ノ關係ガアリマスカラ、三割位減ラシタモノガ適當デアルト認メルト云フ意味デ私ガ書イ

○大口委員 是ハ青木サンガ大臣デモ何デモナイ、サウ云フ責任者デモナイ青木サンノ責任ヲ責メル譯デアリマセヌガ、法律上附帶決議ヲ付ケル權限ガ有ル無シニ拘ラズ、其當時斯ウ云フ意見ガ出テ、色々ソレヲ纏メル爲ニ當時ノ監督局長ガ兎ニ角今ノヤウナコトニシテ三割減ズルヲ適當ダト云フコトヲ書イテ御渡シニナツタ、モウ今日ハソレニハ及バナイ、サウ云フコトハ顧ミナイ、サウ云フヤウナ答辯ヲナスツテハ東京ノ人が聞イテ少々驚キマス、ドウデセウ、青木サン、サウ云フコトハ政府トシテハ少シハ考ヘラレヌトドウモ宜クナイト思フガ如何デゴザイマス

○青木政府委員 御答致シマス、私ガ書キマシタノハ只今申上ゲマシタヤウ

内デゴザイマスカラ、ソレデ東京市内

割ヲ減ジタルモノヲ以テ適當ノ額ト認

タト、當時ノ記憶デアリマス、所ガ向

書キマシタノハ只今申上ゲマシタヤウ

ニ地主ガ借地人カラ地代トシテ徵收スル稅務署提案金額ニ對シ約三割ヲ減シタルモノヲ以テ適當ノ額ト認メル、斯ウ書キマシタ、三割ト云フモノハ、向フデハ三割ノ決議ヲシヨウト云フ考ガアツタカラ、斯ウ書イタト思ヒマス、併シ向フデハソレデハ満足致シマセヌデ、賃賃價格調査會ノ時ニサウ云フ希望條件ト云フモノガ付イテ居ッたらウト思ヒマス、併シソレハ法律上ノ手續カラ申シマスレバ、ヤハリ賃賃價格ト云フモノハ調査會ノ議ヲ經テ、稅務署長ガ之ヲ決定シテ區役所ニ公示致シマシタカラ法律上ハソレハ完全ナモノデアルト思ヒマス、事實上東京市ノ賃賃價格ガ非常ニ増加ヲ致シマシタ、詰リ日本全國デ以テ此宅地租ノ増加致シマシタモノガ五百六十萬圓、其中デ四百二十萬圓ガ六大都市ト云フノデアリマスカラ、ソレハ激増スルコトハ十分認メマス、併シ私ハソレハ權衡ヲ得テナイトハ思ハナイノデアリマス

○大口委員 私ハ權衡ヲ得テ居ルトカ、居ラヌトカ大阪ガドウダト云フノデナイ、サウ云フ事情ガアツタノニ只今ノヤウナ、スゲナク理窟一點デ御ヤリニナツテ國民ト云フモノガ納得スルモノデアラウカドウデアアルカ、大臣デモ政務次官デモ御在リニナラヌノデスガ、政府トシテ大藏大臣モ此事情ヲ御

承知ニナツたらバ、政治家トシテハ餘程御留意ニナラナケレバナラヌ、斯ウ云フコトヲ理窟ト法律デ御張リニナツテ御答辯ニナツタノデハ如何デアラウカト御注意ヲ申シタダケデ、別ニ青木君ガ惡イト申シタノデハナイノデアリマスカラ御心配ニハ及ビマセヌ、尙ホ私ハ簡單ニ一ツダケ伺ッテ終リマス、モウ一ツ御伺シタイノハ、今マデニ質問ガアツタコト、思ヒマスガ、私聽漏シタカモ存ジマセヌシ、少々私臆ニ著チナイ點ガアルカラ承リマス、今回ノ地租ノ本ニナル賃賃價格ト云フモノハ何年カ前ニキマッタモノデアアル、其當時ト今日トハ非常ニ事情ガ違ッテ居リマスノデ、或ハ田ヤ畑ハ幾ラカ地租ガ下ルヤウニモ言ハレテ居リマスガ、併シ今日ノ畑トカ、殊ニ山林ハ少シ殖エハセヌカト思ヒマスガ、今此處デ表ヲ開ケテ見レバ分リマスケレドモ、諳誦シテ言フノデアリマスカラ少シ違ヒガアルカモ知レマセヌガ、山林ハ寧ろ稍、殖エルト思ヒマス、畑ハ稍減ルト思ヒマスガ、畑ニシタ所デ、藪ノ値ノ高イ時ニ積ラレテアリマスカラ、是ナドハ餘程高ク見ラレテ一貫七圓、八圓シタ藪ガ今ハ一圓臺ト云フコトデアアルカラ餘程畑ノ値ト云フモノハ下ッテ居ルノデアアルカラ、此儘行フト云フコトハ今日カラ言ヘバ非常ニ不公平ト見テ居ルト云フコトハ

已ムヲ得ヌトシテモ、政府ハ之ヲ認メネバナラヌト思フガドウデアリマセウ、殊ニ山林ト云フモノハ此材木ノ價格ノ下ッテ居ルコトガ私ガ申スマデモナクヒドイモノデアアル、ソレデアアルカラ山林ノ賃賃價格ト云フモノハエライ下ラネバナラヌ、是ハドウセ十年ニ一遍改正スルモノデアアルカラ、其不公平ハ申スマデモナイモノデアアルト云フヤウナ理窟ナラバ承ラナクテモ私ハ宜シイト思フ、今日カラ見テ兎ニ角現狀ニ即シテハ隨分不公平ナ點ガアルト云フコトダケハ、御認メニナルダラウト思ヒマスガ、此點ハ大藏大臣ハ如何デアリマセウカ

○井上國務大臣 本會議ニ於テ高橋君カラ同ジヤウナ質問デアリマシタガ、此賃賃價格ノ調査方法、實地ヲ調査シテドウナツテ居ルト云フコトハ申上ゲルマデモナイ御承知デアリマス、大體今般ノヤウナ經濟ノ狀態ガ來マスト、一度ニ同ジヤウニズツ下ッタ、其中ニハ拾ヒ上ゲテ見マスト、是ハ下ッテ居ナイ、是ハ下リ過ギテ居ルト云フヤウナコトモアリマセウガ、大體言ヘバ宅地モ田畑モ皆一緒ニズツ値段ガ下ッタト考ヘテエライサウ無理モナカラウガ、ソレハ種々實例ヲ取リマシテ、格段ノ場合ヲ收上ゲテ見タラ此方ハ餘計下ッテ此方ハ下ッテ居ナイト云フ點モアリマセウ、併シ大體見ルト——全般ヲ取ッテ見レバサウ考ヘテ宜カラウト考ヘテ此事ヲ實行シツ、アル所以デアリマス

○大口委員 成程サウ云フ御答デアッタカト思ヒマスガ、一層確メルコトヲ得マシタガ非常ニ間違ッタ考デアッタ、ソレハ實際ニ即セザル御考デアアルト云フコトヲ私申シマス、モウ少シ山林ヤ畑ナドノ事情ヲ能ク御調べテ願ヒタイ、是ハ事情ニ即セザル御考デアアルト云フコトダケハ私モ申上ゲマス、ソコデ更ニ賃賃價格ヲ決メルノハ今度ハ昭和十三年ノ答ダト思ヒマスガ、十三年ノ改定ニ當ッテ相當費用ガ要ルト思ヒマス、ソレハドノ位ノ費用ヲ要スルト云フ御考デアリマスカ

○井上國務大臣 此前ノ豫算デ千萬圓程使用致シマシタガ、今度ノ次カラハソレ程ハ要ラヌト考ヘテ居リマス、見込ヲ立テタコトハアリマセヌガ、ソレ程ハ私ハ要ラヌト考ヘテ居リマス、見込ヲ立テタコトモアリマセヌケレドモ、大體順序ガ定マツテ居リマスガ、何割カ引イテ宜カラウカト考ヘテ居リマス

○大口委員 川越君モ居ラレルヤウデアリマスガ、是ハ概計表ニ取ッテ居リマスカ此費用ハ概計表ニアレバ分ル譯デ

○川越政府委員 概計表ニハ見テアリマセヌ

○大口委員 サウスルト又概計表ガ怪シクナリマシタ、千萬圓近イ金ガ幾ラ要ラナイト言ッタ所ガ七百萬圓ヤ八百萬圓ハ要ルト思フ、此位ハ法律デ定マ

テ明カナモノガ、財政計畫ニナクチャソレハイキナリ千萬圓近イ穴ガアイテシマヒマス、是ハドウモ怪シイモノト私ハ考ヘマスガ如何デアリマスカ

○井上國務大臣 申上ゲマスガ、十三年ハ六百萬圓、十四年ハ三千二百萬圓、十五年ニハ五千五百萬圓ノ金ガ餘ッテ居ルノデアリマスカラ、十三年カラ先

ハ大概宜イダラウト考ヘマス

○大口委員 十三年先ノコトヲ言フナラバ、私ハマダ非常ニ金ノ要ルコトガアルコトヲ知ッテ居リマスカラ、十三年先ノ概計表ヲモウ少シ詳シイモノヲ知

リタイト言ッタガ、ソレガ知レマセヌガ、詰リ十三年ト云フモノニ付テハマダ色々ナ外ノモノガアルノデアリマス

○井上國務大臣 一寸アナタノ誤解デアリマスガ、私ノ申上ゲマシタノハ昭和十三年デゴザイマス、昭和十三年

十四年、十五年デゴザイマス、十三年先デハアリマセヌ

○大口委員 サウスルト昭和十三年ニハ此概計表デ見たノデハ六百萬圓ニナルノデアリマス、所ガ海軍ノ問題モ出

テ來マスシ、種々ナ問題ガ段々現ハレテ來ルノデ六千萬圓シカ海軍ノ財源ハ留保シテハアリマセヌ、十二年以後ハ主力艦隊ノ代換建造ト云フモノガ來ス

ネバナラヌ、サウ云フ事カラ論ジデ行クト云フト此六百萬圓デ今ノ地租ノ改定ガ出來ルノダラウト云フコトハ思ヘ

マセヌケレドモ、昭和十三年ノコトデアリマスカラ宜イヤウナモノデアリマ

スガ、サウ云フ風ニ論ジテ行クト是モヤハリ十三年ハ怪シイモノダト云フコトヲ見ネバナラヌノデアリマス、私ハ

兎ニ角是デ打切りタイト思ヒマス

○高橋委員 私ハ此場合ニ發言ヲ求メマシテ、理事會ノ申合セニ基キマシテ、

昨日委員長ヨリ御宣言ノアリマシタル如クニ本日中デ質問ヲ打切ルコトニ相

成ッテ居リマス、未ダ委員中ニハ幾多ノ質問事項ヲ有スルコト、思フノデアリ

マスケレドモ、既ニ時刻モ十時半ニ垂ラ本委員會ニ付託ヲ致サレマシタ地租

法外六件ニ關スル質問ハ此程度ニ於テ止メラレンコトヲ遺憾ナガラ希望ヲ申

上ゲル次第デアリマス(拍手)

○本田委員長 委員長ノ手許ニ質問ヲ要求セラレタ方ノ全部ノ質問ヲ終リマ

シタ、之ヲ以テ質問ハ終了シタルモノト認定致シマス——委員長ハ一箇月ニ互ル長イ間諸君ガ御精勵下サレタコト

ハ各派ノ意見發表ノ爲ニ午後四時ヨリ開會致シマス、之ヲ以テ散會ト致シマ

午後十時二十九分散會